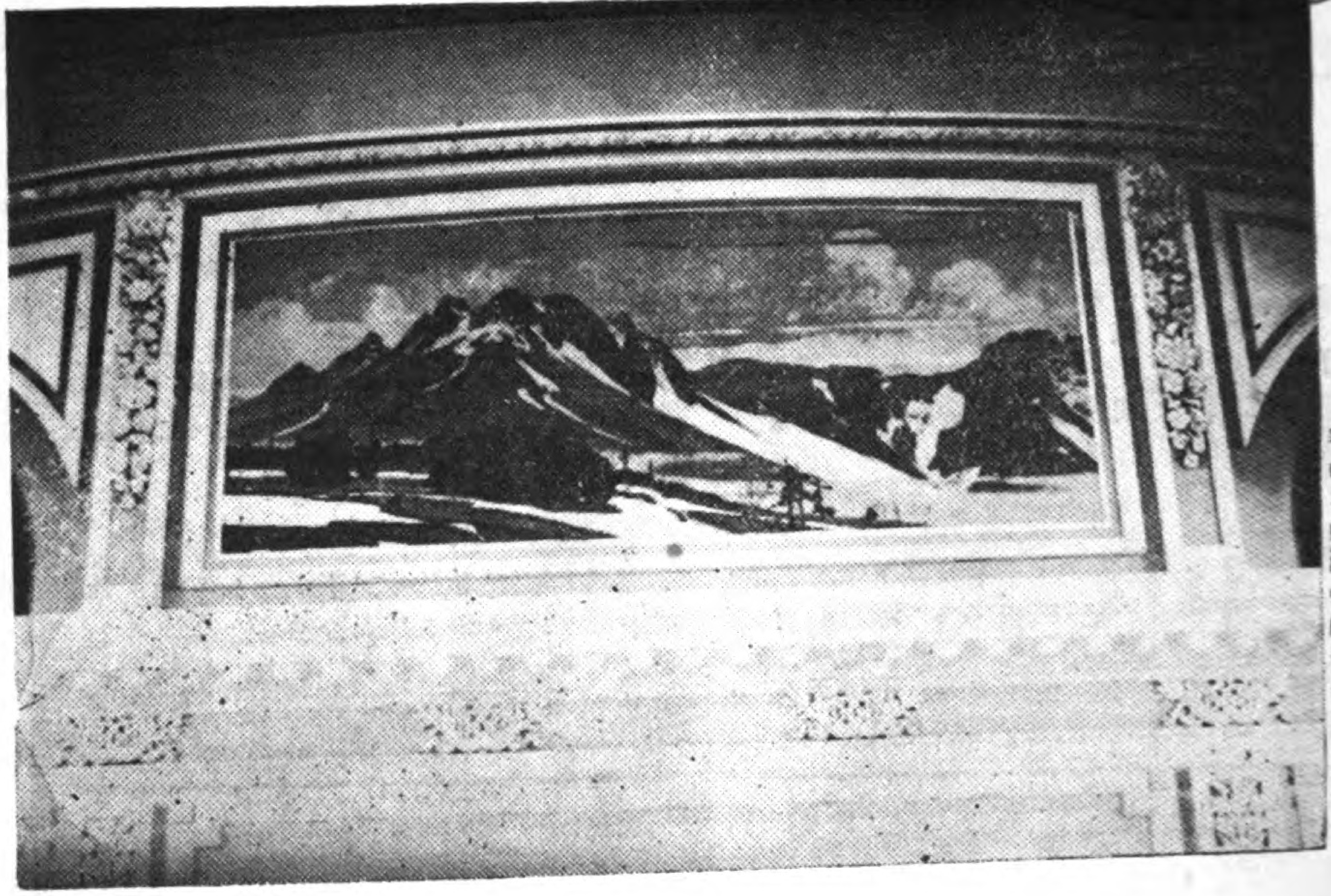
臺灣時報

二月號



平山夕照（總督府會議室壁畫）

桃花開くこと早し
時報（臺灣時事）
本島外國貿易概況
岡松博士と臺灣立法
社會事業に就て
同姓結婚に關する解惑
水利組合令に就て
安平港及運河
布哇の教育及人種問題
獨逸學制の大變革
南洋と煙草
爪哇市場と燐寸
雲南行記

臺灣時報發行所

大正十一年二月十日發行（每月一回一日發行）
第三十一號

内容目録記入濟
EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
登錄濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
MAR 1 1922
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO.
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す（發行規定第一條）

◎臺灣時報發行所役員

▲評議員長

賀來佐賀太郎

△評議員（以下イロハ順）

池田常吉　池田幸甚　石坂荘作　市來半次郎　今井周三郎　新元鹿之助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　宮島元治　宮地近思　陳鴻鳴　陳中和　李景盛　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹時一郎

農學博士 大島金太郎　大越大藏　奥田重榮　大川盛行　大賀基作　渡部英太郎　川崎卓吉　片山秀太郎　川崎軍治　川中子安次郎　簡朗山　簡阿牛　顏雲年　菅野善三郎　吉田平吾　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝

工學博士 高田元治郎　高田富藏　高橋辰次郎　立川連　田村武七　田村藤四郎　醫學博士 谷野格　高山仰　瀧田傳吉　常吉德壽　津田毅一　津久井誠一郎　永田準之輔　中村啓次郎　内藤正太郎　武藤針五郎　野呂寧　草鹿砥祐吉　山移定政　松岡富雄　牧山清砂　藤野幹　稲留喜之助　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　枝德二　江口貞三郎　江崎眞澄　鄭拱辰

鄭神寶　芳石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　相賀照鄉　岡部湧　麻生誠之　荒巻鐵之助　淺田知定　青池論　近江時五郎　佐藤勸　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤愛二　湯淺軍之佐　佐藤小次郎　皿谷旅次　要蓮紡　木村匡　木村久太郎　許延光　北村吉之助　三村三平　三好德三郎　下瀨謙太郎　徐杰夫　森俊六郎　平山寅次郎　平山午介　末松偕一郎　角源泉　鈴木重臣　諏訪禮次郎

▲編纂委員

石井光次郎　生駒高常　服部武彦　法水了禪

豐田勝藏　農學博士 東鄉實　宮田松彦　奥秋雅則

▲常務員

和田一次　鎌田正威　横光吉規　東忠藏　淺野安吉　赤松寅七　水越幸一　三浦碌郎　島田彌市　本山文平

深川繁治　古山榮三郎　田阪千助　堤一馬　岡本佃　中瀬拙夫　中村壽太郎　宇都宗一　前田稔靖　稲與平三郎

編輯係　鷹取田一郎
同　高橋惇
同　拓大雄
同　中野顯三郎
同　小森德治
同　秋澤次郎
囑託　池田壯太郎
同　峰谷彬

囑託　大槻綱彦
同　池田忠吉
同　横尾善夫
同　眞倉民治
同　志田潔之
同　杉山秀
庶務及會計係　伊藤儀之助

大正十一年二月八日印刷
大正十一年二月十日發行（毎月一回一日發行）

（定價一冊郵稅共金三十錢）
（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣第二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市龍口町百四十番戶　中野顯三郎

印刷人　臺北市撫臺街二丁目四十番戶　澤田照基

印刷所　臺北撫臺街二丁目百四十六番戶　臺北印刷株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社
臺灣銀行
（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　臺中　嘉義　臺南　高雄

宜蘭　淡水　桃園　新竹　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　九江　漢口　福州

廈門　汕頭　香港　廣東

其他

新嘉坡　盤谷　スラバヤ　スマラン

バタビヤ　孟買　倫敦　紐育

內地

神戶　大阪　橫濱　東京　門司

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

二月號目次

大正十一年、第三十一號

■口繪▼臺北に於ける新年閲兵式▼臺北消防組出初式に於ける防火演習▼一月既に開花せし草山の花

■桃花開くこと早し（卷頭辭）……一

■時報▼主要食料作物打合會議▼水利組合令の公布▼全島視學講習▼朝鮮視察團の來臺▼ジョ元師臺灣海峽通過▼大隈侯遙弔式▼平和博臺灣館と出品▼臺灣宣傳活動寫眞とポスター▼岡松博士追悼會▼臺灣新敎育令……二―五

■本島外國貿易概況……臺灣總督府稅關長　齋藤愛二……六

■岡松博士と臺灣の立法……高等商業學校長　片山秀太郎……一八

■社會事業に就て……佐藤正俊……二三

■同姓結婚に關する解惑……總督府囑託　鷹取田一郎……三五

■米國では酒責めに逢つた（倉岡彥助氏の御話）……四八

■水利組合令に就て……內務局市街庄課……四九

■安平港及運河……臺南州……五三

■內地臺灣對照魚貝名……總督府水產課……六二

■芭蕉の葉蔭（下村海南博士の歌集）……六八

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■布哇の教育及人種問題と日本人……臺北商業學校助教授 智念昌永譯 六九
■南洋と煙草……總督官房調査課 七五
■爪哇市場と燐寸……殖産局商工課 八五
■獨逸學制の大變革……後藤改平譯 九一
■大阪の芝居を觀て(可行子)……九六
□□□□□□□□□□□□□□□□□
■協議會記事(新竹州治、新竹州豫算説明)……九七
■岡松博士追悼會に於ける賀來總務長官の弔辭……一〇八
■朝鮮だより……一一〇
■島情▼臺灣の職業紹介所▼島内會社事業別▼新竹州水産會の創立と魚場▼金融概況
▼臺灣商況……一一二—一一三
■雲南行……總督府囑託 田澤震五 一二四
■大正の古島民……蕉鹿夢 一三〇
■南支南洋其他海外重要記事……官房調査課 一三三
■詞苑……一四一
■雜報……一四三
■臺灣日誌▼人事消息▼任命▼寄贈書目……一四五
□□□□□□□□□□□□□□□□□
■漢文▼就臺灣水利組合令而言(市街庄課調)……一四九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

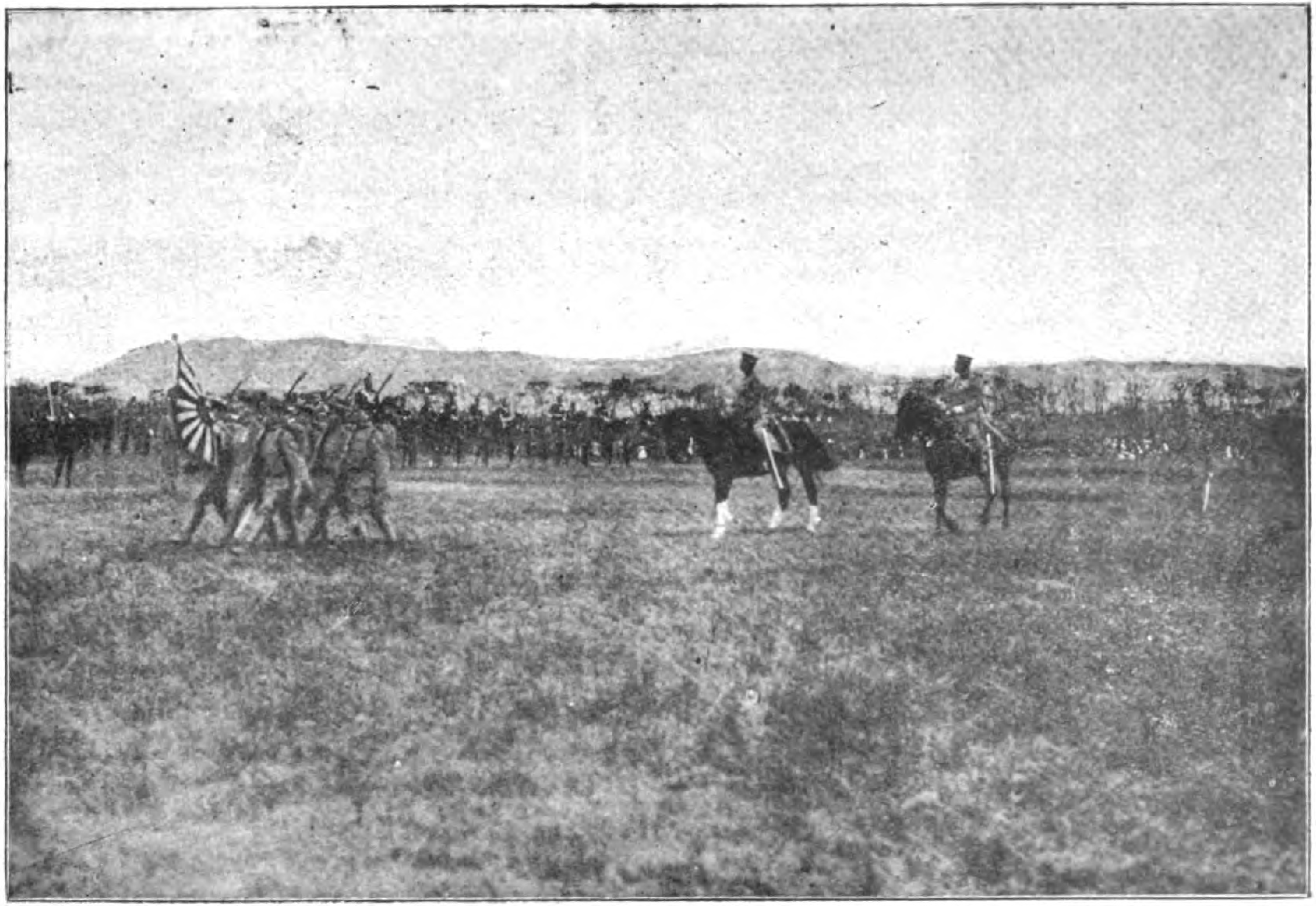
資本金五千萬圓

各地支店
東京、京都、神戸、兵庫、尼崎、姫路、廣島、德島、奈良、伊丹、傳法
臺南、（大阪市内）南、天滿、雑喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

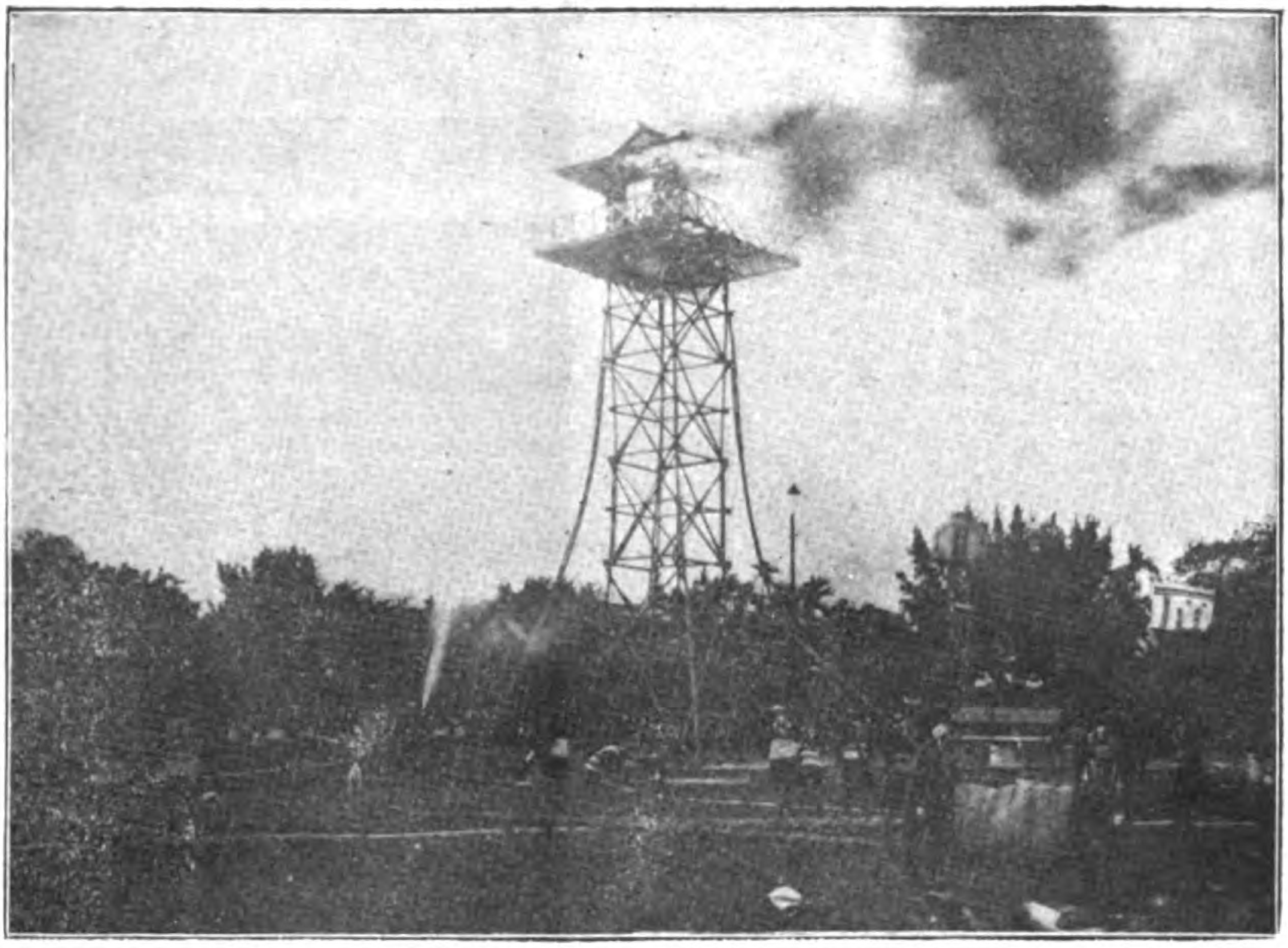
臺北支店　臺北市城内府前街二丁目

（電話三三四、五六、九六〇）



臺北に於ける新年閲兵式

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺北消防組出初式に於ける防火演習（新公園にて）

一月既に開花せし草山の桃

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

大正十一年二月號

桃花開くこと早し

年々一月は梅花の候にして、二月の桃花の候たること、本島春初の例なるに、本年は如何なる風の吹き廻しか、一月既に春色駘蕩として、草山の桃、早く花信を報じ、其の中旬には、島都の子女、花を探りて絡繹たりしを見る。彼の歳寒に傲るは梅花の本質にして、春温を爭ふは桃李の特色たること、古人亦た既に之を道ふ。偶ゝ本年、桃花の其の季節を誤りたるもの、即ち天候暖和にして、春温二月の如くなるに誘はれたる乎。支那の俗、古來桃を以て、驅邪、仙壽等を意味すと爲す。桃若し此の靈あらば、何ぞ其の本領を忘れ、季節を誤ることをせむ。會ゝ春温の誘發に逢うて、卒然開花したりとせば、亦是れ不靈の一植物たるに過ぎずと謂はむのみ。果然花開の後、寒雨蕭々たること連日、草山の花信、杳として復た聞く所なし。恐らくは榮華一夢にして凋殘したらむ。

今夫れ世界に國を樹て、異風殊俗を渾成して、一視同仁の政を敷かむとするもの、時に歳寒に當りて、春温を假さゞるものなしとせず。然かも民衆にして理解の靈能あらば、克く其の本領を持して、治者の意に副はむことを力むべきのみ。若し驕傲自ら省みず、漫に天意の温和に狎るゝが如きあらば、即ち一暖に忽ち英發し、一寒に忽ち凋落すること、彼の草山の桃花の如きものあらむ也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

主要食料作物打合會議

總督府に於ては本島主要食料作物改良の目的を以て舊臘二十四、五の兩日、府内第一階食堂に於て川崎殖産局長以下各課長、技師竝に各州及中央研究所の關係者、物産檢査員等會同して打合會を開き川崎局長より一場の訓示ありたる後、諮問事項として米種改良事業の實績竝に籾乾燥場の實況に關する件、協議事項として品種保存、限定品種の研究、最多數量調査、稻植附株數、肥料試驗田等に關する件に付審議を爲したり本會は作物改良の上に於ても又た食料政策の上に於ても頗る有意義のものとして一般に期待せらる。

水利組合令の公布

數年來の懸案たりし臺灣水利組合令は舊臘二十八日律令第十號を以て公布されたり本令に依れば舊公共埤圳組合規則に於ては各州知事又は廳長が必要の場合埤圳組合の設置を命じたるを改めて水利組合員たるべき者の任意により法定の手續を經て組合設置を臺灣總督に申請し其の認可を受くべきことゝし其他組合の議決機關、水租徵收の方法、管理者、監督者其他に就ても埤圳組合規則と異る所多く尙ほ本令施行と同時に現在本島各州廳下に在る公共埤圳組合は全部本組合令に由りて水利組合と改稱せらるべし尙ほ本令の施行期日は四月一日よりなるべく其の期日は府令を以て定めらるべしと(別項調査研究欄參照)

全島視學講習

總督府に於ては現下本島敎育の進展上學校敎員は學藝及經歷の外、人格高潔思想堅實に常に國家に奉ずるの赤誠あり且つ學校內敎室內に於て學術技藝を授け訓育を施すの外、進んで地方改良、社會敎化の方面にも著眼し同化の促進、思想の善道に盡瘁すべき責務と權威とを有すべきものなるを以て職に視學に在る者は是等の點に於て自ら學校敎員の模範となり之を指導誘掖するの實力と熱誠とを有せざるべからずとの理由により這回全島各州廳市郡視學の第一回講習會を開き一月十一日より十日間府內第一階食堂を會場として、敎育敎授の最近思潮、敎育行政法、社會敎化事業竝に敎育事務に關する講習を行ふべく十一日午前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九時佐藤參事官を初め學務當局並に諸講師及び各視學會同の上開會の式を擧げ引續き佐藤講師其他諸講師の下に前記科目の講習を行ひたり蓋し時勢に適切なる施爲ならむ。

朝鮮視察團の來臺

京城日報社主催辯護士赤尾虎吉氏を初め一行十六名の朝鮮視察團は一月七日朝香港丸にて基隆著、同地官民の出迎を受け築港其他を視察したる後同日午前九時五十分臺北驛著卽日自働車にて市内各所を視察し引續き全島各地を歴訪して到る處官民の歡迎を受け十分に視察の目的を達したるが臺北官民有志は同十二日鐵道ホテルに於て一行の爲に盛んなる歡迎會を催はし酒間相互に辭令の交換あり一行は十分の滿足を以て十三日臺北驛發歸鮮の途に就きたり本視察團は臺灣に於ける最初のものにして其の本島を紹介するに與りて力あるべきや蓋し疑なけん。

ジョ元帥臺灣海峽通過

曩に東宮殿下歐洲御巡遊の際佛國を御訪問あらせられたるに對し今回其の答禮使として來朝せらるべきジョッフル元帥一行の搭乘する佛艦モンカルム號は一月十二日佛領ハイホンを拔錨橫濱へ向け北上の途次十五日正午臺灣海峽通過に際し田總督より同元帥宛にて「長途の御旅行に益々御機嫌克く御航海の由慶賀の至に不堪本島は閣下御曾遊の地にもあり鶴首御寄港を待上げたるも御日程繰合せ出來ざるは遺憾に存ず茲に臺灣海峽御通過に際し謹んで敬意を表し御航海の平安を祈り上ぐ」との無線電信を發したるに折返し元帥より「臺灣島の前を通過しつゝ閣下に對し茲に深厚なる敬意を表すると共に本官が曾て駐在したる基隆に寄港する能はず同地に閣下を御訪問致す能はざるを遺憾とす」との答電ありたりジョッフル元帥は清佛戰爭に際し臺灣に駐屯せられたるを以て本島官民は今回此の世界的偉大の元帥を本島に迎へて其の風貌に接するを樂み居たるに日程の繰合付かず寄港せられざるは洵に遺憾此上なしといふべし。

大隈侯遙弔式

日本に於ける世界的偉人たる大隈侯の葬儀が帝都の中樞日比谷公園に於て百餘萬會葬者環視の裡に行はれたる一月十七日の午後四時三十分、大隈侯の遙弔式は島都の陸軍偕行社に於て早稻田大學臺灣北部校友會及び肥

前協會臺灣支部の主催臺北官民によりて催されたり此日春雨蕭々たるに拘はらず會する者三百餘名、神前には田總督、福田軍司令官以下官民の寄贈に係る多數の供物生花等あり先づ神官の修祓、獻饌、祝詞等ありこ後、相賀肥前協會代表、望月早大校友代表の弔辭あり次で田總督代理、福田軍司令官以下官民の拜禮ありて最と壯嚴に式を終りたり聊か故侯に對する禮を致せりと謂ふべし。

平和博臺灣館と出品

總督府に於ては今春上野公園に開かるる平和記念東京博覽會々場內池の端に特設臺灣館を建設中にて二月上旬迄には竣工し優美艶麗なる臺灣風の一大建築物を現出すべき豫定なるが右は平家及二階建より成り總建坪三百九十坪、平家建には一般出品物、二階建は階下を喫茶店とし一般觀覽者に開放し二階は優待招待の人士を迎ふべく廣濶なる床一面には絢爛たる花莚を敷き詰め特産品たる籐製椅子卓子を配置し椰子、檳榔其他新綠滴るゝ計りの熱帶植物の盆栽を配し接待として芳烈なる臺灣茶を薦むる等遺憾なく南國情調を味はしむる計劃にして陳列室に展示する出品の總數は約千三百餘點、工產品七百八十點、農產品三百五十點、以下林產、鑛產及水產諸品の順なるが陳列室の設計は二箇所に大玄關を設け左玄關突當りには雪白の樟腦にて一大高塔を作り右玄關突當りには數色の砂糖にて一大圓塔を作り兩塔の間に日月潭水電五百分一大模型を、又た室の一隅に濁水溪河川工事模型を配置し其他各種出品は總て模範的優秀品のみを選み特に木工品、竹細工品、林產品、金銀細工品の如きは觀者をして垂涎萬尺ならしむべく其他衛生、教育に關するもの、如き一として本島文化の向上進展を語らざるは無く恰も臺灣の一小パノラマたるが如き觀あり何人も足一度本館に入れば自ら臺灣の狀勢を理解し南方新領の發展を祝福して止まざる底のものなりと。

臺灣宣傳活動寫眞とポスター

東洋協會に於ては今春東京に於て平和記念東京博覽會の開催に際し臺灣、樺太、朝鮮、滿蒙を初め廣く東亞の事情紹介の爲め東洋活動寫眞を經營し各關係の活動寫眞及ポスターを一般に觀覽せしむる計劃なるを以て總

督府に於ては臺灣事情紹介上之を適切のものと認め相當援助を與ふるに決し活動寫眞に就ては臺灣宣傳用フキルム約二萬尺の作製方を臺灣教育會に依賴しポスターに就ては舊臘府內各局部並に各官衙に對して本島文化の進步、共同福利の增進に關する繪畫、圖案、圖表其他本島事情の紹介に適當なる一般ポスター、特に進步發達に關する今昔の比較、內臺人の融和、生活の改善、民度の向上、各種事業の經營及施設等に關するポスターを作製して二月十日迄に官房調査課へ回附すべきことを通達し同時に各銀行會社に對しても前記一般ポスターの外特に關係事業の今昔、進步發達の比較及現況等に關するもの、作成送附を依賴し更に廣くポスターの懸賞募集を發表したるが是等各種のポスターは取集めの上東洋協會に送付して紋上東亞紹介に資する豫定なりといふ。

岡松博士追悼會

本島の舊慣調査、法案審査及び蕃族調査の爲め半生の心血を注ぎて斯業を完成せし蕃族調査會囑託法學博士岡松參太郎氏は昨年帝國學士院を代表して白耳義に於ける萬國學士院聯合大會に出席し歸朝の後病を獲て舊臘十五日終に易簀せり右に付同十八日午後三時半より臺北八甲庄法華寺に於て官民有志相會して追悼會を行ひ、多數官民の參會あり導師の讀經に次で賀來總務長官の弔辭(片山高商校長代讀)京大出身者代表片山秀太郎氏の弔辭(三卷俊夫氏代讀)等あり終りて參會者順次燒香參拜し同四時二十分散會したるが故人の偉績に對して洵に思ひ出多き會合なりき。

臺灣新教育令

臺灣新教育令は愈々樞密院の本會議を經たるを以て近日勅令を以て公布さるべし現行臺灣教育令は內地人臺灣人の教育を全然區別するの主義に出で實施日尚ほ淺きも爾後本島の實情は制度人情の進步變遷頓に著るしきものあり今回時勢の進運に鑑みて教育會の改正を行ふこと、なりたるものにして新令に於ては內地人臺灣人の共學を原則とし尚ほ內地と同一の學制を敷き學校間の聯絡を圖りたるは改正の要點となす詳細は次號に報道すべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島外國貿易の概況

——大正十年に於ける——

臺灣總督府稅關長　齋藤愛二

一　總説

大正十年中に於ける本島貿易總額は、二億八千六百萬圓の巨額に達し、之を昨九年の領臺以降の最高記錄たる貿易總額三億八千八百萬圓に對比するときは、實に二割六分の大減退なりと雖も、更に之を改隸以後内外貿易の初めて計數を以て表示せられたる明治三十年の總額三千百萬圓と對照するときは、實に九倍に當るの增進にして、其の發展の急速なるに驚歎せずんばあらず。而して今内臺貿易は暫く之を措き、單り外國貿易に關し其の大勢を攷察するに、輸出は二千三百五十四萬千六百二十一圓、輸入四千四十三萬三千二百九十圓にして、總計六千三百九十七萬四千九百十一圓に上り、前年に比し輸出に於て千百六十萬圓、輸入に於て約二千萬圓を減少したる結果、總額三千百六十萬圓即ち各〻三割三分の減退を來すに至れり。以下貿易の内

容を究むるに先ち、先づ其の集散の概況を窺ふの資料として、本島各港に於ける輸出入高を計上し、之を前年と對照すれば左表の如し。

口輸出入高港別前年對照表口

	輸出 大正十年	輸出 大正九年	輸入 大正十年	輸入 大正九年	計 大正十年	計 大正九年
基隆	一九、二七八、〇七三	二五、九九五、四四八	一七、六二九、七〇八	二七、九六二、七八七	三六、八〇七、七八〇	五三、九五八、二三五
淡水	五六一、二六五	七二九、七九二	三、一〇三、二六三	六、九二四、八五九	三、六六四、五一八	七、六五四、六五一
舊港	二〇四、四四八	二四七、八五七	二四六、三二一	二三九、二六〇	四五〇、七六九	四七七、一一七
後龍	六二、四二三	一三六、九七二	一七六、一九〇	二〇八、二五一	二三八、六一三	三四五、一六三
梧棲	三〇、五五五	二六、六〇八	二三七、〇八二	一二四、八五〇	二六七、六三七	一五〇、八五八
鹿港	七四、八〇八	八三、五四六	三四一、一二七	五〇九、二三二	四一五、九三五	五九二、七七八
東石	七三、七五九	四三、一二〇	一、一〇四、七三〇	一、二三三、二六四	一、一七八、四八九	一、二七六、三八四
安平	八八、六五一	八〇、〇九三	一、六七三、六四九	二、二〇四、一四七	一、七六二、三〇〇	二、二八四、二四〇
高雄	三、一一五、九八六	七、七一六、八八二	一五、七八九、八五七	二四、四七八、九一九	一八、九〇五、八四三	三二、一九二、七三〇
馬公	五三、六六四	一一四、八三六	二三三、四六三	三九三、一八二	二八七、一二七	五〇八、〇二〇
計	二三、五四一、六六二	三五、一七三、九四五	四〇、四三三、二九〇	六〇、三六八、七五一	六三、九七四、九二一	九五、五四九、六七六

蓋し歐洲大戰を轉機として一大發展を遂げたる本島外國貿易は、戰後經濟界の異常の活躍に伴れて更に急速の進展を示し、一昨大正八年の如き正に一億圓に垂んとする空前の巨額に達し昨九年に於ては春來經濟界の大動搖に逢著したるに拘はらず、尙は九千五百五十萬圓を算し、殆んど前年と徑庭なきの貿易趨勢を持續したるも、本年に入りては一般財界不況の色彩愈々濃度を加ふると共に、本島經濟界に於ても自然其の波及を蒙り物價下落し、金融梗塞、信用收縮の結果、商況甚しく沈滯し、諸般事業益々不振に陷り、殊に本島

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主要產品たる米及砂糖の市價低落は、轉て地方農村の疲弊を誘起し、其の購買力を減殺せるのみならず、方支那に於ては南北依然として兩立の勢を持し、特に本島と密接の關係を有する南方支那に於て、干戈時に動き、秩序全く安定を見るに至らず、且つ日貨排斥亦た一部市場を除き依然狂暴を逞ふし、加之、銀價は頻りに下落し、爲替相場は著しく變調を來し、彼我の貿易に至大の惡影響を及ぼしたる關係上、本島貿易の增進を阻碍せること甚大なるものあり。次に南洋貿易は、包種茶の輸出は稍々活況を呈したるも、爪哇原料糖の入津激減に蔽はれて顯著なる減退を表はすに至り、而して對歐米貿易は、歐米各國の戰後平和施設の進捗と共に產業復興し、商權の恢復、對外貿易の發展に鋭意努力せる結果、貿易頓に回復の趨勢を現はし、本島輸入貿易に於ては大いに其の復活の兆を認むるに至りたるも、輸出貿易は、先づ米國市場に於て停滯茶の減少に伴れ、聊か烏龍茶輸出の恢復を見たるも、樟腦輸出の一般的不景氣の襲來と「ストック」の增大に壓せられ、殆んど杜絕的慘況を示したるを以て、彼此相殺著しき減退を齎らし、次で英・佛・白・亦樟腦輸出の挫折に因由し全く衰微に歸したるを以て、類例稀なる退嬰を招くに至れり。要するに四圍の景況叙上の如く本島貿易の打擊ならざるなき關係上、本年の貿易は遂に前示の如き大減退を招來するに至れりと雖も、尙は主要なる原因として忘る能はざるは、各品目中單に物價の下落に基く價額の低減を示すに止まり、其の量的關係に於ては、比較的前年に比して劣らざるが如きものあり。以下輸出と輸入を分ち、各々其の消長を略述すべし。

二　輸出貿易

本年の輸出貿易を檢するに、其の重要品十種中、前年に比して增進せるもの四種を計へ、減退せるもの六品の多きに及び、已に數に於て減少を表せるのみならず、增進せるものは僅かに烏龍茶の百萬圓のみ之が主たるに反し、減退せるものは砂糖の四百六十萬圓を首位に、樟腦之に次ぎ、石炭亦た二百四十萬圓の巨額を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

算したる結果、遂に三割三分てふ大減退を來すに至れり。即ち左表の如し。

口輸出重要品前年對照表口

品名	單位	大正十年 數量	大正十年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	增×減 數量	增×減 價額
石炭	噸	四[illegible]四、[illegible]八九	六、六八八、三一三	四六八、〇七七	八、六八二、二九九	×[illegible]四八八	×二、四〇〇、一六六
包種茶	斤	九、九六四、六八八	四、三六六、四四八	六、〇三七、七[illegible]四	三、八二一、〇七八	×七三、〇六六	×五六六、三七〇
烏龍茶	同	七、四五二、七三六	三、五五四、九九〇	四、七六七、六七九	二、五三六、〇二六	二、六八五、〇五七	九九八、五六四
砂糖	同	一〇、六七一、三〇一	二、〇六八、五四二	二〇、三[illegible]七、五六七	六、七一八、七〇三	×九、六六六、二六六	×四、六五〇、一六一
綿織物	碼	三、九一八、〇七七	一、三〇二、六三一	五、三三四、〇七二	二、一七〇、四四二	×一、三一六、九九五	×八六七、八一一
乾魚及鹹魚	斤	六、七〇三、四〇五	八三六、八一〇	四、九一八、六四六	七六五、八一九	一、七八四、七五九	七〇、九九一
酒精	利	[illegible]、三四七、〇一〇	五七一、四六八	六六、七六四	三〇〇、八八八	三、一八〇、三八六	二七〇、五八〇
燐寸	哥	[illegible]四八、一九二	[illegible]四七、一二二	一、〇四五、二[illegible]	一、三六六、六六七	×四九六、三三二	×八一八、五五六
苧麻	斤	一、四〇一、七三八	四[illegible]、四四九	一、七二六、三三三	六[illegible]七、九八七	×三二四、五八五	×三三三、五三八
樟腦	同	一四四、六〇六	二六〇、一九四	一、五〇六、〇七〇	四、三三九、四八七	×一、三六一、四六四	×四、〇五五、二九三
其他諸品		—	二、九八一、三四五	—	三、七七〇、五四九	—	×七八九、三〇四
計		—	二[illegible]四一、六三二	—	三六、一七三、九四五	—	×二、六三二、三三四

前表中石炭は本島產品中戰時の好影響に浴し、最も著しき發展を遂げたるものにして、乃ち戰前年額漸く三十四萬噸の出炭量に過ぎざりしもの、漸次遞增して大正五年は五十萬噸に上り、爾來更に急進して大正八年は百八萬噸の巨額に達し、昨九年に於ては更に增大して百十四萬噸を計上し、本年に入り財界不況の打擊を被りたるに拘はらず、尚ほ百萬噸の出炭量を豫想せらるゝに至れるが、一方輸出の狀況は、前半期中英本國に於ける勞働爭議に基き、炭價相當强調を支持したると、廣東地方蠶絲業の再興、薪材の下江減少等の好材料に因り、多少輸出を刺激せられたるも、財界不振に伴ふ需要の激減に困憊せる九州炭及撫順炭等の倍加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

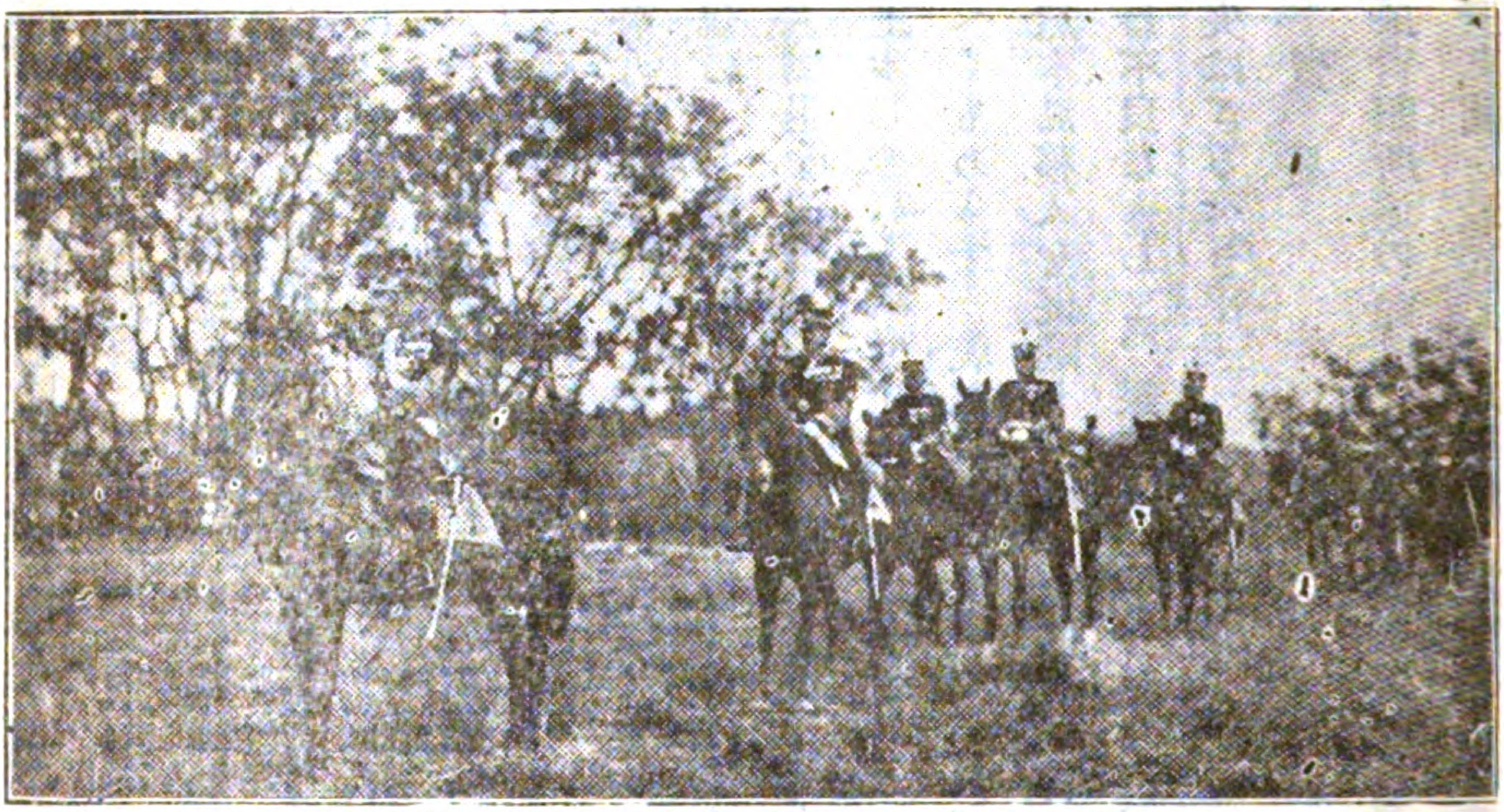
の勢を以て殺到したるに壓せられ、依然として前年來の不振狀態より脫する能はざりしも、下半期に移りは銀價の好調に加へ、內地炭界採炭制限の效果顯著なるに至れると、需要期關係に基く需要の漸增に因り、貯炭減少、炭價硬化の好氣配を呈し、隨て內地炭の香港市場出廻り減退せるのみならず、撫順炭亦た內地引合旺盛なるに至れる關係上、自然本島炭に商談集注し、久しく不振裡に窘窮せる沿道炭の如き再び輸出復活の機運に向ひ且つ對岸厦門福州方面亦た賣行至極良好なりしと相俟ち、玆に本島炭の輸出復興を見るに至れり。

烏龍茶は前年中本島茶業の一大危機を醸生せしめたる如き輸出の激減を招きたる結果、本年に於ては米國市場停滯茶の減少を誘致し、且は同國經濟界の漸次恢復安定するに伴れて茶況稍々好調に進みたると、本島市場に於ける粗惡茶の一掃取締は米國市場の好感を博したるのみならず、本品產額の消長を左右する夏茶は出廻旺盛にして品質優良のもの多く、又秋茶は氣候の不順と茶園手入の疎慢に基き著しき減收を示したるも、市場は品薄見越に買付却て殷盛を極め、殊に本期は米價及勞銀安の關係上生產費の低下を來し、至極輸出を有利に導きたる等の諸種の好事情に由り、二十五萬箱輸出豫想の的中を見るの盛況を示し、本島茶業の將來に聊か愁眉を開かしむるに至れり。

包種茶は年初以來、爪哇市場の好氣配と佛領印度に於ける日貨排斥終熄後の需要旺盛に次ぎ、暹羅市場向輸出亦た頗る好況を呈したるも、本年五月以降爪哇に於て製茶輸入稅增課に會ひ、爾後下等茶の輸出稍々困難に陷りたると、料花の大減收に伴ふ市價の暴騰に因由して生產費の騰貴を招き、次で銀安關係等に基く爲替相場の變調其他產茶概ね減收なりしと烏龍茶況の活躍に抑へられ多少本品製產の減少を來せる等の諸因の錯綜に依り、數量些か前年の好調に及ばざりしも、價額に於ては如上の關係に依り約一割五分の增進を告げたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

砂糖は戰禍に因り致命的大打擊を蒙りたる中歐諸州甜菜糖の、意外に急速の復活を遂げたると、戰時中の消費制限に慣れたる歐州國民の、戰後消費の節約を續行せる等の關係より、世界的供給過剩を生ずるに至り、一方經濟界の不景氣來と交錯し、昨年五月の最高値を限度として急轉直下の慘落を來し、內外糖界の恐慌的不況を惹起したるを以て、本期に於ける島內產糖四百二十萬擔を算へ、來期の產糖五百三十萬擔の增產を豫見せられたるに拘はらず、是等は全部內地移送に供せられ、外國輸出は輸入爪哇原料糖を用ひ再製せる白糖の關稅戾稅の關係上、至極有利なるに基き之を充當して青島及上海等に輸出の發展を企畫せられたるも、銀安爲替不利と香港精糖の競爭とに制せられて萎靡甚だ振はず、僅かに前年の半數に過ぎざる輸出高を計上せるに過ぎざるものとす。



臺北新年閱兵式に於ける福田軍司令官(先頭)

樟腦は歐洲戰亂に伴ふ獨逸人造樟腦の頓挫と「セルロイド」工業の勃興とに伴れ、近年非常の好況を示したるも、前年來の不況襲來の爲め歐米市場に於ける需要激減し、加ふるに好況時代殆んど競爭的に思惑買行はれたる結果夥しき「ストック」を生じ、其の間更に支那樟腦の著しき擡頭を見たる關係上、市價崩落、引合杜絕の慘狀を呈し、輸出全く皆無に歸したるも、歲末に近づき滯貨逐次處分せられ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たると共に弗々需要を喚起し、爲めに多少の輸出を見るに至れり。

酒精は近年工業原料として、將又た飲料製造原料として、專ら內地に移出せられ、外國輸出は全く閑却せられたるも、前年財界の反動來ると共に內地需要頓に沈靜し、市價俄然崩落を告げたるを以て再び輸出の復活を見るに至れるが、本年に入りては市況益々惡化し、相場更に低落して遂に生産費を割るの慘落を來し、製造會社は一時製造を中止若は制限し、又は原料糖蜜の處分に窮し、止むなく製造を繼續するの情勢にして、殆んど投賣的輸出を敢てしたると、一方大連上海及汕頭等の需要市場に於ては銀安關係と錯綜し、幾分安値買進みの氣配ありたると相俟ち多大の輸出を遂ぐるに至れり。

綿織物は內地市場繰短の效果顯著なるに至れると、市場の安定に伴れ市價硬調を唱へたるに反し、對岸市場は銀價の下落と日貨排斥尙ほ終熄に至らざるに加へ、近時海運界の船腹緩和に基因し、內地よりの對岸直送品の增加等に因りて遂に輸出の大減退を餘儀なくし、燐寸は是亦た對岸市場に於ては、日貨排斥の影響と所謂國貨提唱の下に、近時著しく進步し來れる燐寸工業の壓迫を蒙り、南洋市場に於ては瑞典燐寸の復活に壓せられ、到底輸出の發展を期すべくもあらず。乾鹹魚は産況概して良好にして市價割安なりしと、內地に於ける地方向需要の減退に伴れ自然本島移入を促進し、應て船腹の潤澤等と相俟ち仲繼輸出を增進するに至り、苧麻は宜蘭地方を除き産額概ね不良なりしと、銀塊安に抑止せられ、對岸輸出甚だ不振なりしが、戎克船の通商減退亦た其の一因たるを失はざるべき乎。

三　輸入貿易

本年輸入貿易の大減退を來せるは冒頭所述の如くなるが、之を重要品十五種に就き稽ふるに、增進せるものは「パラフキンワックス」の九十三萬圓を最とし、小麥粉、石油等僅に五品に過ぎざるに反し、減退せるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のは實に十品の多きに上り、而も豆油糟は六百萬圓、砂糖は五百七十萬圓、阿片は四百五十萬圓、米は二百六十萬圓てふ巨額のもの相遞次するの頽勢なりとす。今表を以て之を示せば左の如し。

□輸入重要品前年對照□

品名	單位	大正十年 數量	大正十年 價額	大正九年 數量	大正九年 價額	增×減 數量	增×減 價額
豆油糟	斤	一三七、四三二、三三六	六、二五四、一九五	一八六、八〇七、九〇五	一二、二九七、八二六	×四九、三七五、五六九	×六、〇四三、六三一
砂糖	同	三六、一三二、三九二	五、三七三、九五二	五九、五四二、二八四	一一、〇九八、九五三	×二三、四〇九、八九二	×五、七二五、〇〇一
木材及板		—	二、一六九、一二三	—	二、四七六、一八四	—	三〇七、〇六一
石油	瓦	三、一七一、三五一	一、九四七、七三三	二、四〇三、一五一	一、九二一、四九八	七六八、二〇〇	二六、二三五
阿片	斤	六六、六八三	一、五〇四、五七一	二六四、一〇一	六、〇六二、三一四	×一九七、四一八	×四、五五七、七四三
米	同	二一、〇四五、五四三	一、三三〇、八四八	三五、九七八、一〇九	三、九四五、二〇二	×一四、九三二、五六六	×二、六一四、三五四
大豆	同	一八、七四六、八五〇	一、〇七〇、九六八	一七、六四七、六〇六	一、五六九、五六九	×一、〇九九、二四四	×四九八、六〇一
パラフキンワックス	同	四、五三四、七六五	一、〇六七、七九一	三四三、六五七	一三九、五〇六	四、一九一、一〇八	九二八、二八五
小麥粉	同	一一、六六四、二九五	一、〇一一、〇七七	一、六八五、九一八	二四六、三七八	九、九七八、三七七	七六四、六九九
禮拜紙		三、九五〇、七四六	八二八、三二八	二、三二八、六二三	九三一、六一二	一、三〇二、一二三	×一〇三、二八四
葉煙草		二、〇〇九、七一四	八二二、四九六	二、二五二、九四七	一、六〇六、一〇九	×二四三、二三三	×七八三、六一三
鐵道機關車炭水車及同部分品		—	六五二、八三二	—	六四〇、〇五五	—	一二、七七七
コンデンストミルク	打	一〇五、六〇五	六二八、二二五	九〇、〇八一	五五二、一二四	一五、五二四	七六、一〇一
包蓆	枚	六、二六六、四〇七	五七四、九五五	八、四〇八、一八五	一、三五三、二五八	×二、一四一、七七八	×七七八、三〇三
苧麻布	方碼	二、二二八、九六五	五三四、三一六	一、六五〇、三二〇	五六四、七四九	五七八、六四五	×三〇、四三三
其他諸品		—	一四、六七二、八九一	—	一四、九八一、三九六	—	×三〇八、五〇五
計		—	四〇、四三三、二九〇	—	六〇、三六六、七三一	—	×一九、九三三、四四一

豆油糟は當局の指導奬勵と農民知識の進歩に伴ひ、施肥觀念の普及發達せるに追隨し、年次需要の增進を

告げたるも、本期に於ては昨年末より本年初頭に亘り、產地大連市場に於て本品の安値投賣物頻出し、次で經濟界の不況と銀安關係とに基き、市況著しく軟勢なりしに拘はらず、本島の二大主產品たる米及砂糖の市價低落と農村の疲弊とに因由し、自然肥料施用の節約を誘致し、却て夥しき輸入の減退を見るに至れり。

砂糖は內外糖況の萎靡沈滯に因り、大正七年末斯業開始以來、至極順調なる進展を遂げたる爪哇原料糖の再製事業一頓挫を來したると、市場其他工場繰業の關係に基因し爪哇原料糖の產地よりの內地直送旺盛なるとに阻止せられ、本年上半期中の本島輸入原料糖の如き千九百萬斤三百四十萬圓に過ぎず、前年に比較し千三百萬斤六百五十萬圓てふ大減退を招きたりしも、下半期の後半に入り爪哇に於ける思惑糖の轉賣不能に終れる手持品の、續々輸入せられたるに原因して大いに頽勢を挽回し、數量僅々七分の減退に過ぎざるの結果を招來せるが、尙ほ端境期に於て赤糖減產の塡補として馬尼刺及支那赤糖の入津滋かりしも、亦た其の因由の一に附記するに足るものならん乎。

木材及板は、客年地方制度改正後の廳舍官舍の新營修築等、官廳向需要の增大に加へ日月潭水電工事及嘉南大圳工事用等の需要旺盛に因り、市況聊か生色を帶びたるも、內地材は工賃高等の關係より依然割高移入薄を唱へ、本島製材亦た生產費嵩みの上供給充分ならず、而して福州材は近來北支那向輸送の增進と內地よりの引合開始に伴れ、多少產地相場の昂騰を促したるも、銀塊安に伴ひ頗る格安相場を呈示したる關係上、大いに輸入を促進せしが、價額に於て如上の市價低落に押され、遂に前年に一步を輸するの輸入減を來せり。

石油は燈火用の需要は年々減退の傾向あるも、工業用及漁業用は更に減退せざるのみならず、漁業の如き寧ろ漸增の趨勢なるが、內地油は原油の減產に因り移入減退し、本島油は依然著しき增產を來さざるに反し、外油は一般需要の減退と船腹緩和に因由し市價軟調出廻旺盛なりし結果、自然輸入の增進を促し、殊に米油

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は高雄に於ける貯藏油の燒失等と錯綜し、一層輸入を增大するに至れり。

阿片及葉煙草は共に政府の專賣に屬し、一般商品と稍々其の趣を異にせるも、要するに本年輸入の減少は財界不況に基き何れも消費力の減退せると、尙前者は前年よりの在庫持越の增多に依り、後者は島內生產の多年の獎勵に因由し、本年の如き三百二十萬斤てふ增產を告け、殆んど輸入防遏の實を擧ぐるに至れるに基因するものとす。

米は數年來輸入頗る旺盛を極めたるも、前年末に於て關稅免除撤廢せられたると、年初以來內地米況の軟勢を移して島內市場弱氣低迷の商狀を呈し、殆んど外米輸入の餘地存せざりしが、適、戰時以來輸出制限に阻止せられたる西貢蘭貢米等の昨年末より本春に亘り輸出解禁せられたるのみならず、前年度の豐穰に因由し、香港市場出廻旺盛にして相場格安を唱へ、關稅運賃其他諸掛費を加算するも尙ほ本島輸入に幾分の利鞘を存したる結果、是等外米の入津稍、活況を呈したるも大勢に抗すべくもあらず、上半期中の輸入累計僅々千二百六十萬斤七十二萬圓に止まり、次で下半期に入りては內地市場の天災季接近の硬化と、農商務省發表の米作豫想の著しき減收に基き、果然白熱相場を現出せるの影響を享け、島內市場一時活氣橫溢の商況を呈し、多少外米の輸入を刺戟したるも、纔て內地に於ては關稅免除の實施となり、市場安定を來したるに反し、本島に於ては之に均霑し能はざりし關係上、島米移出先づ挫折し、延ひて外米輸入の沈滯を誘致し、遂に前示の如き輸入の大減退を招くに至れるなり。

大豆は生活程度の向上と、本島に於ける味噌醬油等の製造事業の發達とに依り、逐年需要漸增の傾向なるが、本年に於ては滿州大豆の豐作と銀安關係とに基き、基隆沖著百斤四圓五十錢迄慘落し、前年最高時に比し僅に三分一に過ぎざる安値相場なりしを以て、自然買氣を煽り輸入を促進せるのみならず、戾稅制度の擴

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張に伴ひ基隆豆粕私設假置場の廢止を見るに至り、十一月以降の該原料大豆の同部一般輸入品として統計せられたる是亦輸入增進を助けたるの一因ならん。

小麥粉は、內地製粉の原料小麥高等を移して氣配兎角强調なりしに、上海粉は銀安關係に因り著しく下値呼はりなりし結果、思惑的買煽等を加味して一層輸入を促進し、包蓆は前年來市場持越品の豐富と砂糖市況の軟弱とに加へ、製茶市場亦著しき活躍を示さざりし關係上、結局輸入の減退に畢り、次に「パラフキンワックス」は本年六月より實施の關稅增率を見越し、四五の兩月に於て內地需要に供せらるべき約四百萬斤九十五萬圓の大輸入を便宜本島に於て履行したるに由來し、鐵道機關車は、主として鐵道部の輸入に係り、全く交通運輸機關の充實發展に職由し、「コンデンストミルク」は殆んど全部米國産藍印にして、從來內地を經由輸入し又は內地に於て輸入手數を了したるものを移入せしが、本期に於ては銀安關係を利用し主に香港より輸入したるを以て、孰れも輸入を增進するに至り、又禮拜紙及苧麻布は共に數量に增加し價額に於て減退せるが、禮拜紙は輸入品の銀塊安に伴れ格段なる割安相場なりしと、本年恰も七年　回の王爺祭の大祭に相當せし關係より大いに輸入を助長し、苧麻布は內地移入綿布類の市價割高に反し是亦銀塊安を加味して至極格安なりし結果、自然輸入の旺盛を促せるものとす。

四　餘　論

大正十年に於ける本島外國貿易は、之を前年に比較するときは、實に敍上の如き顯著なる減退を來したりと雖も、是れ主として價額關係に止まり、其の數量關係に於ては寧ろ增進の著しきものあり。未た俄に悲觀の要なきを想はずんはあらず。而して更に溯つて大正十一年に於ける外國貿易の大勢を豫察するに、戰後の反動來と共に萎微沈滯に歸したる內外經濟界も、華府會議の進捗等に追隨し、頓に好轉の兆を萌したるのみ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ならず、我對支那貿易に重大の關係を有する銀塊相場は、墨國產銀狀態の恢復等に伴ひ、漸次安定の趣向を示したるを以て、大いに本島貿易の發展を助成するに至る可く加ふるに本島輸出の大宗たる烏龍茶は、印度錫蘭及爪哇茶の急速なる發展に伴ふ劇甚なる競爭ありと雖も、前年に於ける島內茶況の挽回に刺激せられ、充分なる茶園の手入等行はれたる關係より本品の增產を豫見せらるると共に、米國市場停滯茶の消化と相俟ち相當輸出の增進を期待せられ、包種茶は銀塊安に連れ必然的に支那茶の擡頭に阻碍せらるべきも、爾く容易に多年の販路を蠶食せらるべくもあらず、次に砂糖は糖界四圍の情勢より推して多大の增進を容さざるべきも、爪哇原料糖の再製白糖の輸出に聊か期望を囑するに足り、樟腦は前年末來景氣回復の曙光を現はし、石炭は內地及撫順・開平炭の強敵に拮抗し、濠洲炭と輸贏を爭ふの覺悟なかるべからざるも、島內採炭業の隆盛の現狀を維持せしむるに充分なるべく、結局輸出貿易の發展を庶幾せらるゝに加へ、輸入貿易亦た歐米各國の銳意戰後經營を策し、殊に產業の復興、商權の回復に主力を集注せると、本島の開發に伴ふ諸般の施設に要する各種の材料其他機械類等の需要の增加は、勢ひ其の增進を助長すべきのみならず、銀安關係は必至的に對支那輸入貿易を挽成し、更に一層の發展を促すに至るべく、次て爪哇原料糖の再製事業は、從來の順調なる發達に鑑みて本年の旺盛を豫測せられ、肥料は農產事業の開發と當局の施肥獎勵等に基因し、再び輸入の增大を期せらるべき結果、依然たる輸入貿易の殷盛を示し、略ぼ前年と軒輊なきの貿易狀態を現出するに至らん歟。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

岡松博士と臺灣の立法

高等商業學校長
臺灣總督府參事官　片山秀太郎

一

法學博士岡松參太郎氏は廣義に於ける臺灣の立法、卽ち舊慣調査、私法編纂及び蕃族調査等の事業の爲に、實に其の半生の心血を濺がれたのである。凡そ法學家として世に立つ者、或は其の研究を教壇に發表し、學界の權威を以て自ら任ずる大學教授あり、或は內外の法制を比較研究して國法を按排するの立法家あり、或は又た國法を維持し個人の權利を伸張するの法官辯護士等あり、孰れも皆な國家重要の職務たるに相違ないが、就中大學教授は法學者として最も名譽あるものであり、立法家は法律家として最も重要なるものであることは復た贅辯を須たざる所である。然るに岡松博士は一身實に此の大學教授の名譽と立法家の重職とを併有し、入つては京都大學の教壇に其の該博なる法理を闡明し、出ては南滿洲鐵道會社に、臺灣舊慣及蕃族の調査會に、其の深達なる學識を應用せられ、特に滿鐵の理事としては「王者の師」たる抱負を以て之に當り、臺灣に於ける調査會委員としては「植民法制の權威」たる信念を以て從事せられたるは、法學家としての光榮蓋し之に過ぐるものなかるべく、又た博士の造詣が實に學界稀有のものたりしを推知するに足るべきである。宜なる哉、其の論講は世に珍重せられ、其の調査研究は一世の指針として、孰れも皆な百代に傳ふべきものとせられて居る。不幸にして博士は、昨年白耳義に於ける萬國學士院聯合大會に我が學界を代表して出席し、歸朝の後病を得、舊臘十五日終に不歸の人となつたのは、詢に惜みても餘りあることである。然し乍ら本島に於ては臺灣私法の世

に遺されて、百般施政の準據となり、又た蕃族調査書の近く上梓せられて、一道光明の千古未闢の蕃域に揚らんとするのは全く博士の力に由る所以で、本島三百餘萬の民衆は篤く博士の努力を感謝すべく、又た我が學徒は此の文化的事項の一大闡明に對して滿腔の敬意を博士に捧ぐべきである。

二

若し世に「元老」なる語が官場以外の、何れの社會にも存在するものとすれば、法學界にも亦た此の「元老」なるもの、存在を認むべきであらう。博士は果して我が法學界の元老たるや否、抑も博士は明治二十七年に帝大の業を卒へたのであるから、明治十一年に初めて大學の卒業生を出し、尚ほ夫れ以前にも外國法の研究者を出し

舊慣調査時代の岡松博士

て、半世紀以上の經歷を有する我國の法學界に於ては「元老」の名は蓋し博士に呈する譯には行くまい。現に我が民法商法が法典調査會の審議に上れる頃に於ては、同會の委員中には、穗積、梅、富井の諸博士を始め英佛獨に亙る法學の大家先輩は鬱然として綺羅星の如くであり、而して博士は當時實に渺たる一大學生として是等諸委員の下に補助委員として法制の調査立案を掌るに過ぎなかつたのである。然れども既に一學生の身を以て法典調査會の補助委員たることは、卽ち博士の俊才の鋭脫したる所以であつたが、果せる哉、民法の世に公布せらるゝや、當年の法學士岡松參太郞の著述として世に顯はれたる「民法理由」は、其の該博深遠なる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

點に於て當時の我が學界に一異彩を放ち、吾人をして如何にも法學者の著書らしい著書を此の時初めて覩たるが如くに感せしめ、却て當年法界の元老たりし梅博士の民法要義の、素人眼には茫洋として平凡らしく、博士の著に比して一籌を輸したるが如き觀があり、隨つて岡松博士の其の著書が當時法學者の間に大いなる歡迎を受けたものであつたことは、眞に一代の偉觀であつたと謂ふべきである。博士は此の如き出發を以て、其の聲望は後進の身を以て直ちに元老の壘を摩しつゝ、明治二十九年民法及國際私法研究の爲め獨佛伊の三箇國に留學すること三年、同三十二年歸朝するや直ちに京都帝國大學の敎授に任せられたのである。是れ實に博士が二十九歲の青年時代のことであつたが、夫れより二年の後、明治三十四年十月、臺灣舊慣調査會の置かるゝや、博士は絕大の抱負を以て舊慣調査の事に當り、次で同會立法部の委員として臺灣私法其他の特別立法に從事し、研鑽討究の結果其の案を改むること幾回、一面又た生蕃の族制に關する調査を遂げ、其第一稿の漸く上梓を見るに至れる今日、突如不歸の客となつたもので、博士は實に臺灣法制の爲に其の半生を捧げ、遂に能く人類文化に關する此の偉大なる事業を完成したものであるが、博士は又た同時に、滿鐵の理事たること七箇年、大正二年滿鐵並に京大を辭して帝國學士院會員となり、其間名著巨編を出して學界に貢献したること決して尠くなかつたが、臺灣の生蕃族制に關しては、最後の日まで其の研究を絕つことなかりしは、臺灣として大いに博士に感謝すべきものであると思ふ。

三

臺灣舊慣調査會が何故に設けられしや、又た其の調査方針の如何等は、今茲に架說を要せざることゝ思ふ。博士は同會組織の下に主として法制部の調査に任じ、多數の補助委員、囑託等を指揮して明治三十四年先づ北部臺灣の舊慣調査より始め、次で中部南部の調査を爲し、明治三十八年中、本島全體に亙る調査を終了し、更

に右調査に關する第一回及第二回の報告書に據り、其の異同を對照檢覈して、最後の第三回報告書として我が民法と略ぼ其の容積を同じうする臺灣私法を編成するに及び、舊慣調査は全く其の終了を告げたのである。而して明治四十二年よりは、立法的事業として同會に法案審査會の組織せらるゝことゝなり、博士は又た主として臺灣私法に關する立案に當つたのであるが、凡そ本會に於て審査せられたるは、合股令案、同施行規則案、寛限令案、公業令案、親族相續令案、同施行規則案、家產法案、不動產物權總則案、佃永佃地基案、戶籍令案、民事令案、不動產登記令案、競賣令案等、其の主なるものにして、是等法案中には二回以上其の案を改めたるもの尠からず、親族相續令の如きは改案實に三回の多きに及んだのであるが、此の立法事業は大正三年に於て全く終了を告げたのである。扨て又た蕃族調査は舊慣調査會の事業としても行はれて居たが、大正九年より舊慣調査會を廢して蕃族調査會を置き、同會に於て其の調査を繼續することゝなり、博士は又た主として其の族制の研究に任じ、昨年中蕃族全體に關する調査を了し、其の報告書を編成し終つたのである。是に於て臺灣の舊慣及び蕃族調査は博士の死と共に終了し、博士は亦た是等事業の完成と共に其の終焉を告げることになつた譯で、本島法制の爲には洵に喜ぶべきも、博士の爲には轉た長嘆深慨を禁じ得ざる次第である。

以上舊慣調査と言ひ、法案審査と言ひ、又た蕃族調査と言ひ、皆是れ本島百年の大事業であり、就中舊慣調査は其の最も大仕掛けのものであつたが、其の目的は他日臺灣立法の基礎を作るに在りたるを以て、隨つて調査の方針も啻に臺灣全島の舊慣制度を闡明するのみを以て足れりとせず、其の根本淵源に遡りて支那本土の制法の一班を採り、又た南清一帶の慣習の大體をも明かにするに在つたのである。此の如き大事業や乃至法案審査、蕃族調査等の如き立法的事項が僅々二十年の歲月を以て完成を見るに至つたのは全く異常の成功

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつて、夫れは一に博士の才學に歸すべきであるが、又た一面に舊慣調査會が相當の豫算を以て堂々たる組織に依りて行はれたる賜ものであると謂ふべくして、結局其の當初博士を重用し、併せて調査の機關設備を充實せしめられたる兒玉總督、後藤長官の大識見に因るものであると言ひ得るのである。世人の或るものは調査會の豫算と其の設置の年月とより測定して、調査の結果の意外に少量なるを云爲し、甚しきは調査會を以て國帑を濫費するの伏魔殿なりと言ふものありしと聞けど、是等は學問の價値を知らず、立法事業の何物たるかを解せざるのもの丶言と謂うべきである。歐洲に於ても民法其他の立法の爲に五十年乃至六十年以上を費して而かも尚ほ未だ成らざるものがある。此種の事は卽ち國家百年の事業であるから、其の編成に就て愼重なる態度を以てすべきは勿論の事である。

四

此の如く臺灣に於ける敍上事業の二十年にして完成せるは寧ろ早きに過ぐるものとも言ひ得るのである。夫れ丈け其所に其の事業の成績に就て、何物か缺陷の存在を否定し得ざるやに考へらる丶のである。殊に法案審査の事業の如きは、今日內地延長主義の結果として其價値の幾分を減じたかの觀がある。が之は時勢推移の然らしむる所である。然し其の是に至るに就ても、從前立案せられたる法案其のものがあればこそ、之を標準として議論を立て得るので、全然法案其のものが存在せざれば夫れ相當の手數を要するは勿論である。蕃族調査としても實は未だ十分だとは思はれない。が博士の蕃族に關する調査は、實に世界人類のあらゆる族制に就ての大研究であつて、博士に非らざれば出來難い調査である。今後の調査は此の儘に打ち切るより外に仕方があるまい。博士の死は學問の爲に、人文の爲に誠に惜むべきことである。然し乍ら舊慣調査が臺灣の誇りとして、獨り卓然として世界の植民法制に一異彩を放ち、先には北京政府當路其他に懇請せられて其

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

立法の資料を與へ、近くは蘭領東印度政府の參考とせられたる事などは、大いに意を強くする處である。

社會事業に就て

佐藤正俊

一 緒言

時運の進展殊に世界大戰の結果として、經濟界思想界の大混亂が、吾國にも尠なからざる影響を與へて、各種の新たなる社會問題を惹起するに至つた。於是乎、經世家・學者・政治家が此の情勢に鑑みて、時勢に順應したる社會政策と社會事業とを行ひ、以て人心の安定を圖り、將來一般民衆の福祉を增進せんとする事に關して、非常なる考慮と努力とを費し、今や著々として立法に行政に各方面より懸命に斯業の實施、發達及び助成に力めつゝあるの狀況である。我が臺灣に於ても救濟的社會事業は早く既に普及發達し、或る點に於ては內地に於ける同樣なる施設に比して遙かに優れるの觀あり。現今に於ては獨り此の救濟的社會事業のみならず、各種の積極的社會事業が公私の機關に依りて經營せられ、又は經營せられんとするの傾向を現出しつゝあるは、誠に喜ぶべき現象であると信ずる。此の好機運に際會して、敢て愚見を顧みず社會事業の基礎觀念を述べ、併せて社會事業一般を解說せんとするは、益々斯業の發達を期せんが爲め、相互の研究に資せんとするに過ぎないのである。

二 所謂社會問題

廣く言へば、社會事業は既に發生したる社會問題の解決の方法であると同時に、將に起らんとする社會問題

を未然に防がんとする方法である。要するに社會全般の安寧を保持し、一般民衆の幸福を增進せんとする政策である。然らば社會問題とは如何と言へば、實は甚だ漠然たるものであつて、又甚だ廣汎なる問題を包含して居る。從來一部の人々は、社會問題とは其の問題の解決の如何に依りては、社會の基礎に動搖を來たす如き虞ある問題であつて、勞働問題の如きは卽ち夫れであるとなし、其他の問題の如きは以て社會問題と稱するに足らずと言ひ、かゝる問題の解決の爲めに爲す事業を眞の意味の社會事業なりとなすのである。成る程勞働問題の如きは其の關係する所、社會の比較的多數の部分であり、又勞働者個々より見れば、企業家とか資本家とか云ふ如き夫れ自身力の强い、又經濟力のある者に對しては、極めて微弱なる勢力のものであるから、現時の如き社會の狀態からすれば、公の力又は社會全體の力に依りて、彼等の幸福を增進する樣に心配してやらなければ、到底其の目的を達する事は出來ざる如くである。夫れ故に勞働者が公の努力なり、社會の力なりを賴むに足らずと見る場合には、玆に誠に憂ふべき問題を惹起する虞がある。卽ち勞働者は彼等の合同の力に依つて資本家企業家に對抗し、若くは對抗せんとするの運動を爲すに至るのである。若し此の問題の解決を誤るならば、重大なる事件を惹起するの虞ある事は勿論であるが、社會問題としては是以外に社會の基礎に動搖を來たすが如き危險ある問題はなきかと言へば、決して然らずと思ふ。彼の普通選擧問題の如きは、元來政治的問題であるが又一面に於ては重大なる社會問題であるのみならず、現時の吾國に於ける勞働問題に比して、それ以下の社會問題にあらずと思ふ。其他保健衞生の向上改善を爲すの問題の如き、素より重大なる社會問題たるを失はない。尙ほ此等以外に於ても最も廣きに亘る思想問題、或は婦人問題の如き多くの社會問題があるが、其の內に於ても最も重大なる社會問題と思はるゝは、吾國の人口問題である。年々數十萬人宛增加する我が國の人口は將來如何になるのであるか、國土は無限にあらず、否々甚だ狹少で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。而して人口は殆んど無限に增殖するのである。將來之を如何に處置せんとするかは實に〳〵重大なる社會問題である。恐らく現時の日本に於て是れ以上の重大なる問題は無いと思はるゝ、此の問題の如きは政治家・學者・經世家、否々國民全體が均しく全力を擧げて硏究を盡さなければならない事であると信ずる。如斯單に社會問題と言へば實に社會各方面に亙る頗る廣汎なる問題を包含して居る。乍然私が玆に取扱はんとする所はかゝる廣汎なる意義の社會問題ではないが、從來社會問題と言へば必ず勞働問題に限らるゝかの如く考へらるゝので、此の機會に於て其の然らざる所以を蛇足的ながら說明を加へたに過ぎない。私は生活問題を中心として之れに關聯せる二三の社會問題、並に其の解決の手段たる社會事業に就て述べんとするのである。

三　所謂社會事業

社會事業とは何ぞやと云ふ問に對しても其の答は實に漠然たるもので、恰も社會問題と云ふ語の意義が甚だ漠然たると同樣の觀がある。從來より行はれたる慈善事業・救濟事業・感化事業・敎化事業等は、近時に及んで所謂社會事業と稱せらるゝに至つたが、現時に至りては社會的の仕事であれば、何事でも直ちに社會事業〳〵と唱へらるゝ如く思はるゝのである。單に之を社會事業と稱するのみの事なれば別段何等の差支もなき樣なれども、元來空漠たる意味の言辭が更に一層不明瞭を來たし、引ひては種々の誤解を生ずる虞あるに至り、甚だ言葉の濫用に過ぐるやの感あるのである。然らば具體的社會事業の意義如何と言へば、學者は下の如く言つて居る。「社會事業とは社會生活を營む上に於て、其の圓滿なる社會生活を阻害する所の缺陷並に病的現象を補護すると共に、之れが發生を豫防する事業である」となすのであるが、之れに依つても社會事業はあらゆる社會問題解決の方法なるが如く思はるゝが、現今に於て社會事業として經營せらるゝものは如斯く廣

汎に亙つて居ないので、其の間に於ても自ら一定の範圍と種類とがあるのである、學者及實際家の意見に依れば、大體に於て救貧事業●防貧事業●兒童保護事業●社會教化事業等を包含する事に一致して居る樣であるが、是れとて確定不動のものでもなければ、又絕對に之れ以外に社會事業なるもの無しと云ふのでもない。唯大體に於て此の意見は行政的方面の實際上より割出したるもので、實際家が之れに從ふのを便宜とするのである。前にも述べた如く從來救濟事業又は慈善事業として呼ばれたるものが、社會事業と言はるゝに至つた事は、啻に名稱のみの變化に止まらないのであつて、實に社會事業を經營する根本の精神に於て異なる觀念を有するに至つた結果である。

所謂社會事業なるものが行はれた最初の形式は、慈善的行爲である事は各國とも同一である。憐むべき貧困老幼の弱者等ある場合に、富裕の者で普通の人情を持つて居る者とすれば、是等に對して施與し救濟してやる事は人間自然の情であつて、別段怪むに足らないのである。此の場合に於ける施與者の心情は誠に人情の至美であつて、實に至純至潔とも云ふべきものであるが、唯施與者と被施與者との關係は單に個人的關係で、何等の社會的交涉を持つて居ない。又施與の結果が被施與者に如何なる影響を與ふるか、又進んで社會に如何なる影響を及ぼすか、など云ふ事は勿論思ひも及ばざる所であつた。而して此等の慈善行爲が團體に依りて大規模に繼續して組織的に行はるゝに及んで、所謂慈善事業と看做さるゝに至つた。此の慈善事業が宗敎家の手に依りて、更に大規模に行はるゝに至り、漸く社會問題を惹起するに至つたのである。始め個人の慈善行爲が行はるゝ動機は惻隱の情に動かされたとしても、又熱烈なる宗敎心の發露より出てたるとしても、兎に角至純のものであつたが、宗敎と結び付くに至つて求報的となり應報的となつて、玆に一種の打算主義と變じたのである。即ち被施與者の將來の利害とか、その社會的影響とか云ふ如き事は一切顧慮せずして、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

只々施與者の幸福を增進し、未來に於ける善果良報を得んが爲めにのみ施與が行はるゝに至つた。即ち慈善行爲者の爲めの慈善事業であつた。然かも宗敎家は盛んに此の慈善行爲を奬勵したので、一方に於ては慈善行爲がその價値を低下したと同時に、他の一方に於ては社會一部の人間を腐敗せしめて、浮浪乞食の徒非常に增加し、貧民續出するに至つた。此の情勢に放任せば、却て社會の安寧秩序を紊すの恐れある所よりして、排貧的手段を講ずるの止むを得ざるに至り、その極端なる方法は三度乞食を爲す者は之を絞首する迄に至つた如きは、英國の第十六世紀頃に於て行はれた實例である。而かも尙ほ上述の弊風を矯正する事能はざる結果、公の力に依つて徹底的に救助を爲すの必要ありとなし、救貧法の制定實施を見るに至り、普遍的に永續的に組織的に救貧事業が行はるゝに至つたが、是れも所期に反して益々貧民の激增を來たし、到る處惰民を生ずるに至つた。此等の實例は歐洲各國共通のものであつて、第十九世紀の初頭の頃最もその弊の極度に達した如くである。吾邦には救濟的制度として古來より繼承的のもの無ければ、系統的普遍的に救濟事業が行はれたと云ふ事はなかつた樣であるが、然し各地に於ては勿論時代によりて異なる所もあるが、夫々特種の救濟的事業が行はれたる事は事實で、又救濟事業普及の結果惰民を生ずる事を非常に恐れ、救濟の範圍を嚴重に制限して大いに警戒を加へたので、極端なる排貧的手段を講ぜなければならない樣な事態は發生しなかつた樣である。

元來慈善行爲や慈善事業と云ふものは、其の事の精神から見れば誠に尊いものであるが、往々にして結果を省みず只々慈善家の慈善的本能を滿足させる爲め、若くは宗敎上の求報的考からしてのみ慈善が行はるゝので、徒らに慈善が行はれ、空に救助が爲さるゝ結果、一般良民の獨立心を傷け、自尊心自重心を害して遂に惰民助長の弊風を釀し、却て貧民の激增を見るに至つたのである。救貧事業も此の弊害を除かんとして始め

られたのであるが、元々救貧事業は、社會に如此多くの貧困者浮浪者が簇出しては、社會の安寧秩序を紊るの恐れありと云ふので、其の危險を防護する爲めに始められたので、其の精神は貧困者を救助すると云ふよりも、寧ろ社會自身の防衞にあるのであるから、其の間に同情とか博愛とか云ふ温かい情味を缺いて居るので、勢ひ仕事は機械的となり、事務的となり、非人間的取扱を爲すに至るので、其の結果毫も上述の弊害を除去するに至らなかつたのみならず、種々の弊害と缺點とを貽すに至つた。そこで漸く慈善事業も其の病弊に鑑み、從來の本能滿足主義若くは求報主義から離れて人道主義となり、受救者の獨立自營の精神を向上せしむると共に、物質的救助の外、精神的援助を與ふる方面を重要視し、以て眞の慈善事業の徹底に力めたる結果、慈善事業の內容を一變するに至つた。之れと同時に救貧事業の方面に於ても、救貧一點張りなりし從來の消極的救助方法の甚だ誤れる事を悟り、茲に一轉して積極的となり、更に科學的方法に依つて救濟の實を擧ぐるに努むるに至つた。即ち受救者の生活狀態並に貧困に陷れる原因等を精査し、之れに適應せる方法を講ずるに至つた。尙ほ現在の社會組織、經濟組織に幾多の缺陷あるの結果として多くの貧困者を出す事を認識して、出來得る限り此の缺陷を補正して所謂社會貧の發生するを防止する事に努むる等、始めて從來の救濟事業が面目を一新して現時の所謂社會事業と稱せらるゝに至つたのである。

四　社會事業の基礎觀念

上述の如く社會事業が內容に於て著しく變化を來たしたると同時に、社會事業の基礎觀念に就ても大いに異なる觀念を有するに至つた。即ち社會連帶責任なる精神に基いて社會事業なるものを說明するに至つたのである。今日の社會は、僅かの人々に依つて成り立つて居るのでなく、又一二の人の力に依つて今日の如く進步せる社會が現出したのでもない。社會全般の人々の共同共營共助に依つて、今日の地位あるを致したので

あつて、個々の人は相互に隷屬的關係を有して、社會なる有機體を組成して居るので、個人は社會から離れて生存する事が出來なければ、又個人を離れて社會なるものも存し得ないのである。社會は個人の協同組織に外ならないし、個人は協同又は協力に依つてのみ生存し得るのである。是れ卽ち社會連帶なる觀念の生ずる根底である。夫れ故に茲に社會の結合を弱め、又は社會の共進を妨ぐるが如き事態が生ずれば、社會連帶の責任として之を救助し、若くは之を擁護する手段を講ずる事は、社會當然の義務とするのである。社會の一部に弱者貧者等の如き者ある場合に、昔日に於ける特志家の特志又は慈善心に依つて救助を爲すが如きは今日より見れば全く意味を爲さぬ事で、各人は連帶責任を有して相互に扶助し、弱者を擁護すると云ふ觀念に到達したのである。殊に況んや社會の或る貧者なるものが其の貧に陥れる原因を探究すれば、彼等が懶惰とか浪費とか遊蕩とか云ふ如き自己の不道德の責に歸すべき何等の原因なきのみならず、日々營々として働くと雖も、尙ほ且つ貧に陥り、日常生活の最小資本をも得る事能はざるが如き狀態は、明かに社會の經濟組織に缺陥ある事を現はすものであつて、卽ち極端なる自由競爭と私有財產との保護の結果は、茲に大資本家・大實業家・大富豪を輩出するに至り、其の反面に於て社會貧なるものが生ずるに至つたのであるから、彌々以て之を保護し救助するのは、全然社會の負ふべき責任であつて、特志家の特志とか若くは救助などと云ふ名稱の下に、取扱ふべきものでないとするのである。

此の社會貧なるものが社會制度組織に缺陥あるに因つて、生じたものとせば、先づ第一に此の缺陥を除却し若くは補正する事が急務であつて、貧困者の救助問題の如きは爾後の問題である、と主張する所謂社會改良主義なるものがあるが、此の社會改良主義の中にも急進派と漸進派とがあつて、急進派の主張は（詳細に述べる事は避けるが）社會の制度組織に缺陥あれば、速かに之を矯正せなければならぬとし、現在社會の或る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

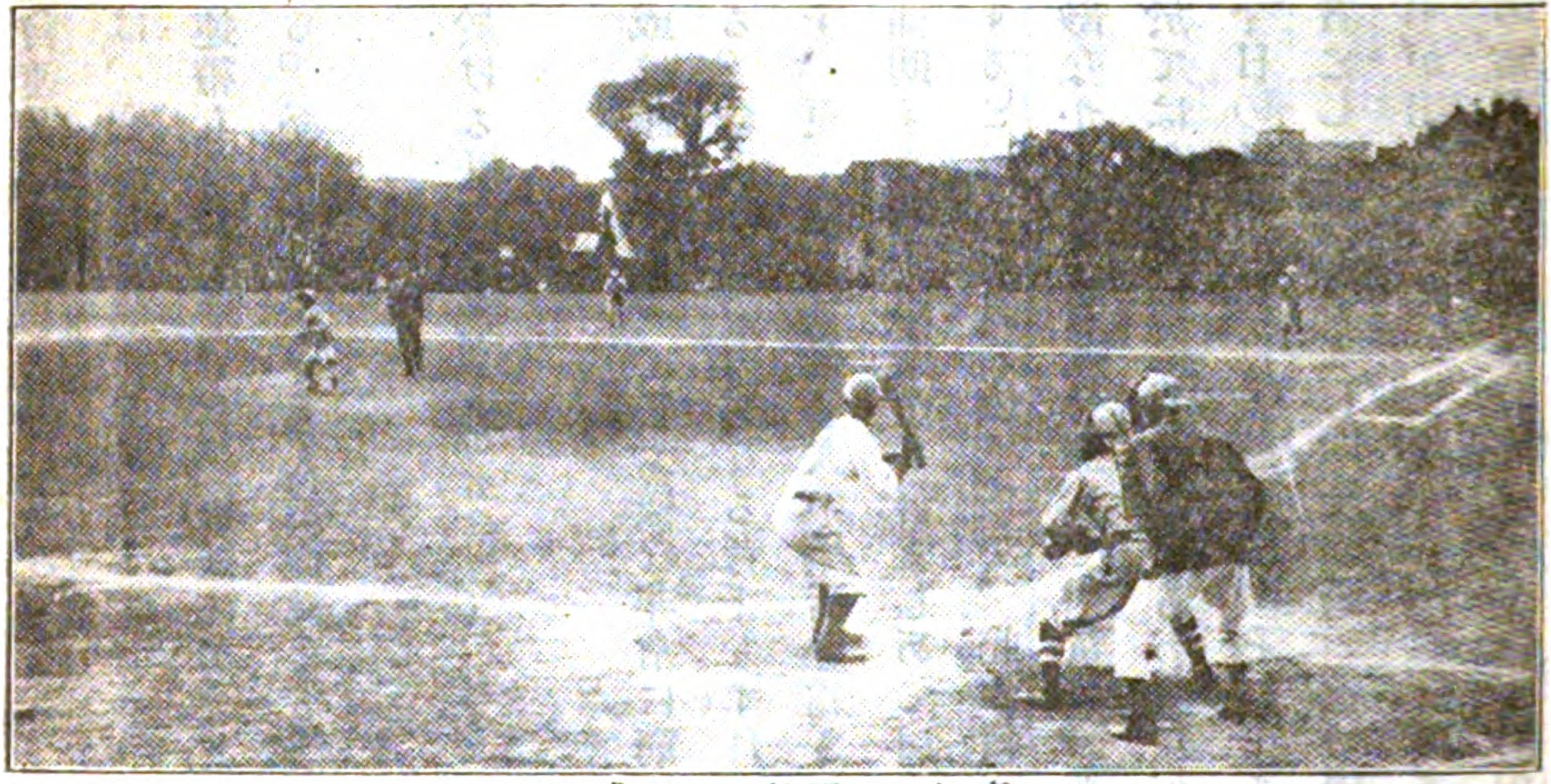
制度組織は之を否認し、無理に其の理想を遂行せんとするのであつて、到底吾人の賛する事能はざるものである。漸進派の主張する所は、今日の社會は幾多の歲月と歷史とを經て、漸く此の域に達したのであるから將來理想の境に達するには、進化の理法に從ひ、歷史に從つて漸進的に改良しなければならぬとし、大體に於て自由競爭と私有財産とを原則とせる現在の社會組織を維持しつゝ、即ち經濟上の自由を認むると同時に一方に於ては、法律上の平等を主張して、國家の力に依つて個人と個人、社會と個人との平衡と調和とを圖り、以て圓滿なる發達を期せんとするにあるので、此の社會改良主義は最も穩健著實であつて、現在各國の實行しつゝある所である。社會事業の如き畢竟此の社會改良主義の實行と言ふても差支ないものである。

吾人は社會事業の基礎觀念として社會連帶責任なる觀念を認むる事は最も至當の事と信ずるが、之と同時に各人の理性の發展と自覺とを要求して止まないのである。各人理性の發達と自覺とか伴はなければ完全なる社會連帶の責任を感知する事が出來ないのである。其の結果として自己の責任を感せず徒らに會社に頼るの弊風を馴致するばかりでなく、天賦人權的思想にかぶれて、社會に對して生存權健康維持權、住宅權若くは敎育權などゝ種々なる權利を主張し得るかの如き誤想を懷くに至り、圓滿なる社會の進歩發達を阻害するの虞あるのである。吾人は社會に對して生存權なり人格權なり將た又幸福權なりを主張する前に、自己以外に他人ある事を知らなければならぬ。又自己の人格なり生存なりが絕對的のものであるとするならば、他人の人格や生存も亦絕對的である事を容認しなければならぬ。此の容認が單に一方的であつてはならぬ。貧者も富豪も勞働者も資本家も、凡ての人が悉く人としての自覺を持ち、又人と人との關係を意識し、社會組織の一員である事に自省があつたならば、爭議や爭鬪など云ふ事態が發生する譯も無ければ、又た弱者擁護を叫ばねばならぬ必要もないのである。唯ゝ是等の自覺と認識とを缺如するが故に不當に個人の自由や獨立が蹂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蹴され、往々にして生存すら脅かさるゝに至るのである。要するに各人は悉く人として自覺を持ち、又た人と人との關係を意識したならば、例令へ社會に對して生存權又は人格權とか云ふ如き所謂社會權なるもの〻主張を制度の上で認められなくとも、相互に尊重し承認する事になるので、自然に基本的權利として確立するに至るのであると信ずる。若し果して然りとせば、現今社會の一部にある不安などが一掃され、救濟事業などは自然に不要に歸するのである。

私は前にも述べた如く、社會事業の基礎觀念として社會連帶責任なる觀念を認めなければならぬと考へ、又た認めなければ社會事業の



高商對醫專の野球戰

實行は不可能と信ずるものであるが、然し社會連帶なる思想のみでは不徹底であり、不十分であつて、往々にして社會夫れ自體の防衞の爲め、若しくは社會生活の方便としてのみ考へられ人を人として見る事を忘れ、沒人情的非人格的に陷るに至るやの虞あるのである。畢竟するに社會連帶なる思想の根底に於て、或るものを缺いて居るが爲めに、吾々の至情よりして止むに止まれず、當然の歸結として社會連帶なる思想に到達し、熱烈なる情念を以て當る事が出來ぬのであるまいかと思はるゝのである。そこで吾人は社會連帶なる思想の根底に於て、是非とも人類相愛の信念を有せなければならぬ事を主張せんとするのである。此の人類

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

相愛の信念ありて、始めて眞の社會連帶を意識し體得し得るのであつて、眞の人格の尊重、眞の自由の尊重、眞の社會連帶の思想の實現の如きは、全く此の信念を體得した者のみが會得する事が出來る事柄なのである。社會事業の基礎觀念たる社會連帶なる觀念は、其の根抵に於て人類相愛なる信念を缺如しては、到底完全に理解する事が出來ないのである。吾人は飽までも人類相愛なる信念に基調を置かなければならぬと信じ且つ主張せんとするのである。

五　臺灣に於ける社會事業一班

（イ）　救貧事業

救貧とは棄て丶置けば饑餓に迫り或は餓死する、と云ふ樣な非常に窮迫の狀態にある者を救濟する事であつて、從來の所謂慈惠救濟事業である。今日の社會事業なる考よりすれば、後に述ぶるが如く貧困者をして辛うして生活を爲さしむるに止まらず、更に進んで普通人の生活を爲さしめ、尙ほ一歩進めて普通の文化的生活を爲し得る程度に、救助若くは補助する所の事業をも含ましめて居る樣である。臺灣に於ては、遠く淸國政府時代より德政を以て民を化育すると云ふ方針に依りてか、此の救濟事業に餘程重きを置いた樣で、救濟的施設が、主たる都會にあつて、尠なからざる資產を擁して、貧者の救濟と醫藥の途なき者に對する施療とを爲し來つたのである。領臺後に於ては勿論名稱は異なる所もあつたが、大體に於て此等の施設を繼承經營して今日に至つたのである。卽ち今日の各州に於ける慈惠院がそれであつて（近く高雄州と新竹州にも慈惠院新設完成の筈）各州知事が管理者として經營者とし、全く公の救濟機關として活動して居るのである。斯かる制度は內地に於ては到底見る事が出來ぬのみならず、各慈惠院が多くの財產を有し、それに依つて獨立して活動して居る狀況を、內地の當事者か見たならば、必ず羨望措かざる所であらふと思ふのである。そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れであるから今日の慈惠院の經營を更に改善して、精神的方面に於ても社會事業の精神と一致し、時勢に適應したる施設經營をしなければならぬと思ふのである。偖て玆に問題となるは、救貧事業の對象たる貧困なるもの、意義と範圍とであるが、單に貧困と言へば辛うじて生活せる狀態を指し、其の狀態にある者を貧民と稱するが、判り易く言へば、個人及び家族の全收入を以て、辛うじて衣食住の最少限度を滿たし、若くは滿たす能はざるを貧民と云ふのである。夫れ故今日の文化的生活を爲すが如きは、到底不可能の部類に屬するものである。か丶る者は大體に於て都會に多いのであるが、其の比例は都會人口の約一割を占めて居ると言ふ

州別	家税免除（△内地人）（本島人） 戸數	人口 男	人口 女	人口 計	救護を要するもの	他人の扶助により生活するもの 戸數	人口 男	人口 女	人口 計	醫藥を求むる資力なく病死せるもの 人員 六年	七年	八年	計
臺北	△五 七、六一七	△九 一〇、八五三	△九 九、七七〇	△一八 二〇、六二三	三〇九	△一 二五四	一九一	△二 二二四	△二 四一五	四九	九八	一七〇	三一七
新竹	二、三八二	三、三一五	三、二五二	六、五六七	一三八	二八九	二八〇	三六三	六四三	七	九	三二	四八
臺中	三、二〇三	四、〇〇八	三、七〇四	七、七一二	一九八	三一四	二〇七	二七〇	四七七	三四	三八	三三	一〇五
臺南	五、〇三六	五、一七一	四、〇九六	九、二六七	二〇一	△一 六七七	△二 四三四	五三三	△二 九六七	一六一	二六七	二八〇	七〇八
高雄	△一 三、八〇七	△二 四、五八八	四、三五一	△二 八、九三九	四三二	△一 三六二	△一 二五九	二九八	△一 五五七	一二七	一九六	一五二	四七五
臺東	二六	三一	二一	五二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	七四	九九	一〇〇	一九九	一	九	八	六	一四	—	—	—	—
計	△六 二三、〇四五	△一一 二八、〇六五	△九 二五、二九四	△二〇 五三、三五九	一、二七九	△三 一、九〇四	△三 一、三七五	△二 一、六九四	△五 三、〇六九	三七四	六〇八	六六七	一、六四九

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

事である。乍然今日に於てはかゝる貧困者のみならず、少しく其の範圍を擴大せられ、單に家族の全收入を以て辛うじて生活し得る程度に止まらず、更に保健的生活及び身分的體面を保ち得ぬ者をも包含するに至つた。即ち所謂文化的生活の最少限度の資本を辛うじて得る者をも貧困者の部類に入れんとするのである。如斯であれば貧困者の數も非常に增加し、吾國全人口の約七八割は皆な此の部類に屬すと言はる、が、此の標準よりすれば我が臺總にも可なり多くの貧困者がある事と考へられる。是れ誠に容易ならぬ社會問題と謂はなければならぬ。今試に大正九年中調査せし本島貧困者の數を揭ぐれば即ち前頁所揭の各州別家税免除者其他の表の如くであつて、到底保健的とか身分的體面を保ち得るとか得ぬとかの問題でなくして、實に當然の義務たる僅少の納税すら爲し能はぬ狀態の者が五萬三千有餘の多數を算するので、此の內何者かの救助なくしては獨力生活の出來ぬ者が約四千五百名あるのである。各州慈惠院にて救助し得る範圍は約六百五十名位なものであるから、殘りの四千名近くの者の所置は、何んとかしなければならぬのである。或は隣保共助とか或は同姓相助とか、或は慈善家の特志等其他の方法で解決せられなければならぬのである。前に述へた如く貧困者であれば、何でも彼でも直ちに救護する、と云ふ事は大いに考慮を要する事である。其の貧困に陷れる原因に就て精査を要するのである。貧困の原因に就ても色々あるので、其の一二の例を示せば、第一、個人的原因による貧である。この內にも二種あつて、其の一は、家族の不幸が續いたとか、火災に罹つたとか、或は流行病とか、勞働中に負傷したとか、自分で招いたのでなく、止むを得ざる事の爲めに貧に陷つたのである。其の二は、言はゞ自業自得とでも言はるべきもので、甚しく自己の業務に怠けたとか、放蕩飲酒に身を持ち崩した爲めとか、兎に角自己の責に歸すべき原因で貧に陷つた者である、第二は、自然的貧とでも言ふべきもので、天然の威力に依り又は天變地異に因つて貧困になつた者で、即ち水害とか震災とか或は旱魃とかの爲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めに收護皆無になつたとか、働く者が亡くなつたとか、家がなくなつたとか云ふ原因に因つて貧になつたものである。第三は、所謂社會貧である。經濟組織の缺陷又は法制の不備等の爲めに勤勉に働くと雖も貧に陷り、若くは家業を失つたが爲め貧困になつた者である。大體以上の如く區別する事が出來ると思ふが、是等の原因の爲めに貧に陷つたとすれば、其の原因に應じて夫々適當なる救濟方法を講ぜなければならぬと思ふ。即ち第一の個人的原因の內自己の不道德の結果貧になつた者の如きは、直ちに救助すべきでない。能く〳〵訓諭を加へて其の自省と自制とを求め、精神方面の救助を爲したる後、物的援助なり又は職業なりを授くべきである。其他の原因に因つて貧困となれる者に對しては、其の事情に應じて或は罹災救助法による救助を爲すとか、職業を與ふるとか、適切なる援助を爲し、愈々と云ふ場合にあらざれば成るべく物的救助を爲さざる方、從來の例に鑑みて過ちなき樣である。（未完）

同姓結婚に關する解惑

臺灣總督府囑託　鷹取田一郎

五　經史に現はれたる同姓結婚

上來論述する所を以て民法と禮制と相抵觸せざることは既に明瞭なりと信ず。同姓結婚を非認せんとする臺灣人も亦た日本民法の實施を忌避するの要なき也。然れども余は進んで同姓結婚を非認せんとする支那人種の爲めに說明せざる可からざるものあり。そは他に非らず、經史に現はれたる同姓結婚の實例是なり。

：余は前章に於て既に其の大要を掲けたり。然れども是れ眞に其の大要に過ぎずして、同姓結婚非禮論者の

思想を根本より說破し盡したりとは信ずる能はず。故に余は本章に於て詳細に其の事實を說述せんとす。蓋し晉の獻公以下數人の諸侯及び卿太夫が同姓結婚を犯したる確實なる事實は既に是れ禮制維持の困難なるを立證する者ならざる可からず。更に其の事實を詳細にするに於ては、禮制上同姓結婚の解禁を聲明するの必要は、既に已に春秋の時代に於て之れ有りしことを立證するに餘りあれば也。

(甲)晉の獻公に關する事實——春秋左氏傳、莊公二十八年の條を見るに、晉の獻公は大戎の狐姬を娶として公子重耳(文公)を生めり。大戎は唐叔の子孫、別に戎狄に在る者にして晉の同姓なり。獻公の死するや、重耳志を得ず亡命して諸邦に流寓せり。其の鄭に至るや鄭の文公之れを禮過せず。叔詹之れを諫めて曰く、臣聞。天之所レ啓。人弗レ及也。晉公子有レ三、天其或者將レ建レ諸。君其禮レ焉。男女同レ姓。其生不レ蕃。晉公子、姬ノ出也。而至于今。一也。離ニ外之患一。而天不レ靖ニ晉國一。殆將レ啓レ之。二也。有ニ三士一足ニ以上レ人。而從レ之。三也。晉鄭同儕。其過子弟。固將レ禮焉。況天之所レ啓乎。鄭の文公は遂に之れを禮過せざりしと雖も、果して叔詹が見る所の如く、後に覇業を成して晉の文公と爲り、其の盛名後世齊の桓公と併び稱せらるゝに至れり。夫れ男女同姓なれば其生、蕃からずと謂へるは、禮制を維持せんとする者の主張なり。然れども晉の文公は同姓の出なるに拘はらず、其の健康にして多福なること彼の如し。叔詹も亦た同姓の出、其の子孫必らず夭殤せざるの事實を認め、獻公の禮に悖るを責めざりしこと左傳に記する所の如し。既に血緣の稀薄なる同姓間の結婚が、子孫の健康に何等の憂患を殘さゞるの事實は、明瞭に之れに由って立證せらるゝに非らずや。

(乙)盧蒲癸に關する事實——齊の盧蒲癸は慶舍の支族なり。即ち同姓なり盧蒲癸曾て其の宗族なる慶舍に臣とし事へたり。慶舍之れを寵し、妻はすに其の長女を以てす。癸享けて之れを娶れり。慶舍の士某、盧

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蒲癸を詰つて曰く。男女ハ辨レ姓。子不ルハ辟レ宗。何ッ也。癸が之れに答へて曰く。宗不ニ余ヲ辟一。余獨焉ンッ辟レ之。賦レ詩斷レ章。余取レ所レ求焉。惡ンッ識ラン宗ヲ。宗族に於て余を辟けざるに余獨り之れを辟くるの理無し。妻を娶るは猶ほ詩を誦するに其の好む所に從ふて自由に章句を選むが如し。余は求むる所を娶るなり。惡んぞ其の宗族たるを知らんやと謂へりしなり。盧蒲癸の眼中又た禮制ある無し。周公に對して咎無きにあらずと雖も其實は天下の公論なり。

(丙)崔武子に關する事實——齊の棠公の妻棠姜は東郭偃の姉なり。東郭偃は崔武子に臣たり。棠公の死せる時、崔武子東郭偃を御者として往きて弔ふ。寡婦棠姜を見て之れを美なりとし。東郭偃に謀つて娶らんとせり。東郭偃之れを斥けて曰く。男女ハ辨レ姓。今君ハ出レ自レ丁(杜註、齊丁公、崔杼之祖)臣ハ出レ自レ桓(杜註、齊ノ桓公小白、東郭偃之祖、同シク姜姓ナリ故不レ可レ昏)不可ナリ。と。崔武子斷念する能はず。之れを筮して困の大過に之くに遇ふ。史皆な吉なりと曰へり。武子之れを陳文子に諮るに、文子は易の爻辭を説明して、其の不可なるを謂へり。然れども崔武子は嫠也何ッ害アラン。先夫當レり之矣と稱して遂に之れを娶たり。今此の事實を見るに、崔武子と東郭偃とは同姓なり。禮制に於て同姓の娶る可からざるは、何人と雖も皆な其の知る所ならざる可からず。然るに崔武子は公然之れを左右に謀るのみならず。其の史官は皆な吉なりと謂へり。史官は文學の士なり、素より禮儀に嫻ふ者ならざる可からず。此の史官にして之れを吉なりと謂ふ、彼の禮制なる者が當年如何に權威を失ひ居たりしぞ、蓋し想像に難からざるに非らずや。東郭偃が男女は姓を辨ず、今君は丁公の後裔にして臣は桓公の子孫、共に同じく姜姓なり。不可なりと謂へるは、其言禮に適せりと雖も實は謙遜なり。所謂辭讓なるものなり。其の婚姻の成立は素より其の望む所ならざる可からず。果して斯の如くなれば、崔武子獨り禮制を蔑如せるのみならず、崔武子の左右皆な之れを蔑如したりし也。當年既に禮

制維持の困難なりしこと知るべきに非らずや。

(丁)晋の叔向に關する事實――晋の叔向疾あり。鄭伯、子産をして之れを問はしむ。叔向素より子産が博物の君子なるを知れり。依つて之れに問ふに實沈臺駘の神を以てす。子産滔々之れを辨じて最後に謂へるあり。男女辨レスルハ姓ヲ禮之大司也。今君內。實有ニ四姫一焉。其無ニ乃是一也乎。杜預之れに註して同姓ノ姫四人アリと記せり。寵姫既に四人あり、相競ふて其の恩幸を蒙らんとす。同姓に非らずと雖も其の疾を釀するは必然なり。子産を待つて而して後知る所にあらず。

(戊)魯の昭公に關する事實――魯の昭公同姓を娶り、春秋に夫人の姓を去りて呉と曰ひ、其の死するや孟子卒すと曰ひしこと、是れを禮記に載せたるは既に前章に述べたる如し。尚ほ之れを論語に載するあり。述而第七に在り。陳司敗問。昭公知レ禮乎。孔子曰。知レ禮。孔子退。揖ニ巫馬期一而進レ之曰。吾聞。君子不レ黨。君子亦黨スル乎。君取ニ於呉一。爲ニ同姓一。謂ニ之呉孟子一。君而知レ禮。孰不レ知レ禮。巫馬期以告。子曰。丘也幸。苟有レ過。人必知レ之。註曰。禮不レ娶ニ同姓一。而魯與レ呉皆姫姓。謂之呉孟子一者。諱レ之若ニ宋女子姓者一然。夫れ陳の司敗は議論を好む者なり。孔子に向つて昭公禮を知るや否やを問ふ。孔子禮を知れりと對へて退く。司敗は卽ち孔子の弟子巫馬期に揖して、尚ほ議論を進めて曰く。吾嘗て君子は不偏不黨なりと聞く。然るに今の孔子の言は正に昭公に黨する者なり。禮制を蔑如して同姓を娶り、呉孟子と稱して天下後世を欺かんとす。此の昭公にして尚且つ禮を知れりと爲さば、孰か禮を知らざる者あらんと。陳の司敗の此言實に堂々たり。孔子も亦た當る可からず。退きて其の鋭鋒を避け、巫馬期の之を告ぐるに及んで、人の已が過失を責むるを幸なりと爲し、而して一言の其君昭公に及ぶもの無し、孔子の苦哀誠に察すべきにあらずや。

(己)王莽に關する事實――漢の王莽は其の同姓なる王咸の女を娶れり。以爲ニ源異不レ同。而娶レ之といふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(庚)王基に關する事實══魏の大儒王基なる者は其子の爲めに司空王沈の女を納れたり。其の理由は姓同ふして源異れりと謂ふに在りき。然れども司空陳萊なる者は之れを論して曰く、王基は當世の大儒なり而して禮に違せずと。

(辛)陳矯に關する事實══魏の陳矯は天下の奇才なり。然れども本、劉氏の子、出でて舅氏を嗣げる者なり、而して本族に婚せり。徐宣毎に之れを以て非なりとし陳矯を攻擊すること甚し。太祖其材を惜しみ、乃ち令を下して曰く喪亂前ノ事。一切勿レ論。と。陳萊の王基に於ける。徐宣の陳矯に於ける。其の同姓に婚するの故を以て、己が及ぶ能はざる高才を陷れんとす。奸に非らざれば怯なり。魏武の之れを咎めざるは賢なり。自から王者の襟度を見る。

以上は支那の經史に現はれたる同姓結婚の最も著名なる者にして、苟も經史を講ずる者既に之れを熟知する所ならざる可からず。今之れを綜合して試みに其の是非曲直を考ふるに、(甲)晋の獻公(丁)晋の叔向の二人は共に孰れも同姓の妾を蓄へたる者、其の所爲既に道德的ならざるは勿論なり。彼の禮制に於ては唯其の妾を買ふ以前に當り姓氏の不分明なりし場合に於て、須らく之れを卜筮に問ふべきことを規定し。而して其の蓄妾の事を是認せりと雖も、日本民法に於ては之れを認めず。故に其の婦人が縱令同姓ならずと謂ふと雖も、亦た君子の與みする所に非らず。(戊)魯の昭公(辛)魏の陳矯の二人は共に同姓の女を娶りて妻と爲したる者、禮制に於て之れを咎むと雖も、現時の法律思想を以て論ずれば、更に其の恠しむ所を知らず。何となれば直系血屬又た姻族に非らず、三等親內の傍系血族に非らざるを以て、其の結婚は無論法律上の効力を與へらるべければ也。(己)漢の王莽(庚)魏の王基の二人は共に同姓異源の間に婚姻を結びたる者。法律上毫も咎む可からざるのみならず、禮制に於ては亦た蓋し責むる所無からん。最後に(乙)齊の盧蒲癸(丙)同しく

崔武子の二人に至つては儼然として禮制の服從す可からざるを認めたる態度を示し、毫も之れに向つて敬意を表せず。共に任意の結婚を爲して俯仰天地に愧ぢざる者の如し。總て此の數人者の爲す所を見れば、禮制の權威それ何處に在る。禮制を改訂して以て同姓結婚の解禁を聲明するの必要なるは、必らずしも今日を俟たず、既に周末春秋の時代に於て喫緊事たりし也。晉のの獻公其他の事實を知る者、夫れ孰か之れを感ぜざらん。

六　異類雖ㇾ近男女相及とは何事ぞ

余は國語を讀み、晉の文公の事蹟を考ふる毎に、天を仰いで慨然之を久ふするもの無くんばあらず。蓋し聞く齊桓晉文の事は、孔子も亦た其の多くを語らざりきと。憶ふに齊の桓公、晉の文公の如きは、覇を列國に制して威名天下に震ふ。其雄素より世の常に非らずと雖も、畢生の事業遂に王道を以て律すべきに非らざれば也。余は今王覇の別を以て深く之れを論せず。唯だ彼の晉の文公が懷嬴を娶りたるの一事、既に之れを默過するに忍びざるものあるなり。文公と懷嬴とは實に叔姪の關係にして、殆んど禽獸に似たる不倫の結婚なれば也。

文公初は此の懷嬴を娶ることを以て、深く其心に屑しと爲さゞりし。その之れを慫慂して敢て此の結婚を斷行せしめたる者は、實に司空季子其人なりとす。司空季子は策士なり。權謀術數に巧みなる者なり。秦の穆公と深く相結ぶは公子重耳の將來に頗る利益なりと爲せり。子犯、子餘の輩左右の者皆な司空季子の説に左袒したり。是卽ち晉國の爲めに國運の隆昌ならんことを希ひ、公子重耳の爲めに、其の前途の幸福を希ふに急なりしに因るは勿論なりしと雖も、又一方に於ては餘りに禮制に拘泥するの結果。異姓間の結婚ならば假令近親なりと雖も、何等憚る所無しと曲解し、遂に叔姪の間に於て公然婚姻を結ばしむるに至れるもの。禮制の人心を誤ること此に到つて大なりと謂ふべし。吾人は今同姓結婚の是非が臺灣人士の間に盛に論議せら

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る、を見、特に此の事實を提起して、聊か論評を試みんとす。蓋し又た無用の業に非らざるべし。

秦の穆公と晉の文公とは實に義兄弟たるの關係を有せり。而して懷嬴は穆公の女子なるを以て、晉の文公とは叔姪の關係なり。熟々考ふるに秦は嬴氏にして晉は姬氏なり。固より同姓に非らざる也。即ち其の同姓に非らざるの故を以て結婚せん乎。其の叔姪の關係なるを奈何せん。然れども事實は其の同姓ならざるを理由と爲し、叔姪の間をして終に正式に結婚せしめたる也。是れ果して禮制に於て間然する所無しと爲す乎。實に支那人種の禮制を尊重する者、宜しく沈思默考せざる可からざる所なるべし。

晉の文公、名は重耳、獻公の庶子なり。春秋左氏傳莊公二十八年に記して曰く『晉の獻公賈に娶る。子無し。齊姜に烝して秦の穆夫人と太子申公とを生む。又た二女を戎に娶る。大戎の狐姬重耳を生む。小戎の子夷吾を生むと』。されば獻公の長女は秦の穆公に嫁したるものにして、重耳は即ち其の異母弟なり。果して然らば秦の穆公と重耳とは疑ふ所無き義兄弟なり。

獻公の死するや、夷吾之れを襲ふて惠公と稱す。惠公子あり、子圉と呼ふ。子圉曾て秦に質たり。穆公之れに妻はすに其女を以てす。是れ即ち從兄弟にして相婚する也。僖公二十三年の傳に曰く『晉の太子子圉、秦に質たり。將に逃れて。歸らんとす嬴氏に謂つて曰く。子と與に歸らん乎。對へて曰く。子は晉の太子にして秦に辱しめらるゝものなり。子の歸らんとするは亦た宜ならずや。寡君の、婢子をして侍して巾櫛を執らしむるは、以て子を固ふせんとする也。子に從ふて歸らば君命を棄つる也。敢て從はず。亦た敢て言はず。遂に逃れて歸る』と。されば嬴氏は子圉の妻と爲つて、而して子圉に棄てられたるもの也。子圉惠公を嗣いで立つ。之れを懷公と稱す。今左傳に秦の穆公の女子を懷嬴と呼べるは。曾て懷公に歸ぎたるを表する也。

文公初め志を其國に得ず。淪落して列國に亡命す。當時之れを晉の公子重耳と稱し、諸侯の望を屬する者

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

少なからざりき。齊に往き、鄭に往き、楚に往き、又た秦に往く。其の秦に至るや、穆公之れに女五人なくれて歡を求む。懷嬴實に其中に在りたるなり。重耳心に懷嬴を娶るを好ます。晴に之れを斥けたり。穆公、公子重耳に見へて曰く。『寡人之適。此爲レ才。子圉之辱。備ニ嬪嬙一焉。欲ニ以成レ婚。而懼レ離ニ惡名一。非レ此則無レ故。不ニ敢以レ禮致一之故也。公子有レ辱。寡人之罪。唯命是聽。』穆公の懷恚實に當る可からざるものある也。然れども重耳は之れを辭せんと欲す。如何となれば重耳と懷嬴とは既に血緣に於て叔姪の關係を爲すのみならず、曾て其の姪子圉の爲めに棄てられたる者なり。子圉娶に惡名に離らんことを懼れて之れを棄つ。今之れを享けて娶るは、實に忍びざる所なれば也。重耳の之れを辭せん欲する又た宜ならずや。

司空季子は此時懷嬴を娶りて親を穆公に結ぶを可なりと爲し、重耳に對し、言を巧みにして其の結婚を慫慂したり。國語、晉語の四に詳かなり。其說に謂へるあり。

異姓則異レ德。異德則異レ類。異類雖レ近。男女相及。以レ生レ民也。同姓則同レ德。同德則同レ心。同心則同レ志。同志雖レ遠。男女不ニ相及一。畏レ黷故也。黷則生レ怨。怨亂毓レ災。災毓滅レ姓。是故取レ妻。避ニ其同姓一。畏ニ亂災一也。

是れ抑も何たる論ぞや。同姓結婚は亂災を生せんことを畏るゝが故に、宜しく避くべしと謂ふ。是れ固より禮制に協へるなるべし。然れども‖取レ妻不レ取ニ同姓一‖と謂ふを反對に解釋して、異姓は近しと雖も男女相及ぶと稱し、叔姪相婚して憚からざらんとす。是れ果し先聖禮を制するの意に協へりと爲す乎。實に禮制を曲解するの甚しきものに非らざる無きや。

余は現代の支那人種が叔姪相婚して以て不倫と爲さゝるや否を知らず。然れども爰に叔姪相婚せんとする者あり。人其の不倫なるを謂ふ者あらば、直に之れに答ふるに司空季子の議論を以てし、晉の文公既に叔姪

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

相婚せり。我に於て何か有らんと謂はゞ夫れ、之れを奈何せん。その同姓に非らざる限は、殆んど復た之れを制止するに由無からんとする也。嗚呼是れ何たる錯誤ぞや。復た是れ何たる迷想ぞや。

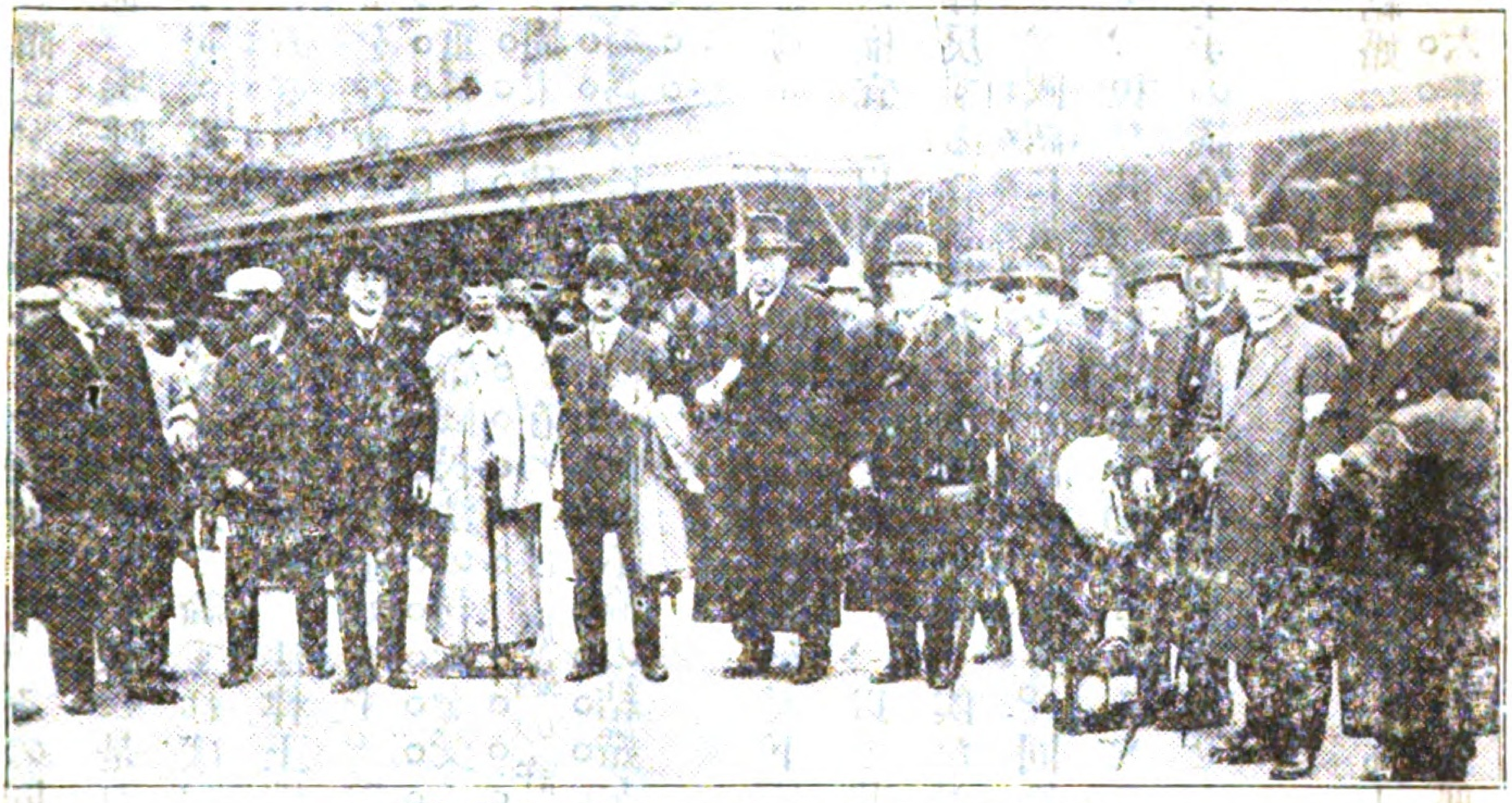
夫れ甥姪は三等親の傍系血族なり。我が帝國の民法を以て論すれば、伯叔父母と甥姪とは斷じて其の婚姻を許さず。假令之れを敢てする者あるも、是れ卽ち私通のみ。法律上婚姻として其の効力を認めざるのみならず、社會は其の配偶の不倫なるを咎めて之れに齒ひするを好まず。遂には擯斥せられて稠人廣坐の間に恬然たる能はざるに至らむ。若夫れ重耳をして我が帝國民法の司配を受くる者たらしめば、秦の懷嬴との結婚は斷じて成立せざりし也。然るに周末春秋の時代に在つては、婚姻の許否を決するに親等の遠近を以てせず。單に同姓と否とを問ふのみなりしが爲めに。遂に能く此の不倫の結婚を斷行せしめたる也。是た卽ち禮制の不倫なるを證して餘りあるに非らずや。

重耳惠公の後を襲ふて晉の君と爲り。覇を列國に制して威名を天下に震ふに至る。秦の穆公の力を假るもの蓋し少なからざりし也。一時の權宜を以て此の結婚を敢てし、以て其の重耳を利したるは可なり。然れども其の婚姻の不倫にして人道に悖戾すること大なるは固より論を俟たざる所、左丘明も亦た其の正經に記載するを憚り、春秋傳に述へずして、國語に於て之れを詳かにせり。同姓結婚を極端に非認し、曲禮の章句を甚しく曲解し、異姓とさへ謂はゞ、復た其の咎むる所を知らざらんとする者。夫れ此の事實に對して果して反省する所無しとする乎。司空季子の議論に枸つて夫れ果して首肯せんとする乎。禮制を曲解する者又た危險なりと謂ふべきなり。

七　同姓結婚の解禁を唱ふるは孔子の責任なりし也

夫れ三代の後、眞の理學無く。六經の中復た僞文章あり。然るに支那に於ける所謂儒生なる者、深く經籍

を檢討して聖人の心源を窮極することなく隨つて其の長短を取捨して儒道の正宗を發揮する所以を知らず。徒らに經典の章句に拘泥して踏襲惟れ事とし。苟も聖賢の書なりと謂へば、假令社會の進步に伴はざる空文なりと雖も、枉げて之れを固持すること沙上の舟、猶ほ帆を揚ぐるに異ならざるものあり、周末春秋の時代に於て、早くも幾多の諸侯及び卿太夫に由つて蹂躙せられ――取レ妻不レ取二同姓一。故買レ妾不レ知二其姓一則卜レ之――と謂へる曲禮の一章句は既に全く其の權威を失ひたるに拘らす。毫も同姓結婚の解禁を唱ふることを爲さず。却つて千萬年の後、尚ほ之れを嚴守せんとす。吾人は



(臺北驛頭に於ける朝鮮視察團)

其の固陋なるを知るのみ。未だ其の賢にして且つ明なるを知る能はざる也。

吾人をして謂はしむれば、同姓結婚の解禁を唱ふるは、實に孔子の責任なりし也。而して孔子生涯に於て未だ曾て之れを主張せず。却つて禮制を維持するに汲々とし、以て天下後世を誤ること彼の如し、吾人深く之れを遺憾とす。

夫れ孔子は魯の襄公の時に生れて長壽を保てる者、既に幾多の諸侯卿太夫が禮制を蹂躙して同姓を娶れる事實を熟知せり。又た彼の司空季子が同姓不婚の理由を曲解し。遂に晉の文公をして叔姪相婚せしめたるの事實を知れり。殊に陳の司敗は孔子に向つて魯の昭公

の結婚問題を論議せんとせり。是れ實に同姓結婚の解禁を唱ふべき好機會なりしに非らざる無きや。

讀者之れを想へ。陳の司敗が孔子に向つて、魯の昭公禮を知るや否やを問ひたるの時、『禮を知れり』と謂つて退くとは抑も如何なる失態ぞや。孔子は苟も仁義道德を說きて當代の師宗と仰がるゝ者なり。昭公禮を知らずと答ふるに於て復た何の憚かる所か之れ有らん。唯だ其の心の欲する所に從ふて可なるのみ。然るに胸中其の禮を知らざるを知りながら、枉げて之れを『知れり』と答へて、己を欺き、人を欺き、以て君を擁護するの道を得たりと爲す。何んぞ夫れ其說の淺薄なる。是れ實に論語を講ずる者の深く注意せざる可からざる所ならずや。

我が先師服部芙蓉先生は博學洽聞の人なりき。經史百家の書を獵涉して頗る討究する所あり。殊に『孔子は聖人に非らず』と斷定して其の論ずる所詳且つ嚴なるものありたり。論語を講じて陳司敗の章に至れば即ち謂へり。

陳の司敗、昭公を以て問と爲すと雖も、其實は孔子を咎むる也。夫れ三十にして娶るは周の禮なり。然るに孔子は十九にして娶る。是れ禮を知らざるの甚しき者なり。司敗、『昭公禮を知る乎』と謂へる第一箭に續きて、『足下も亦た禮を知る乎』と謂へる第二箭を放ち、以て孔子の頂門を射らんとす。孔子素より之れを覺れり。故に枉げて『昭公知レ禮』と答へて退き、以て其の第二箭を避けたり。司敗後に巫馬期に向つて――君取二於吳一。爲二同姓一。謂二之吳孟子一。君而知レ禮。孰不レ知レ禮。――と謂ひし裏面には――孔子十九而娶。非レ禮也。孔子而知レ禮。孰不レ知レ禮――と謂ふの意を含めるや必然なり。巫馬期の之れを告ぐるに及んで――丘也幸。苟有レ過。人必知レ之――と謂つて一時を糊塗す。夫れ一時は之れを糊塗するを得ん。千萬歲の後、我輩の如き者あり。焉んぞ能く之れを糊塗するを得ん。

既に芙蓉先生をして孔子の態度を疑はしむる斯の如き者あり。吾議る當年孔子を怪しむ者獨り我が芙蓉先生のみに非らざる也。陳の司敗の之れを責むること彼の如く急にして、孔子の敗るゝこと彼の如きは何ぞや。

孔子にして果して天下を達親し、人道に徹底すること遠なる者ならんには、司敗の論鋒を避けて其席を退くの失態を爲さず。儼然として左の如く答ふるあらば果して何如。

昭公禮を犯して同姓を娶れり。然れども禮に同姓を娶らずと謂へるは、周公の時に於て必要ありしのみ。今や然らず。昭公又た何の咎むる所か之れ有らむ。

司敗更に第二箭を放ちて「足下も亦た禮を知れりや」と問はゝ、又た何の憚かる所有らむ。儼然として唯た

三十にして娶るは古制のみ。今や然らず。

と謂はんのみ。

孔子、陳の司敗に答ふること、實に斯の如くなりしならんには、是れ實に同姓結婚解禁の先驅を爲すもの、蓋し魯の昭公の名譽と道德とを擁護するに於て最も完全なる方法なりしならざる可からず。唯單に魯の昭公を擁護するのみならず、曲禮に於ける空文を破棄し、以て正確に倫理の尊嚴を保つの道を立つるを得べく、所謂救世の一大闡提にして天下後世を利益すること蓋し幾何なりしやを知る能はず。孔子實に此擧に出づ可き時と所に在りながら、遂に此の擧に出づることを爲さず。己を欺き、人を欺き、一時を糊塗して以て責を萬世に免かれんとす。是れ果して聖人たる者の態度と謂ふを得べき乎。吾人芙蓉先生の說に服せざらんと欲するも、豈に夫れ之れを得んや。

同姓不婚の禮法は周公の時に於て或は必要なりしならん。然れども平王東遷の後に至つては、既に全く解禁の必要ありし也。孔子此理に徹底する能はず。漫に古代の禮法を研究して之れを其の當時に利用せんとせ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しのみならず、尙ほ之を以て範を天下後世に垂んとす。後世の學者も亦た孔子其の之れを誤れるを知らず、徒に曲禮の空文を尊重し、毫も社會の進歩に應ずるの道を知らざらんとす。腐儒の天下を誤らんとする甚しと謂ふ可し。豈に獨り婚姻問題に於てのみならんや。

八 結論

同姓結婚は既に禮制に於ても解禁せざる可からざりし也。帝國民法を臺灣に施行するに於て復た何の支障か之れ有らむ。同姓結婚は殊に復た法律上の問題に非らざる也。周公以還の禮制を墨守し同姓を娶らざるに於て、復た何の支障か之れ有らむ。除外例を設けずして帝國民法を臺灣に施行するを可とする臺灣總督府評議會の決議は、臺灣人の斷じて憂慮すべき所に非らざる也。

嗚呼、周公孔子の道に惑溺し、而して周公孔子の道、既に復た改竄を要する所あるを知らず。妄に古典に執着して、現代の文明に反抗せんとする者は抑も誰ぞ。腐儒の天下を誤る夫れ甚しと謂ふ可き也。

■享樂的設備に徹底せる歐米

歐米に於ける享樂的方面の設備萬端は實に至れり盡せりで、一たび其の味を嘗めたものは家も忘れ國も忘れ、將た歸るをも忘ると言ひたい程で、何と言つて可いか、形容の言辭も無いやうな徹底的なものであるには實に驚かざるを得ない。また眞面目な社會的施設もなか〳〵盛んなもので、醫藥衞生方面の施設なども非常に進歩して居て、我國などは迚も之に比較も出來ない程度である。云々とは最近歸朝の某氏の談なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國では酒責めに逢つた

新歸朝の 倉岡彥助氏の御話

「倉岡も禁酒國のアメリカへ行つたら好物の酒が飲めなくて困るだらう」と同情して下さつた御仁もあつたが、實際は米國では酒責めに逢つて弱つた位であつた。ソリヤどういふ譯つて、禁酒國には違ひないが、其の道を以てすれば決して飲めない譯では無い．現に飲酒家や又は酒で儲けやうとした人達は、禁酒令の施行される前にチャーンと買ひ込んで置いたのがある．又た日本人の中にも夫々巧い方法を以て貯へて居るものが尠くない。丁度私が桑港へ着いた時分、同縣人で彼地に在る者が私の爲に歡迎會を開いて吳れたが、其の家に行つて見ると酒が實に豐富なので、驚いて其の故を訊くと、「マーこつちへ來て見ろ」といふので、行つて見るとウイスキーでもビールでも澤山貯へてあり、ビール日本酒などは其家で造つて居るには驚き入つた。夫れから又たロスアンゼルスでは、獨逸醫學大博士なる看板を掲げて醫院を開いて居る或る元氣な男に逢つたが、其家でも醫療用といふ譯でウヰスキー、葡萄酒其他種々の酒類を澤山貯藏して居た。其の男の又た友人の、彼地で顏役と云つたやうな男であつたが、私に是非來て吳れと言ふので、自働車で一緒に其の家へ行つて御馳走になつたが、其所の地下室と云うやうな所には、夫れこそウヰスキーを初め各種の酒を非常に澤山貯藏してある、中でも驚いたのは、例の日本酒の古酒で、其の味と來たら臺灣などでは迚も、內地でも容易に得られぬやうなのを實に潤澤に所藏して居たことであつた。勿論在米邦人の此の如き態度は甚だ宜しくないが、マア斯ういふ譯で紐育でもシカゴでも又た華盛頓でも飲まうと思へば酒に不自由に無いので、酒好きの我輩は最初の內こそ自分でも心配して居たが、終には酒成金にでもなつた考で、知己を天涯萬里の海外に得たやうに感じた譯であつた。夫れでも酒々と酒責めに逢はされたには實際弱つた位である。

夫れで米國に於ける禁酒の取締方はドンな風であるかといふに、至つて寬大なもので、赤い顏をして街路を步行いて居つたからとて、追跡して犯禁の源動地を探索するといふやうな事はない。ソコが米國民の大きな所であらう。只だ禁酒令が國法として相當有效的に施行されれば可い、といつた風であるには、轉た其の大國的な襟度を想ひ知つた譯であつた然らば禁酒令の效果はドンなものかと云ふに、一般から言ふと矢張り相當に好結果を奏して、國民の生活は種々の點に於て改良せられ、勞働者などにも自働車を買ひ込んで、休日などは家族携帶で遊山に出掛けるといふやうな酒以外の方面に趣味を轉じたといふ傾向も見られるので、其の社會及經濟に及ぼす效績は決して尠少であるまいと思はれる。

アメリカ計りでは無い、英吉利でも、又た獨逸でも禁酒こそ仕ないが、酒を飮む時間を規定し、晝は何時から何時迄、又た夜は何時から何時迄、としてあるので、時間外に於て或は徹夜的に飮む、といふやうなことは最早や現代の趨向で無いといふことが明かに看取された。（屯山）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査研究

臺灣水利組合令に就て

内務局市街庄課調

臺灣水利組合令は大正十年十二月二十八日律令第十號を以て公布せられたるが左に本令と現行埤圳諸法規との適用上に於ける差異に關し所見を述べんに

一、現行法に依る水利團體は灌漑、排水（通達に依ることは叙上の如し）の外目的とすることを能はざりしが本水利組合令第一條に依り水害豫防を目的とする組合を組織することを得るに至りたるは是れ臺灣の地形は一萬數千尺の中央山脈の南北に縦貫するあり爲に一般河川は急流にして洪水の氾濫止まる所なく從て流心變轉し一定する所なし故に國土保全上國費を以て河川の整理は行はれつゝあるも財源に限りあるを以て遺憾の點尠からざるを補ひ且つ各自の生命財産の自衛上よりするも將又灌漑排水區域内の土地及工作物の保護上より見るも必要なる規定と謂はざる可らず

二、現行法に依るときは埤圳新設の認可を受けたるものは勿論既設の埤圳と雖も行政官廳に於て必要と認めたるときは之に對し公共埤圳たるの認定を爲す然るときは其の利害關係人は是非共公共埤圳規則に支配せらるゝ埤圳維持團體を組織せざる可らざるの義務を生したるものなるも本令に依れば本令の支配を受くる團體を組織すると否とは一に埤圳關係人の任意なり尚組合の廢止、合併又は分割等に付ても亦同樣に認めたり且つ本令第四條に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は水利組合を設置せむとするときは組合員たるべき者の總數の二分の一以上其の區域となる土地の總面積の三分の二以上に當る土地を所有する者を含むもの、同意を要することを規定し以て民意を尊重せり是等は共に法の一進步と謂ふを得べきも動もすれば水利組合設置の任意なること及び第四條の手續の煩なることは反りて本令に依る水利組合設置を妨くるやの虞あり當事者は宜しく留意するの要あるべし

三、本令第三條の組合員となり得べき資格者に付ての規定中臺灣總督の指定する其の區域內の土地主產物を原料とする製造業者を加へたるは現行埤圳諸法規の不備を補ひ埤圳諸法規の統一的に規定するにありたると且つ大面積の土地に於て原料を採取する製糖業者をも組合員とし輪換作に

總督府廳舍の壁畫（爪哇バイテンゾルグ植物園內の池潭と鬼蓮及睡蓮）

伴ふ甘蔗採取計畫又は其の費用分擔等を爲さしめ以て一面に於て權利を與へ反面に於て義務を負はしむるの要あるに依る而して廣く製造業者となしたるは從來埤圳を多く利用したる製糖業者に於けるが如き埤圳經營上密接の關係を有するものを生したるときに備ふるにあり以上の如きは製造業者としては組合費を負擔せざる可からざる不利ある如くなるも否らず即ち若し組合費の全部を業主等のみに賦課せば漸次佃人に轉嫁し其結果は其の土地より產出する原料の生產費を嵩むるの原因を爲し勢ひ之を採取する製造業者に對し賣價に於て轉嫁せざる可らざること、なるか將又其原料耕作を不引合に陷らしめ遂に之を耕作する者なきに至り原料採取に不安定の結果を生すべし斯の如く深く攻究するに於ては本條規定の當を得たるを知るべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、現行法にては組合の管理者は原則として其の組合會に於て選出し公共の利益を保全する等の特種の必要ある場合に始めて知事又は廳長が職權を以て管理者を指定するか或は自ら之を管理し得るの規定なりしが本令には第八條に於て水利組合に組合長を置き知事又は廳長（第四十一條の場合は總督）之を命することを規定せり故に如何なる場合にも行政官廳に於て之れを命するものとし知事又は廳長が自ら組合長となるの規定なきに至る又從來の組合會議は議決機關なりしが本令第十二條に水利組合に評議會を置き評議會は組合長の諮問機關たることを明定せり是何れも一見時勢に逆行するが如き觀あるも前段は內地の水利組合令に定むるものと同樣にして將來內地に於ける水利組合管理の如く管理せしむる場合に便なるべく又後段は本島現時の狀態が斯かる公共團體に議決機關を認むるの期に達し居らざることに因るべし例へ若し之を認むるも何等益なく寧ろ事業遂行上支障を來すの弊ありし既往に於ける實例に鑑みたるものと謂ふべし

五、現行法には退職、死亡給與金其の他諸給與に關する規定なく隨て埤圳吏員優遇の途なかりし爲め人才を登用すること能はざりしを以て本令は第十八條を以て之を優遇し得る途を開きたり

六、本令第二十條の二項には水害豫防を目的とする組合又は灌漑排水及び水害豫防を目的とする組合は其の區域內に居住する組合員に非ざる者に夫役を賦課し得ることを規定せり是れ水害防禦行爲は本令第三條に依り組合員となるべき資格卽ち其の區域內の土地又は家屋其の他の工作物を所有する者及臺灣總督の指定する其の區域內の典主又は土地の主產物を原料とする製造業者に非ざる者と雖も其の區域內に居住するときは其の者の生命及本令第三條に示さゝる財產等をも保護する行爲なるを以て組合員以外の者へも夫役を賦課し得ることを本條に規定したるは至當と謂ふべし尙灌漑排水及水害豫防を目的とする組合にありては灌漑又は排水のみの爲にする場合に於ても之を賦課し得るやと云ふに本令には灌漑又は排水のみを目的とする組合に之を認めたる規定なきより觀るも斯る場合は之が賦課を許さざるものと謂はざる可らず

七、從來公共埤圳水租及費用の徵收は行政官廳に於

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て必要ありと認め之を徴收し權利者に下付する場合の外各埤圳團體は街庄長、會計役又は區長等を囑託となし置き此者に托して徴收し來りたるも本令第二十三條に依れば是等徴收を地方公共團體に囑託することを得る旨明定し以て徴收上の便利を與へられたり

八、現行法には組合費、夫役現品其の他の賦課徴收を受けたる者之を違法又は不當と認めたる場合に於て異議の申立を爲し得る規定なかりしが本令第二十四條には之を規定したるは一進歩と云ふべし

九、現行法には經費の繰越使用又は繼續費を認めさりしに依り繼續事業の年制額使用殘又は一箇年度内に終るべき工事が事故の爲其の年度内に終らざるとき其の經費は全部翌年度の歳入に繰入然る後追加豫算の手續により更に豫算へ計上使用するが如き煩を要したるも本令第三十條及三十一條の規定に依り此の弊を除去し得べし

一〇、本會第三十九條に認可を受くべき事件に付て認可申請の趣旨に反せずと認むる範圍内に於て更正認可を爲し得ることを規定しあるも現行法には之を認めさりし爲斯る場合に一々照復をなしたるに依り徒らに時間と勞力及費用等を要し爲に動もすれば機を失するの弊ありたるを一除したり

一一、現行法に依る公共埤圳聯合會は各公共埤圳團體の管理者が其の事務を共同處理せんが爲め總督の許可を得て設置したるものにして法人格を有せざりしが本令第四十二條に依る水利組合聯合會は其の趣を異にし二以上の水利組合が共同事業を爲す必要ある場合に設くるものにして法人格を有す此の種の聯合會は將來比較的水害豫防事業等を爲す場合に於て多からんと思料せらる

現行法と本令との差異大略以上の通にして要するに時勢の要求に順應せしむべく水害豫防組合又は共同事業の爲にする水利組合聯合會の設置を認め或は現行法の缺陷を補ひ將來官設埤圳及公共埤圳に關する諸法令は之を廢止し一の法則の下に準據統一し知事廳長は全く監督の地位に置き可成地方的に管理せしめ民意を尊重し且つ事業の性質に鑑み便宜と實益とを與へ以て水利事業を秩序的に發達せしめむとするにあり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安平港及運河

臺南州調査

一　安平港概況

安平港は臺南市の西方に在り港内水極めて淺く唯港口附近の水面は干潮面以下六尺乃至八尺の水深（水深ハ最大干潮面ヲ零點トス以下皆之ニ傚フ）を保ち戎克船小蒸汽船等の碇泊に適す港口は幅約九十間水深二十二尺に達するも港口より外洋に出づる所に海岸に並行して淺き部分あり年に依り多少の異動を免れざるも概ね干潮面以下四尺乃至六尺の水深を有す而して港口外二浬に至れば水深二十六尺乃至三十尺に達し多數汽船の錨地たることを得（明治四十二年臺灣總督府告示第百三十七號指定）港外に於ける潮流は滿潮時には南東より北西に流れ干潮時には北西より南東に向ふ流速は滿潮最大一浬五五八干潮最大一浬一三四一箇年最大干滿の差は四尺なり降雨は毎年五月より九月に至る間に多く爾餘の月は甚だ稀なり風は毎年六月より八月に至る間は南又は南東風にして九月より五月に至る間は主として北風なりとす

（備考）安平導標に關する明治四十二年告示第百三十七號（告示中著樹とあるは安平稅關支署長官舍構内に在る大榕樹を指す）「臺南廳下安平港に於て錨地を指示せんが爲め左の白色三角標（高各二十尺）を建設し之を安平導標と稱す

A　著樹を距る前方七鏈五なる沙堆上に一基

B　四草湖庄舊砲臺の側に一基

C　B標を距る南方三鏈三に一基

著樹及A標を通ずる線（海上より測定せる磁針方位北七三度東B C二標を通ずる線（海上より測定せる磁針方位北十二度東）との交叉點附近は二千噸以下の船舶に對し良好なる錨地とす」（著樹は大正八年告示第百二號を以て安平燈臺に改む）

二　安平港勢一斑

安平港は臺南市の門戶にして往時は主として對岸との戎克貿易港なりしも近時は寧ろ内地との汽船貿易港として相當の地位を有するに至れり即領臺後同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

港の移入は漸次輸入に代りて盛況を呈し今や安平港は基隆高雄の兩港に次ぎ本島主要の移入貿易港たり反之移出は高雄築港工事の進捗に伴ひ米糖其他南部臺灣の主產物は專ら高雄を經由するに至りしを以て移入に比すれば左迄のことなきも安平港が本島に於ける內地移出鹽の最も主要なる積出港たるは世間周知の事に屬す而して對岸貿易に關しては大正六年七月以降高雄廣東線の蘇州丸が安平港に於ける貨物の積卸を廢止し唯旅客のみを上陸せしめ次で翌七年十一月以降全く安平寄港を廢止して高雄に直行するに至りしと雖（但し高雄經由臺南連絡のものは便宜安平稅關臺南出張所に於て取扱ふ）戎克貿易に至りては毫も衰兆を示さず近年に於ては寧ろ振興の傾向に在るもの、如し尙又沿岸貿易に關しては正確なる統計を缺くも最近に於て大正八年四月以降臺灣沿岸線（西線）の安平寄港廢止と大

總督府廳舍の壁畫　（ヤツプ島の石貨さ土人、石貨は一村の共有に係るあり、戰敗の賠償等にも充てらる）

正八、九兩年に於ける製鹽業不振に基く帆船其他の出入減少に依り多少の打擊を免れざる模樣なるも最近十年間を通じて每年安平港に廻送せらる、北門布袋の製鹽は約二萬噸に上るを以て之を安平港移輸出入貨物六萬噸に加算せば已に八萬噸に達すべく更に大正十年より生產せらる、安平新鹽田の製鹽其他再製煎熬及粉碎洗滌鹽等の移出を見積るに於ては安平港今後一箇年間の呑吐貨物は優に十萬噸に達するものと觀測するを得んか

因に現今安平寄港の定期航路は商船會社の横濱高雄線の一線あるのみなるも最近大正七年迄は高雄廣東線同八年迄は臺灣沿岸線の廻航ありしこと前述の如し尙水陸連絡設備としては臺灣軌道株式會社の經營に係る四湦の復線軌道ありて安平稅關前より臺南驛に連絡し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居れり又安平には税關商船會社等官私有倉庫を合せて二十三棟二重橋には商船會社の倉庫一棟あり

安平港貿易額

年別＼種別	移出	移入	輸出	輸入	計
大正元年	円 七一三、五〇九	円 八、四四七、三四八	円 五〇三、二九七	円 一、四六五、三六〇	円 一二、一一七、九一四
同 二年	一、六六三、〇八五	七、三四六、八三四	三三九、八二五	一、一五〇、一六九	一〇、四九九、九一三
同 三年	一、三七二、〇六二	六、三七一、〇〇五	三四五、八一四	八二三、三四七	八、九一二、二二八
同 四年	一、七一五、六三一	五、九〇二、八五九	二八一、七二七	七六七、九七六	八、六六八、一九三
同 五年	一、二三五、四九九	六、二八三、六六二	四二九、七八四	七六一、七三八	八、七一〇、六八三
同 六年	一、三六六、七二四	四、九七五、九〇六	三八六、四四九	五三一、九三七	七、二六〇、六一三
同 七年	六四三、八〇六	三、五三九、七五〇	四五九、一五三 (一七一、五七〇)	九四五、八四四 (三六四、六五〇)	五、五八八、五五三 (五三六、二二〇)
同 八年	二、三五九、三〇一	六、二六四、二四七	二三七、〇一八 (六八、九〇八)	一、九六五、〇四四 (六四六、九四五)	八、六九五、六一〇 (七一五、八五三)
同 九年	三五五、二〇一	八、六六一、五八一	八〇、〇九五 (三九、六八九)	二、三〇四、一四七 (一、〇七三、七九三)	一一、四〇一、〇三三 (一、一〇三、四八二)
同 十年(上半期)	一、〇二二	四、一九九、五四二	三六、四六九 (一、二四二)	一、〇五九、九七四 (五三〇、八五八)	五、二九七、〇〇七 (五三二、一〇〇)

(備考) 右安平港貿易額中には朝鮮との貿易額を算入せす大正七年以降輸出入貿易額中には南支那定期航路船蘇州丸等に依り高雄を經由して臺南に連絡するもの(安平税關臺南出張所取扱分)を包含するか故に特に之を(　)内に揭記す

安平港出入貨物

年別＼種別	移出	移入	輸出	輸入	計
大正元年	噸 —	噸 —	噸 三、四一〇	噸 二五、七八八	噸 二九、一九八
同 二年	—	—	二、〇七七	一七、八三八	一九、九一五
同 三年	—	—	二、八六五	一三、四五一	一六、三一六
同 四年	—	—	四、二七四	一三、一四七	一七、四二一
同 五年	—	—	四、四一八	五、七二四	一〇、一四二
同 六年	—	—	四、二六〇	五、九九二	一〇、二五二
同 七年	(後半期) 一五、九一六	(後半期) 八、四三三	三、二七五	六、五一二	三四、一三四
同 八年	二〇、九四三	二五、〇三八	一、一四八	一三、四六五	五九、五九四
同 九年	一四、七七二	三七、一二六	四三八	七、八九四	六〇、二三〇
同 十年(上半期)	五九五	二四、〇五三	三五〇	七、七五三	三三、七二九

(備考) 右安平港出入貨物中移出入貨物噸數は大正七年前半期以前は税關に於て調査し居らざる故正確なる數字を揭記するを得す

安平港出入船舶

年別＼種別		汽船 隻數	汽船 噸數	帆船其他 隻數	帆船其他 噸數	計 隻數	計 噸數
大正元年	入	三八一	九六〇、二八六	二、三八九	二二、四二八	二、七七〇	九八一、七一四
	出	三七九	九六二、二〇一	二、三四三	二一、三九七	二、七二二	九八三、五九八
同 二年	入	三七六	九一四、〇五八	一、九四九	一九、二九三	二、三二五	九三三、三五一
	出	三七九	九二〇、四〇四	一、九二八	一八、五四五	二、三〇七	九三八、九四九
同 三年	入	三五九	八九三、九七二	一、五〇二	一五、八四一	一、八六一	九〇九、八一三
	出	三五九	八九三、九七二	一、五三八	一四、八二四	一、八九七	九〇八、七九六

年別		西洋形帆船 隻數	西洋形帆船 噸數	支那形船 隻數	支那形船 噸數	計 隻數	計 噸數
同四年	入	三五一	九〇二、三六〇	一、四八四	二五、二八〇	一、八三五	九二七、六四〇
	出	三五〇	八八〇、一九九	一、四七四	一五、四〇九	一、八二四	八九五、六〇八
同五年	入	三一三	七二三、〇八二	一、六五三	四、一四八	一、九六六	七二七、二三〇
	出	三二八	七二六、三〇二	一、五一二	四、四二二	一、八四〇	七三〇、七二四
同六年	入	二六六	五六二、六一四	一、九七二	一六、七八八	二、二三八	五八〇、四一二
	出	二六八	五六五、二九三	二、〇九四	一九、七七七	二、三六二	五八五、〇七〇
同七年	入	一九五	四〇六、五二九	二、六〇〇	二六、七一三	二、七九五	四三三、二四二
	出	一九五	四〇六、五二九	二、六三七	二六、九四七	二、八三二	四三三、四七六
同八年	入	一一三	二三八、六五四	一、五一六	一七、〇二九	一、六二八	二五五、六八三
	出	一一一	二三七、二一三	一、五一二	一七、六二八	一、六二三	二五四、八四一
同九年	入	八三	一九八、一七六	一、一七〇	一五、八八四	一、二五三	二一四、〇六〇
	出	八四	一九三、五八二	一、一五三	一六、一八六	一、二三七	二〇九、七六八
同十年（上前期）	入	六四	一一八、七八四	六〇七	一〇、九〇八	六七一	一二九、六九二
	出	六四	一一八、七八四	五九九	一一、一六九	六六三	一二九、九五三

安平港輸出入帆船其他

年別 ＼ 種別		西洋形帆船 隻數	西洋形帆船 噸數	支那形船 隻數	支那形船 噸數	計 隻數	計 噸數
大正元年	入	—	—	八九	二、八〇五	八九	二、八〇五
	出	—	—	八五	二、六三六	八五	二、六三六
同二年	入	—	—	七三	二、四一五	七三	二、四一五
	出	—	—	七二	二、三八一	七二	二、三八一
同三年	入	—	—	七〇	二、四四一	七〇	二、四四一
	出	—	—	七二	二、四九〇	七二	二、四九〇
同四年	入	一	一五九	七五	二、四七六	七六	二、六三五
	出	一	一五九	七二	二、三九九	七三	二、五五八
同五年	入	—	—	一一五	三、七八〇	一一五	三、七八〇
	出	一	七五	一一三	三、六〇六	一一四	三、六八一
同六年	入	—	—	一一三	三、五〇一	一一三	三、五〇一
	出	—	—	一一三	三、四四四	一一三	三、四四四
同七年	入	—	—	一六九	六、二八六	一六九	六、二八六
	出	—	—	一七五	六、三三八	一七五	六、三三八
同八年	入	六	五六四	一八六	六、六二〇	一九二	七、一八四
	出	六	五六四	一九二	六、二九五	一九八	六、八五九
同九年	入	五	一、〇八九	一四三	七、〇六二	一四八	八、一五一
	出	四	九七八	一三八	七、〇九七	一四二	八、〇七五
同十年（上半期）	入	一〇	三、〇七二	六五	二、八二八	七五	五、九〇〇
	出	一〇	三、〇七二	七〇	三、二三八	八〇	六、三一〇

三　安平港荷役現況

安平港の錨地は港外二浬の地點に在るが故に汽船は港外荷役に屬し小蒸汽船に曳かれたる艀船（十五噸乃至二十五噸積の圓平船）又は帆に依る支那形船（戎克船又は十二、三噸積の不熏(ブツトン)）を以て艀船取りをなし港口より稅關前に通ずる澪筋に依り安平に至り至急を要するものは稅關前より臺南驛に通ずる私設軌道に依り輸送し一般貨物は更に小型の支那形船（手梯(シウテイ)と稱する四、五噸の艀船）に積換へ滿潮時に臺南安平間の運河を利用して市內二重橋に陸揚するものとす（船積の場合は反對作業を行ふ）然れども港內澪筋は雨期後は勿論其の前後に於ても降雨多き時は埋沒して小蒸汽船の航行すら困難なること尠からず斯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かる場合には港口附近に於て艀船の積換を行はざるべからざる不便あり而して對岸貿易に從事する戎克船は相當大型のものありて通常港口附近に碇泊し之より艀船取りをなして稅關前又は二重橋に至るものとす

玆に安平港の荷役力を調査するに安平港外は冬季は差したる風波なきも夏季は相當波浪高きことありて殊に七、八、九の三月中六七十日間は天候に依り荷役全く不可能なること尠からず現在安平港內交通用船舶の隻數は小蒸汽船一、發動機船一、艀船一三、戎克船一二、不燕(アットン)二二、手梯(ツウテイ)五七、杉板(サンパン)五、竹筏一二なるが(本調査は大正十年三月一日現在のものにして此の外臺南には手梯一八杉板一あり)小蒸汽船一隻にて一日四回の艀船取りと其の間二回の支那形船に依る艀荷役に依り一日平均六百噸を荷役するは容易の業なるも天候其他の事情に依り一年を通じて安平港荷役力を査定すれば大正八年三〇八噸六同九年三三〇噸五同十年(上半期)三一五噸五と云ふ數字を得たり(各汽船の積卸積込總噸數を各汽船の入港より出港迄の總碇泊日數にて除したる商)而して最近同港一日の荷役力中最好成績のものを擧げれば大正八年中に於て大阪商船株式會社所屬不動丸の積卸二三〇噸積込二、〇七二噸同社所屬チヨイサン丸積込一、七二八噸日本郵船株式會社所屬杭州丸の積卸一、〇八二噸大正九年中に於て大阪商船株式會社所屬八雲丸の積卸九七〇噸積込八噸同社所屬御室丸の積卸八七〇屯積込四六噸同社所屬チヨイサン丸の積卸二二八噸積込二、〇三一噸大正十年(上半期)中に於て社外船武州丸の積卸一二九二噸同第十七萬榮丸の積卸九五八噸等あり

次に現行荷役賃を調査するに郵商船會社の安平陸揚賃は容積取品一噸に付二圓重量取品一噸に付二圓四十錢にして安平二重橋間は更に五十錢乃至六十錢の增賃を要す試に之を高雄經由臺南連絡の運賃と比較すれば連絡貨物運賃は容積取品一噸に付四圓重量取品一噸に付四圓二十錢なるが故に臺南二重橋揚のものと雖尙且一噸に付一圓二十錢乃至一圓五十錢の低率に在りとす

因に臺南安平間軌道現下の運賃は臺車一臺六百斤に付安平臺南驛間七十錢(一噸に付一圓七十五錢)安平城邊街間五十三錢(一噸に一圓三十二錢五厘)なり尙軌道一日の運搬力は一臺一日十回積量六千斤現在

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺車四十臺を使用するものとせば二十四萬斤（百六十噸）なるが最近大正十年上半期分にて百三十九萬四千八百斤（九百二十九噸八）なりと言へば其の利用の程度も推知するに難からざるべし

四　安平港浚渫工事沿革大要

安平港は明治三十五年頃迄は港外に碇泊せる本船より戎克船に依り僅に貨客の陸揚をなし得たりしも三十六年八月六十年來未曾有の大洪水の爲曾文鹽水兩溪氾濫して沿岸を缺潰したる餘勢遂に港内澪筋を埋沒するに至れり斯くて同年十二月安平駐在英國領事エ、イ、ワイルマル氏は同地在留ペイン商會の陳情書を添へ舟路浚渫の急務を訴ふる所あり爾來安平港浚渫の儀漸く喧しくなれり已にして三十七年十二月總督府より安平港澪及運河測量費として二千五百圓の配賦ありしかば當時の山形廳長は之を以て安平港附近全部の測量を了し三十八年三月其の設計方法を土木局に依賴せり當時の設計に依れば港口より市内南勢街（永樂町一丁目邊の舊街名）迄幅十五間深六尺の運河を開鑿し更に南勢街に於て幅三十間長六十間の岸壁船溜を築造せんとするものにして其の豫算額は二十萬圓なりしも財源に窮し其の儘立消えの姿となれり次で三十九年十月山形廳長は更に安平港浚渫の急務に關し詳細調査書並に豫算書を添へ稟申する所あり越へて四十年一月總督府より浚渫船新造費として七萬二千五百圓を配賦せられしかば直に右浚渫船新造方を大阪鐵工所基隆分工場に命じ三月十九日起工四月三十日竣工し成功丸と命名せり而して浚渫費は明治四十年度分より臺南廳管内の營業者に對する特別賦課に待つこととし同年度より浚渫工事を開始することゝせり之れ卽安平港浚渫工事の起源なり今各年度別工費及浚渫土坪を表示すれば左の如し

年度	工費（圓）	浚渫土坪（立坪）
明治四十年度	一七一七五、二六〇	四、五〇六
同　四十一年度	一三、一六〇、七六〇	一、四〇〇
同　四十二年度	二〇、八二七、九九〇	二、二五〇
同　四十三年度	二三、九九九、一六〇	三、九〇〇
同　四十四年度	二三、九九八、三七〇	四、八〇〇
大正　元年度	二五、九九七、六〇〇	五、二八〇
同　二年度	二六、九九六、六一〇	五、二五〇
同　三年度	二六、九六九、四三〇	三、三五〇
同　四年度	二一、九九七、八四〇	四、八六〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

同	五年度	一四、九八九、二八〇	一、八六〇
同	六年度	一六、九九一、一九〇	一、九〇〇
同	七年度	一九、四九六、六八〇	四、四〇四
同	八年度	二三、七五一、一六〇	三、六〇〇
同	九年度	二六、九九八、四〇〇	四、二五二

（備考）右工費は支出額にして豫算額にあらず尙工費中には俸給諸給、運轉費、器具機械費、工事費及雜費を包含す

本工事の計畫は稅關前荷揚場より港口に通ずる澪筋延長約一哩の間を幅五間乃至十間水深干潮面以下四尺乃至五尺に浚渫し常時間斷なく小蒸汽船及戎克船の航行に支障なからしめんとするに在り而して其の浚渫より得たる土砂は木製土砂受船に依り之を指定地に運搬埋立をなしたり卽稅關前の埋立地（幅五十間長二百三十間）及之に沿ひ澪筋の向側に築造せる堤防（上幅十五間長二百七十六間高さ七尺）は其の成果なり之が爲鹽水溪及臺南安平間の運河より流出する水勢は自働的に港內澪筋を浚渫し得て相當效果の認むべきものあり尙本工事に附隨して臺南安平間運河浚渫の義起り臺南商工組合長其他市民代表者の請願もありて大正五年一月臺南廳は右運河浚渫費豫算配賦方を總督府に稟申せることあり斯くて大正五年度に於て二重橋より下流延長八百間幅五間水深二尺の浚渫を施行し年々運河浚渫費を揭上する所ありて稍々艀船の通航も自由となれり

五　安平港價値概要

安平港は本島西部海岸の砂濱に發達せる瀉の一種なる安平港灣の一部に位し港口の南北一帶の地は各幅百間以上高さ六尺乃至八尺の砂嘴相連れり而して該港灣は之を大別すれば安平前湖狀の入江と鹽埕前袋狀の入江となすことを得べく此の兩者に於ける海潮吞吐の作用に依り自ら港口の水深を維持し居れるが殊に其の港口の位置が多年大體に於て一定不變の狀態に在るは寧ろ珍とすべく且港外は曾て何等の人工を加へざるにも拘らず其の最も淺き所に於て四尺乃至六尺の水深を保持し居れるは實に安平港の特徵なり唯恨むらくは每年雨期に際し鹽水溪の土砂氾濫して港內澪筋を埋沒し去るが故に浚渫工事を施行するにあらざれば一定の水深を保持して舟行に便なる能はざるなり從つて假令港外には良好なる汽船の錨地あり港內にも港口附近には戎克船及艀船の碇泊に適する錨地ありと雖充分なる效果を發揮することを得ず且該港灣內には何所にも適當の避難所なきが故に夏季暴風期に至れば汽船は遠く五十二浬を隔つる澎湖島に避難するを常とし小蒸汽船及艀船は辛うじて稅關前荷揚場附近に避難し來るも戎克船に至りては僅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に陸地附近に進航繫留するの外なきなり又臺南安平間の運河は之を陸上の軌道に比すれば運賃並に荷揚の點に於て利得する所多きが故に大正五年七月大阪商船會社に於て其の荷捌所を運河の終點なる二重橋に新設せし以來運河の利用は益々繁きを加へしと雖如何せん該運河は臺南市內より放出する大部の土砂の爲埋沒を免る丶能はず其の最も淺き所は年々干潮面以下二尺に浚渫するも雨期後に至れば復々水深一尺にも足らざる狀態となり滿潮時を利用するにあらざれば艀船の通航全然不可能なり要するに安平港及臺南安平間の運河は前述の如く年々浚渫工事を施行するにあらざれば舟行甚だ不自由なりと雖安平前湖狀の入江と鹽埕前袋狀とを適當に保存するに於ては現在の安平港口を利用して吃水六尺以下の船舶を常時安全に出入せしむることを得るが故に他に適當の舟路を發見し且臺南市內に通ずる運河を開鑿すると同時に相當の船溜を築造し兼て避難所たらしむるを得ば蓋し安平港の價値を增進すること尠少ならざるべし

六　新運河計畫並設計大要

安平前湖狀の入江は年々鹽水溪の土砂氾濫し雨期後は勿論其の前後に於ても降雨多き時は港內澪筋を埋沒するに至ると雖翻つて港口より鹽埕前袋狀の入江に通ずる鯤鯓水路（上鯤鯓下鯤鯓間の水路）は何等の人工を施さゞるも二尺乃至八尺（平均四尺）の水深を有し殊に水路の入口にて平素警察分署並に商船會社所屬小蒸汽船の錨地附近は十數年來六尺以上の水深を維持し居れり仍て新運河の計畫は右錨地附近より臺南安平道の南側に沿ひ市內田町に至り安平と臺南との二箇所に船溜を築造せんとするに在り今其の設計の大要を左に記さん

（一）新運河は全長二千二百二十八間敷幅四十間の間を上幅二十間底幅十五間兩側は二割の法さし干潮面以下六尺在來地盤より平均八尺に堀鑿し其の南側には干潮面上九尺の高さに上幅三間の堤防を築造し其の臺南安平道に接續せる所は在來道路地盤より二尺の埋立を行ひ運河兩側面は充分搗き固めの上水際法先きに蛭木を植ゑ波動及築堤の破壞を防く

（二）運河入口より約四百五十間の所に六千六百面坪の安平船溜を築造し水深は運河さ同樣干潮面以下六尺さし其の北岸に沿ひ延長二百五十間の土留棚を築造して戎克船小蒸汽船發動機船等の碇繫に便ならしむ

（三）安平船溜より稅關前運河に連絡せしむる爲延長百八十五間の間を上幅十間底幅七間水深六尺に堀鑿し其の兩側に沿ひ土留棚を築造して淺吃水船の出入に便ならしむるさ共に在來の水陸連絡設備を利用することを得しむ

（四）運河の終點には幅五十間長二百間並に幅二十五間長百五十六間の臺南船溜を運河さ同樣水深六尺に堀鑿し其の東岸に沿ひ延長六百六十間の石垣を築造して戎克船小蒸汽船發動機船等の碇繫に便ならしむ而して之ご同時に船溜に沿ひ六千六百面坪の荷揚場埋立並に繫船設備を行ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七　新運河價値概要

安平港は港外荷役に屬し且夏季暴風期には荷役全く不可能の場合尠からざるにも拘らず南部臺灣消費の一大中心地なる臺南市の門戸たる關係上高雄經由のものに比すれば運賃時間竝に荷揚の點に於て利益あるが故に臺南の荷主は可成的安平揚を希望するの情あり然らば新運河の開鑿に依り小蒸汽船及艀船は滿潮干潮の嫌なく常時運河を上下することを得べく且對岸竝に沿岸の戎克船も亦自由に運河を使用するに於ては之が爲安平港の利用は必ずや昔日に倍從するに至らん今試に新運河の效用を列擧すれば概ね左の如し

（一）戎克船小蒸汽船及艀船は港口附近又は稅關荷揚場前にて貨物積換を爲す必要なく直に新運河に依り安平又は臺南市内へ進航し得べく從つて荷傷濡損減少し且荷役時間及運賃を節約することを得

（二）夏季暴風期には戎克船小蒸汽船其他の淺吃水船に對して良好の避難所を得らるべく從つて人命船舶貨物等の危險を減少することを得

（三）澎湖島竝に沿海の漁獲物は發動汽船に依り直路臺南魚市場に搬入することを得べく從つて將來安平港を漁港として發達せしむることを得

（四）北門布袋の製鹽を運搬する戎克船は從來よりも一層安全に安平港に出入するに至るべく若し又運河に沿ひて格納倉庫を建設すれば從來の如く製鹽を港口附近に野積し置く必要なかるべく從つて製鹽業地としての安平竝に內地移出鹽積出港としての安平港を一層發達せしむることを得

（五）新運河の開鑿に依り水陸連絡の利便愈々加はるに連れ普通雜貨は勿論木材石炭其他各種の原料品の搬入も增加するに至るべく從つて臺南市は益々商業地として繁榮に赴くのみならず近き將來に於て工業地として相當發達を爲すことを得

其他新運河の終點たる田町附近一帶の養魚池は本工事と同時に掘鑿土に依り埋立を行ふことゝなり同地附近一帶を忽ち繁華なる商業地と化せしむることを得若し夫れ安平揚と高雄經由臺南連絡貨物との運賃を比較すれば容積取品に於て一噸に付一圓五十錢重量取品に於て一噸に付一圓二十錢の差額あるが故に高雄に於ける倉敷料を加算して平均一噸に付一圓六十七錢の差額（連絡貨物の五分一は二十日間一日一噸に付八錢の倉敷料を仕拂ふものと見做す）あるものとし天候其他の都合に依り高雄經由臺南連絡貨物を一箇年約二萬噸（高雄經由臺南移入貨物一萬六千噸蘇州丸其他に依る高雄經由臺南輸入貨物三千噸其他荷主の都合に依り一旦高雄揚とし後臺南へ移入貨物前二者の二割即三千八百噸）と見做す時は現に一箇年に付運賃のみにて三萬三千餘圓の損失となるなり斯くして連絡貨物が增加すればする程運賃高の爲臺南の物價は益々高率とならざるを得ざる次第なり勿論新運河の開鑿のみにて連絡貨物の全部が直に臺南に陸揚せらるゝものにあらずと雖如上貨物の中には當然臺南に陸揚し得るものも相當多額に上るならん亦以て新運河の本市經濟界に及ぼす影響決して鮮少ならざるを察知すべきなり　（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

内地臺灣對照魚貝名

殖産局水産課調査

内地名	宜蘭	基隆	臺北	新竹	臺中	臺南	高雄	東港	澎湖島
くぢら 鯨	海(ハイ)翁(アン)	同上	鯨(キエン)魚(ヒイ)	海(ハイ)翁(アン)	同上	同上	同上	同上	鯨(ケン)魚(フウ)
いるか 海豚	海(ハイ)鼠(チイ)	烏(オオ)餓(ゴオ)	海(ハイ)猪(キイ)母(プー)	海(ハイ)猪(キイ)	海(ハイ)豚(チイ)	同上	海(ハイ)猪(チイ)	同上	同上
すつぽん 鼈	鼈(ピイ)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
うみがめ [illegible]龜	海(ハイ)龜(クウ)	海(ハイ)[illegible](ピーア)[illegible](ピーア)	[illegible](チウ)			[illegible](ピアー)	大(トア)龜(クウ)	同上	龜(クウ)
しゆもくざめ 丁形鮫	双(シアン)果(コエ)	双(シアン)冠(コエ)鯊(ソア)	双(シャン)髻(ケエ)	双(シャン)髻(ケイ)魚(ヒイ)	魚(ヒイ)双(シアン)過(ケエ)沙(ソア)	魚(シャン)双(コエ)過(ソア)	双(シャン)過(コエ)	双(シャン)過(コエ)	
ふか 鱶	沙(ソア)仔(アア)	鯊(ソア)魚(ヒイ)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
あかえひ 赤鱏	赤(チヤ)魴(ハン)魚(ヒイ)	魴(ハーン)魚(ヒイ)	同上	同上	方(ハン)魚(ヒイ)	同上	土(トオ)魴(ハン) 黄(ウン)魴(ハン)	同上 同上	
すゞき 鱸		鱸(ロイ)魚(ヒイ)	同上	同上	同上	同上	金(キム)白(パク)鱸(ロオ)	同上	(ライ)(メア)鱸(ロオ)魚(フウ)
あら [illegible]		鱠(コエ)仔(ア)魚(ヒイ)	[illegible](ケエー)魚(ヒイ)	同上	過(ケエ)魚(ヒイ)	朱(ソウ)過(コエ)魚(ヒイ)	土(トホ)過(コア)	同上	
いさき		佳(ケコ)仔(ア)魚(ヒイ)	佳(ケエ)魚(ヒイ)		黄(ン)翼(シツ)		黄(ン)奎(ケエ)		
いさより 糸撚鯛		金(キム)線(ソア)魚(ヒイ)	金(キム)線(ソア)	鰍(チウ)鮎(リアム)	金(キム)線(ソア)	秋(チウ)姑(コオ)魚(ヒイ)	紅(アン)魚(ヒイ)	同上	紅(アン)姑(コウ)魚(フウ)
めばる [illegible]		大(トア)目(バ)[illegible](クロオ)	(トン)(チヤンク)	[illegible](コエ)魚(ヒイ)	刺(チイ)過(ケエ)	岩(ガム)空(コシ)			烏(オオ)[illegible](ニヤウ)
くろだい 黒鯛		烏(オイ)格(ケエ)	烏(オオ)毛(ムン)	加(カア)鱲(チイ)		烏(オオ)格(ケエ)	打(バア)鱲(チイ)[illegible](ロオ)	同上	加(ケエ)鱲(チイ)

こち	鯒		牛尾	同上	牛尾魚	同上	同上	牛尾	同上	同上
かながしら	火魚		角魚	角仔魚	圭公	角仔魚	奚角	奎角	同上	大角
くちびたい	口美鯛		龍尖	同上	龍鮎	同上	龍尖	龍占	同上	同上
たい	鯛	加納魚	加納	加[illegible]	加納魚	瓜[illegible]	[illegible]魚	加納	同上	同上
ほうぼう	魴鮄		角魚虎	[illegible]			奚角頭			
きす	鱚	沙丈	沙[illegible]	鯊梭	同上	沙丈	同上	沙長	沙丈	同上
あまだい	方頭魚	馬頭魚	馬頭	同上	馬頭魚	馬頭	馬頭魚	吧[illegible]	馬頭	同上
にべ	鮸	鮸魚	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
いしもち	石首魚		春[illegible]	[illegible]	有頭	石郎魚	石[illegible]	石[illegible]仔	石[illegible]	同上
かます	魣	金梭	金鮻	尖鮻	金鮻	同上	鮻仔	梭仔	同上	同上
たちうを	太刀魚	白帶魚	同上	白魚	同上	白帶魚	白刀魚	白魚	同上	[illegible]刀魚
さば	鯖	白腹	花[illegible]	同上	花身	花[illegible]	軟串	花[illegible]	同上	土托
かつを	鰹	烟仔	[illegible][illegible]	花[illegible]烟[illegible]	花烟仔	悼[illegible]	煙仔魚	煙仔	煙仔魚	[illegible]仔
そうだがつを	惣田鰹		[illegible]仔魚	烟仔魚	煙仔	鉛仔	火烟魚	同上	同上	[illegible]仔
しび	鮪	紅串	[illegible]	串仔魚	串仔	串仔魚	同上	[illegible]仔	[illegible]串	長[illegible]
さはら	鰆	土托	犀齒	同上	活腹	潤北	白腹	馬加	土托	[illegible]
まながつを	魴	鯧仔	紅鯋	鯧魚	白鯧	同上	白鯧魚	烏鯧	同上	[illegible]魚
丸さはら	丸鰆		竹筒		土托	同上	土托魚	土托	石喉	土托

內地名		臺灣名								
		宜蘭	基隆	臺北	新竹	臺中	臺南	高雄	東港	澎湖島
さごし			白腹仔、馬加	白腹	同上	同上	馬加魚	竹櫛	同上	白腹
あぢ	鰺	鐵甲	目孔	同上	鐵甲	吧弄	過仔魚	過仔	過仔	鐵甲
しいら	鱰		飛烏虎		剝頭刀	肥柄		鬼頭刀	同上	同上
むろあぢ	鰘鰺	䰾鯽	四破	同上	紅蛙魚	目孔	牛港過仔			
ぶり	鰤		青鰔、釘挽	同上	同上	青鰔魚		青鰔	同上	同上
かぢき	旗魚	旗魚	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
はぜ	沙魚		海魴	海鱺	鱺魚	海戾	岩仔魚	鱺魚	海蠣	
ぼら	鯔	烏魚	烏仔魚	烏仔	塵仔魚	烏魚	同上	同上	同上	同上
しらす			鮊仔魚、白鮊	鮊仔魚	同上	鮊仔		同上	同上	
ひらめ	鮃		扁魚	蛟狗		咬甘	加孔魚	鯿魚	同上	
かれひ	鰈	扁魚	瀨鞋魚	扁魚	同上	同上	同上	蛟狗	加另孔	扁魚
したびらめ	牛舌魚	牛舌魚	同上	塔西	西魚	脫西	脫西魚	龍舌	同上	牛舌魚
なまづ	鯰		鯰	同上	鯤魚	同上	鯰	鯰仔	土虱	
ゑそ	狗母魚		狗母鮻	狗母鮻	九母魚	九母	九母魚	狗母	同上	同上
あゆ	鮎	鱖魚	鱖魚	同上	杰魚	鮚魚	蝎魚	國姓魚		

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とびうを	飛魚	飛(ベエ)烏(オオ)	飛(ボエ)烏(オオ)	同上	飛(ボエ)烏(オオ)魚(ヒイ)	飛(ベエ)烏(オオ)	飛(ボエ)烏(オオ)魚(ヒイ)	飛(ボエ)烏(オオ)	飛(ボエ)烏(トオ)魚(ヒイ)	飛(ベエ)烏(トオ)
どぢやう	泥鰌		魚(ヒイ)鰍(リウ)、鬍(ホオ)鰍(リン)	魚(ヒイ)鰍(リウ)	鬍(ホオ)鰍(リウ)	同上	呼(ホオ)鰍(リウ)	鯸(ホオ)鰍(リウ)	狐(ホオ)鰍(リウ)	
ふな	鮒	鯽(チツ)	鯽(チツ)魚(ヒイ)	鯽(チツ)仔(アア)	鯽(チツ)魚(ヒイ)	鯽(チツ)仔(ア)	同上	同上	鯽(トクラア)	
こひ	鯉	鮘(タイ)	鮘(タイ)魚(ヒイ)	鮘(タイ)魚(ヒイ)	同上	代(タイ)魚(ヒイ)	鮘(タイ)魚(ヒイ)	鮘(タイ)仔(ア)	同上	
ひごひ	緋鯉		紅(アン)鯉	紅(アン)代(タイ)	紅(アン)代(タイ)魚(ヒイ)	紅(アン)代(タイ)	紅(アン)鮘(タイ)仔(アー)	同上	同上	
このしろ	鰶		烈(ラツ)魚(ヒイ)	油(イウ)魚(ヒイ)	黃(ン)魚(ヒイ)	同上	土(トオ)黃(ウン)魚(ヒイ)	柄(ピア)[illegible](ピエス)	土(トオ)黃(ン)	油(イウ)魚(フウ)
いわし	鰮	苦(コオ)蚵(オオ)	鰮(ウーヌ)魚(ヒイ)		竹(チエク)葉(ヒ)鰮(オウヌ)	鰮(ウヌ)仔(アア)	鰮(ウヌア)	鯊(シヤ)仔(ワア)、鯤(ウンナー)	同上	同上
うるめいわし	潤目鰮		奧(サウ)肉(バ)、圓(チエ)眼(ガン)仔(ナア)	奧(サウ)肉(バウ)	奧(サウ)肉(バア)魚(ヒイ)	肉(バア)鰮(ウン)仔(ナア)	肉(バア)鰮(ウン)	奧(サウ)肉(バア)鰮(ウヌ)	同上	鰮
きびなご	[illegible]		若(コオ)飼(オオ)、烏(オウ)骨(クツ)鯢(ヤロ)		鯢(ジヤウ)魚(ヒイ)	豆(タウ)仔(ア)魚(ヒイ)		針(チヤム)嘴(フイ)鰮(ウヌ)	同上	
ひら			青(ヒエ)鱗(ラース)、海(ハイ)鰆(タイ)		刀(トオ)魚(ヒイ)		同上	青[illegible]	同上	
うなぎ	鰻	鰻(モア)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
あなご	海鰻		海(ハイ)鰻(モア)	同上		芝(チイ)鰻(モア)	白(ペエ)鰻(モア)	海(ハイ)鰻(モア)	同上	同上
はも	鱧		虎(ホオ)鰻(モア)	同上	海(ハイ)鰻(モア)	虎(ホオ)鰻(モア)	海(ハイ)鰻(モア)	虎(ホオ)鰻(モア)	同上	
かははぎ	皮剝魚		琵(キー)琶(ペエ)魚(ヒイ)	琵(ペエ)琶(ペエ)	澤(チエク)魚(ヒイ)	鰆(バシ)魚(ヒイ)		澤(チエク)婆(ポア)		同上
ふぐ	河豚		鮐(タイ)魚(ヒイ)、吸(キブ)鳳(ホン)魚(ヒイ)	鮐(タイ)魚(ヒイ)	同上	同上	鬼(タイ)仔(アー)魚(ヒイ)	鮐(タイ)仔(ア)	鬼(タイ)魚(ヒイ)	同上

內地名	臺灣名								
	宜蘭	基隆	臺北	新竹	臺中	臺南	高雄	東港	澎湖島
たこ 章魚 鮹	章(チウ)魚(ヒイ)	石(チオ)鮔(キイ)	石(チオ)貝(クウ)	樟(チウ)魚(ヒイ)	石(チオ)貝(キイ)	石(チオ)舊(クウ)	石(チヨ)貝(キイ)	石(チオ)柿(キイ)	章(チヨン)魚(フウ)
いか 烏賊	小(シオ)管(クン)	墨(バク)賊(サツ)	花(ホエ)枝(キイ)	同上	同上	目(バク)賊(サツ)	同上	同上	同上
するめ 柔魚		柔(シユウ)魚(ヒイ)	小(シヨ)管(クレ)	軟(スン)時(レイ)	同上	柔(シウ)魚(ヒイ)	同上		同上
たからがひ 寶介		番(ホヮン)婆(ポオ)螺(レエ) 猪(チイ)公(コン)螺(レエ)							螺(レエ)
さざゑ 蠑螺		刺(ナー)螺(レエ)	蛛(イエン)螺(レエ)			角(カク)螺(レエ)			
だつ		鯖(セエ)鯢(キイ)	同上	水(ツイ)占(チヤム)	鱟(ハウ)魚(ヒイ)		同上	同上	
やくわうがひ 夜光介		白(ベエ)珠(ツウレ)螺(エ)	九(カウ)孔(カン)			提(ソアヌ)螺(レエ)		螺(レエ)	
さこぶし		九(カウ)吼(カン)	章(クヤン)螺(レエ)		九(カウ)吼(カン)				九(カウ)孔(カン)
しほふき 潮吹介		烏(オウ)蛤(ギオ)		赤(チア)翠(ツイ)	竹(チユク)螳(タヌ)			蚡(フヌ)蟯(ギオ)	
はまぐり 蛤	蛤(ギオ)仔(ア)	同上	饒(ギア)仔(ア)	粉(フヌ)蛤(ギイ)	粉(フヌ)蟯(ギオ)	同上	同上	同上	
あさり 淺蜊		粗(ソオ)蛤(ガフ)	油(イウ)魴(ハン)	紅(アン)綠(リエク)蛤(カフ)	花(ホエ)蛤(ギイ)				沙(スア)蛤(ハム)
はいがひ 伏老 灰介				血(フイ)饒(ギイ)	西(サイ)猪(チイ)舌(チイ)	蚶(ハーム)仔(アア)			
たにし 田螺		田(サヌ)螺(レエ)		同上	同上	同上	同上	同上	

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しゞみ	蜆		蜊(ライ)仔(ア)	同上	沙(ソア)泥(レエ)	田(サヌ)涇(ホエ)	蜊(ラア)仔(ア)	蜊(ソア)仔(ア)		
おこやがひ			堅(キア)蚵(オイ)							
かき	牡蠣		蚵(オオ)	蚵(オイ)仔(ア)	蚵(オイ)	蚵(オオ)仔(ア)	同上	同上	同上	蚵(オオ)
いせえび	龍蝦	龍(リエン)蝦(ヘエ)	同上	龍(リエン)魚(ヒイ)	龍(リエン)蝦(ヘエ)	同上	同上	同上	同上	同上
くるまえび	車蝦		斑(バヌ)節(サツ)蝦(ヘエ)	草(チャウ)蝦(ヘエ)	斑(パヌ)札(サツ)蝦(ヘエ)	草(サウ)蝦(ヘエ)	同上	同上	同上	同上
えび	蝦	蝦(ヘエ)	蝦(ヘエ)仔(ア)	蝦(ヘエ)	同上	沙(ソア)蝦(ヘエ)	蝦(ヘア)仔(ア)	同上	沙(ソア)蝦(ヘエ)	溝(カウ)蝦(ヘエ)
かさみ	自呼		蠘(チイ)仔(アー)・蠘(チイ)蟳(チム)					蠘(チイ)仔(アア)		
なまこ	海鼠		海(ハイ)參(シム)	同上	刺(チイ)參(シム)	海(ハイ)參(シム)	同上	猪(チイ)仔(アア)	海(ハイ)鼠(チイ)	海(ハイ)參(シム)
しゃこ	蝦姑		蝦(ヘエ)姑(コオ)	蝦(ヘエ)姑(コウ)頭(タウ)	蝦(ヘエ)姑(コイ)		同上	同上	同上	
さんご	珊瑚		珊(ソアヌ)瑚(ロイ)瑞(スイ)	丹(タン)瑚(ロオ)瑞(スー)	海(ハイ)樹(チウ)	珊(ソアス)瑚(ロイ)	珊(ナス)瑚(ホオ)	兜(シエン)河(ホオ)		丹(タヌ)蘆(ロオ)
うに	海膽・海丹	海(ハイ)膽(タム)	海(ハイ)胆(タム)	同上					海(ハイ)螺(ラ)蟻(ギア)	海(ハイ)膽(タム)
かいめん	海綿		海(ハイ)綿(シイ)	同上	海(ハイ)菜(サイ)	水(ツイ)波(ポオ)布(ポオ)	海(ハイ)綿(シイ)	同上	同上	水(ウイ)藻(ソオ)
てんぐさ	石花菜	石(チオ)花(ホエ)菜(サイ)	同上	石(チオ)花(ホエ)			石(チオ)花(ホエ)	菜(サイ)菜(サイ)	同上	石(チオ)花(ホエ)菜(サイ)
さかのり	鶏冠菜		紅(アン)石(チオ)花(ホエ)・鶏(コエ)冠(ケエ)菜(サイ)						鶏(コエ)冠(ケエ)菜(サイ)	同上
ひらあち	平鰺				鯧(チウ)耳(ニイ)			牛(グウ)港(カン)爪(コイ)	同上	

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

芭蕉の葉蔭

――下村海南博士の歌集――

屯山生

昨夏、下村前長官の掛冠せる頃、世人は一様に氏を評して、世界の大勢を達觀せる人とか輪廓の大きいとか、或は光風霽月の心事とかいふ類のことを言うて居つた。それは全くさうに違ひないのである。が、私は當時下村氏は尙ほ其の外に「詩人的情熱を有する人」では無いかと思うて居た。そして夫れに類する世評の出て來ないのを慊たらず思うて居たのであつた。

それは、政治的にも、社會的にも、又た文學的にも、隨時隨所に氏の言説が、詩人的熱情を有する如く觀測された爲に、私は竊か思うた譯であつたが、今回氏の新著「芭蕉の葉蔭」なる歌集を寄せらるゝの光榮を得るに及んで私は今更の如く、案を拍つて「是ある哉」と呼ばざるを得なかつた。勿論、其の書中の歌は、今迄に斷片的に聞いたものも少くは無い。が今其の詩情豊麗たる三百餘首の纏まつたものを讀みもて行くと、下村氏が前長官時代に於ける氣骨風格は、おのづから楮表に浮み出づるのであつて、氏を以て「詩人的情熱を有する人」と爲せし私の觀測の誤らなかつたことを肯定せしむるに足るのである。

私は歌人では無い。かじるである。歌を嗜る位の所である。故に本書の歌に對して巧拙の批評を爲すが如きは全く職權外のことである。それでも素人眼に直覺的に感じた所は聊か無いでも無い。其の邊で……今迄あまり多く聞かなかつたやうな此の書中の歌の二三に就て言うて見ると

たゞに見れば靜かにもあるか君います和歌の浦曲の波の上の月（細川侯を訪ふ）

おのこわれおもふ事多し大信濃淺間の山をまなかひにして

の如きは丈夫兒の深慨を禁じ得ざる底のものではあるまいか。それから

鐵砧の山島のごと大安の溪海のごと日は暮らへり

嵐おこる三絃の嶺に紙のごと吹き分けられて雲ちぎれ飛ぶ

のやうな、たまらなく激勁なのもあり、さうかと思へば又た

潮來出島眞菰分け〳〵行く舟の日傘かすみてにほへる夕日

京の雨爪彈きの音と鐘の音とかたみに通ふ旅の小窓に

など〻風流謝安の兄弟分のやうなことを言うたのもある。斯ういふ風に氏の歌は、どの方面にも自由自在に其の詩情を發揮して居る。

扨て此の歌集は、本著の序文にある如く、佐々木信綱うしの勸奬に成り、竹柏會の叢書の一つとして發行されたものであるが、博士が始めて歌といふものを詠んだのは、其の自序及跋文にもある通り、夫人が竹柏園の門下であつた所から、或る年、病中の氏は徒然の餘り、夫人の持つて居られた竹柏會の册子「心の花」を橫取りして繙讀したのに起因する、といふことである。併し今此の著を通覽すると、氏の歌才、特に其の詩人的情熱が全篇に溢れて居るので、それは全く以て氏の天眞であつたのであると、いふことが出來やうと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布哇の教育及人種問題と日本人（上）

ホノルル、「スター、ブレチン」誌主筆リレー、エッチ、アレン氏述
米國評論の評論十二月號掲載
州立臺北商業學校助教授　智念昌永譯

一

一、布哇領内にて出生せる小兒十人中六人は東洋人系統なり。

一、右小兒十人中五人は日本人なり。

一、布哇群島の普通住民（陸海軍人に對して）二五九、三〇〇人中一一四、八七九人（四四％）は日本人なり。

一、支那人二三、三七八人、比律賓人二三、九七一人、朝鮮人五、三二七人を算し、是等を總計して一六六、五五五人即ち六四％となる。

一、アメリカ系、イギリス系、ドイツ系及びロシヤ系の人口は三七、四〇九人にして、全人口（陸海軍人一六、五〇〇人を除き）二七五、八八四人の一四、四％に過ぎず。

布哇の大問題とする所は此の五項の内に含まる、ものにして、是れ實に東西兩洋の殆んど中間に位する此米領土の有らゆる生活狀態に影響する問題なるのみならず、社會・經濟的、宗教・教育的、文化・政治的の一問題なり。

本論の目的は布哇に於ける教育上の實際事實と教育的問題の梗概を本誌讀者に示すにあれども、此事實と問題とは主として人種の複雜なる狀態に因をなすものなれば、各人種の移住、混合及び其發展をも論及するを要す。

故に余は先づ此の懸隔せる米領に於ける有らゆる生活より國民教育に至る迄大なる複雜なる情勢を誘起せる人種情態の概略を說き、次に教育が斯の如く複雜なる人種を有するに拘らず、平和の發達を遂げしめ、亦米領中他に比を見ざるが如き米國市民の養成に、如何に大なる貢獻をなせるかを敍述せんと欲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。

一八五二年迄は布哇人口の大部分は土着の布哇人之を占め、其人種的差異も餘り著しからざりしも、「保護移民」てふ計畫の實施せられて今日に至れる結果、遂に今日見るが如き著しき變化を齎すに至れり。此保護移民に就いては玆に詳述するを得ざるも、要するに米人、スカンヂナヴィヤ人、葡萄牙人、西班牙人、露西亞人、ガリシャ人及び其他の歐洲人、又日本人、支那人、朝鮮人、比律賓人、ポートリコ人各種の南洋人（ポリネシヤ人）が耕作勞働を目的として大小種々の群をなして、布哇に渡來し來れるに在り。

政府の「保護移民」及び個人企業家の盡力に依らずして入國せる日本移民の數實に夥しくして、彼等は「紳士協約」協定前、勞銀の高率なると生活の安定なるを傳へ聞き、之に憧れ、群をなして渡來せるものなり。之れ布哇の殖産工業を盛んならしめん爲め各農耕地に於て「保護移民」制度を開始すると共に、布哇に於ける生活狀態の極めて安固なりてふ噂の廣く日本全國に喧傳されたるが故なり。

布哇人口の最近の統計（一九二一年六月三十日迄の衛生局調査に係る領内人口）は次の如し。

米、英、獨、露國人	二七、四〇九	支那人	二三、五七八
比律賓人	二三、九七一	布哇人	二一、九〇七
日本人	一一四、八七九	朝鮮人	五、五二七
亞細亞系布哇人	六、四九九	コーカサス系布哇人	一一、五四八
葡國人	二六、二六七	ポートリコ人	五、四九一
西班牙人	八四八	其他	五八〇

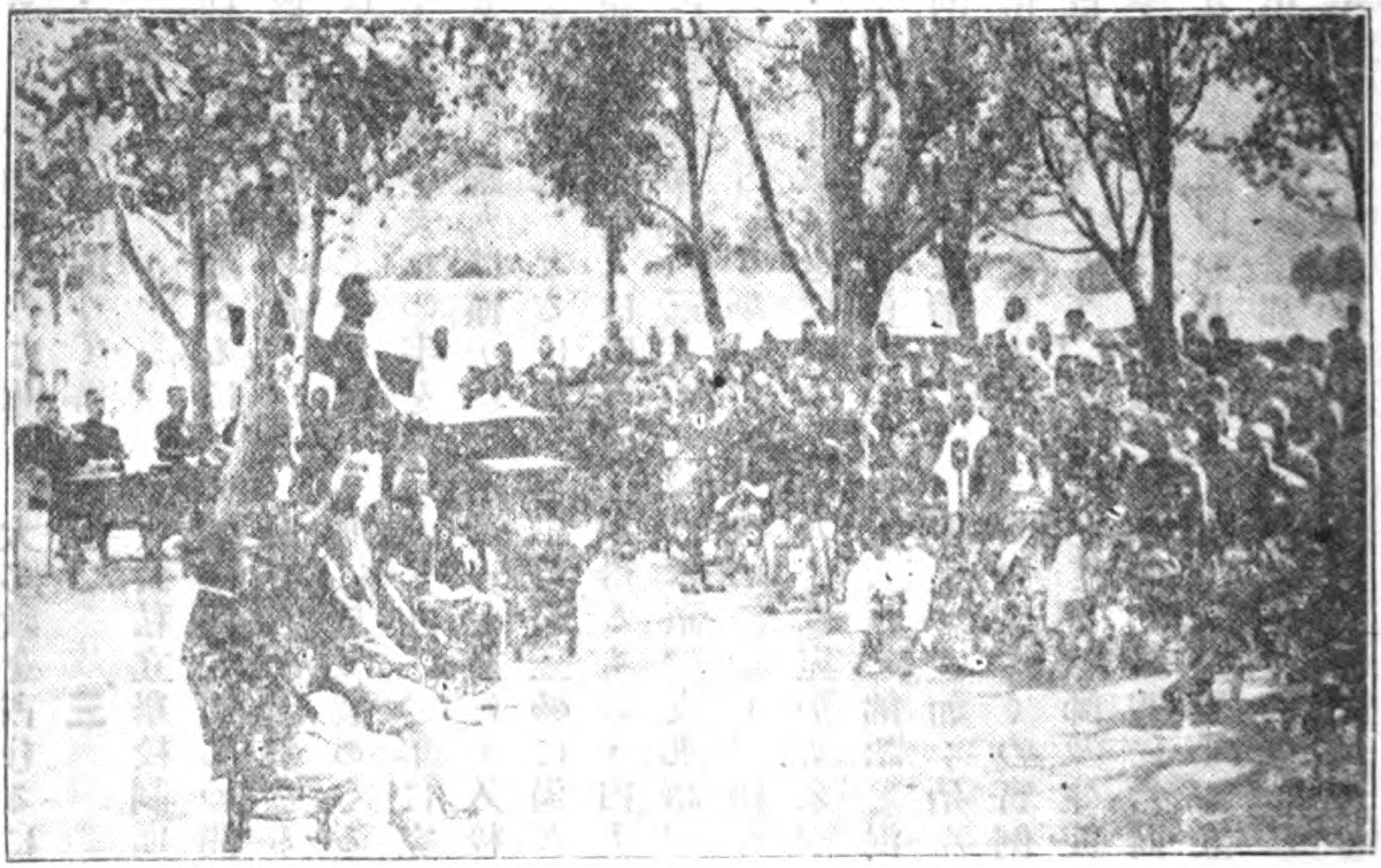
上記統計は實際以上に市民權を有せざる者の割合を大きく示し居れるが、布哇にて出生せる外國人の小兒は米國市民なり。前記衛生局統計は生來の人種を示せるものにて市民權を有するものを示せるに非ざるが故に表中の支那人、日本人、朝鮮人中には出生と共に市民權を有するもの多し。布哇は自發的に合衆國に併合し、布哇人は同時に完全なる市民權を享有せるものなれば、彼等は完全なる米國市民なる事勿論なり。ラテン系移民は市民權を得る資格を有し、直ちに同化し終れり。

されど此處に市民權を享有し得ざる東洋人特に日本人は驚くべき數に上り、而して此市民權を享有し得ざるてふ一事は實に本問題の一主因にして、此處に之を論ずる能はざるも、唯布哇の難問題を一層紛糾せしめたり、即ち是等東洋人の同化を阻止し、彼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等をして布哇在住は一時的のものにて、何時かは小兒と共に本國に歸還すべしとの感じを抱かしめたり。

是に於て布哇住民中の非米國人及非布哇人の數の優勢なるを以て直ちに東洋人其他の「侵入」(實際言葉の意味の)の結果に非らざる事を斷言し得布哇の歷史を一瞥せば現在の狀態には由つて來る二箇の原因あるを知るべし、卽ち一は產業開發上布哇に勞力を要せし事、二は布哇に於て今日到底他に類を見ざる程度に人種許容が發達せることとなり。數千の勞働者は遠隔地より誘致されたりと云ふに止まらず、其上一旦布哇に渡來すると共に自己の爲めには產業的及び社會的の好機を、小兒等の爲



東勢郡石岡庄家長會

めには市民權を得る好機を夫れ〴〵見出せる爲め、直ちに同領内に深く永住生活の根據を築き始めたり。

二

日本移民は(一定の特權を有する者を除き)一九〇八年實施の「紳士協約」に依りて入國を禁止せられ、又現在布哇を去る日本人數は入國者より多けれども他の人種の入國數如何に大なりとも、日本移民は數に於て依然第一位を下ることなし。又合衆國本國より如何に多くの移民渡來するとも、布哇に於ける外國人系と米人系との大なる不權衡を均勢せしむること能はず。

人種敎育問題は現に布哇學務當局の焦慮しつゝある所なるが、該問題は他國より新た

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる人種の渡來に依り變更せらるゝが如きものに非ずして、現に同領内に動きつゝある勢力に依つて解決すべきものとす。

　多數の東洋移民に依り醸されたる現狀に加ふるに本問題を紛糾せしむるものは彼等の出產率の高く、死亡率の低きことゝす。例へば一九二〇—二一年會計年度に於ける日本人の出產率は群島の夫れの半を占め、千人に對する出產率米、英、獨、露人は僅かに一五•八八人(他の何れの人種よりも低し)なるに日本人は四二•七四人なりき。又亞細亞系布哇人は他の何れの人種にも優り、實に千人に對し七八•六三人の出產なり。東洋人は出產十中六以上を占むるを以て人種として優秀の域に進みつゝあるは數字を俟たずして明白なり。而して二年前學校聯合調查委員會の蒐集せる統計に依れば此人種的優勢が漸次政治上に現れ來れりと。卽ち日本人を兩親として布哇に出生せる小兒は米國市民なる事は旣述の通りにして、一九三〇年迄に是等の市民權を享有して生れたる者は選擧民の約二八%を占め、一九四〇年迄に四七%を占むるに至り、更に毎二十一年毎に其數を倍加するを以て一九四〇年及一九五〇年間に日本人選擧民は大多數を占むるに至るべし。

三

　公私立學校制度に取り最も重大なる問題は白人種と東洋人種との間に言語の大相違あり且つ數に於て東洋人が優勢なることゝに起因することは布哇到る所に於て認めらるゝ所なり。

　一九二〇年に完成せる聯合學校調查に依れば六歲乃至七歲にて入校する小兒中、英語を話し得るもの二乃至三%に過ぎずして、敎師に自己の意思を發表し得るものゝ內大多數は布哇特有の混合語—布哇語日本語、支那語、葡萄牙語及び野鄙なる英語等の混合語にして、紐育又は桑港より新しく渡來せる米國人には宛かも米國西北太平洋岸のチヌーク語(北米土人語と佛語と混合せるもの)か支那沿岸地方の「ピヂン」の如く殆んど意味を解する能はず。

　之は多くの實例の一を示せるものにて、之を以てしても敎師及生徒の立場より見て布哇の普通敎育が如何に難關に當面するやを知るを得べし。又白人及東洋人の親てふ立場より見ても言語、背景、思想、因襲及社會的慣習に於ける逕庭は又重大問題なり。

　過去多年に亙り領內公立學校は常に東洋人の兒童

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にて滿たされ來れるが、群島内東洋人の數の西洋人の夫れに勝れる事益々著しくなり、遂に學校も斯る結果を示すに至れり。一九一九年六月三十日現在聯合學校調査會の調査せる公私立學校生徒數の百分率を示せば左の如し。

東洋人及亞細亞人系	五四・五
日本人	四〇・六
支那人	一〇・三
朝鮮人	一・五
比島人	二・一
ポリネシヤ系	一八・五
布哇人及一部布哇人の血を受くる者	一八・五
羅典系	
葡萄牙人	一四・七
西班牙人	一・二
ポルトリコ人	二・六
米、英、露、獨系	五・五
其他	〇・四

更に本年度入學生徒數を人種別に示せば左の如し。

布哇人	三、四〇〇	一部混血布哇人	四、五〇〇
アングロ、サクソン人	一、二〇〇	西班牙人	一五〇
葡萄牙人	五、二〇〇	ポルトリコ人	一、一〇〇
支那人	三、八〇〇	日本人	二〇、〇〇〇
朝鮮人	七〇〇	比律賓人	一、二〇〇
其他	五〇〇		

四

米人兒童の私立學校に通ふ數は聯合學校調査會統計の示す所なるが、即ち公立學校に在籍する米國兒童は公私立學校總生徒數の二〇・〇八％にして、私立學校に通ふ者は二〇・四四％なり。本年の此割合も略々同樣なり。

公立學校生徒四二、五〇〇人、私立學校生徒僅々七、五〇〇人なるを見ば米國兒童の少數の私立學校に在籍する者の員數は多くの公立學校に在籍するものよりも却つて多きこと明かなり。米人父兄は亞細亞人の多數に通學するが如き學校に已が子弟を入學せしむるを快しとせず、寧ろ出來得るならば例へ高率の月謝其他を支拂ふにしても其子を私立學校に入學せしむ。斯る現象は決して父兄の人種的偏見に出でたるに非ず、又公立學校には支那人、日本人又は朝鮮人の男女生徒數少しと云ふに非ずして、餘り多く是等外國人兒童の在籍する故にして、究竟其數の過多なる爲め、其の混合英語や、因襲的にして往々歡迎し得ざる慣習及び行動の爲め、米人兒童が父兄の好まざる感化を受くるを防ぎ得ざるが爲めなり。

布哇學務當局の一員は曰く『問題は質に非ずして量にあり。感化せられ易き米人子弟は實際學校時代と遊び盛りの時代とに於て、是等外國人兒童の群に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

圍繞せられて、知らず識らずの間に其動作、習慣に感化する事は米人の認むる所なり。東洋人兒童は英語の知識に乏しき不利を有する爲め全學級の進歩を遲々たらしむるのみならず多大の努力を要する爲め勢ひ勤勉なるにも拘らず、教師の努力に應へる爲め英語の單語及び其の實際の意味の缺乏てふ重荷を負ふ。米人子弟は斯る東洋人兒童と步調を一にする爲め、彼等は其進步を阻止せらるゝ事實をも知れり。

故に米國人は公立學校をして「東洋人の守をさせ」自分の子弟は私立學校―入學生を隨意制限し得る―に通學せしめつゝあり。

されど之を以て米人は奮鬪も反對もせず東洋人に降服するものなりと思考すべからずして、此努力と反對とは事實に於て著々と勇敢に進み始めつゝあり學校經營に要する稅金の大部分を支出する米人其他の白人は漸次、自分等は經費の大部分を負擔し居るに拘らず、教育を受くるものは東洋人子弟なるのみに對し反對しつゝあり。

白人は卽ち第一公立學校に於て東洋人の子弟を教育し、第二私立學校にて自分の子弟を教育する爲め二重の負擔を甘受しつゝあるが、之を救濟するには米人子弟を總て公立學校に送りて「米國式」とするにあるも、少數の米人(總數の五%足らず)にて此の方針を取る事の不可能なる事は自明の理なり。

主要都市特にホノルヽに於ては一定の公立學校及び高等學校を指定し白人子弟を入學せしめんとする運動旺んならんとしつゝあるが、斯種の計畫は白人以外の各人種より當然反對せらるゝ事は明白なる事實なるのみならず、又現在の二重教育費負擔に反對する白人よりさへ嫌厭せらるゝ所なり。布哇は未だ曾つて政治、實業、教育又は社會に於て人種上の區別を爲したる事なし。若し色の問題にして公立學校教育に起るに於ては、同群島內の平和に對し如何程危險なる議論の生ずるやも圖られずと云ふべし。

公立學校委員會は先般此の問題に對するに、英語にて特別入學試驗を受け得る生徒の爲め特にホノルヽの一學校を指定せんとせるも、日本人兒童の相變らず著々入學し來る者ありしも阻止せざりき。余の知る所に依れば一日本人幼稚園はホノルヽに設立さられ、最も英語に重きを置きたる爲め、翌年の入學期に際し、幼稚園を卒りたる日本人兒童は、東洋人を排斥し追つては米國人學校たらしめんとする小學

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

校の入學試驗に易々と合格せりと云ふ。此點に對して決して日本人を非難するものなかるべく、寧ろ斯る高級の試驗に合格する樣已が子弟の準備に直接の手段を講せし事の功績を認むべきなり。然し此出來事は米人父兄並ひに學校當局に問題を説明するものなり。

而して尚ほ熟練にして公平なる觀察者が愼重に研究するに於ては東洋人と西洋人との天然の才能は略ゝ相似たるものなる事を知り得べし。之れ即ち小學校時代に於て東洋人の不利となり又全學校制度を傾くる東洋人の背後にある事情なり。（未完）

南洋と煙草

總督官房調査課

我が專賣局製造に係る本邦製莨は夙に滿、鮮、中支地方に輸出され東亞煙草株式會社は之が輸出並に販賣の任に當つて居る、同地方に輸出せられつゝある本邦莨の消費者として屈指せらるゝは、鮮人及び支那人であり。而かも販路は中層級下の鮮人支那人間に根帶を有して居る事は周知の事實であつて敢て贅する要は無い。

惟ふに南洋の民度、滿鮮中支の民度は大體に於て髣髴たる感がある。英領馬來、スマトラ、シャム、佛領印度支那、爪哇、ビルマ地方に散在する支那人の數は非常に多數であるが、日本製莨が滿鮮、中支の市場に於て相當好愛せられつゝあるを見れば又南洋にも絕對不向とは言はれない樣に思はる。殊に奇觀である事は這般歐州戰亂突發に依つて本邦商品は偉大な販路を南洋に開拓し能く商權の伸張を爲し得たが、何故か本邦製莨は何等其の刺激を受くる事無く依然として輸入が試みられなかつた事實である。之に反して其の間南支製莨なり英米國製の煙草は著々として販路を開拓し、需要逐日增加の趨勢を呈せるに到つては日本莨は其の間何を爲して居たか餘り愚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

策ではないかとの誹を免かれ得ないと思ふ。

彼の製品は民間製造に屬し、我れの製品は政府の專賣事業である。從而本邦製莨が海外に旺んに需要され輸出が激增する事は單に貿易上の進展を意味する以外に一面國庫の財源擴張てふ事をも意味する點に想到する事が出來るとすれば一日としても販路擴張に對する研究は忽諸に附する事が出來ない。

是に於てか南洋に於ける煙草の需給情況に就いて聊か敍述する所あらんとするのである。

英領馬來半島の關門とでも稱すべき海峽植民地の煙草輸入は大正八年度に二千五十三萬弗、大正九年度に三千四百八十九萬弗であつて、大正九年中に海峽植民地で消費せられた實際額は概算百五十八萬千封度、其の價格九百五十八萬九千弗である。品種別に就いて言へば刻煙草の消費量は一萬六千封度、二百五十萬七千弗、葉巻煙草八萬八千封度、三十萬八千弗、紙巻煙莨は二百四十八萬五千封度、六百七十七萬四千弗である。

而して供給國は英、支、米の三國獨占の情態にある。

試みに戰亂當初、中頃及び最近の重なる供給國と再輸出先を擧ぐれば次の通りである。

葉巻煙草輸入(單位千封度及千弗以下四捨五入)

輸入先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正七年 金額	大正五年 金額
英領印度及ビルマ	三二〇	二八七	四七九	五四二
香港	一〇	四〇	三、五一九	一、七一九
和蘭	八	四二	四	四一
比利賓	九三	三〇〇	一三一	一一〇
北米合衆國	四	二	五、〇三一	一、三三七
其他	一七	六〇	五、二七九	三、三三〇
合計	四五二	七六〇	一四、四三二	七、〇七九

葉巻煙草輸出(再輸出)(同前)

輸出先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正七年 金額	大正五年 金額
馬來聯邦州	一一六	一四二	二、三四四	一、七五一
英領馬來保護國	六五	九五	一、〇一〇	四七三
スマトラ島	一四一	一三九	二、二七七	七四六
其他	三三	六七	三、六四五	一、六九〇
合計	三九九	四四三	九、二七六	四、七六〇

紙巻煙草輸入(大正九年)(單位同前)
(大正八年前は葉巻煙草中に合算せらる)

輸入先	數量	金額
英本國	六一	三、三二二
香港	一、六四一	二、五九三
支那	五、三〇七	一一、九七〇
北米合衆國	三、〇〇七	八、六八三

エジプト	二四	二四八
其他	一二〇	一六八
合計	一〇、七三〇	二六、三八二

紙巻煙草輸出(大正九年)(再輸出)(單位同前)

(大正八年前は葉卷煙草中に合算せらる)

輸出先	數量	金額
馬來聯邦州	二、三三九	三七〇一
英領馬來保護國	八九七	二、一六六
蘭領ボルネオ	五三三	一、三六四
スマトラ島	二、二一二	五、〇〇七
其他蘭領	九八〇	二、〇八七
暹羅	一、〇一四	二、一九六
其他	三三〇	一、一一五
合計	八、二六五	一九、六〇六

刻煙草輸入(單位ピクル及千弗)

輸入先	大正九年度 數量	大正九年度 金額	大正七年度 數量	大正七年度 金額	大正五年度 金額
英本國	五、五二七	八四八	二、三四七	四二一	九六八
印度及ビルマ	一八、六一七	九七〇	一四、九八四1/2	四一〇	二五〇
香港	二九、五一六	三、八三四	四二、一三三	四、一〇四	二、三七三
和蘭	六三二	一二五	三三五	五九	一七三
支那	二、七七四	二四七	二、七四〇	一八四	一〇四
スマトラ	八、八二三	五八七	九、三九六	五〇〇	九〇五
暹羅	六、四八〇	六三六	八、五八〇	五八二	五二
北米合衆國	一、四四八	四三二	六六三	一〇五	六一
其の他	四、三八〇	二六八	四、一五三	二三八	二九六
合計	七八、二四七	七、七六七	八五、三二九1/2	六、五八五	[illegible]

刻煙草輸出(再輸出)(單位同前)

輸出先	大正九年度 數量	大正九年度 金額	大正七年度 數量	大正七年度 金額	大正五年度 金額
馬來聯邦州	二四、四五一	二、二六二	二三、〇四三	一、七五二	一、三六七
英領馬來保護國	一〇、六九〇	九四四	七、九八五	六八〇	四〇五
スマトラ	五、〇〇一	四四六	七、六五六	七一八	六〇八
サラック	五、〇五二	四〇八	三、五三二	二六二	二五六
比利賓	三三	二	二六	三	九
其の他	一八、一一三	七、九六九	一一、六〇五	九三六	七二八
合計	六三、二八九	一三、〇八一	五三、八三七	四、三四一	[illegible]

更に蘭領爪哇及び其の外領地に輸入せらる煙草類に就て視るに、大正八年度に七千三百四十八萬盾の巨額に達して居る。而かも我が九州大の面積を有する爪哇のみですら大正八年度に千九百五十四萬盾、大正九年には千二百二萬盾を算して同島輸入重要品の第四位を占めて輸入國は和蘭、比律賓、香港、支那等であるが、新嘉坡よりの分は大正八年度四百六十二萬盾にして是は皆再輸出である。爪哇島の輸入品は再輸出せらるゝ場合は極めて稀であつて、殆んど島内需要に當てらるゝ有様であるが、輸入煙草又其の通りで海峽植民地より遥かに八百萬盾を超ゆる消

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

費力がある。今供給國を擧ぐれば次の通りである。

葉卷煙草輸入（單位千斤及び千盾以下四捨五入）

輸入先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正八年 數量	大正八年 金額	大正七年 數量	大正七年 金額
和蘭	一四八	二、五一八	一三五	二、二七〇	二二	三七八
新嘉坡	三	四五	三	四五	五	八二
比利賓	一九	三二七	三〇	五〇四	三五	五九六
其の他	四	六八	五	九四	一二	二〇四
合計	一七四	二、九五八	一七三	二、九二一	七四	一、二六〇

紙卷煙草輸入（同前）

輸入先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正八年 數量	大正八年 金額	大正七年 數量	大正七年 金額
新嘉坡	九四	五九一	二〇六	四一二六	二〇五	四〇九九
香港	三九五	二、五一〇	三三六	六、七二八	一一五	二、三〇九
比利賓	—	—	三	二四八	七	一三六
彼南	—	—	—	—	—	—
エジプト	八七	五五五	四三	八六二	二〇	四〇七
英本國	一八八	一、一九二	七一	一、四二〇	六七	一、三三一
其他	三六九	二、三二三	二八	二、三六二	五〇	九八八
合計	一、一三三	七一七一	七八六	一九、七四六	四六四	九二七

刻煙草輸入（同前）

輸入先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正八年 數量	大正八年 金額	大正七年 數量	大正七年 金額
新嘉坡	三一	七六	二七	四六	三八	四一
和蘭	四〇〇	九八〇	一七七	二九八	六〇	七七
香港	六四	一五七	六九	一一六	一〇四	一一五
支那	二二三	五二三	一七〇	二八七	三二一	三四三
其他	一四	九九	三一	五二	四一	四四
合計	七三二	一、七九四	四七四	七九九	五六四	六二〇

葉卷煙草輸入（同前）

輸入先	大正九年 數量	大正九年 金額	大正八年 數量	大正八年 金額	大正七年 數量	大正七年 金額
和蘭	一五	三三	五	六	—	—
比利賓	三六	五二	四五	五二	八六	一一三
其他	一四	一九	一七	二三	一三	一五
合計	六五	一〇四	六七	八一	九九	一二八

蘭領外領地のスマトラ島は爪哇に次ぐ大消費地である。其の他外領地の消費力とスマトラ島消費力は略々彷彿したる程度である。再輸出は實に寥々たるもので、唯原料としてはスマトラ島より大正八年度に五千七百八十二萬盾の巨額に達せる輸出あり。同島は煙草栽培地として世界で有名な所である。

外領の輸入煙草總額は大正八年度に三千百二十九萬盾餘であつて、其は葉卷煙草百六十萬餘盾、紙卷煙草二千七百二十九萬餘盾、刻及び葉煙草は二百三十八萬餘盾てふ內譯である。供給地は爪哇と同樣で香港和蘭、新嘉坡であるが、新嘉坡、彼南兩港より輸入されたものは再輸出に係るものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の輸入表は次の通りである。(大正九年度統計は未だ入手せず)

葉卷煙草輸入(單位千斤及び千圓以下四捨五入)

輸入先	大正八年度 數量	大正八年度 金額	大正四年度 數量	大正四年度 金額
和蘭	三四	四六九	一〇一	三七七
比利賓	八	一〇七	二	四
其他	六七	一、〇三一	七五	二五五
合計	一〇九	一、六〇七	一七八	六三六

紙卷煙草輸入(單位同前)

輸入先	大正八年度 數量	大正八年度 金額	大正四年度 數量	大正四年度 金額
英本國	八	八二	一三五	三五
新嘉坡	一、二六一	二五、一七六	三二四	一、二九二
香港	七二	一、四二一	一	五
支那	一	五	一	五
エジプト	七	九四	四	一七
比利賓	六	一〇	—	—
北米合衆國	二	三二	二	九
日本	一	五	—	—
其他	三六	四七九	七二	三二五
合計	一、三九五	二七、二九四	五四〇	一、六八九

刻及び葉煙草輸入(單位同前)

輸入先	大正八年度 數量	大正八年度 金額	大正四年度 數量	大正四年度 金額
和蘭	四九五	八五一	一、八〇〇	一、六〇三
支那	四八	八一	一五一	一三六
香港	一九五	三二九	五五	五〇
新嘉坡	五六〇	九五二	一、一〇六	九九六
其他	一三一	一七六	三二九	二九四
合計	一、四三〇	二、三八九	三、四四一	三、〇七六

支那人在留數の多い暹羅には一箇年約三百二十萬銖内外の煙草が輸入されて居る。輸入の大部分は同國領内の消費に當られて居つて、輸出としては一箇年九十四萬銖あるが再輸出品では無く同國産品であるが故に實際の消費額は輸入額三百二十萬銖を超過して居る數字である事は明かである。

同國に對する煙草の供給國は次表の通りである。

葉煙草(大正八年—九年輸入單位萬銖以下切捨)

英國	七	丁抹	二
比利賓	四	其他	四
支那	三	合計	二〇

紙卷煙草(單位同前)

北米合衆國	八六	香港	六六
支那	三四	英吉利	二六
新嘉坡	二六	エジプト	一
其他	—	合計	二四八

刻煙草(同前)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

香港	六一	支那	七
新嘉坡	四	英吉利	三
其他	一	合計	七六

暹羅はスマトラ地方と等しく莨の產地であつて且つ輸入煙草の消費地である。比利賓群島の狀況を觀るに、比利賓群島に輸入せられたる煙草類總額は大正八年度に二百四十六萬比（內輸入手續未濟にて保稅倉庫內にあるもの二十九萬比）であつて北米合衆國よりの輸入總額は百七十一萬比の多きを算して居る尤も比利賓地方の需要嗜好の點に就ては既述の地方とは尠からず相異して居る點が多いから或は日本製煙草の販路としては不適當なるやも計り難い。左記の數字は單に當路者の參考として茲に擧げる。（大正八年輸入）

煙草原料葉（萬比以下切捨）

蘭領東印度	三五	北米合衆國	九
其他	一	合計	四五

紙巻煙草（同前）

北米合衆國	六五
其他	—
合計	六五

捩煙草（Plug）――北米合衆國　九七

其の他の煙草（同前）

北米合衆國	三八	支那	一〇
其他	一	合計	四九

廣義に南洋と云へば印度、濠洲をも含むが兩地方は中部南洋と嗜好の點が非常に相異して居る外に、印度の土人は同地の產品で製せられた粗製の煙草を好愛して用ゐて居るから本邦品を如何に努力するも將來同地方の人士に愛用せしむる事は烏渡望み得ないから此處に說述する事は先づ止めて單に狹義南洋の嗜好、輸入品の種類、輸入關稅に就いて敍述すること、する。

英領馬來及び蘭領地方の土人は馬來民族で且回敎徒が多い。又在留支那人も主に福建人、粵東人（僅かである）汕頭人、厦門人等の南支人であるから地理的關係上兩地方の嗜好、需要の具合は大體に於て似たる點がある。故に以下述ぶる所は主として英領馬來地方に就てゞあるが、蘭領地方にも殆んど同樣の事を言ひ得るのである。又本邦品の販路を主眼とする本稿であるから日本の葉卷、刻莨の如き到底南洋向貿易品たる事能はざるものは可成敍述しない事にする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ英領馬來地方に煙草を供給しつゝある有力な煙草會社名を擧げんに

British American Tobacco Co., Ltd,
Ardath Tabacco Co., Ltd, London
Lambert & Butler, England
Nanyang Brothers Tobacco Co., Cantong
W, D, & H, O, Wills British & London
Westminster Tobacco Co., Ltd England
Alexander Bagutlavsky Ltd,
John Players and Sons, England
the National Commercial Tobacco Co., Ltd,
Shanghai
Craven "A" Ltd, England,

の通りである。而して各製造會社は各自獨特の原料を精選し使用して居る。從つて其の製品も多少の相違はあるが大體相似寄つたものである。各社製品の賣行の良行なる煙草に殊に似寄の點あるを見る。愛用者と其の種類に就ては British American Tobacco Co., Ltd 會社の製造に係る Navy Cut "Capstan" (五十本入一鑵)は需要さるゝ範圍が極めて普偏的である。W D. & H. O Wills 社の製品 Pirate(十本紙包み)の愛用者は支那人、馬來人乃至印度人であつて而かも Capstan の愛用者より一段下層の階級に屬するのである。Lambert & Butler の The Garrick (太卷五十本入丸鑵)の如きは値段も相當高價であるが需要者は殆んど支那人である。Nanyan Brothers 會社の煙草は大概は在南支那人間に愛好されて居る樣であるが勞働者階級にも愛喫されて居る。殊に同社は中國土貨振興と謂ふ旗幟を以て旺んに宣傳し以て需要喚起策を講じて居る。中國上海煙草公司の販賣に係る兩切り煙草も最近輸入を試みられたが製品は先づ南洋兄弟煙草會社製品に彷彿したものであつて前者と同樣振興土貨てふ宣傳の下に販路擴張策を企て居る、一般に同社の製品も先づ支那人中でも中層以下の階級殊に勞働者間には相當な勢力を扶植して居る。

Ardath Tobacco Co., 會社の製造である。State Express Cigaretts 三五印、三九印は當地方では善く賣込んだ煙草であつて汎く愛喫者を有して居る點は充分 Navyent "Capstan" と比肩し得る程度にある其他 Craven "A" Embassy. Gold flake, Piccadilly とか種類は枚擧に遑が無いけれど敍上の需要干繫か

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら南洋人士間には先づ両切煙草が多く愛喫者を有し口付紙巻煙草の需要は全然無いと断言しても恐らく大過はあるまいと思ふ。

英領馬来半島に輸入されて居る紙巻煙草中で日本品質に多少の加減を施したならば或は之と競争し得るかと惟はるゝもの、内最も売行のよいものゝみを列挙して視るに

British American Tobacco Co., Ltd, 製品
Capstain Medium(五十本入丸罐竹パイプ付)卸六〇仙替
Capstain Magnum(同)卸七二仙替
Capstain Mspers Special(同)一弗五〇仙替
W. D, & H, O. Wills 社製品
Gold flake (五十本入丸罐竹パイプ付)卸六十五仙半替
Pirate (同)
Pirate)十本包小函五十個入)卸四弗八〇仙
Three Castle (五十本入丸罐竹パイプ)卸七八仙
Ardath Tobacco Co., Ltd, 製品
Three Dats, silk cut(五十本入丸罐パイプ入)卸六〇仙
State Express Cigeretts No. 555
(五十本入丸罐竹パイプ入)卸九十三仙
State Express Cigeretts No. 999 (同)九十五仙
同 No. 444 (同)卸五十仙
Spelando (同)同七十仙
Westminster Tobacco Co., England
„Recess" No. 44(五十本入丸罐竹パイプ入)同八十五仙
„Avalon" (同)同六十五仙
John Players & Sons England
Navy Cut "Players"(五十本入丸罐竹パイプ付)卸七〇仙
Lambert and Butler England
Garrick (五十本入丸罐竹パイプ無)卸一弗二仙半
Alexander Boguslavsky Ltd England
Piccadilly (五十本入丸罐竹パイプ付)卸八十七仙
Nanyen Brothers Tobacco, Co,
(中國廣東煙草兄弟有限公司製品)
Shon Hee (二十本入一包二十五包入計五百本入一箱) 卸二弗五十仙替
Phesant (同) 同三弗五十仙替
Horse (十本入五十包入箱) 同二弗五十仙替
Aroplan (同) 同二弗八十仙替
Golden Horse 金馬牌(五十本入丸罐)同八十八仙替
Vanpize and Door [illegible](十本入五十包入箱)同三弗七十仙替
Great Wall 大長城(五十本入丸罐)同六十六仙替
China Tobacco Brothers 製品

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Air Ship（十本入五十包入箱 卸三弗九十五仙替）
Craven Ltd, 製品
Craven "A" Cork tipped
（五十本入丸罐）同七十八仙替
中國興業煙草有限公司製品
The National Commercial
Tobacco Co., Ltd,）
Man of War 大戰艦
（十本入五十包入箱）同四弗
Heart 良心（十本入竹パイプ付五十包入）同三弗五〇仙

以上敍述し來た處は極めて簡單ではあるが是にて大體に於て如何なる種類が最も愛喫されて居るか又其の販路の廣き事も略々分ると思ふ。

日本莨の原料や品質、包裝等を如何に改善若くは變更せば南洋に販路を開拓し得べきかと云ふ問題は一つに懸つて專門家の技術的精細な調査や考察に俟つ外

舊臘總督府に擧行せし統計事務會議

はない。唯如上南洋に於ける煙草需要の狀況に依り必ずしも本邦品の同方面に不向にあらざるヒントを與へ得れば筆者の幸とする所である。

惟ふに現在本邦で愛喫されつゝある品質や包裝では其の儘南洋に輸出して販路を開拓する事は勿論困難である事は門外漢にすら容易に考へ得られる。

先づ、バット、リリー乃至スター級の品質包裝に多少研究して嗜好に迎合し得る點迄改良を加へて輸出を試みるなれば可能性は全然無いものと斷ずる事は出來ないであらう。尠くともパイレート級乃至南洋兄弟若しくは中國煙草の製品の程度に出來れば市場開拓は大なる困難事ではあるまいと思ふ。

或は現在支那方面に輸出して居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所切煙草を包裝内容共其の儘として先づ試驗的に輸出して其の結果如何を見る事も一策であらう。南支地方に輸出されて居る本邦煙草も臺灣方面に仕向けられて居る本邦煙草も均しく支那人を得意先として居る以上は南洋にも向かない事はなからうと思はれる。若し夫れ現在支那方面に仕向けられて居る日本煙草に多少品質上の改良を加へ包裝、意匠、圖案の點も南洋人士の嗜好に迎合し得る點迄、改善して輸出を試みるは最善の方策ならんか。

然し何れにしても歐米製造に係る上質品と角逐する事は非常の困難であると謂ふよりも寧ろ不可能に近いから自然南洋兄弟煙草有限公司、中國興業煙草有限公司とか BritishAmerican Tobacco Co., Ltd の製品乃至 Wills 社の Pirate と角逐の外はないと信ぜられる。勿論試賣當初に於ける幾多の困難犧牲は前以て覺悟の必要があるが。煙草の如き嗜好品は其の地方の人士に試喫させる迄の困難が犧牲であつて、一度試喫され嗜好に適合さへすれば習慣的、連續的、愛用性が生ずる、從而價格が多少昂騰しても愛喫してゐる煙草でなければならぬと謂ふ傾向のある商品であるから、試賣當初の困難犧牲は販賣の經過と共に遞減するものである。彼我競爭を豫想せば勢ひ生產費問題、運賃、爲替關係、輸入地の課稅關係から生ずる各般の事情にも考察を廻す必要がある。

第一の生產費問題は本邦は列強と比較すると勞働能率の點から比較的に高價たるを免かれ難いが大規模製產を敢行せば多少は緩和される事は事實である。

第二の運賃問題にしても如上の競爭者から比較すれば稍々不利な地位にある事は明かであるが餘り甚だしい不利で無い以上遣り樣一つにて充分競爭に耐へ得る餘地ありと思はる。

第三の輸入地關稅關係も今日の處では特に本邦品は差別待遇を受けて居らぬ以上競爭に何等の不便は感じないのである。試みに南洋各地の輸入稅率を述ぶれば海峽植民地は煙草重量一封度について九十仙、暹羅では從價三步、蘭領東印度は現在では煙草及び嗅煙草百基瓦について八盾、葉卷及紙卷煙草百基瓦につき五十盾であるが、千九百二十二年五月十八日以降は前者は同率であるが後者の方は百盾となる、英領馬來半島各保護國にも課稅用はあるが各國品とも同率である。

第四に起る問題の爲替關係は歐亂の中頃國際的紛亂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に陥りしも當業者當路者がローカル市價の騰落に臨機應變の處置をなさない限り支障害として視る迄の事もない。要は輸入實價をして可及的に至廉にせしめる事が競爭の第一義である。

上來述べた販路開拓策は勿論簡單に過ぎて居るから自然盡さゞる處も甚だ多い。然し叙上の方策に基き緩急其の宜しきを得て日本煙草をして南洋人士に親ましむる方策を講ずれば必ず相當の效果を擧げ得る事を信ずる。（新嘉坡商品陳列館永井久一郎調査南洋協會報告）

爪哇市場と燐寸

商工課調査

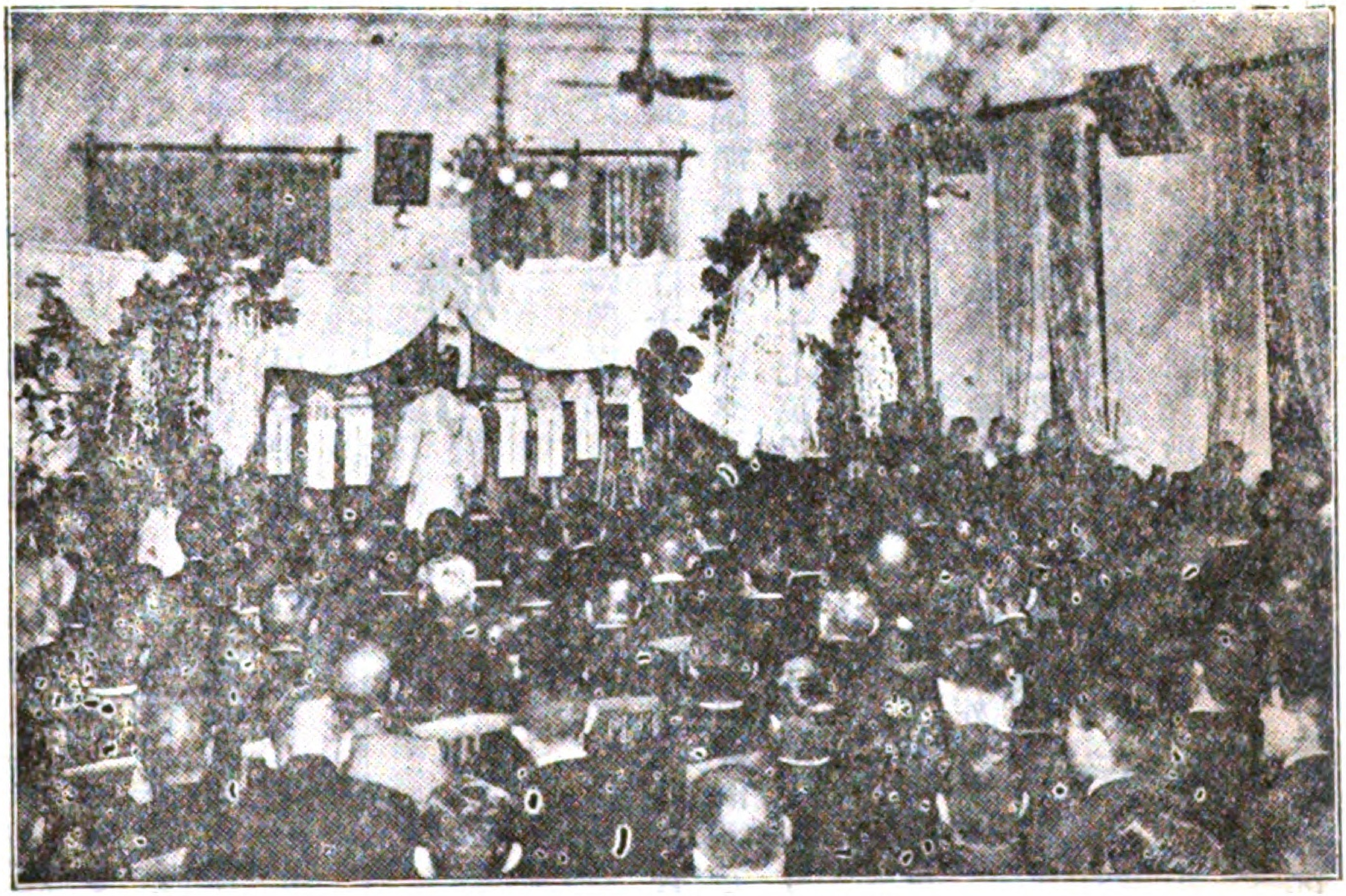
蘭領東印度に輸入せらる、燐寸總額は大正八年度に約六百七萬盾を算し、其内蘭領爪哇島（マツーラをも含む）にのみ輸入される數は四百六十七萬盾であつて、蘭領東印度の燐寸輸入總額の約七割七歩强を占む、之を爪哇の人口に割り當つれば一人一箇年十三仙四厘强に當る、大正九年の爪哇島燐寸輸入額は大正八年度に蘭領東印度輸入總額を遙かに超過して七百九十萬盾の巨額に達した、斯く輸入された燐寸の供給先は日本を筆頭とし瑞典、和蘭、新嘉坡の再輸出等である。

由來爪哇島は南洋各諸島中人口の密度が稠密であるから自然消費數量は莫大であつて印度に亞ぐ燐寸の大消費市場である事は當然の歸結である、試みに南洋各地の燐寸輸入對照表を掲示して考證して見よう。

爪哇及マツーラ島	七、八八六、九四四盾	大正九年
蘭領外領地	一、三九六、〇六二盾	大正八年
海峽殖民地	二六、九九七、〇〇二弗	大正九年
比律賓	八四六、三三二比	大正八年
暹羅	二、三六一、六四八銖	大正八年—大正九年
濠洲	五七七、七四二磅	大正八年
英領印度及ビルマ	一、五六五、九八五磅	大正八年—大正九年

燐寸輸入狀況を見るに戰亂突發の當年には和蘭は

二百二十二萬三千百哥打を爪哇に輸出して居る、同年日本直輸入は僅かに百六十七萬一千二百哥打輸入し得たに過ぎない、尤も南洋各地から再輸出される高を合すれば日本燐寸總輸入額は百九十二萬四千哥打である、然るに歐洲戰亂の永續に伴ふて和蘭本國より爪哇に輸出する燐寸貿易額は頓に減退し大正五年度には實に五十八萬九千六百哥打に過ぎなかつた、同年日本に直接輸入を仰いだものは百三十三萬九千八百哥打であつて歐洲戰亂突發當年より三十三萬一千四百哥打の輸出減少を現出した、其主たる原因と



臺北に於ける大隈侯遙弔式

して指摘し得るものは卽ち瑞典燐寸の直接輸入であつて、同年二百四十五萬五千二百哥打を輸入した著明の事實が發見される此れは國別について觀察した輸入燐寸の變遷であるが、汎く歐洲燐寸と日本燐寸と謂ふ見解から鳥瞰して睹れば歐洲燐寸は總體的に觀て輸入漸增されて居るが日本燐寸は反對に逐年減退の趨向があつたけれども是れは歐洲戰亂突發當初の情勢であつて漸次日本燐寸の輸入は挽回されて來たのであつた、試みに歐洲戰亂突發當初の歐洲燐寸と日本燐寸との比較について述べて見れば次の如である。（蘭領東印度農商務省發行に係る Veaslay 統計に據る）

歐洲製燐寸輸入

（單位百哥打）

國別	大正三年	大正四年	大正五年
和蘭	二二、三二一	一三、四五四	五、八九六
瑞典	二、七〇六	一九、一七六	二四、五五六
新嘉坡	三八	一五三	三〇
其他	一、九一八	五六	三七
合計	二六、九八三	三二、八三九	三〇、五一九

日本製燐寸輸出

國別	大正三年	大正四年	大正五年
新嘉坡	七七六	八六二	四三六
香港	一、七一七	一、四八一	五〇九
日本	一六、七一二	一五、八六八	一三、三九九
其他	三五	二九三	一五三
合計	一九、二四〇	一八、五〇四	一四、四九六

如上の統計數字の指示する通大正四年以來本邦製燐寸輸入減退の原因となつたものは恐らく歐洲戰亂に關聯して燐寸用藥材の輸入困難と藥材市價昂騰とである事は間違ひないと思ふ。

然るに爪哇島燐寸貿易の大勢は戰亂の永續と共に局面は一轉され、歐洲製燐寸は日本製燐寸の爲めに遂に壓倒せらるゝ處となり、日本製燐寸は爪哇島燐寸輸入總額の四分の三を占むるに到り、漸くして今日の盛況を維持し得る地盤を築き得たのである、若し這般の歐洲戰亂にして無かつたならば恐らく今日の盛況を見る事は殆ど不可能であると思はれる。

而して最近三箇年間に亘る燐寸貿易の情況を擧れば(蘭領東印度農商省發行貿易統計に據る)

國別	大正七年		大正八年		大正九年	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
日本	四、〇一一、一五八哥	四、六五三、九四二盾	二、九九七、八〇二哥	三、五二三、四一六盾	三、八八四、二一一哥	四、六六〇、九三三盾
瑞典	一二八、九八六	一四九、六二四	七六五、八八七	八九九、九一七	一、七三三、七四六	二、八〇四、八一五
新嘉坡	一二五、二〇六	一四五、二五九	一〇六、九二六	一二五、六五八	一五九、〇六五	一九〇、八六六
和蘭	六、三八九	七四二一	七一、〇五八	八三、四九九	一三五、七三九	一九〇、三九〇
其他	一〇四、八六〇	一二〇、六五七	三五、八五四	四二、一二六	八一、九四〇	八九、九二八
合計	四、三七六、五九九	五、〇七六、八五四	三、九七七、五二六	四、六七三、九九二	六、五八〇、七八七	七、八九六、九四四

の通りである、輸入燐寸の大半はスラバヤ港を經由して爪哇市場に現はれるのであるが、之れに亞いではスマラン港である、バタビヤ港は輸入される燐寸は大正八年には僅かに五十六萬九百四十六哥打に過ぎなかつたが、大正九年には百〇六萬九千三百十哥打であつて爪哇第三位の輸入港である、試みに最近の輸入比較表を擧ぐれば次の通りである。(蘭領農商務省發行貿易統計に據る)

港名	大正九年度數量(單位哥打)
スラバヤ港	二、八八九、七四四

スマラン	二、四六六、五四八
タンジョンプリオク港（巴城）	一、〇六九、三一〇
チエリボン港	一四四、九九四
チラチヤツプ港	七、〇〇〇
ペカロンガン港	三、九八九
ペラワン港	二、二〇三

既述の諸港を通して輸入される燐寸は再輸出として殆どなく總て島内需要に當られるを思へば實に消費力の強大なる事を考察し得る。

更に筆を進めて輸入燐寸の種類價格等について敍述を試みよう。

本邦製燐寸は歐洲製品に比較すれば品質上風評は餘り香しくはないが、價格至廉てふ點は遙かに歐洲燐寸を凌駕して居る、左に爪哇市場に於ける過去數箇年間に亘る吧城市場に於ける燐寸標準取引の燐寸相場表を擧て彼我相場比較の資に供するであらう。

（蘭領東印度農商省發行 Verslay 統計に據る）

大正四年度相場表

製品別	一月	三月	九月	十二月
歐洲製燐寸	一四〇盾	一四〇盾	一六〇盾	一六〇盾
本邦製燐寸	八九盾	八九盾	八六盾	八五盾

大正五年度相場表

製品別	一月	三月	九月	十二月
歐洲製燐寸	一四七盾	一四七盾	一四三盾	一四三盾
本邦製燐寸	八五盾	八五盾	八六盾	八六盾

以上の單位は歐洲燐寸は小箱一萬入一箱の相場、本邦燐寸は小箱七千二百入一箱の相場である。

大正八年度最高最低相場表（吧城商業會議所 Verslay に據る）但單位總入一箱の相場

	最低	最高
歐洲燐寸	二五〇盾	二七五盾
本邦燐寸	二三六盾	二五〇盾

大正十年七月中の泗水相場表（スラバヤ商業會議所月報に據る）

歐洲燐寸	五十哥箱入	一四〇盾

偖而爪哇市場に現はれて居る燐寸の種類を見るに日本製燐寸六厘軸寸五と寸七とが最も賣行があつて白龍、三鷄、三本槍、農夫、花籃、飛行船、潜水艇、洋傘、三鹿、珊瑚、競馬、猿童子等の商標は善く市場に現はれて居る、歐洲燐寸の多くは太軸の並型、短型ともに相應に販路を擴張し得て居る。

輸入稅率は從價六分外に消費稅として七十九本入燐寸小箱一哥につき一盾六十仙を課せられ尙五本を增す、小箱一哥每に蘭貨十仙を支拂ふ規定がある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同島に輸入さるゝ日本製燐寸は主に兵庫縣から輸出されて大阪府から輸出さるゝ數は極めて僅少なものである、試みに一九二〇年度爪哇島へ輸出せられて居る日本燐寸の輸出港表について見れば大略次の通りである。(日本燐寸同業組合統計に據る)

スラバヤ港ニ仕向ケラレタルモノ	兵庫縣	一七、四八四函	一、五九〇、三〇〇哥打
	大阪府	一三九同	一〇、九二五同
	其他	二六六同	二三、八七五同
	合計	一七、八八九同	一、六二五、一〇〇同
スマラン港ニ仕向ケラレタルモノ	兵庫縣	一九、九七二函	一、四九八、二七五哥打
	大阪府	六〇同	三、〇〇〇同
	其他	一〇同	五〇〇同
	合計	二〇、〇四二同	一、五〇一、七七五同
バタビヤ港ニ仕向ケラレタルモノ	兵庫縣	六、八五四函	四二五、八五〇哥打
	大阪府	二〇同	二、〇〇〇同
	合計	六、八七四同	四二七、八五〇同
チエリボン港ニ仕向ケラレタルモノ	兵庫縣	一、三〇一函	八五、八〇〇哥打
	合計	一、三〇一同	八五、八〇〇同
其他爪哇諸港ニ仕向ケラレタルモノ	兵庫縣	三〇五函	二一、〇〇〇哥打
	合計	三〇五同	二一、〇〇〇同

如上の統計に據れは爪哇島に於ける第一の輸入港はスマラン港である、之れが原因について視るに諸港の背後地に於ける人口の密度の干繋も忘るべからざる一事であるが、元來同島輸入燐寸取扱商は支那人が商權を握つて居り且つ華商の燐寸商がスマラン港に最も多いと謂ふ事實も恐らく原因の一たるを失はないであらう、試みる爪哇各港の燐寸の輸入業者中主なる歐米商及び邦商を述ぶれば

Batavia:—Mitsui Bussan Kaisha, Ltd.
Nichiran Boyeki Kabushiki Kaisha, Ltd.
S. L. van Nierop & Co., Handel Mij.
Handels vereeiging v/h Reiso & Co.
Francis Peek & Co., Ltd.
Schitzler & Co.,
Handel Mij Campell. Mc. Coll & Co.,
Handels Vereeiging Java/

Semarang:—Mitsui Bussan Kaisha. Ltd.
Nichiran Boyeki Kabushiki Kaisha, Ltd.
Everard & Co.,
Jackson, van den Berg & Co.,
Harmsen, Verwey & Co.,

Soerabaja:—L. J. Brandon & Co.,
Societa Commissionara Oriental.
Union Trading & Co.,

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Jonkim &Co.,
Liebenschuty & Co.,

の通りである。

更に進むで爪哇市場に於ける本邦燐寸の將來について考察を廻らし覩るに、上來敍述して來た統計數と現況を案ずるに大正七年迄は歐洲諸國も歐洲大亂の創痍未だ癒せすと謂ふ情態に在つた爲め販路回復挽回等の方策も充分進捗し難かつたに因つて、日本燐寸は四百一萬哥打と云ふ數量を提供するに何等の困難を感じなかつた、同年の瑞典燐寸は僅かに十三萬哥打に過ぎない情態であつた、然るに大正八年度に形勢一變して本邦燐寸は約百一萬哥の激減を演出した、之に反して瑞典燐寸の挽回策の運動熾烈を極め遂に其の効現はれて約六十五萬哥打の躍進的增加を示した、和蘭本國よりの輸出は層一層顯著な割合で大正七年の十倍以上の數字を示したのであるが、總輸入數額の點から覩れば敢て談するの價値を睹ないかも知れない。

斯く大正八年本邦燐寸輸入激減は如何なる原因に依りしかは之れ本邦經濟界の激動を基因とする金融問題に想到し得ないものはないと共に、本邦物貨大崩落の前途を危惧した餘り輸入手控生した事と、本邦燐寸軸木の供給地である西比利亞の政情暗雲に包まれ供給は不充分であり軸木不足と軸木奔騰等に因る事は恐らく如上の減退の原因たる事を失ふまい。

然るに大正九年度は大正八年度以上局面は展開せられたのである、瑞典燐寸は前年より百五十七萬哥打、和蘭輸出五萬哥打の激增であるが、本邦燐寸の增加額は奈何と云ふに僅かに八十八萬哥打に過ぎなかつたのである、瑞典燐寸と本邦燐寸の增加の割合は奈何なる事實を物語つて居るか、瑞典燐寸は殆ど戰亂當年の輸入に及はざる事は僅かに三十七萬哥打であつて此勢を以てせば將來戰前の地位に挽回し得る事は敢て難事であるまい、否日本燐寸をも壓倒する事も容易であるに相違ないと思ふ。

同市場に於ける本邦燐寸に關し斯かる不利な現象が生して來た事に就ては大に注意に値する、殊に近年南支製燐寸は品質は確かに本邦品以下ではあるが市價は常に日本燐寸より約一割五分内外の低値であり漸次輸入の氣配も加はりて來る有樣である、日本燐寸にして徒らに歐亂當時の好況を夢みて覺醒する處がないならば恐らく數年を經すして戰前の程度に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

退却し再び一等を瑞典燐寸や和蘭輸入燐寸に輸せざるべからざる運命に逢會するであらう。

要は當業者間の無益なる競爭を排して直接貿易を促進し、併せて生産費の低下、品質改善、ローカル長期取引が可能な金融爲替策とを加へ原料軸木の如き當に西比利亞、北海道等に求むるに止まらず南洋秘藏の木材の利用法の研究をも爲さば敢て爪哇市場と云はず廣く南洋市場に於て本邦燐寸の盛況を觀るに至らむ事困難ではあるまいと思ふ。

（新嘉坡商品陳列館調査）

獨逸學制の大變革

基礎學校（グルンドシユウレー）——私立學校（プリフワートシユウレー）——家庭學校（フワミリエンシユウレー）

後藤改平譯

本編は昨年六月發行の獨逸雜誌「デイ、チオツヘ」紙上に於て同國文部省の參事官ラート、メンツエル氏が一昨年四月發布せられて昨年一月より其の効力を生したる獨逸の新學制を、概括的に評述せるものであるが、今や同國の新政府が新學制の樹立に對して、如何に努力しつゝあるか、又其の新學制が果して如何なるものなりやを推知すべき多少の參考ともなるべきを思ひ茲に之れを譯出することゝしたのである。

一　基礎學校法

一千九百二十年四月二十八日政府の公布せる基礎學校法は、一千九百二十一年の學年開始と同時に、漸次其の實行を期するのである、而して此の基礎學校法は一般の學校義務に對して、重要なる變動を與ふるものであるが、公衆殊に之れに最も關係を有する父兄側に在つては、未だ該法の内容を充分知悉せぬようである、從來一般の兒童か其の義務敎育を受けるには、最低學年四年間は公私何れの小學校に於て受けるとも、又特種の學校、殊に家庭學校等にて受けるとも自由であつた、故に其の年齢は六歳より十歳までゞあつたが、今次の基礎學校法は僅少の遊戯時間まで制限を加へたのである。乃ち基礎學校法第一章に於ては、先づ最低學年四箇年の

小學校は一般の基礎學校たることを定め、而して中高等學校も此を基礎として建設せらるべきことを定めたのである、其の他極めて明確に基礎學校の各學級は小學校の一部として、其の本來の使命を行ふと共に又中高等學校に進入する豫備教育をも充分に行ふべきことをも定めたのである、尙ほ之れと同時に基礎學校は特殊の學校でなく、小學校の一部であつて、一般の兒童の入學すべきことを規定したのである、從來小學校は中高等學校の豫備學校たる任務を有することは無かつた、又之れを行ふことも出來なかつた。故に最近發布された內閣の訓令で、基礎學校の教案に關する方針が定められた。

二　基礎學校教育の主眼

是れに依れば基礎學校の教育の主眼は、知識的資料でなく、又單に外部に適應すべき準備でなく、反つて內部的活動と、其の自働とを目的とするのである此を以て教授資料の選擇は第一線に於て兒童の理解力と、其の精神的發展力である、第二線に於て生活に對する意義である、而して早知や過勞や家事等は嚴に忌避せねばならぬ、上記の原則は從來各種の豫備學校に於ては、甚だ等閑に附せられてあつた。

基礎學校入學の義務に付ては、二つの除外がある、其は同法第二章に於て一時的に制限せられたものと、同法第四章に於て全く制限せられぬものとである。

三　各豫備學校の廢止

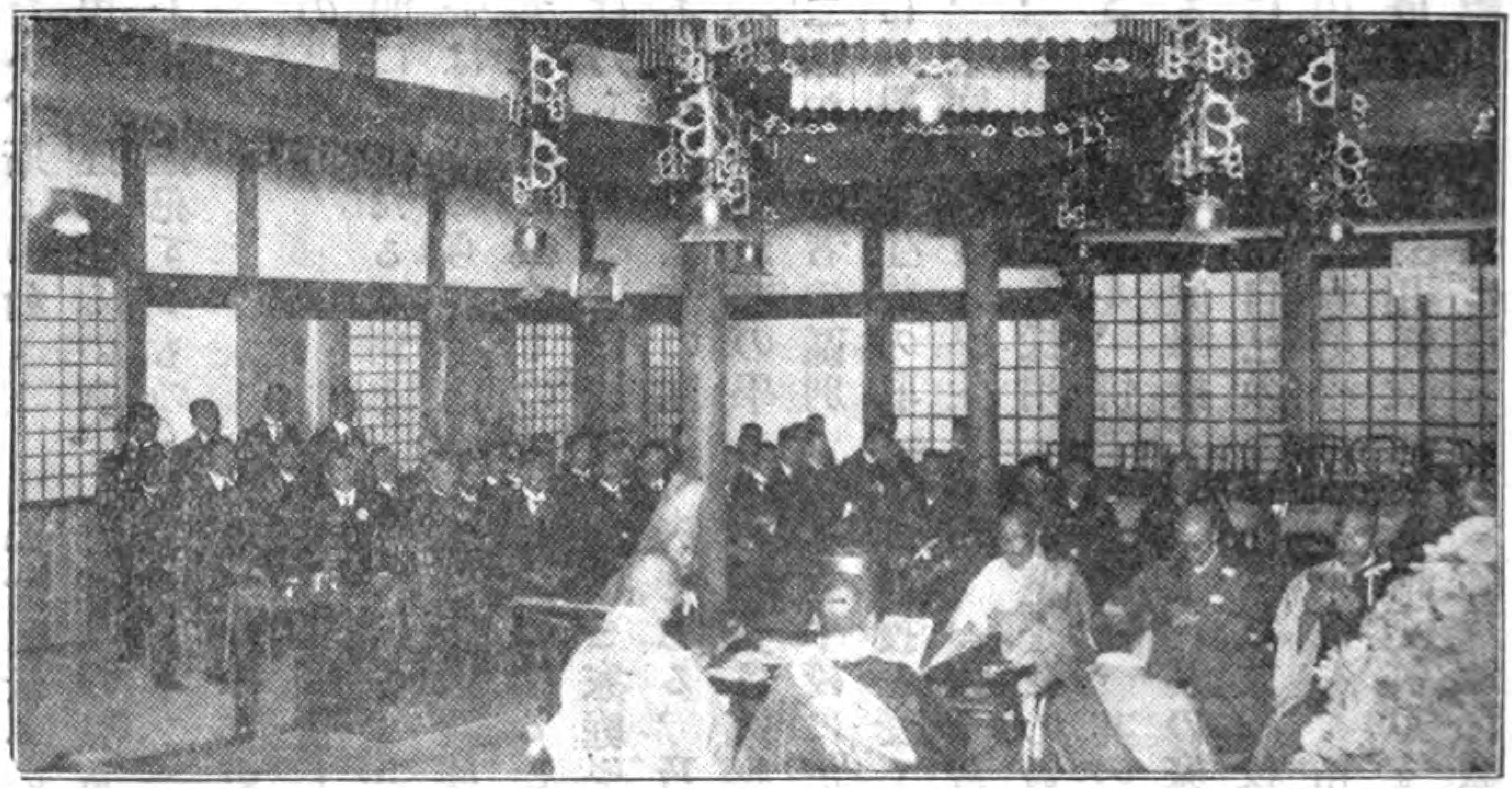
又基礎學校法第二章に於て、現在の各公立豫備學校及同校各學級は遲くとも一千九百二十一年の學年開始と同時に廢止すべく、又總ての廢止は一千九百二十四年の學年開始までに之れを行はざる可らざることを規定した、而して私立の豫備學校にも此の法律を適用するのである、併しながら其の早急の廢止が學校の教授又は學校の經營者に對し、經濟上甚だ苛酷なる場合若くは或種の原因より廢止の不可なる場合には、之れを一千九百二十九年の學年開始まで延期することを得るのである、最も此の場合に於ては私立豫備學校に於ける各學級の學生數は、從來の範圍より超過することは出來ぬ、又私立の學園並私立の中高等の女學校に於ける最低級の入學は、千九百二十年の耶蘇復活祭まで許可さるゝのである、故に其の後の兒童は現に第二、第三、第四學級に在學する生徒のみか、猶ほ私立學校又は公立の豫備學校に學ぶことが出來るのである、而して本學年に於ては

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

唯だ新生徒のみが基礎學校入學の義務を有し、一千九百二十二年乃ち來學期に於ては、第一、第二學年の兒童が同義務を有し一千九百二十三年の學年には、第一、第二、第三學年の兒童が、同義務を有するのである、此等の兒童は一千九百二十九年一月三十日迄は、基礎學校の代はりに、私立の豫備學校に入學することを得れど、同年の學年開始と同時に其れが全く出來ぬことゝ爲るのである。

四　家庭學校の敎育

基礎學校法第四章の規定に由れは、各箇兒童の爲めにする家庭敎授若くは此の目的の爲めに集合したる多數の兒童に對する家庭敎授は、左記の場合に限り許可せらるゝのである。卽ち兒童の精神又は身體の虛弱にして、



臺北に於ける柳生一義氏追悼會

學級敎授を受くるに不適當なるとき、及學校への通路が遠隔なるとき等である、此の場合に於て當該兒童は基礎學校に入學するには及ばぬ、又兒童の健康狀態が、家庭敎授をも受くること能はざるときは、一般に退學を許すのであるが、此の狀態が一年間繼續するときには、其の兒童は滿十一歲に達すると同時に、基礎學校の入學義務をも免るゝのである。

多數の父兄は該法四章の規定に基きて、其の兒童をして、小學校の義務を免かれ、私立の敎授所殊に此の目的を以て設立された家庭學校に入學せしむることを得るように信ずる者があれど、此は間違ひである、今前に述べたところの制限を除外するとも、最低四年の家庭學校は、其の監理法や、學校の範圍や、乃至內外の設備等も、普

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

通の私立學校と一致するものでない、斯くの如きことは獨り基礎學校法の第二章の規定に違犯するのみでない、又獨逸憲法の第百四十七條に違犯するものである。

五　私立學校と家庭學校の區別

惟ふに私立學校と家庭學校との間に截然たる區別を設くることは、殆んど不可能と云はねばならぬ、而して此は唯だ箇々の事情に依りて、實際に徵するの外はない、要するに二箇の區別は乃ち私立學校に於ては、其の持主が一人の教師であるか、或は一の團體であるが家庭學校に於ては、一定の親族が其の學校の經營者である、普通に此の二點から兩者の區別を爲すのである、故に私立學校に入學する生徒の取容は、同校々長之れを行へども、家庭學校の入學生は當該親族之れが取容を行ひて、其の親族から採用されたところの教師は之れを爲さないのである、併し內閣の命令に斯ふ云ふのがある、曰く『家庭學校を經營する親族の首長が、任意に他の親族を自己の學校に加はらしめたときは、其の學校は最早家庭學校と認むることは出來ぬ、此は既に教師の費用で設立した所の私立學校であつて、認可を受けねばならぬ』と云ふのである、故に若しも遠隔なる人に對して、其の兒童が基礎學校の補充として、私立學校に入學することを許されたならば、遠隔地に在る官吏や、森林官吏の子弟も、亦同樣に之れを許さる丶であらふ、併し法律第四章應用の場合は土地の遠近に拘はらず、其の兒童の入學は許されぬのである、されど多數親族の子弟の一團は事情に依りて家庭學校に入學することを得るのである、左る場合には私立學校と家庭學校とは亦左の如く區別することを得るのである、乃ち家庭學校に於ては小數の生徒が家庭の性質に適應した所の形式で、教授せらる丶のに、私立學校に於ては、多數の生徒が、學校の性質に依りて教授を受くのである。

六　教師の所屬及證明

家庭學校の教師は普通に家庭教師、教育家、女教師と稱し、其の學校を經營する所の親族との契約に基きて、其の家庭內に在るのである、又私立學校の先生は私立學校教師と稱し、其の家庭外に在るのである、而して兩者孰れとも自己の屬する學校に對して教師免許狀を提示するの義務を有する、此の際家庭教師及教育家は一千八百九十四年六月二十六日の省

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

令に從ひて、倫理的犯罪なきことを證明せねばならぬが、特殊の試驗又は資格證明は之れを要せぬ、反之私立學校教師は唯だ倫理的犯罪なきことを證明する計りでなく、又其の諸學科並教育學に就ひても之れを證明せねばならぬ、さりとて學校監督官廳に於ては、勿論左の如き權能を有するのである、乃ち學校監督官廳は私立學校、並家庭學校の子弟に對して何時にても試驗を行ひ、彼等が果して必要なる教育を受け居るかを決定し得べく、萬一然らざる場合には教師の免許狀を剝奪し、其の生徒をして公立學校に入學せしむることを得るのである。

猶終はりに區別すべきは、私立學校の教授が公立學校の補習であるか、又は其の完成であるかである、若し完成である場合には、基礎學校法に由りて一つの制限を受けぬのである、此の故に例へば或親族が六歳、八歳、十一歳になる三人の兒童を持つとすれば、頭の二人は現在基礎學校へ入學するの義務を有せずして、只末の一人のみが、基礎學校に入學（法律第二章及四章の適用を受けぬ場合）するの義務を有するのである、併し此の場合には同時に二人の姉妹は公立學校の教授を完成する爲めに私立學校への入學を許さる〻のである。

七　基礎學校と私立學校

基礎學校の學年は四年で、他日廢止せらるべき豫備學校の學年は三年である、此の故に修業四箇年の基礎學校に其の子弟を入學せしむる所の父兄、又は私立學校に其の子弟を入學せしむることの出來ぬ父兄は、之れを一千九百二十九年乃至三十年迄其の存立を認められたる私立學校に其の子弟を入學せしめて三年後には直ちに之れを中等學校に進入せしめ得る所の父兄に比すれば甚だ損である、故に學務當局は此の不公平を除く爲に、右に關しては私立學校及家庭學校の生徒も、基礎學校の生徒と同樣の性質を有する樣にし、殊に私立學校の生徒に對しても、學務當局の定めたる基礎學校の教案を採用せしめ、且つ其の方針を遵守せしむることゝしたのである。

右の方法に依り中等學校乃至高等學校に進む所の生徒の豫備教育が確實にせらるゝ譯である。（完）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪の芝居を觀て

——皮肉と矛盾——

可行子

日本の劇場で、是非改めて欲しいものが二つある。その一つは、兒供を芝居に連れて行くのをやめたいのと、もう一つは座席でよくやる飲食を廢することである。西洋では芝居に兒供を連れて行くことは一切しない、西洋人は「兒供達は芝居を觀るものでない」と云ふ。その實夫婦で氣樂に芝居が觀たいから、そう云ふのかも知れぬ。日本人は「兒供が芝居を觀度いと云ふものですから」と、芝居行きの口實を兒供にかぶせる。どつちもよくないが、何れかと云へは、寧ろ西洋人のやり方の方がましだ。

西洋の芝居では、兒供の觀客を見ないと同時に、座席で飲食をして居るのも絶無である。然るに日本では、座席で飲む食ふ、丸で花見遊山と同一である。

僕は昨年の夏內地旅行の際、大阪の中座を一寸覗いて見て、特に座席での飲食が盛んなのに一驚を禁じ得なかつた。芝居最中に舞臺に御尻を向けながら、ムシヤ〳〵やつて居る手合の多いのを見ては、芝居を觀に來て居るのか、食いに來て居るのか一寸見當が付かぬ。これを見た僕は一種の皮肉を感じずには居られなかつた。

尙ほ、それよりも一層の皮肉は、芝居の幕間毎に、「客席にて煙草を喫まぬ樣御願ひします」と云ふ掲示を出しながら、御茶子に煙草盆を盛んに賣らして居たことだ。從つて御客はその掲示を冷笑の眼で眺めながら、煙草をプカ〳〵ふかして御座る。

察するところ、此禁煙の掲示は、所謂其の筋の御達しにより止むを得ず出すのであらう。然るに、御臨席の御巡査さんは其掲示板と御客の顏とを七歩三歩に眺めながら、知らぬ顏の半兵衛をきめこんで御座る。而もその掲示が警察官席の眞下に置かれて居る等は、何と云ふ皮肉なことであらう。

僕は世の中に、此一事程矛盾な事が、他にもあるだらうかと思つて見たが、それは大ありだ。日本人のすることと、爲すことは大抵こんなものだ。矛盾は日本人の通弊である。矛盾！！之れが日本の現狀である。

世界中で一番規則や法律の八ヶ間敷い國は獨逸である、辻便所に這入つて見ても、「ここを出る前にチヤンとボタンをはめて御出なさい」と書いてある。總てが此の筆法である、然し獨逸では、實行の出來ない樣な法律や、規則は出さない。出した以上は必ず實行する。民衆も亦よく之れを嚴守するので、氣持のよい程物事がキチンとして居たのが戰前の獨逸であつた。恐らく今日といへ共、此民族性には、何等變化はなからうと思ふ。

大阪の芝居を見て、此の矛盾と皮肉とを覗ひ得た僕は、日本の總ての社會を、此所に寄せ集めて見せつけられた樣な感じがして、何とも云ひ知れぬ悲哀を覺えずには居られなかつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

協議會記事

新竹の州治に就て

新竹州知事　常吉德壽

此の一篇は最近常吉知事の新竹州協議會に於ける州治に關する演說の速記錄にして其の前後を省略せるものなり（編者）

一

臺灣の自治と謂ふものは未だ極めて日が淺いのでありまして、言はゞ試驗の時代、過度の時代で有ると云つても差支ないのである。が元來此の自治と謂ふものは極めて大切なものである。約一年餘りの間……此の間の實際の經驗に依りまして、次第に自治の實質も固まつて來て居る樣であります。が乍併未だ〳〵本當の自治と謂ふものは什麼すれば可いか、と云ふ樣な事は未だ何等の組織も實行もされて居らないのであります。此の大切な時期に於て未だ固つて居らない處の此の自治に對して、最も重い責任と最も深い注意とを以て其の形を作ると云ふ事に努めらるゝと云ふ事は、御互の最も重大な任務であらうと思ふ

元來自治の起る原因は民意の自覺、輿論と云ふものゝ興つて來るから生ずるのであります若し輿論と云ふものが一般に行はれぬ樣な時代が有つたならば、或は專制的に官僚式に行はなければならぬのである。矢張り政治と謂ふものは一般の民意に適ふ樣に行ふのが一般庶民の爲になるのであります。民度が次第に發達して自覺して行きますと云ふと、獨り官憲の政治にのみ滿足する事は出來ない。總て一般民の利害に關することは之を公論に訴へて行ふと云ふ事が自治の原因である。是は何處でも其の通りである。詰り協議會員諸君は州民を代表し輿論を代表して居るのであるから、諸君は此の際最も公平に最も親切に輿論を代表して、さうして州民を導いて行かるゝと云ふ事は極めて必要な事であります。十分に審議して、さうして互に融け合つて州の爲を圖ると云ふ事は極めて必要であらうと思ふ。

先程申しました樣に私は此方に赴任致して未だ日が淺く、何等理想らしい理想を開陳する程のことはないのであります。將來着手すべき事業は是から研究して懸らなければならぬ。此の協議會には豫算を提出するのでありますが、是に關して私共の考へて居る處、私が今後行らうとする處を極く簡單に概略を申上げ度いと思ひます。尙ほ是々の點に就ても御援助を願ひ度いと云ふ處を申上げたいと思ふ。

二

當地に參りまして私共が殊に必要を感じて居ります事は、此の住民の同化と謂ふ事であります。住民の同化と云ふ事は極めて必要であります。是に就ては從來永い間官民共に力を協せて努力された事であらうと思ふ。言語習慣の異つて居る處の人が雜然として入つて居る本島民を一團となして、國民的組織を維持して行かなければならぬと謂ふ事は、其の間に於ける州治と謂ふものは容易な事でないだらうと思ふ。是を一日も早く同化して言語習慣其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の他總ての點に於て殆んど何等區別する處なく、內地人同樣にして行くと云ふ樣に根本的の同化を一日も早く行り度いと云ふ事は、私共の先づ第一に感ずる事であります。此の同化の方法に就きましては、種々の腹案があるのでありますが、此に對しては更に一層の努力をしたいと思ふのであります。併し什麼云ふ腹案があると云ふ事に就ては、未だ其處迄は到着して居らぬ。此の州を治するに就て最も吾々が期待する所は事業の發展であります其等に就きましても成可く總ての人が共同して、さうしてお互に利益を受け、お互に理解し讓步して、同情を以て事業の發展を圖つて行くと云ふのが最も必要だらうと思ふ。

總て事業は大體に於て豫算の上に現はして居るのであります。新竹州の豫算と謂ふものは一覽した上でも如何にも小さい事を現はして居る。爰に大略を申しますと云ふと、臺北州は經常費及臨時費の豫算三百四十五萬圓、新竹州は百四十三萬圓、臺中州は二百五十五萬圓、臺南州は三百九萬圓、高雄州は二百十八萬圓……斯ふなつて居ります。新竹州は百四十三萬圓で五州の中で最も小さい豫算を有つて居る。然るに其の中に入つて居る人民の數は高雄よりも却つて多いのであります。是を若し一人當りに比例を取つて見ますと、臺北及高雄は一人當り四圓十錢、臺中州三圓十一錢、臺南州三圓二十七錢、新竹州二圓四十四錢であります。一人當りの比例から見ますると、當州の豫算は實に小さいのである。然るに收入の根本である處の租稅等の收入の狀態を見ますと、當州は他州に比して其の率は決して輕からざる狀態であります。詰り課稅物件に對する比例は他州と變りはない。洵に新竹州として重い負擔である。然るに一人當りの豫算は小さい、是は要するに新竹州の人民は負擔力が尠いと云ふて可いのであります。然らば此の新竹州は是から先は最も努力して負擔力の增加を圖る、詰り負擔力を增加すると云ふ事に努めなければならぬではあるまいか。豫算總計の尻を見た許りで、斯樣に感ずべき譯であります。一面から見れば、此の歲入の負擔の小さい事は餘程喜ぶべきことであらうが、併し又此の樣に負擔力が少ない資源を有たないと云ふ點から見ますと、寔に愍しむべき事であります。此の資源と云ふことは一日も早く豐富にする樣に努めなければならぬと思ふのであります。他處に比較して見ますと洵に負擔力が尠ないと云ふ事は、此の豫算が明かに證明して居ると思ふ。併し私は差當り豫算の小さいと云ふ事は左程愍しみませぬ。豫算の實質と謂ふものは州治に要する金額であると同時に又能率の如何であるから、僅かの金額を以て出來る限り多くの仕事をする、さうして豫算の根據となるべき州民の富を一日も早く增加したい、積極的に富の力を養成したいと思ふのであります。尙は豫算の內容に就きましては、豫算編成の衝に當つた各課長をして說明致さする積りであります。

三

此の收入を增加する方法、詰り歲入の增加を圖る方法と致しましては、兩面から之を考へなければならぬ。一つは先程申しました處の民力の養成であります。然らば民力を如何にして養成するかといふことは、是は種々の方面から項目を分けて研究しなければならぬ。新竹州は其の半分は蕃地に屬して居るが、是に對しては能く心を傾けて漸時開發して行く事にし、最も效果ある方法に依つて生產範圍を擴める樣にしなければならぬ。又當州は一方に於て非常に長い海岸線を有つて居る。無盡藏な魚族の棲息と交通機關の利便地として立派な海を有つて居る。海は交通機關でもあれば又魚族の群がる場所である。此の海を如

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何にして開發して行くと云ふ事は十分御研究の事と思ふ。其れからも一つは内容の充實、詰り現在の事業の内容を整理して掛ると云ふ事……是も一つの重要な事柄であらうと思ふ。事業を整理して一つの基礎の上に於て十分の發達を期せしめると云ふ事が必要である。

尚は是は各項に亘つて御審議の時分に大略を申上げたいと思ふ是も富を殖す一つの方法であります。民力の基礎を作る事は負擔力を公平にする所以である。是も亦極めて必要であります。

それから是は極く卑近で又有り觸れた例でありますが、彼のビスマークが曾て申した事は、百斤の荷物を持つて歩くと云ふ事は随分重いことである、仲々努力のある人でなければならぬ。乍併今是を或物は着物に着、或は靴に穿き、帽子に被り、右と左の手に品物として分けて持つと詰り身體の各方面に分けて著れば、差程重く感ぜずして、十里の途を歩く事が出來ると言ふのである。

租税の原則も亦茲に在る。其の力に應じて分けて持ちますと、百斤の荷物も重い事がないのである。それで今如何にして各人の負擔力を増すかと云ふ事は、私は未だ考へて居りませぬが、併し負擔力を可成輕くして、さうして效果を可成多くしようと云ふ事は極めて必要である。又租税は常に簡單明瞭に行へ、人に疑を起さしめない樣にする、と云ふ事は常に注意すべき事で、負擔を一般に掛ける際に於ける原則だらうと思ふ。是は從前と雖も固より注意して居る事と思ひますが。更に將來共一層奮發して行り度いと思ふて居ります。

新竹州知事　常吉德壽君

四

州の豫算は實に小さく。思ふ丈けの仕事は殆んど出來ない。丸で積極的の仕事は出來ないと云ふ狀態であるから、先づ民力の養成に就て力を盡したいと思ふ。併しそれはどちらの方法に依つたが早道か、腹案がある譯ではありませぬが、若し是等に就て良い腹案が出ましたならば、更に御協議を申上げたいと思ふ本年度の豫算は昨年度に比べますと非常に減退して居るのであります。大體に於きまして昨年度より經常費に於て約七萬圓、臨時費に於て三十六萬圓減じて居る。斯う云ふ樣に減じて居りますが、併し此の臨時費の三十六萬圓の内には、官舍を新築するが爲めに借り入れた金二十七萬六千圓が入つて居つたのであります。然るに一方經常費で負擔と致しまして、高等普通學校の新設であるとか、或は蠶種獎勵、砂防造林と云ふ樣な從前國庫の負擔に屬して居つたものが州に引續がれたり、或は街庄費の不足を補ふ爲に交付金を増加する

とか、或は普通事件の爲に巡査の退隱料及遺族扶助料等の増加、其の他先に申しました臨時費に於て借入れた二十七萬圓の元利償還に要する處の金額……是等のものを合せて避くべからざる特種のものが約十五萬圓を増加して、詰り昨年度より七萬圓の不足になつて居ります。斯う云ふ樣に豫算は非常に編成上苦境に陷つたのであります。併し玆に私共は考へなければならぬ事は昨年度との比較である。私自身としては昨年州は自治の當初に於て最初の試として行つた總ての方法は、其の實績に徴して果して理想であるか什麼かと云ふ事は疑問である。だからして昨年度の豫算を漫然踏襲しなければならぬと云ふ事は無いのであります。それで豫算の編成も州の事情に適する樣に根本から換へなければならぬのであります。が不幸にして此方に參りまして未だ日が淺い爲に其の運に至つて居りませぬ。只だ現狀を維持して費用を可成く節くすると云ふ方法を採りまして、さうして出來る限り效果を大ならしめると云ふ實行の上に努める積りであります。乍併昨年度と今年度の豫算の増減を比較對照して見ると、[illegible]たる狀態である事は御覽の通りであります。

五

土木事業に對しては、是れも種々の重大なる問題があるのであります。其れから交通機關の發達と云ふ事は極めて結構な事でありまして、且又重大な事である。中にも縱貫道路と云ふ事は最も重大な樣であります。が新竹州下の縱貫道路は、大小の河川の爲に橫斷さるゝ處が多く、其の距離の長い點に就きまして非常に他州に比じて重大な關係を有つて居る併し道路を作れば其れ丈け負擔が重くなるのである。が併し負擔が重くなるのは總て又其れ丈け交通の便利になる事を證明するのであります。是れに對して如何せば完成を圖るかと云ふ事は研究を要すべき事であつて、其の完成を見る迄は其の間幾多の苦樂を以てしなければならぬ。樂みもあれば苦しみもあると云ふ風に從事しなければならぬと思ふ。當州は斯んなに澤山の河川を有つて居りますから其の治水事業も亦極めて重大な事で、非常な金を要する次第である。是は負擔に於て何の部分は國庫に屬し何の部分は州に屬すると云ふ事が判れば、州は出來る限り早く治水の事業を整理しやうと思ふ。又先程申しました海岸線も非常に長い上に、海中には豐富な種々の魚族が棲息して居るのである。是を如何にして寧ろ如何にして販賣するかと云ふ事は、州下財源の開發上必要であります。私は此方に參ります時に不思議に感じました事は、定期航路の船に夥しい鹽鯖を積むで居ることである。實に夥しいもんだと驚きました。處が當州に參つて見ますると、人民が鹽鯖を澤山買て歩くのが見える。斯の樣な長い海岸線を有つて居る州下に於て、鹽鯖を買ふ者が夥しいと云ふ點から見て、餘程水產事業が發達して居らぬのであらうと云ふ事が、直接に聞かなくても諒解が出來るのである。是は洵に遺憾の次第であります。隨て一日も早く水產事業と云ふものを發達させる事に致し度いと思ふ。海は獨り水產許りではありませぬ、最も重要な便利な處の交通路である。是は恰度陸に於ける縱貫道路の如く、澤山な河を縱貫して便利な交通路にすると同じく、海上も又非常に交通上便利な處であるから、此の便利な海に臨む沿岸に適當な港を拵え、さうして船の出入を多くして海陸の聯絡を取る樣にしなければならぬ。殆んど本州の中腹には良い港は無いのである。併し是は種々の關係から果して優良な港が出來るか什麼かと云ふ事は疑問でありますが。先づ最初に致すべき事は築港に在る。若し出來るならば相當の築港をして對岸との貿易を盛にすると云ふ風にし度い

と思ふ。

併し是等の事業に關しては、各種物資の集散の狀態も考へなければならぬ。又州下の港が果して築港に適するか、什麼かと云ふ事も研究しなければならぬ。要するに理想として當州に貿易港が一つ欲しい。他州は皆有つて居る樣でありますけれども、新竹州は斯んなに長い海岸線を有ち乍ら一つの港も一つの築港も無いのである。それで如何なる築港が新竹州に適當するかと云ふ事は研究して見度いと思ひます。土木事業と致しましては、其の外に水道があります。是れは衞生にも關係がありますので水道は差當り必要であります。今年は皆さんも御覽の通り新竹州に腸窒扶斯が蔓延して居る。新竹州は私は參りました時には非常に健康地であると云ふ話でありましたが健康地であるから水道も他所より遲れて居る後廻しにされたとの事である。然るに今日では新竹は水道が最も必要になつたのである。殊に腸窒扶斯が蔓延して居る今日、一般公衆衞生の爲に此の水道の敷設は極めて必要である。併し其の費用は如何にして負擔するか、又全然國庫の補助を待つべきものであるか、或は是は新竹州の負擔であつて國庫の補助を待たぬものであるか什麼かと云ふ事は、極めて緊切な事であらうと思ふ。

臺灣の各州の一般衞生狀態は、隨分永い間次第に進步して來て居ります。今日に至る迄確實に進步を爲しつゝあるのであります。併し臺灣衞生狀態は他に比して決して良いとは申されませぬか、一體から申しますと先づ良い樣であります。是は實に結構な事と思ふ。先づ當新竹州に在りては水道の敷設を完備する事が最も必要だらうと思ふ。

六

次に敎育の問題でありますが、來年度內には高等普通學校は新設されるのであるが、其れが爲に先程申した樣に新竹州は新たに二萬九千圓を每年度に於て負擔しなければならぬ。是は五年間續いて止むことがないと云ふ狀態であります。兎も角も州民が最も渴望して居る處の高等普通學校が出來る、と云ふ事になつたと云ふ事は、吾々は實に愉快に感ずる次第であります。

其れから一般の小公學校……是も段々敎育の普及發達を圖り、一方に於て敎育の普及を奬勵し乍ら學校の施設を充分にして行かぬわけには行かぬ。只だ子供を學校へ出せと云ふ許りでは仕方がない。漸次要求に隨つて施設をしなければならぬ。乍併一學級を殖やすとすれば其の費用は永年の負擔となるのであります。敎育の普及を圖ると同時に其の內容の充實と漸ふことも圖らなければならぬ。が現在の所小公學校の必要な程度の施設をすることすら出來ないのみならず、敎員諸君の諸給與等も他州に比して實に御氣の毒な狀態にあるのであります。是等に就きましては相當更に方法を講ずると云ふ事にしなければならぬ其れから此の小公學校と云ふ事に附隨致しまして、敎育を施すに就ては一つの理想と謂ふものを持たなければならぬ。申す迄もなく小公學校の敎育と云ふものは、國民の詰り智識ある最も健實なる國民を作ると云ふ事が根本の目的である。詰り學校の課程に在る處の智識敎育と云ふ事も必要でありますが、智識敎育を施すと同時に健全なる國民を拵えると云ふ事が本體であります。是を忘れない樣にしなければならぬ。學校の數は如何に殖え、生徒の數は如何に殖えたと云ふても不健全な國民を作る樣であつたならば結局何にもならない。要は健全なる國民を作るに在る。是は小公學校の生徒のみならず、一般地方の人民も又一樣であつて、漸次其の方に向つて敎えて行くと云ふ事は極めて必要な事である。其れから此の土地柄と致しまして、先程申しまし

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

た様に本島には種々な風俗習慣を異にして居る人民が集まつて居りますが、是等に對して社會事業の上からして、同化政策と云ふ事は極めて必要であります。又施政上の變化、經濟上の壓迫と云ふ事柄に對して、社會事業として人民を如何に導くかと云ふ事は極めて必要な事であります。此の様な社會事業の施設に對しては最も努力しなければならぬのであります。

實は豫算も社會事業として目星しい金額も要求して居らない。乍併社會事業の施設及其の效果を考へて見ますると、必ずしも費用即ち公に州の負擔する處の費用の大小に依つて成績が什麼と云ふ事はない。それは其の土地の中堅人民の熱心なり指導に依つて效果が現はるものがあると思ふ。随つて社會事業の方面に就きましての豫算は、さう澤山は要求して居りませぬ。極く寥々たる金額でありますが私共の希望する處は、費用を俟たずして諸君を始め中堅人物が、互に力を協せて此の社會事業に從事して貰いたいと思ふのである。

七

其れから勸業でありますが、此の勸業に就きましては先程申しました様に、生產の基礎を整理して謀ると云ふ事が必要である。例へば各種の會社とか組合とか云ふ様な機關に依つて生產の基礎を正す、さうして一般に相一致した方法に依らしむる必要がある。詰り互に相關聯した大動脈に連結した生產方法に依らしめなければならぬ。

其れから物產が次第に商品化することである是は一寸言葉がこぢれて居る様でありますが物產は如何に澤山出しても夫れを一つの商品と稱することは出來ない。商品と云ふものは初めから一定の商品たる性質を有つて居なければならぬ。一定の價額なく雜然として居つて、一々其の品物を見て値段を決めると云ふ様な物は商品ではない。一定の品質、一定の價格、一定の數量を具ふるものでなければならぬ。漸次物產の商品化して行くことは極めて必要なことと思ふ。

又新らしい有利な事業と申しましては、先程申しました様な海上の利用と云ふ事に努めなければならぬ。是等の勸業は恰も新竹州を肉付ける處の極めて大切な物である。事業の發展は軈て負擔能力の上にも大なる影響を與へ豫算の不足を補ふ事が出來る。要するに世界の經濟狀態は一般に萎縮して、事業不振に陷つて居る狀態であるが、吾々は此の不況の間に在りて與へられた經費の範圍内に於て、出來る限り行つて行きたいと思ふ。是は他の事業の様に直ちに效果の現はるゝと云ふ事は出來ないが、漸次現れて來るだらうと思ふ。それから今一つは金融機關の改良及監督と云ふ事であります。此の土地には金融機關も固よりありますが、併し現在の金融機關は果して其の儘でよいか什麼か、現在の機關は果して新竹州を發展させる丈けに十分な機關であるか什麼かと云ふ事は研究すべきである。詰り其の土地に適する様な完全な金融機關であるか否かと云ふ事が肝心である。例へば其の土地では相當な好い土地であつても、對手に依つては其れ丈けの價値に見られぬ場合がある例へば餘所の遠方の銀行から見ますと、其の土地にある財產不動產と云ふものは餘り高い價格を付ける事は出來ない。或は山間に在る工場の如きも金の對價としては餘り價値のない場合がある。斯う云ふ際に其の土地の產業に對して特種の金融機關が必要である。詰り其の土地の產業を十分發達せしめる丈けの金融機關を新に拵へると云ふ事は必要である。段々各種の事業の步を進めて行く事に就きましては、拓殖的の事業が必要である。是には特種の金融機關が要るのである。拓殖は極めて長期な低利資金を要するのであるから、此

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の様な資金を運用する事の出來る機關が必要である事が忘る可らざる事である。仕事をしても其の働きを續ける處の養分がなければならぬ。養分たる資金を與へないと木を植えて肥料を行らぬと同じである。

又金融機關の監督も必要であります。是は州として吾々は當然監督しなければならぬが、例へば信用組合であるとか金融公司であるとか、或は信託會社であるとか云ふ様なものは預金者若は組合の金を運用するのであるから尤も大切に之を運用しなければならぬ。若し是等が放漫に流れる様になれば、民間の思想及經濟狀態を惡化させるのである。是等に對しては十分監督して圓滿な發達をさせなければならぬと思ふ。

八

次に警察事務であります。警察事務に就ては自治制の施行以來、一般の警察事務と云ふものとは殆んど獨立して仕舞ひました。が其の間調和協力と云ふものが自然缺け易いと云ふ事に深甚の注意をしなければならぬ。是に對しては從來と雖も注意し來つた事でありますが、是から先と雖も警察官吏は單に警察と云ふ事許りを考へずに、一般街庄の事務に就ても常に協力して行くと云ふ事にする積りであります。元來警察事務に限らず、直接人民に接する者は最も愼重に取扱はなければならぬ殊に當州に於て困難を感ずるものは、風俗習慣を異にして居る人民を有つて居る事である例へば風俗習慣を同じくする者の間に於ても仲々其の間に於て意思の疏通と云ふ事は困難である。況んや風俗習慣の違つて居る人民の間に立つて、圓滿に事務を行つて行くと云ふに於てをや、其れは非常に困難なのは勿論であります。隨つて人民に直接する處の警察官吏或は稅務官吏其の他の官吏街庄吏員と云ふ様なものは、最も深く此の點に注意して、お互に諒解して、双方調和を圖つて行くと云ふ事は最も大切な事である。調和は事務の能率を擧げる原因であります。此の點は益々注意して行き度いと云ふ希望を有つて居るのであります。理蕃事務に就きましては、是れは各州共同の作業を要するものである。之は總督の大方針より割り出される事柄でありますから、玆に意見を述べまする機會を有ちません乍併如何にして撫育するかと云ふ事に就きましては、充分に注意を拂ひ、又深い同情を有つて懸らなければならぬ。併し私は未だ蕃地に足を踏込んだ事がない爲めに、如何なる狀態であるかと云ふ事は知りませぬが、何れ機を見て全部を見やうと思ふて居ります。

九

其れから最下級の行政官廳として置かれて居る處の郡でありますが、郡役所は自治制たる街庄と互に抱き合つて行かなければならぬ最も重要なる關係を有つて居る。其れには先ず第一に行らなければならぬ事は、目下の街庄は極めて幼稚であるが、是に充分の訓練を與へて行くべき地位に在るものは郡役所である郡役所の働きは總て民治の根本とならなければならぬ。是れに對して現在私共の遺憾に思ふのは、郡の働きが一般から見て何だか熱がない様に思ふ。詰り努力が足りないと思ふ。又街庄の方も之に從つて働くと云ふ丈の訓練が行き屆いて居らぬ様に思ふ。それで相互の間に對して充分の訓練を行ひ、誠意を以て働いて行くと云ふ様にし度い希望を有つて居るのであります。

民事調停に就きましては、是は前に申しました様に言語風俗習慣を異にして居る人の間に對つて適當な調停をすると云ふ事は、非常なる智識と常識とを有つて居らなければならぬ是は實に困難な事であらうと思ふ。元來調停事務は極く公平に行らなければならぬのは勿論であります。が能く考へて見ますると、此

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の調停事務と云ふものは、先づ人民は爭を以て決せず、和解を以て決すると云ふ事が必要であります。それには調停する人に對して非常なる信用を有たなければならぬ。又威嚴も有たなければならぬ。調停事務は飽く迄も公平にし、何處の裁判所に持つて行つても、矢張り舊の通りの判決を見る樣に行らなければならぬと云ふ信念と精神とを以て行らなければならぬ。其れには裁判所等の意見も聞き、又當事者の意思も大に尊重して、極めて公平に之れに當らなければならぬ。尙は其の外事務の簡捷でありますが、是は先程申しました樣に、人民に直接する上から言へば、最も下に在る處の郡役所の方から簡捷を圖らなければならぬ。或は郡役所の上に州廳があり、州廳の上に總督府が有ると云ふ風になつて居る爲に、種々の手數を懸けると云ふ事で、動もすれば繁雜な事も有らうと思ふ。可成く出來る限り簡單に、誰にも解り易く仕事をして行く、所謂繁文縟禮と云ふ事を避けて、出來る限り簡捷を圖る樣に、此の際一層の努力をしなければならぬと思ふ。

十

要するに今年度の豫算と謂ふものは非常に小さくなりました。削減すべき處は出來る限り削減致しましたが、それ丈で足るか什麼か、或は其れ以上に削減しなければならぬか、又其の餘地が有るか什麼か、と云ふ事は實行の上でなければ判らぬが、併し只だ玆に期待する所は、削減致しても其の割合に效果を減さない樣にし度いと云ふ希望であります。此の點に就ては、吾々も亦、削減した其の範圍內に於て、削減しないのと同樣な效果を擧げる樣に努力する積りであります。

其れから各種の事業に對しては、未だ纏つた考は有つて居らぬ。が併し其の中には什麼取扱へば可いかと云へ研究を要すべきものも多々ある。其れで此の豫算の內には、來る年に大いに研究して大いに行ふ、と云ふ其の準備の爲に、僅かの豫算を揭げてあるのもある。又研究の爲に極く僅かな金を計上してある、と云ふ實に憫れな姿を止めて居るものもあります。是等は來年度に於て一つ宿題として研究し度いと思ふ。（以下略）

新竹州の豫算說明

新竹州大正十一年度歲入出豫算は前號所揭の如く州協議會に於て原案の通り可決せられたるが其の豫算の大要說明は左の如し

大正十一年度の新竹州の歲出入豫算に就て極く大要の說明を申します。是れは先程申した樣に本年度豫算は非常に數に於て減少致して其の爲に豫算は至つて貧弱であります。それで殆んど新らしい事業と云ふものはありませぬ。從前の事業の已むを得ぬものゝ外は總て之を縮めると云ふ樣な狀態であります。是れが豫算が一般に總括した處の說明であるのであります。是から豫算面に記載してある處の內容に就て極く概略を申上げます。

歲入經常費の中で州稅の方は二萬九千圓を減少して居る其の中で最も重いものは營業稅の二萬五千圓の減少であります。貸付業も二萬六千圓減じて居る、是は現時の貸付業と謂ふものは非常に衰退を來して金融の逼迫から斯う云ふ狀態になつて居る。詰り世間の經濟逼迫を明かに現はして居る。目星しいものは斯麼なものであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其れから雜收入の中に手數料と云ふものがあります。第三款の雜收入の中の手數料は昨年度よりも二萬六千圓減少して居る形になつて居る。是は作年度は戸籍調査を行ると云ふ事で其の手數料を見積つてあつたが實際は未だ何もはいつて居りませぬ。是は昨年から行る事になつて居つたが實際は未だ行つて居りませぬ。それで表の上では昨年度より減じて居る形になつて居るが實質は減少して居らない

それから臨時費でありますが、第二款國庫補助金の中の砂防林費九千百圓は是は新たに出來たのであります、前にも申しました樣に造林は從前は國庫の施設事業であつたが今回州の方に移さる事となつたが爲めに九千百圓の砂防造林補助金を貰ふことになりました。

戸籍制度の調査に要する費用は先程申しました樣に本年度は施行致しませぬから、三萬二千八百八十五圓と云ふ金は本年度は要らぬ事になつて居ります。

第五款の繰入金の傳染病豫防臨時資金繰入の一萬八千圓は是れは特別會計になつて居りますが、是れを一般歳入の方に移しました、其の理由は支出すべきものは非常に夥しい代りに歳入は寔に尠なく收支困難で什麼しても塡め合せが付かぬ結果として已むなく特別會計の方から一萬八千圓を一般歳入に移して漸く遣り繰りが付いた譯であります。但し特別會計の資金を一般會計に入れると云ふ事は現在の處宜しくない、之を豫算に計上すると云ふ事は規則を改正しなければならぬ事で今之を一般會計に移すには承認も受けなければならぬがそれには色々議論もあり異議もあるだらうと思ひますが乍併目下の處是に據る外は無いので一萬八千圓を此處に移す事に致しました。以上は歳入の大要であります。

次に歳出の目星しいもの丈を申しますと歳出の經常費に於きまして神社費の中で五百圓は新竹神社に供進金を納める事になつたので其の金を計上したのであります。

是は新竹神社の維持が到底出來ないと云ふので五百圓の供進を出すと云ふ事は極めて必要であると云ふことで拵えたのであります。其は從來神社に基本財產がありまして其の收入に依て聊か補ひして居つたが近頃それが非常に減少した爲に他に補助を受くるに非らされば到底維持が出來ないと云ふので出す事になつたのであります。

第二款の警察費十五萬九千圓は昨年度よりも一萬四千圓餘り減少になつて居る。是れは各項に亙りまして約一割を削減致しました其の中で雜費が少々增して居る是が官舍等が出來ない爲に借地料の增加に依るものであります。警察費は總て一割引になつて居りますが是は州費の關係で已むない事情で斯うなつたので出來る限り儉約をして見ようと云ふ事で大體に於て一割引きになつて居る。

第三款郡役所の費用は四萬八千圓の減少になつて居ります其の中で目星しいものは借家料の一萬三千圓であります、是れは今年は昨年度に於て當教して官舍を拵えた爲に減つたのであります。次に諸給に於て一萬九千圓を減じました、先づ目星しいものは斯んなものであります。

次は第四款土木費、是は全體に於て三萬四千圓の減少であります是は臨時收入に於て莫大な減少を見た結果非常に苦しい立場となつたのであります、一體土木費は何もかも非常に大きな金が要るので困つて斯う云ふ樣に豫算の苦しい時分には一番先に叩かれる性質を有つて居る、一件削らるゝと云ふと非常に大きい金が減るのである。乍併此の苦しい中に已むなく無理に計上したのも多いのであります。

第五款教育費の六十二萬九千圓是は高等普通學校と小公學校の費用であります、高等普通

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學校は來年二學級を新たに造る積りであります。さうして其の經常費として一萬二千七百八十一圓と云ふものが新たに出て來ました。是は學校の設立に伴ふ費用で新たに出來た新事業であります、小公學校の費用、是が前年度に比して二萬四千九百三十一圓の増加になつて居ります、是は學童の増加に伴ふ自然の結果であります、是は百十級許りの學級の増加を必要とすると云ふ當局職員の要求でありましたが四十五學級丈を新設することにしました其の中で三十學級以外は二部教授によると云ふ事になつて居りまして洵に氣の毒な狀態であります。

其れから第六款衛生及病院費は別に説明を加へる目星しいものはありませぬから省略致します。

第七款勸業費、此の中で説明を要するのは水產試驗費の一萬圓であります是は昨年度は三千圓を計上致しましたが是は船を拵える事になりましたが動力機は總督府の方から保管轉換をして貰つて運用することにしました、さうして海上の水產物、詰り魚族の散在狀態及漁撈の方法等を研究する爲め詰り水產上の研究をする爲に使ふと云ふ事になつて今年も此處に計上したのであります、一萬圓は寔に尠いのでありますが、是に依つて海上の漁場を開き度いと云ふのであります、總督府の方からは此の船に備へる處の漁具等に就きましては別に保管轉換をして援助して行かうと云ふことになつて居ります、米穀の移出檢査組合費是は各州の分擔になつて居ります。

其から工業獎勵費、是は此の金額を以て其の土地に產する物產に加工して工業品として出すと云ふ考へから計上したのであります、乍併夏帽子等は目下の處餘り面白くないと云ふ狀態であります、其の他澤山なものがありますが是等は未だ十分其の加工方法を敎へなければなりませぬ。

又竹とか其の他の特殊產物がありますが是に對しては少し加工したならば是も一つの商品として出す事が出來はせぬかと思ふ是等に對しても新たに職業を與へてやり度い、其の金額は千圓であります、砂防造林費は一萬九千圓であります。是は國庫の負擔に屬して居つた事業であつたが新たに州の事業に移つたのであります。

第八款社會事業費、此の中の獎勵費は從前は千五百圓であつたが來年度は二千圓で五百圓を増加しました、是は各有志の方々が非常に熱心に獎勵して居りますが其の事業に對する獎勵費であります、金額は洵に小さいのでありますが併し先程も申しました樣に有志の努力に依つて十分の效果を擧げ度いと思ふのであります、其れから第十款州稅取扱費の中で一寸紛らはしいのは旅費の一萬一千八百七十圓であります、此の旅費は非常に増加して居る樣に見えますが、乍併是は大正十年度は六千五百八十圓で十一年度は五千二百九十圓の増加になつて居りますが是は州稅旅費と一般旅費との兩方を合せて一萬一千八百七十圓と云ふ金額になつたのであります、昨年度は尙是れ以外に調査委員費と云ふ二千六百四十圓を合せたのでありましたが今年度は旅費を節減すると云ふ意味で州稅取扱費に州稅出張旅費を合せた一萬一千八百七十圓で行つて行くと云ふ事になつて居りますが實行の上に於ては寔に[illegible]な金額であらうと思ふ。

其れから次に交付金是は州稅を取扱ふ處の街庄に對して二萬六千二百八十八圓を交付して居つたものが本年度は三萬八千百八十八圓を與へる事になつたのであります。

街庄の資金が寔に苦しい狀態でありますから少しでも交付金を増加すると云ふ事は必要であります、さう云ふ點から交付金の率を上げたのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十一款は略します。第十二款、諸支出金の中で巡査の退隱料及遺族扶助料で一萬三千五百八十一圓増加になつて居ります、是は最近蕃地事件の爲に亡くなりました處の巡査の遺族扶助料とが或は退職したものゝ退隱料が急に増加した爲めであります、是は州の負擔に屬する爲めに増加したのであります、經常費は以上の通りであります。

其れから臨時部に入つて第一款營繕土木費の中で高等普通學校の新營費一萬六千圓を計上しました、是は經常費の外に臨時費として學校の校舍を建てる爲に一萬六千圓の費用が要るのであります、是は二學級の生徒を收容するに足る校舍を要しますが併し一萬六千圓の金では迚も相當な校舍は出來ない、先づばらつく式に行らなければ出來まいと思ふ、高雄の如きは三萬圓でありますが新竹州は約其の半額で行つて行くと云ふのであります、ばらつく式では却て不經濟かも知れませぬが併し豫算が許しませぬから致し方がありませぬ。

其れから次に說明すべきものは第四款の補助及寄附の中で勸業補助の中の内譯の一番仕舞の方に在る實業奬勵費補助五千圓であります是れは大溪郡或は大湖郡と云ふ方面に於て國庫の事業として養蠶を奬勵して居りましたが其れを來年度に移すことになりまして此處に計上したのであります、從來は毎年一萬二千圓宛の負擔になつて居りましたけれども成績が餘り思はしくないので中途で廢めると云ふ事になつて居りましたが、今更中絶するのは殘念であると云ふ事で繼續することゝして州に移して五千圓に増加してやることになつたのであります。

慈惠院の目が新たに設けられましたが、是は衛生及社會事業として極めて必要であります是は從來から其の計畫になつてをりますので遲く可らざる事と思ふのであります。

其れから新竹神社の水道費補助是は目下新竹神社に水を引いてありますが、其の水は嘗か腐つて到底使へない其上水量が足りない爲めに遠方から汲まなければならぬと云ふ狀態で今の處難儀をして居る、此際永久的に造り換えなければならぬと云ふ事で此處に千九百圓を以て鐵管水道を敷いて送水十町許りの處から取ると云ふ計畫で其の補助として計上したのであります。

其れから圖書館の補助一千圓……是れは初め二千圓を計上してありましたが各州共段々削られて是丈に減つたのであります。

是は桃園と新竹は從來其の組織があつて桃園文庫の如く組織がありましたが、内容は殆んど出來て居ない、圖書館と云ふものは智識の淵源でありまして是れに依つて社會を敎育し又自から進んで來る人の爲に極めて必要でありますから其の經費を此處に計上したのでありますそれで千圓で以て新竹、桃園の智識、能力を發揮させようと云ふ計畫であります。

其から水產會補助、是れは先程申しました樣に水產試驗の爲めに設けたのでありますが、内務部長は水產會長になつて居ります、是れは其の補助を致し度いのであります、水產の試驗は必要で之れと呼應すべき水產會も亦極めて必要であります、第五款州債償還費四萬五千圓是れは昨年度に借入れた金の年賦償還の元利であります、極く概略の變つた事丈の說明を申上げましたが尙ほ詳細に亙つて各參與員をして諸君の御要求に應じて說明を致さす積りであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

岡松博士追悼會に於ける 賀來總務長官の弔辭

岡松博士追悼會は別項時報欄所揭の如く舊臘十八日臺北八甲庄法華寺に於て擧行されたるが當日片山京大卒業代表の代讀せる賀來總務長官の弔辭は臺灣に於ける博士の效績を詳悉せるを以て之を左に揭けて追憶の資料と爲す。

弔辭

臺灣總督府蕃族調査會囑託正四位勳二等法學博士岡松參太郎氏曩に歐州に派遣せられ、歸朝の後病を獲て京都に在り專ら藥餌に親しむと聞く、吾人切に其の健康を祈ると雖も深く意に介する所あらざりし。如何となれば年齡知命を超ゆること僅に一歲尙ほ春秋に富めりと謂ふべく、且つ其の平生元氣の旺盛なるを知ればなり。何ぞ圖らん病遽に革り去ぬる十五日を以て溘焉簀を易ふ。嗚呼是れ何たる恨事ぞ吾人夫れ痛惜に堪ゆ可けんや。爰に辱知故舊僚友受業其他緣故の者相會し、靈位を設け時羞を獻し以て在天の靈を祭る。嗚呼吾等の欽慕已む時なしと雖も靑天碧海復た其音容に接する能はず、其恨何ぞ盡きん嗚呼悲哉。謹て考ふるに氏の邦家に對する勳業は素より鴻大なり。吾人今之を僂指するに遑あらんや。然れども我が臺灣に於ける勳業に至ては殊に最も顯著なりとす。世に臺灣統治史を說く者は必ず謂はん舊慣調査の大事業は卽ち臺灣の統治を成效せしめたる基礎事業の一にして實に我が帝國の誇ならざる可からずと。是れ夙に世人の認識する所誰か之を非議する者有らんや。實に舊慣調査は氏の雙肩に擔ふ所其責任實に重大なるもの有りしなり。然るに氏の剛毅なる克く其重任を負荷して拮据勉勵少しも懈ることなく、遂に此大事業を成功せしめたるは深く世人の驚嘆する所なり。回顧すれば氏が臺灣總督府の爲に其法制舊慣調査事務の囑託を受けたるは實に明治三十二年にして、彼の京都大學教授に任せられたると殆んど同年なりき。爾來二十有三年、淸朝時代の制度法令を研鑽し、島內に殘存せる公私幾多の古文書を採收し且つ之を研究し、苟も舊慣として法制上記錄を要するものは、其系統に隨ひ其秩序を逐ひ整然たる組織を以て總ての例規を編纂し、此に初めて臺灣法典の基礎を確立せり。往年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

舊慣調査會に於て印行したる數十卷の報告書は即是なり。憶ふに氏が京都大學に在つて多數の人材を敎養したる功績は素より大なり。然れども之を我が舊慣調査に比すれば其勞苦果して孰れぞ。氏が滿州鐵道會社の理事に推薦せられ、去て遼東の野に其驥足を展べたるは又是れ事績の著大なるものならざる可からず。然れども之を我が舊慣調査に比すれば其難易果して孰れに在りしぞ。要するに氏が五十年の生涯を折半し、其一を割きて之を我が臺灣の爲めに貢献したりと謂ふ亦決して誇大の言に非らず。臺灣統治の成功なるもの蓋し氏に負ふ所多大なりと知る可きなり。大正七年舊慣調査の結了を告ぐるや、相繼て蕃族調査會を設けられ、氏も亦其事務

臺北に於ける岡松博士追悼會

を囑託せられ、精勵刻苦猶又前の舊慣調査に於けると異なるなし。其病牀に在るや常に筆紙を手にして毫も著作を廢せざりしとかや、嗚呼天斯人に假すに年を以てせず、我が蕃族調査會の事業を完成せしめざりしを遺憾とす。然れとも此の碩學鴻才を喪ひたる我が學界の損失に至りては更に幾倍の恨事なるを知らず。憶ふて此に到れば哀惜其極に達して我淚の潸然たるを禁せず。今より吾人は其功績を表彰し、氏の身後をして盛ならしめんのみ。復た其他を知らず。嗚呼悲哉。

大正十年十二月十八日

臺灣總督府總務長官

從四位勳三等　賀來佐賀太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

朝鮮だより

最近、朝鮮の東海岸を旅行した人から、彼地の消息を送り越した。其の中に曰く、

雄基あたりは、午後の三時半頃には既に日が暗くなり、午前の八時頃に夜が明けます。寒さは華氏の十八度位、元山で二十二三度位、中々寒う御座いました。

東海岸一帯は、例の明太子、スャコなどが無やみに安値でした。雉子も安くて一羽四五十銭でした。分けて明太子は風味も至つて良く、出來るなら御送りしたい程でした。毛皮類も安いのですが、なめして無いので手が出ませんでした。大正三四年頃までは、朝鮮では外國煙草、内外酒類はベラ棒に安くて、飲まない者は損だ、と思ふやうでしたが、今度來て見て其高いのに驚きました。尤も外國ものは内地のよりは幾分安い位だのに、内地品の高いといふたら、小包でも何でも内地から來るものは、皆な税を取りますので、一層高くつきます。

世が文明になつて、朝鮮にも普通學校、慈善病院などと、文化施設が澤山設けられたやうです。併し税金の高くなつたのには、鮮人は驚いて居ることでせう。城津には天主教の會堂(カナダ人の)があり、それが學校病院を兼營して、鮮人の信望を收めて居ますが、城津の郡主が旅行の場合には、鮮人代表者が僅かに七八名、棧橋まで見送るのが例であるのに、右の教主が元山に旅行する時などには、鮮人が黒山のやうに海岸に集つて、盛んなる見送りをするとの事です。此處ばかりでは無く、朝鮮一帶に基督教は活動して居るさうです。日本の坊さんは朝鮮語を話す者は一人も無いのに、耶蘇の坊さんは皆な朝鮮語を話すさうで、しかも城津の教主の娘(十七八歳の)などは鮮人の衣服をさへ着て居るのを見ました。日本の坊さんは學校の先生をやるではなし、施藥をするでなし、讀經すれば直ぐに金を取るので、僅かに内地人を當てにやつて居るのだから皆な失敗するさうです。云々

臺灣では、草山の桃が早や咲き出して、一月だといふのに、輕いセルでも着たいやうな日和であり、偶々雨でも降つて大變に寒く——六ヶ敷言へば華氏の五十五度位にでもなると、暖國に慣れた身には、たまらなく冷たく感ぜらるゝのに、朝鮮の東海岸地方では華氏十八度乃至二十二三度であるとは、全く南の植民地に於て、一種の興味を以て語らるべきものであらう。殊に午後の三時半頃から暗くなつて、ドン／＼寒くなつて行く彼の地の冬はドンなだらう、と想像する丈けでも冷々と感ぜられる。でも、明太子などの味の好い話を聞くと、南國に產する鱲(カラスミ)と交換したいとも思ふ。酒や煙草の安いといふ便りも「隨分やつて居ることだらう」と彼地を想像せしめる。宗教界の話になると、どうやら臺灣にも夫れに似通つた點の無いでもない、と擽ぐつたく感ぜられると同時に、朝鮮でも失敗りさうかと嘆息して、宗教家の奮起を希望せざるを得ない。(一月十日、エフ)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の職業紹介所

内務局市街庄課

内地は既に職業紹介法實施せられ又其の施行令、施行規則等あらゆる制度完備し府縣は之に基きて鋭意其の業務を開始し盛に活動しつゝあり臺灣は未だ之れが實施の機運到らすと雖時勢の進轉は職業紹介事業施設を促して息ます客年八月總督府總務長官は依命通達を發して職業紹介事業施設等に關して指示する所ありたる結果臺中、臺南の兩市に於て職業紹介所の事務を開始せり左に現在の概況を示さん。

（イ）職業紹介所現在調

一、臺中州　臺中市立職業紹介所（無料以下同）
同　北斗街職業紹介所
同　田尾庄職業紹介所
同　埤頭庄職業紹介所
同　二林庄職業紹介所
同　沙山庄職業紹介所
同　大城庄職業紹介所
同　竹塘庄職業紹介所
同　溪州庄職業紹介所
一、臺南州　臺南市立職業紹介所
一、臺北州　私立臺灣職業紹介所
同　私立艋舺十善會職業紹介部
同　私立基隆公益社職業紹介部

（ロ）紹介所別成績報告（自大正十年九月至同年十一月）三箇月分

紹介所名	求人數 男	求人數 女	求人數 計	求職者數 男	求職者數 女	求職者數 計	就職者數 男	就職者數 女	就職者數 計	紹介件數 男	紹介件數 女	紹介件數 計
臺中市立職業紹介所	四〇	一〇	五〇	一七六	一	一七七	二九	一	三〇	八九	三	九二
臺南市立職業紹介所	五七	三	六〇	一六五	三	一六八	四五	三	四八	一四九	五	一五四
私立十善會職業紹介部	一八	二	二〇	六四	一	六五	三一	一	三二	五九	一	六〇
私立臺灣職業紹介部	八八	三六	一二四	一、一八九	一三七	一、三二六	八八	三六	一二四	七九四	一一三	九〇七
計	二〇三	五一	二五四	一、五九四	一四二	一、七三六	一九三	四一	二三四	一、〇九一	一二二	一、二一三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島內會社事業別

臺灣銀行調查

業別	項目	組織別	會社數	資本金	拂込金
金融	金融	株式	四一	一二七,四五〇,〇〇〇円	七〇,九六七,〇〇〇円
		合資	二	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
		計	四三	一二七,六〇〇,〇〇〇	七一,一一七,〇〇〇
工業	製糖	株式	一八	二六三,八〇〇,〇〇〇	一五一,六一八,二九〇
		合資	一	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇
		計	一九	二六三,八六〇,〇〇〇	一五一,六七八,二九〇
	纖維	株式	一三	九,五〇〇,〇〇〇	三,九六九,〇〇五
		合資	八	二五三,〇〇〇	二四九,五〇〇
		合名	一	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇
		計	二二	九,七六八,〇〇〇	四,二三三,六七五
	窯業	株式	一〇	四,九八五,〇〇〇	二,一六二,六七五
		合資	五	一二,五〇〇	一一,五〇〇
		計	一五	四,九九七,五〇〇	二,一七四,一七五
	釀造、飲料、製油、製粉、製茶及食料品	株式	二四	二〇,三二五,〇〇〇	八,四二一,五六〇
		合資	八	四五五,六〇〇	三六六,六八四
		合名	一	二〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
		計	三三	二〇,八〇〇,六〇〇	八,七九九,二四四
	化學工業及肥料	株式	七	三,九〇〇,〇〇〇	一,四〇六,〇〇〇
		合資	一	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇
		計	八	三,九五〇,〇〇〇	一,四五六,〇〇〇

業別	項目	組織別	會社數	資本金	拂込金
工業	製紙、燐寸、爆竹及染料	株式	七	一,六一四,〇〇〇	五四〇,二六五
		合資	二	一二九,〇〇〇	一一二,六〇〇
		合名	一	五,〇〇〇	五,〇〇〇
		計	一〇	一,七四八,〇〇〇	六五七,八六五
	鐵工、船渠、製船	株式	八	四,七七〇,〇〇〇	二,〇八二,二五〇
		合名	一	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇
		計	九	四,八二〇,〇〇〇	二,一三二,二五〇
	[illegible]	株式	九	一六,三五〇,〇〇〇	七,八九七,五〇〇
		合資	四	七六,五〇〇	七六,五〇〇
		計	一三	一六,四二六,五〇〇	七,九七四,〇〇〇
	電氣	株式	八	四五,九二〇,〇〇〇	七,四六六,〇〇〇
	工業計		一四七	三七〇,三六〇,〇〇〇	一八六,五六七,三七九
鑛業	鑛業	株式	一九	三六,七〇〇,〇〇〇	一六,八四五,〇〇〇
		合資	三	二三〇,〇〇〇	一九六,四九八
		計	二二	三六,九三〇,〇〇〇	一七,〇四一,四九八
農業	土地開墾及造林	株式	二四	二〇,一二〇,〇〇〇	六,二七九,七七〇
		合資	八	九二八,〇〇〇	七七八,〇〇〇
		計	三二	二一,〇四八,〇〇〇	七,〇五七,七七〇
	牧畜	株式	三	一,四六〇,〇〇〇	三六二,五〇〇
		合資	六	一八八,〇〇〇	一七〇,〇〇〇
		計	九	一,六四八,〇〇〇	五三二,五〇〇
	農業計		四一	二二,六九六,〇〇〇	七,五九〇,二七〇
水產	水產	株式	一三	七,一九七,五〇〇	二,四一七,七五八
		合資	三	一四五,〇〇〇	一二九,〇〇〇
		合名	一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇

	計	運輸 株式	運輸 合資	運輸 合名	運輸 計	物品販賣 株式	物品販賣 合資	物品販賣 合名	物品販賣 計	雜商 株式	雜商 合資	雜商 合名	雜商 計	商業計	合計 株式	合計 合資	合計 合名	合計 計
	一七	一六	三	一二	三一	二七	四一	六	七四	三八	一六	一	五五	一二九	三〇一	一一八	一五	四三四
	七、四七二、五〇〇	一九、五五五、〇〇〇	四二一、五〇〇	一〇五、〇〇〇	二〇、〇八一、五〇〇	九、六六〇、〇〇〇	一、二六九、〇七七	九八六、〇〇〇	一一、八一四、〇七七	一一、九一三、〇〇〇	五六八、九三〇	一〇〇、〇〇〇	一二、五八一、九三〇	二四、三九六、〇〇七	五九三、一四五、五〇〇	四、六八九、一〇七	一、三〇六、〇〇〇	五九九、四三六、六〇七
	二、五七六、七三八	六、五四〇、七〇〇	三八六、二〇〇	一〇五、〇〇〇	六、七一〇、九〇〇	二、八七九、七二五	一、一五三、七七七	九一〇、〇〇〇	四、九四三、五〇二	五、六二五、八六〇	五三六、四七〇	一〇〇、〇〇〇	六、二六二、三三〇	一一、二〇五、八三二	二九七、二五一、八七八	四、四〇六、六八九	一、二三一、〇〇〇	三〇〇、八八九、九六七

大正元年末	一五〇	一三七、三九九、四五〇	七四、九四〇、〇六二
大正二年末	一六四	一四九、六一五、六五〇	七九、七二五、八五〇
大正三年末	一五〇	一三七、五四六、九五〇	七一、三九四、〇一〇
大正四年末	一七一	一四一、一四五、一一〇	八一、二〇四、三九〇
大正五年末	一七六	一四〇、六八五、九八七	八七、七四四、四八三
大正六年末	二〇四	一五一、五一八、一〇七	一〇七、七四六、七二五
大正七年末	二四五	二〇〇、八九五、五三二	一三四、五六〇、三四五
大正八年末	三五〇	三七八、一九二、八〇二	二〇九、八〇〇、五一二
大正九年末	四三四	五七三、四一五、四〇七	三〇四、七八八、二一九

新竹州水產會の創立と漁場

新竹州

新竹の沿岸　竹風は世人に熟知せられて居るが新竹の海は世間から忘られて居る。否寧ろ殆んど知られて居ない。漁業と謂へば基隆と高雄が代表し、新竹や臺中、臺南等は問題にならない。唯臺中と臺南はカラスミとマサバに依り稍々知られ、新竹は鯛と牡蠣とに依つて極めて少數の人に知られて居る許りである。専問技術員でさへ新竹は漁業の出來る所かなど謂はれた場合もあつた。併し足一度州下沿岸に踏み込んで見ると、何等か水產の事業を起し得る「ポッシビリテー」を持つて居る事を直覺するに六ケ敷くは無い。「海埔地が廣い」とか「海が遠淺だ」とか「港が無い」とか云爲して所有凡てを放棄する場合が往々有り勝ちの事だが、通り一偏の視察者の談としてなら可いが、少しく立ち入つて面倒を見よう否面倒を見なければならぬ地位に在るものは今少しく親切で無くてはならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州下は海埔地も廣い（臺中程ではないが）遠淺だ、而も港が無い。之は慥に漁業の改良發達を局限して居るには相違ない。併し人と金とに依つて或程度迄自然を征服することが出來る。寧ろ自然を征服すると謂ふよりも自然に歸するといふ方が穩當かも知れない。

漁業の狀態　州下は調査の結果・鯛・鰆・鰤・鱶・鰯・惣田鰹・鮪・烏賊・鰮等の有用食族が豐富であることは慥かである。唯、漁法が拙劣の爲め漁業が獨立した產業として成立して居ない事は事實である。

現在漁業實收穫年五十萬圓見當か慥な所だらう、之に從事する專兼從業員合せて二萬人と見て差支ない。補助機關付漁船は一隻もないのだから漁船は問題にならない。幼稚な釣漁業、地曳網、刺網又は石滬等に依つて、海岸線六十浬の海から年額僅かに五十萬圓を漁獲するのだから、施設の如何に依つては將來望を囑しても間違ではない。

臺灣の三大漁場　我臺灣の漁場を位置の關係から假りに分類すると、基隆・蘇澳を根據とする東北部漁場、高雄・東港を根據とする南部漁場、根據地無き西部漁場に分けられる。北東部漁場と南部漁場は夫々官の施設と當業者の發奮と相待つて、理想的とは謂へぬが先づ相當に開發されて居る方だ。が獨り西部漁場（臺灣海峽大部分）は海の蕃地とも稱すべき未開の漁場であつて、何人も手を入れた事がない。之には種々の原因が有らうが、船舶の碇泊繫留すべき根據地の無い事が、最大原因を爲すものと見るべきである。

舊港・基隆間海路七十幾浬、高雄澎湖島の媽宮間六十浬餘なるに、我舊港より對岸福州沖合牛山島に達するには、僅かに六十二浬だと云はゞ、對岸との距離餘りに近過ぎるから何人も信を置くまいと思ふ。が事實その通りである。更に前述の臺灣海峽（西部漁場）が殆んど未開の漁場である事も恐らく信ぜられないだらう。

州下水產業開發の二大障害　當業者が餘りに低級にして、餘りに無自覺過ぎることは、漁港の無い事の二ッである。

前者の根本的解決は時の問題にして、一に敎育の普及に期待する外はない。が之を促進する唯一の方法は、指導機關の設置にあるのである、技術の見地より抽象的に考へ、水產技術員を將校に比すれば、當業者は下士・兵卒に相當する。現在では將校あるも

下士なく兵卒もない。在るには在るが訓練なき烏合の衆に過ぎないので、將校の命令は下士兵卒に迄徹底せぬから戰爭が出來ない。漁民と各個敎練は徒らに時間と勞力を要し、比較的效果の擧らないものであるから、之を組織的に統一、融合し、一號令の下に活動する樣に訓練せねばならぬ。之には指導機關たる水產會設置が一番適切である。識者往々指導機關を「產業組合法に據るがよい」とか、漁業組合令又は水產組合規則に準據せよとか云はるゝも、之れ皆な私的團體にして、目的が利已にあるから、眞の指導機關としては物足らない感がする。名義は何であらうとも差支へないから。其目的が私的にあらずして公的であつて欲しいものである。

水產會の設置　大正十年十一月十日は我新竹州水產會の誕生日である。水產業の改良發達を計るを以て目的とし、設立同意者漁業者業主一千〇三十七名あり。績々加入の見込。州內務部長を父に、勸業課長を母に持ち、全島の長男として健全に生れ出た。自分は此偉大なる使命を帶びて生れ出たる水產會の保育役たる當局と竝に會員に對し、期待する事尠なからざると同時に、衷心本會の將來を祝福する第一人者である。

水產會法は前期帝國議會に於て通過したるも、幸か不幸か未だ島內に施行せられざるが故に、法の保護監督を受くることなく、當分は任意の團體として存在するの外ない。（特に公益に目的とする社團として認可を受け法人とする場合は然らざるも）

漁港の修築は西部未開の漁場の鍵　敎育の普及は次代漁民の養成となり、水產會の活動は現に漁業に從事する者の覺醒を促し、自治心の涵養となり、以て地方制度改正の趣旨に副ふべく、同化政策の一助たるを疑はぬ。之に依つて州下水產業の二大障害の一は漸次除かるゝも、他の一たる漁港の修築は急務中の急務なりと雖、容易に著手さるゝ樣子がない。惜むべし天賦の未開漁場は永久に閉さるゝが、根據地無きの故を以て漁業の發達を或限度に局限せらるゝは、如何に斯業に志す者の苦痛とする所でなからうか。將又國家生產上の見地より見ても誠に歎はしい事である。

況んや州下に適當の候補地あるに於てをや、尙更遺憾に思はれる。故に漁港の修築は西部未開漁場の鍵なりと云ひ得るのである。

（附記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新竹州水産會の設立

一、設立年月日　大正十年十一月十日
一、發起人　渡邊敎藏外沿岸各庄長十二名
一、同意者　一千〇三十七名
一、目的　水産業の改良發達を圖り會員共同の利益を増進するを以て目的とす
一、會の事業左の如し
イ　漁業養殖及水産製造の調査指導に關する事項
ロ　水産動植物の蕃殖保護に關する事項
ハ　水産業に關する試驗研究に關する事項
ニ　水産に關する講習、講話、品評會、共進會等の開設に關する事項
ホ　水産物販賣方法改善に關する事項
ヘ　其の他水産業に必要なる事項
一、規約別紙の通（略す）
一、役員　會長　岡本佃　副會長　堀内林平
　幹事以下銓衡中

新竹慈惠院の設立

臺灣慈惠院規則による慈惠院は從來、臺北、臺中、臺南及澎湖の四箇所に設立されあるも當州下には此の種の救恤機關なく臺北仁濟院管轄の下に其恩澤に浴しつゝあるも斯くては廣く救恤の實を完ふする能はざる憾あるを以て當州下一圓を區域として新竹街に新竹慈惠院を設立すべく是れが建築費金一萬一千圓の豫算配布を受けたるを以て新竹街新竹字西門五一番田二分三厘三毛七絲を敷地に選定し近く諸般の建物起工の筈なれば遲くも大正十一年一月末日迄には竣工の運に至るべし（新竹州）

金融概況

＝大正十年十一月の＝

金融課

本年九月以降緊縮の趨勢にありし內地金融界は、本月に入り歲末金融に對する警戒準備の氣味も加はりて、更に引締りの狀態を呈し金利一齊に昂騰の傾向を見たり、コール日步の如き月初翌日物最高二錢六七厘無條件各二錢三四厘に始まりしもの中旬以後逐日引締り三十日に於ては翌日物三錢臺に躍進し割引步合亦氣配益〻強含となり年初以來の强調を示したり

本島金融界に於ても同樣緊縮の傾向を辿り、金利大體に於て保合なるも目先强氣配を示し、年末警戒の緊張を見たり

島內各銀行金利本月總平均左の如し

定期預金　最高六分六厘　最低五分九厘
當座預金　日步　八厘
特別當座預金　同　一錢三厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

證書貸付	日歩	最高	三　錢	最低	二錢七厘
手形貸付	同	同	三錢五厘	同	二錢九厘
當座貸越	同	同	三錢五厘	同	三錢一厘
割引手形	同	同	三錢三厘	同	二錢九厘

前月に比し大體保合なり、割引歩合に於ては最高最低共各一厘方の低落を見たり

一般商況依然不振を極め重要物產の大宗たる米、砂糖石炭等に就きても、取引頗る鈍狀を呈し、隨つて資金の需要少なかりしも、一時、島内米騰貴は一部資金の需要を喚起し、歲末商品仕入及地方稅納入に對する資金の需要と相俟つて金融界稍々活況を呈したるの觀ありたれど暫時にして市況沈靜に歸し、年末接近と共に、一般事業界亦警戒氣分濃厚となり事業縮少、人員淘汰、經費節減を實行し、爲めに市況惡化し、資金の新規需要も起らず、概して金融閑散、平凡裡に經過せり

島内各銀行預金及貸出金殘高の大要を見るに、預金に於ては、内地に於ける預金漸減の傾向を辿り月末合計七千七百五十二萬六十餘圓にして、前月に比し四十萬八千餘圓、前年十一月に比し八百五十一萬千餘圓の激減を示し居れり、貸出金に於ては、供給側の前途警戒に伴ふ貸澁りあるに拘らず月末合計二億二百六十六萬二千餘圓に上り、前月に比し三十三萬五千餘圓前年十一月に比するときは、實に、三百三十五萬九千餘圓の增加を來し、決濟資金需要の旺盛なるを示せり

叙上の趨勢は、東京大阪組合銀行の預金及貸出金の上に於ても此を見ることを得べし

次に重要物產に對する各銀行放資額を見るに、米、石炭、樟腦に於ては增加したれど、砂糖、茶、酒精、金塊に於ては何れも減少し、總額に於て前月に比し三百七十六萬餘圓の減少を見、現下銀行側引締氣分の濃厚なるを示したり

物價は五月以降逐月騰貴の一路を辿り、本月に於ても依然其の趨勢を示し、臺北に於ける平均指數二〇二・一〇前月に比し一・三二の騰貴率なり、更に各品に付觀察するに、清酒、澤庵漬、鰹節、鷄卵、火油、白木綿等は騰貴し、小麥粉、洋鐵、せめんとは依然低落を見、木炭、燐寸も亦低落したり、尙物價は年末の需要旺盛を氣構へ、目先多少强調を呈し居れり

手形交換月表

所在場所	年月次	枚數	交換高	交換尻
臺北	大正十年十一月	二七、九八八	一一、九〇四、五五〇	四、六〇三、〇一七
	同　十月	二六、八三三	一二、四一九、六九四	三、八〇〇、〇七七
	前年十一月	三〇、二三一	一五、〇九七、八二六	六、一三七、三四七
臺南	大正十年十一月	一六、六八五	四、八〇八、〇五四	一、三七八、七三三
	同　十月	一四、九〇七	三、九七三、九四六	一、〇二五、九三九
	前年十一月	一六、三〇〇	五、七九八、五一〇	二、四〇八、三九一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣銀行券發行高及流通高

年月日	銀行券發行高	國庫在高	市場流通高	準備並保證 準備	準備並保證 保證	制限外發行高
大正十年十一月一日	三五、九八五、八三九	三、二六九、六六九	三二、七一六、一七〇	二二、四八九、四五〇	一三、四九六、三八九	〇
同　十日	三五、六二六、九八〇	三、四六八、一〇〇	三二、一五八、八八〇	二一、六〇二、三五〇	一四、〇二四、六三〇	〇
同　二十日	三五、八五二、六八三	三、九六五、五七三	三一、八二六、五二一	二〇、四〇四、〇七六	一五、四四八、六〇七	〇
同　三十日	三五、一〇五、四四九	三、七三五、四七六	三一、三六九、九七三	一六、九八八、一四九	一八、一一七、三〇〇	〇
前月末	三五、四九一、二〇〇	三、七一四、一二七	三一、七七七、〇七三	二二、〇〇七、四七七	一三、四八三、七二三	〇
前年同月末	三四、八九二、九二五	五、一七四、九七八	二九、七一七、九四七	二一、九六七、五三六	一二、九二五、三八九	〇

大正十年十一月末預金貸出金殘高及金銀在高

銀行名	預金	貸出金	金銀在高
臺灣銀行	円 三三、一九七、四〇三	円 一五六、〇二七、七七五	円 三五、七二四、六二四
華南銀行	二、六五〇、八〇五	一三、一〇〇、五五五	一九、八〇九
新高銀行	七、四五一、七三七	一二、〇四九、二一六	二〇三、二六九
彰化銀行	八、一八四、六八六	一二、〇八〇、二九八	一九六、五二〇
臺灣商工銀行	一三、四〇〇、〇四五	一四、五五六、六四六	一四三、七二六
嘉義銀行	四、九六一、一七三	六、九五五、五五八	三九、〇四四
三十四銀行支店	八、七二〇、三八六	八、九三二、〇四四	七四、二七〇
合計	七七、五二六、二三三	二〇二、六六二、〇九〇	四、三六八、二六二
前年同月	八六、四四一、六七五	一九九、三〇三、九五七	四、六〇三、三八九

大正十年十一月中重要物産に對する各銀行放資額

銀行名	區分	米	砂糖	茶	樟腦	金塊	酒精	石炭	計
臺灣銀行	放資額	円 一〇、八〇四、八四二	円 一五、五〇〇、一八一	円 七九一、二五六	円 一、四五〇、八〇九	円 一三一、二六〇	円 五五六、九〇八	円 四、六六八、二三五	円 三五、八八〇、〇八〇
臺灣銀行	月末殘高	一五、七二三、〇四〇	三八、二四一、二二四	一、四〇一、六一九	一、六二一、五〇五	五五五、一七三	七六八、〇二〇	五、八四四、八八三	五八、八四六、二七三
華南銀行	放資額	一、四四七、六二〇	九九九、一二〇	八四九、五七三	六〇〇、〇〇〇	—	—	九六八、六二八	四、七〇七、〇六〇
華南銀行	月末殘高	一、六九五、六六四	一、三三一、八四六	八四九、七一六	六〇〇、〇〇〇	—	—	四四一、一一八	六、二六八、五八九
新高銀行	放資額	六九九、七四八	一、二九五、二二二	四七二、六一〇	二一、三六〇	四〇、六八一	四四、九一四	二一〇、五四八	一、三七一、一七一
新高銀行	月末殘高	一、三九九、四九一	九九七、九一一	一、三二二、三七七	四九、四五〇	一九、五七六	六一、九一六	三〇三、七一七	三、五一九、一四三
彰化銀行	放資額	五〇五、五一五	一四一、六二一	—	—	—	—	—	六四七、一三六
彰化銀行	月末殘高	一、二一四、六五八	四二六、五六四	—	—	—	—	—	一、六四〇、一九二
臺灣商工銀行	放資額	三二〇、六八一	三六八、九四四	四、二五〇	—	—	—	三七八、八九六	一、〇八九、二三〇
臺灣商工銀行	月末殘高	三六三、〇一一	一、〇三八、三〇〇	三七八、五〇〇	—	—	—	七一九、四三八	二、一四八、五一九
嘉義銀行	放資額	八九、六〇〇	一三七、八六一	—	—	—	—	—	二二七、四六一
嘉義銀行	月末殘高	一九一、三七〇	二一五、五八五	—	—	—	—	—	四〇六、九五五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三十四銀行支店 放資額	七八三、三九一	四三〇、四三三	四八、九〇〇	—	—	—	—	一、二五二、三三五
三十四銀行支店 月末殘高	一、一八二、八六七	一、一二〇、二四四	三一、三八五	—	—	—	—	三、三五四、三九六
合計 放資額	一四、九〇七、七八八	一七、六六七、一一二	二一、一六五、九八八	二〇、五二一、六五	一七一、六四一	六〇一、四四二	六、二一三、二九七	四三、三七四、四三一
合計 月末殘高	二一、四七四、二七九	三七、七七〇、二六八	二五五、二五二、七四七	二二、三七〇、九九九	二七四、六四八	八二九、九四六	七、八一〇、三三三	七四、〇六二、九六五
前年同月 放資額	一四、七五一、八〇九	二五、三七一、〇〇八	二二、四〇三、三〇七	三、三六八、九七〇	一八四、六九三	四四四、四六四	七、〇六四、三六四	三九、四七四、三一〇
前年同月 月末殘高	二〇、八六三、四九七	三六、〇三五、一〇二	二、八九六、九九八	四、一七五、四七九	三二〇、四九〇	六二四、四〇七	八、七四六、二三九	七三、六二〇、二二二
累計 本年放資額	一三九、八〇八、〇二九	三三二、四五五、九〇九	二四、六七四、八八二	一九、四七二、七七四	二、七〇四、一〇一	四、六六九、九三四	六三、一一一、八六四	五七三、八八七、八八五
累計 前年放資額	一九八、一三五、七六二	二七五、七〇〇、七一二	二三、四七〇、四六〇	一九、二八九、八五六	一、四六五、七五一	三、一七九、七六五	五〇、七五三、六九七	五九四、九九八、九九二

臺北物價指數表（大正十年十一月末）

品目	本月	前月	前年同月
白米	二五八・七二	二五八・七二	二三五・四七
立米	(一)一九五・六一	一九八・三五	一一六・七九
清酒	(十)二五〇・七九	二四八・〇九	二〇九・五二
麥酒	一八一・六〇	一八一・六〇	二〇四・〇〇
紅酒	一八〇・五六	一八〇・五六	一五二・七八
澤庵漬	(十)三五五・五六	三三三・三三	三三三・三三
小麥粉	(一)一六二・三六	一六六・〇四	一六五・八一
砂糖	一四二・八六	一四二・八六	二四一・七六
鰹節	(十)三二八・一八	三二〇・九一	二四八・四九
味噌	一五三・八九	一五三・八五	一六九・二三
醬油	二一一・三六	二一一・三六	一九三・一八
鴨卵	(十)二〇〇・〇〇	一九四・二九	二一七・一四
火油	(十)一三六・四六	一一三・八二	一七四・三六
綿布	一二六・九八	一二六・九八	一五六・六三
洋紙	二七八・二六	二七八・二六	三二一・七四
日本紙	二五〇・〇〇	二五〇・〇〇	二六六・六七
杉板	三五一・一一	三五一・一一	三六四・八一
杉材	三二九・〇三	三二九・〇三	三二九・〇三
洋鐵	(一)二〇九・二二	二一四・四七	三〇二・六三
鉛	(一)一〇九・三八	一一五・六三	一五六・二五
銅	一一八・三七	一一八・三七	一三三・四五
煉瓦	二六〇・八七	二六〇・八七	二九五・六五
日本丸	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一九〇・〇〇
板硝子	二五六・二五	二五六・二五	三八一・二五
セメント	(一)一七六・四七	一八二・三五	三二三・五三
鐵寸	(一)二七六・五四	二八一・四八	二九六・三〇
鹽	一四〇・九二	一四〇・九二	一二五・〇〇
烟草	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇
烏龍茶	九一・〇八	九一・〇八	七五・九〇
包種茶	一一〇・三四	一一〇・三四	六八・九七
白木綿	(十)一九〇・四八	一八二・五四	二九三・六五
石油	一九二・〇五	一九二・〇五	二四〇・六八
石炭	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	二二二・五〇
木炭	(一)一八六・六七	二一三・三三	二六六・六七
薪	二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二九七・一四
平均	二〇三・一〇	二〇〇・七八	二三三・八六

備考　本表は戰前卽大正三年七月の物價を一〇〇として計算したるものなり

本表中(十)印ハ騰貴(一)印は下落を示す

平均指數五箇年對照表

月次	大正十年	同九年	同八年	同七年	同六年
一月	二一五・五四	二七三・五三	三〇九・三六	一七八・八八	一三九・一〇
二月	二一一・四三	二八六・〇八	二〇八・七七	一八二・九七	一三七・五九
三月	二〇六・二五	二八六・九九	二〇三・九八	一八七・四七	一四二・二三
四月	一九八・五〇	二八一・五〇	二〇一・八九	一八三・一六	一三九・六八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

月					
五月	一八九・八三	二七三・九四	二〇〇・七九	一八三・九八	一三九・五九
六月	一九一・〇三	二五六・〇四	二〇八・一一	一八七・六八	一四三・三七
七月	一九二・四六	二九三・六八	二二一・三七	一九五・四五	一五四・六九
八月	一九二・六六	二四八・二〇	二三九・七〇	二〇三・三六	一六七・八六
九月	一九七・二二	二四四・七七	二三五・三七	二〇九・〇三	一六四・九二
十月	二〇〇・七八	二三四・二六	二四二・六六	二二三・一九	一六四・一六
十一月	二〇一・一〇	二三三・八六	二四八・〇一	二二一・六五	一六六・四〇
十二月	—	二三七・五〇	二六四・四九	二五一・六二	一七三・七三

各年月を一〇〇とせる本月平均指數

基礎年月	十年十月	九年十一月	八年十一月	七年十一月	六年十一月
本月平均	一〇〇・六六	九〇・二七	八一・四九	九六・四九	三二一・四六

備考　大正九年十一月及十二月末平均は逆算に付本表の通り訂正す

臺灣商況

＝昨年十一月中＝

殖產局商工課

米

內地米相場左の如し

	定期米十一月限 東京	定期米十一月限 大阪	正米標準相場（中米） 東京	正米標準相場（中米） 大阪	內地米本島相場 肥前米	內地米本島相場 豐前米
一日	四一・〇〇円	四四・六〇円	三八・九〇円	三七・八〇円	四四・二五円	四七・〇〇円
十日	四一・九五	四四・九九	三九・四〇	三八・五〇	四五・〇〇	四七・五〇
二十一日	四二・二八	四四・八〇	四〇・〇〇	三九・三〇	四八・五〇	五〇・五〇
三十日	—	四四・二四	四〇・一〇	三九・〇〇	四八・二五	五一・〇〇

當月內地期米は弱市發會に大下鞘を示し間もなく關西方の買思惑に刺激せられ急騰せしも原首相の凶變より內閣の大動搖說を傳へられ忽ち挫折せり乍去屢々報道せるか如く本年產米は著しく減收なるに彼の農商務省第二回豫想發表は五千四百六十萬九千八百石にして第一回に比し三百四十五萬餘石てふ減少なるか實際鎌入れにて更に大減少を見むかとの解釋を下す向もありて中旬來商況減切り硬化せしも高値は買方の利喰物を喚ぶことゝて一氣加勢の棒上けは許さゝりしか下旬米穀法第二條に依る外米輸入關稅免除の發表と共に再び人氣挫けちり〳〵落潮を辿り月末には又稍小締りを見せたる等相不變相當波瀾程に越月せり、正米は產地の軟化模樣と定期の行惱みに左右せられたるものにや下旬に入り兎角割安氣構にて賣行不振なりき外米としては關稅免除以來西貢一等米の如き殆んと內地米の半値なるも一向に捗々敷き賣行なきは未た內地米の消化力の強大なるを語るものにあらさるなきか

內地に於ける米況は大略上述の如し次に內地移入白米は期米高と九州筋に於ける酒造家の買進みに依る反映にてさん〳〵拍子に上進し本島產粳米は先物取引は殆んと期米次第の成行なるか何分神戶市場の荷動き不活潑なる爲め大稻埕市場極めて活氣に同じく月末二十圓九十三錢を唱へ月初めに比するときは六十二錢方の低落なり島內に於ける外米は本島米の低落せると本島には未だ米穀法の實施なき爲め關稅存置せられ取引依然不味を告け月末溫州支那

米十一圓八十錢（一袋五十斤入）見當を唱へたり糯米就中丸糯は本年二期新丸糯か新、舊正月當用さして取引季節に入り相場は前月に比し高値唱へなるか今年は稀に見るの凶作なる爲め市場は不合格米問題に逢着し下旬以來同問題成行にて商内は寧口閑散を告けたり本島米市場左の如し

	北部玄米	白米一升	長糯	丸糯
一日	円 二一・六二	円 〇・二五	円 二八・九八	円 三三・八一
十日	二一・六二	〇・二五	二八・九八	三四・八一
二十日	二一・三九	〇・二五	二九・九〇	三六・二一
三十日	二〇・九七	〇・二五	二九・四四	三六・二一

砂糖　十一月中の於ける分密糖市況は大體に於て爪哇の不勢移りに賣買共に依然さして不味を辿り一般氣乘り薄なるさ新糖氣構へ冴へす市場至極閑散裡に推移されちり安弱持合の鈍狀にて最終各地市況左記見當を唱へ居れり

▼各地市況（分密糖氣配）

一、東京市場	舊糖	現物納税	二十圓三十錢
	新糖	三四月限保税	十四圓五十錢
一、名古屋市場	舊糖	現物納税	二十圓五十錢
	新糖	三四月限保税	十四圓四十錢
一、大阪市場	舊糖	現物納税	二十圓四十錢
	新糖	三四月限保税	十四圓三十錢
一、下關市場	舊糖	現物納税	二十圓四十五錢
	新糖	三四月限	十四圓四十錢
一、島内市況	舊糖	現物各驛渡	二十圓四十錢

▼海外市況

一、爪哇白双（舊糖）	FOB	十二盾三十七仙半
一、同　中双（同　）	同	十盾六十二仙半
一、玖瑪紐育	CF	二弗二十五仙

精糖は爪哇安さ分密糖不勢に市況不味に陷れるさ折柄現物賣注き氣勢旺んさなりし其れ丈け氣配は益々惡化し下押し步調を辿りたるも一方需用季に入れる關係上相應の荷動きを見たり氣配さしては月末の入電標準物現物基隆沖本船渡二十八圓七十錢見當なりき

麥粉　米國小麥粉の不況に內地市場一般氣勢冴へす沈淪閑散にして賣買双方共に逡巡成行を傍觀の姿にて手持筋も依然さして安値には賣遊り勝なるより氣配は割合に手堅く持合居たり

▼各地に於ける最終氣配

東京入電	基隆沖本船渡	四圓三十五錢
神戶入電	同	四圓十　錢
下關入電	同	四圓二十錢
上海入電	納税物基隆税關庫渡	四圓四十錢

綿布　綿糸布は新甫發會後海外材料の不透明に氣迷ひ保合を辿りしさき突發せし原首相の兇變に人氣逆轉し氣配益々惡化し加之最近米棉續落に實需方面不振輸出買見送りのため原價的にも需給的にも樂觀の餘地なく周圍の事情は全く暗雲低迷不安の裡にあり之を眺めたる本島市況も全然恐怖相場を現出し各卸商は自然賣急ぎの傾向さなり成行漸落步調さ變せしため益々買扣えの念を強からしめ各地に亘り農業時期に遭遇したるため沈靜荷動なく又一方需要者の購買力も昨年に比し減退を來したる爲か市況閑散にして目先

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現狀にて推移するものゝ如し月末の行成左の如し

駱駝六百番	円 一四・七〇
同　五百番	一一・三〇
粂兒細布	一〇・三〇
五福祥並布	九・四〇
龍C粗布	九・七〇
三綸C天竺	三・八〇
尺一白木綿(三百八十目付)	二・六〇
同(二百六十目付)	一・七五
大尺布(五百八十目付)	三・六五
黒無地朱子目	〇・六六
黒無地ポプリン	〇・六五
紋ポプリン	〇・九五
黒光輝付ジンス	一三・〇〇
紺小倉	一八・八〇
縞小倉	一八・八〇

鐵材　旣に大需要期を經過せると例の華府會議の軍備制限にて日先鐵材の需要減てふ懸念も加はりたるにや本月中旬來鐵材市況不昧を告け氣配軟弱に傾けり尤も釘蒼鉛、鐵線及レールは何れも品薄の爲め前月に比し高値唱へにて就中釘類は英獨品輸入なく彼の八幡製鐵所の製釘材料供給工場にては月生産三千噸に及ふも來年三月迄は契約濟の狀況なりと傳へられ當市場相場も六分ものは前月に比し約一割高の二十三圓一吋半二十圓五十錢所を唱へたり

丸鐵四分(貫)	円 〇・五九
同　五分(貫)	〇・五八
釘類一吋半(百斤)	二〇・五〇
同　二吋(同)	一五・〇〇
亞鉛引平鐵二十八番(一枚)	二・一五
同　三十番(同)	一・九〇
亞鉛引浪鐵板(六尺)	一・八〇
同(七尺)	二・〇〇
同(八尺)	二・二〇
丸鐵六分(貫)	〇・五九
釘類六分(百斤)	二三・〇〇
亞鉛引鐵線八番(一丸八四斤)	一三・五〇
同　十六番(同)	一七・五〇
瓦斯管內徑一吋(一尺)	〇・一四
同　二吋(同)	〇・三二
鑄鐵管四吋水道用(一封度)	〇・八〇
レール十二封度(哩)	三六・六〇円

石炭　當月の炭況を窺ふに島內賣は契約も一段落を了へ旣に實行期に入れるか貨車廻り頗る圓滑にして例年に比するときは輸送順調なる爲め格別の繁忙を來さりしも島外賣として對內地商內は益々佳境に入り今は早や期近ものゝ賣物皆無となれり對岸支那及香港方面は彼の內地三等粉炭の投物一掃と共に本島炭の需要漸增し當月は此の方面への仕向最も殷賑を極め之れか爲め島內粉炭は殆んと品絣すれを訴へしより焚料としては塊炭及切込炭を買込むの方針を樹て以て之れか緩和を圖れりと云ふ又久敷杜絕の狀態に推移せし馬尼剌方面は當月に入り塊炭一萬五千噸の契約整ひ旣に五百噸の移出ありたる由にて移出炭商の言に依れば當月の如きは實に前年五六月以來初めて見るの盛況にして畢竟小形船の不足を招來し延て香港基隆間運賃も三圓四十錢と從來より約六十錢方の値上をなせりと云ふ蓋し彼を見此れを思はゝ本島炭界も一時の沈靜時代を脫出して大に氣勢を昂け得たりと稱すべく玆許炭界活況括目に値すべし本月粉炭相場は前月に比し更に五十錢高を唱へ頗る强氣配を示せり

一等粉炭	基隆本船渡	一噸	円 一〇・〇〇
一等切込	同	同	一三・〇〇

肥料　概して依然取引閑散を告げ豆粕は製糖會社の纏りたる買入なく農會の如きも昨年に比するときは殆んど其の需要半減以下の模樣なりと稱せられ相場は二圓四十五錢所を示し極めて活氣に乏しく過燐酸は一圓八十錢見當に低落せるも先物は案外捉りし硫安は取引なく相場は小賣もの十貫目七圓八十錢を唱へたり

工業藥品　大體に於て賣行平凡にして特記すべきものなく硫酸鹽

酸は不需要季の爲何れも幾分相場安を告け苛性曹達は依然供給不足を告け居るを以て氣丈を唱へたり當月の相場左の如し

六十六度硫酸	硫酸	二○○磅	壹箱	一四·五○円
洗曹達	一樽			三·八○
六十五度硫酸	硫酸	二○○磅	壹箱	一三·五○
月印重曹	一樽			一○·○○
二十度鹽酸	鹽酸	三○磅	壹箱	一三·五○
硫酸曹達	百斤		一俵	四·八○
四十度白硝酸		一四○磅	壹箱	二六·○○
氷醋酸	百本lb			三四·○○
苛性曹達			壹箱	一四·二○
苛性曹達	大罐	百lb		一三·八○
硫化曹達			壹箱	八·五○
硫化曹達	大罐	百lb		八·○○
晒粉(カルキ)	百筒			一四·○○
月印曹達灰	同			四·五○

セメント　セメントは內地の好況に伴ひ島內商況依然强氣配を呈し淺野セメント會社は高雄なる自巳工場の生產能力の增進を圖ると共に極力島外搬出に努力し當月も厦門百樽上海一萬四千樽大連四千五百樽大阪六千五百樽に達し尙最近香港に取引出來の模様なれは來月は更に目星しき數量に達すべく相場は六圓二十錢と前月に比し二十錢高唱へなり

海產物　槪して當用小口買に過きさるを以て商內至極閑散を告け內地も一頃は對支輸出不味の爲め相場しり安を唱へたるか鯣のみは月末幾分消化宜敷風情見えたり

月末相場左の如し

鯣(排)	六四円	干海老(機械)	八五円
干貝(角)	九二	五島鮑	三八○
干鱶	六五	鹽鯖	九

芭蕉實　內地移出も過般來逐月退嬰氣分現はれ當月は約五萬二千籠の移出を見たるに過きさるか之れ前月報にも述へたる如く需要の減退に主因するものにして相場も前月に比すれは著しく崩落し一等物臺中物六圓員林物五圓臺北物五圓見當にて先行下値裏へなり

苧麻　關三月來頓に緊張振りを示せる苧麻は當月も日清紡績會社の相當纏まりたる數量の買入ありたる外對支輸出益々好況なるを以て賣手は品薄を楯に容易に賣り應するの風情なく市價は昂騰の一途を辿り氣配頗る强硬にして宜蘭產出並苗栗產共に百斤三十五圓所を唱へたり

木炭　製茶用としては旣に需要期を經過せしも今や耐寒用として各炭商は夫々商賣料の仕入に取掛りしに產地の出廻り存外多く着炭潤澤を來せり去れと何分天候關係上未た一般に大需要を喚起せさる爲め市況極めて沈靜商內頗る閑散を告けたり當月末相場左の如し

相思炭	百斤	三圓	
雜木炭			一圓八十錢

野菜　(臺北)當月大稻埕市場に於ける蔬菜の相場左の如し(百斤當)

	月初	月末
大根	四·七○円—九·○○円	四·二○円—四·八○円
長茄子	三·○○—三·五○	三·八○—
里芋	三·八○—六·○○	四·○○—七·○○
葱	一·八○—二·○○	二·○○—三·○○
蓮	八·○○—九·○○	三·○○—二·五○
白菜	二·五○—一·五○	二·○○—
新姜	二·○○—四·○○	二·○○—三·○○
新菊	一·八○—一·六○	二·六○—二·八○
芹菜	二·○○—三·○○	二·八○—
モヤシ	三·三○—三·○○	三·○○—
長玉菜	一四·○○—一一·○○	一○·○○—七·○○
人参	一○·○○—八·○○	七·○○—
宛豆	三○·○○—四九·○○	一二·○○—一四·○○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜俎

雲南行

總督府囑託　田澤震五

此一篇は田澤氏が南洋視察の序を以て佛領ハノイより雲南へ旅行せる日記にして特に氏の本誌に寄せられたるもの、但し其の前後を省略したり。（編者）

□梁山泊の樣な水村

八月十八日、天氣は昨日程ではなかつたが、其れでも降りみ降らずみであつた。籐製の鞄と小さな革製の手提一箇とを携へ、極めて輕裝でハノイを出立した。午前九時二十分發の汽車に乘つた。從來ツーランやヴインからの汽車は、大低五時何分かに發車したのに、何うして九時二十分等と言ふ遲い時間に發車するのであらうと不審を打つと、其れは、海防から來る汽車に連絡する爲めであるとの說明で成程と悟つた。汽車は江河の鐵橋を渡つて進んで行く。沿道の景色はと見るに、只見る漫々たる水で、村落は、其の中に、此所彼所點在してゐると言つた方がわかり易く、宛然洪水の時の模樣であつた。之れで干魃期になると水が無くつて困ると言ふ話である。兎に角、ヴイン以北は、治水及び水理に就いて相當考慮を費やしたならば、良田が多量に得られて、年に何回も米作をなす事も出來やうと思はれた。扨て、午後になつて、安防（エンベイ）と言ふ小驛迄行くと、其所からは例の水は無くつて、段々と山地にかゝり、線路は續々と上り道になる。東京（トンキン）の淺い山々は、佛蘭西政府で伐木を八釜しく取締つて居るから、國境老開に到る迄、一帶に樹木が鬱蒼と生ひ茂げつて、其れに蔦蔓が絡みつき、何となく餘り見榮えのしない眺めであつた。晩の八時頃老開に著いた。

前にも一寸述べたが、此の日の汽車沿道の殆んど半ば頃迄は稻田遠く開け、沼か、湖水か、水漫々たる所々には山があり、水滸傳にある梁山泊の山塞のやうに其所に村落が存在してゐるらしかつた。此の邊の土民は、小舟で交通して居たが、其の小舟は竹を薄く剝いで編んだ、所謂アンペラの樣な物で作られてある、一寸考へると水が漏りさうだが、之れには木から取つた一種の油が塗つてあるので、其の心配

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は絶無なのである。扨て、其所を過ぎると、今度は全部淺い山地で、少しの變化もなく、線路全體が殆んとSカーブで繼續され、客車の動搖は實に烈しく暴風時に船にでも乘つたやうな感がした。

□囚人の河越えして逃げるナムチ河

老開は、ハノイから三百九十六基米の地點にあり、佛領東京と雲南省との國境で、又江河とナムチ河との合流點に位し、老開縣の首府である。其の對岸には、黑龍と言ふ雲南省の町がある。老開には只一軒例のハノイの豪傑下村君の支店がある。日本人旅客の便を計つて旅館を兼業し、支店長は末松君と言ふ男である。態々出迎を受け、往復とも荷物や其他種々と同君の世話になつた。此所で一寸面白い話を聞いた。其れは、此地の囚人は外業に從ふ場合、日本のやうに鐵鎖で繋がれるやうなことはなく、全く野放しで、只看守(同じく安南人)が銃を持つて看視して居るに過ぎないのださうな。所で、夏になると囚人はナムチ河に水汲みに來ることになつて居る。此時彼等は河の中流所迄行つて清潔な水を汲んで來るの例であるさうだが、冒險的な囚人は看守の油斷を見濟まして、ヅボンと河中へ潜入し、對岸の支那領黑龍へ泳きつかうとする。すると、看守は直ちに此の脫走者に向つて銃を發射する。脫走者は又忽ち水中へ潜入する。此のナムチ河は其の巾三百間足らずの狹い河で、兩岸には鐵橋が架してあるから橋上に多くの野次馬が集つて、各贔負々々で、或は看守に、或は囚人に、大聲を擧げて聲援する。彈丸は囚人の身邊にヒユー〳〵と落下する。斯くて彼は惡運拙く彈丸の爲めに生命を落すこともあるが、運よく對岸に泳ぎ附けば、もう締めたもので、佛蘭西政府は之を何うすることも出來ない。支那側で一日取調べを受けて翌日は放免になる。放免さるれば、其の日から再び橋を渡つて佛領へ來ても、大手を振つて歩けるとの話。此の生命がけの活劇を見るのは仲々面白いとのことであつた。

扨て老開發車は翌日午前六時四十分、稅務吏が來て種々と面倒臭く荷物を調べる。對岸の支那領へ行くと、又支那官吏が之を調べる。其れで、對岸の黑龍發車は遲れて七時何分かになつた。

□蜀の棧道の樣な難鐵路

老開から先きは、所謂山又山で、線路の勾配は極めて急、而も蛇ののたくるやうに、繞々と上つて行く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の嶮峻なること、實にお話にならぬ程である。予は我國に於て、鐵路の難道を以て聞こえた碓氷峠も越えたし、甲府鐵道、或は木曾鐵道にも乘つて見たが此樣に甚い汽車は始めてゞある。彼の蜀の棧道と言ふも斯んな所ではあるまいかと思はれた。山又山の間を縫つて前に進むかと見れば、左に右に、或は後への方向に行くので、一體此の汽車は、何れの方角をさして走りつゝあるかを疑はしむるのであつた或る個所の如きは、深い谷を隔てた直ぐ其の對岸に行くのに、彼方へ曲り、此方へ曲り、約一時間余もかゝつて漸く其の線路へ出た有樣であつた。而して、線路は大低河に沿つて遡るのだが、一方山に沿うた側は、鐵道布設の際、經費の關係上成るべく手を省いた結果、汽車の窓と殆んどすれ／＼に、突兀たる岩角が露出して、浮かり窓から首でも出さうものなら、それこそ危嶮千萬である。嘗て支那人がそれをやつて、岩角に首を打つけ、卽死したとの話であつたが、全く嘘ではあるまいと思はれた。夫れから、河に沿うた側は、線路の全部が然うだとは言はぬが、多くは汽車を隔てゝ一寸の余地もなく、窓から首を出して見ると、直下幾千仞の溪流で、河中には岩石が兀々として橫たはり、泥水が之に激して淙然たる樣は實に眼眩み、魂も消え入るばかりであつた。又此の老開から阿迷州(アミチヨ)迄の山間に、鐵橋が三箇所ある。其の一箇所は、甲斐の猿橋の樣に、兩岸から合掌を差出して橋の中央を支へて居るが、他の二つは、何百呎と言ふ深い谷底から、アングル鐵材を蜘味手十文字に組立てたもので、遠方から之を眺めると、恰度蜘味の巢でも見るやうで、誠に奇觀であつた。而して老開から雲南迄の間に、隧道の數は、百六十有餘もあつて、其の多くは單に石灰岩を刳り拔いたと言ふに過ぎず、而も眞直のものは一箇所もなく、其中は矢張り８字なりに続々して居たのであつた。以て如何に此の雲南鐵道線路が難道であるかと言ふことを讀者は想像出來やうと思ふ。尙は此の沿線の停車場附近には巡査の宿舍と、他に一二軒土民屋があるに過ぎない有樣であつた。

口鏡の如きシイタン湖

如上終日山又山、而も樹木一本無い禿山許り見て來たが、午後五時頃に、始めて少し廣々した平地を眼下に見下す所へ來た。此の時同車して居た一人の支那人、彼は英語が話せて、其の荷物に、製圖板だの

丁定規、或は高度計を所有して居たが、自ら稱して廣東の住、技師だと言つて居た。彼の説明に依ると此所の山の名は、ダイチローと言ひ、眼下の平野は其の巾一哩、長さ五哩程のシィタンと稱する湖水の沿岸であるとのこと。高所から此の平地を瞰下する景色は實に佳い。今まで長時間殺風景な山許り見て居た目には、何んとなくほつとした氣持がされた。と見ると、シィタン湖は眼前に鏡のやうに澄み渡り田園は黄に、緑に、或は青く、一大地圖を擴げたやうな色彩。湖水の對岸の山を飾る紅の土と、緑の草の配合も美しく、軈て夕陽が湖面に映え渡る風情等急に地獄の底から天國に浮び上つたやうな心地がされた。此の山に紫の桔梗の花が咲いて居たのも何となくしほらしい感じがした。其所を過ぎると、線路は少しく下りとなつて、曲折する。更に隧道を四つ五つ通過すると阿迷州(アミチョ)平原に出て、午後六時二十分阿迷州に到著した。(雲南鐵道は線路危險の爲め夜間は運轉しないのである) 例の支那人君の案内で、此の地大觀樓と言ふ支那人旅館に一泊した。

□箆棒に安價な大觀樓

此の家には、支那の士官や、兵隊が澤山下宿して居た。雲南省の兵隊は、霜降りの小倉服を著、帽子は日本の兵士と同じく赤の色ではあるが、凡てが何となく貧弱な感がした。此の家は何々司令部とでも言ふのか、夜通し哨兵が交代に起きて居た。予の室は誠に汚ない室で、ベットも亦極めて汚なく、氣持ちが悪かつた。但し夕食は、小さい皿に卵燒、其れから青い唐辛と豚との煮〆、きやべつの煮た物、きくらげと何かの煮込、以上六皿の外、大きな茶碗に青い物を浮かした汁が一杯、其れに飯、朝食も夕食も殆んど同樣で、即ち二食と宿料とで一弗卅仙とは又箆棒に安いと思つた。此の家に英語を少し話す支那人番頭が居て、大變に都合がよかつた。此夜予の許に一人の支那人が來て、予の旅行目的等種々と尋ねたので、後で彼の番頭に聞くと、彼は探偵だとのことであつた。夕食後市街を散歩した。夜店があつて種々な食物を賣つて居たが、其の中日廻草の種子を焙つたのを支那人が盛に喰つて居つた。

□平原地と甘い果物

翌日は午前六時四十分發車。此の日の線路も山又山であつたが、昨日の道とは少し増しの様であつた。阿迷州と雲南の間には、約十箇所許りの平原がある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、其の中に最も大なるものは、雲南平原である。之れは廣さ南北十哩、東西六哩許りで天地湖と稱する大湖岸に面して居る。阿保平原、門通平原等も稍々廣かつたけれど、其の他の平原は一哩に二哩位の小さいもののみであつた此間宜良と言ふは相當の町らしく、遠く城壁が見えて居た。此の驛で「チーキン〳〵」との呼聲で、支那人の子僧が、茸類の一種で、根元に赤土のまみれたものを賣つてゐた。又た此の邊では梨を栽培してゐた。其の種類は、果實の外皮が青いもので、其の味は稍々可なるものであつたが、果樹は只自然の儘に放任され、我國のやうに棚を作つたり、或は剪枝を行ふ樣な模樣は一向に見掛けなかつた。其の外、桃は赤く大なる物。味も甘いが、液汁は多分に無い。石榴は其の形頗る大で、味は尤も佳良のものを産するのである。夕方の五時二十分雲南府に着いた。

□雲南府の日本旅館

例の同車した支那人技師先生の案内で、日本旅館府上君の家へ行つた。同君は、尚ほ市中に一軒日本雑貨店を開いて居る。此所は元と旅館の看板を掲げて居たのだが、支那人客を泊めると、やたらに痰を吐きちらすので、汚くて仕樣がなく、今日では看板を徹して、只日本人のお客樣だけ賴まれ、ばお泊め申して居ますとのこと。其れでは『何卒お泊り下さいではなく、何卒お泊め下さいですね』と冗談を言ふと此家のお神さんは『全くそう言ふ譯です』と受け止める。主人府上君は、過般當地特有の熱病に冒され、病は既に本復したもの、脚にまだ力が無いので、ぶら〳〵して居ると言ふ。

□小動物園の樣な府上君の家庭

此の家は主人夫婦に、晝間丈け雜貨店の方へ行つてゐる息子が一人、この三人暮しだが、ポインター種の大きな洋犬が四疋、小さい洋犬と地犬が一疋宛都合六疋の犬と、其れから暹羅種の猫が親子共十疋、其れに兎が居る、モルモツトが居る、鳩が居る、鷄も少し居て、宛然小動物園の觀があつた。其上、ダリヤ其の他の西洋草花まで栽培して居る主人夫婦は餘程多趣味の人と見えた。兎も角もと、二階の一室へ通され、先づ服を着替えやうとして居ると、何かは知らず、無數の小蟲が眞黒くなつて足に匍ひ上る是れは是れはと、よく見ると其れが皆小さな蚤であ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つた。是れは堪らぬと逃げ出して、お神さんに告げると、此の室は長い間空室になつて居たので、然ふなんでせうと、直ちに其の隣室に席を移して呉れた夕食には馬鈴薯と牛の挽肉料理や、トマトの料理で野菜好きの予は、非常に旨しく喰つた。

口氣候が好くて物價の安い雲南

扨て、此の雲南地方は生活上實に好適な所だと感じた。先づ氣候だが暑夏八月と言ふのに、夜分は上に布團を着なければ寢られぬ程涼しいのである。其れに冬の寒い日でも、偶々霜柱が立つ位で、例へば夏冬共に褐色の小倉服一着で濟ます事が出來るとのこと以てその一般が想察されるであらう。次には、此の地の物價が非常に安い事である。此所の通貨は、當時佛領の金より二割五歩も安いのに、其の安い金を以て、鷄卵が十個　六仙、牛肉が百六十匁で二十仙、豚肉が同じく卅仙であつた。試みに、邦貨に換算し臺北の其れ等に比較すれば左の通りである。

	牛肉 數量	牛肉 價格	豚肉 數量	豚肉 價格	鷄卵 數量	鷄卵 價格
臺北	一〇〇匁	七〇、〇錢	一〇〇匁	六〇、〇錢	一〇個	六〇、〇錢
雲南	同	一二、五	同	一五、四	同	五、五

以上は其の一例に過ぎないが兎に角凡べての物價が非常に安い事は事實である。

口雲南の市街觀

雲南の市街は、支那流の平たい切石が敷きつめてある故、其れが凸凹となり、自動車、人車、馬車何れも駄目である。從つて左ういふ物もない。市中の交通機關は、轎と馬背のみである。荷物の運搬には特に大きな木製輪の牛車を用ゐて居るが、其の車輪たるや、不規則に磨滅し、殆んど不正楕圓形になつてゐる。此れを委細介はず、ごとり／＼と挽き廻つて居るが、其の運搬力を減ずることは勿論であらうと思つた。市中は常に人出が多く、人間がうよ／＼して居る所へ馬に乘つて通る、轎に乘つて通る、それに又、牛の群、緬羊や、山羊の群、荷を附けた馬の群等が、遠慮會釋もなく其の中を通行するから其等の糞で往來の不潔さは言語に絶し、又野良犬の數も市中に夥しいのであつた。

其れから、此地の家屋の構造は、殆んど全部が臺灣で土角と稱し泥土を適當な大きさに干し堅めた物を同樣に積み上げ、その外面に壁を塗り、屋根を瓦葺とするのであつた。一寸前に言ひ忘れたが、同じく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雲南領で、老開に近い山間の一地方に於て屋根は水平で、全部泥土を以て作られた眞四角な民屋の集團を見たが、此れは遠方から見ると、恰も砲臺でもある樣で一寸奇觀であつた。

□雲南と日本

此の地の領事代理藤村君は酒好きで、頗る愉快な人であつた。一夕鋤燒の御馳走に招かれて、種々と君の抱負を聞いたが、君は、日本と雲南とを結びつくるべく、種々なる計畫を有つて居られる、曰く雲南の石炭、曰く鹹水鹽問題、曰く阿片、曰く銀坑、曰く錫坑、曰く輕鐵問題、其の他、雲南に我國から綿絲綿布の輸入問題等種々有益なる話を拜聽したが、之れは充分に調査した上でないと、今の處其の是非を判定することは出來ない。其所で、予は、此の地滯在僅かに三日、汽車沿道とて、此亦單に往復に見た丈けだから、餘り正しい觀察ではあるまいが、予の考察では、雲南は氣候好適、加ふるに物價が安いと來てゐるから、其所に駐在すると言ふやうな人には生活は容易であらう。併し平地面積の極めて少ない代りに、斯く高山地滯のみ多い所、而も交通機關の頗る不完全の場所では、何を遣らうと言つても、餘り大なる望みは無いやうに思はれた。

雲南では、虎や豹や、其の他の毛皮が頗る安價のやうであつた。即ち其の一例を擧げると、立派な豹の皮が一枚僅かに二十圓で買へたのである。

大正の古島民

熱海にて　蕉鹿夢

今は昔、源家の文將實朝卿の詠せし和歌に、

箱根路を。わが越えくれば。伊豆の海や。沖の小島に波の寄る見ゆ。

といへりしは、伊豆山熱海の東南海中に近く孤立する、初島の小嶼を指しゝにて、實に海岸を離るゝこと僅に三里に過ぎず、古來島内の住民は四十戶を限りとして、活路の餘裕を生存競爭の外に求むる、不文の慣例あり、民風概ね質朴にして、絕えて奢侈輕佻の習はしなく、島民の老ひたるをば、なべて父の如くに敬ひ、幼きをば、すべて子の如くに慈み、少壯のともがらは、各々兄弟の好みを以て相親み、全島一家、鄕保骨肉、眞に是れ現代に於ける太古の仙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

境とも謂ふべきか。

因に云、斯種の戸數制限、言ひ換ふれば、人口制限は、一種の社會政策に置礎せる、不文慣例にして、彼の越中國上新川郡有峰村（現在は大山村の大字）の如き、飛彈交界の一別境とし、三州志に、『有嶺は、立山の谷にて、新川の郡内を距る十里、其民は、昔高家の人の亂を避けて、山に入りし者の末なりとて、言語野卑ならず、常に相呼ぶに、實名を云て、俗名を稱せず、九月以後、深雪往來路絶ゆ、村人夜々集りて、義經流の軍書を讀む、近年まで、佛法を知らず、藥物を知らず、病あれば、立山權現に祈るのみ』と、見ゆる所なるが、此一村落に在りて、古來亦十二戸を限りとせられたりきとぞ、其他、琉球の八重山群島に屬する、與那國島の島仲村落の殊風に就き、宮良當壯氏の八重山物語中に、『島仲に、人桝田といひて、昔島民の數を調査したる所あり、田はピトバカリダー即ち人量り田といひて、面積五百餘坪、深さ僅に踝を沒する程にして、島民を此田に密集せしめて、其殘餘の黔首をば、悉く殺戮せりといふ』と見ゆる如きも、亦齊しく人口制限の原始發生を物語る資料と見らるべし。

島の廣袤、東西八丁、南北四丁、周回約一里に過ぎず、其農耕に適する面積十七町歩餘りありて、土性上稻米を産せざれども、他の穀菜は、一歳に三收の利潤あるものあり、而して漁獲の益に至りては、殆ど之に倍蓰するものあり、若し一たび魚群の簇り到ることあれば、法螺を吹き鳴らして合圖となし、島内の壯丁、悉く馳せて舟に上り、之によりて收むる利獲は、四十戸に均分して、毫微も不平の聲あるなく、唯だ僅に女子の專業に屬するのみなる農耕に、畑地の各自所有を認め、其收穫を自家の取得に任かすといふ、若し夫れ謂ふを得べくんば、理想的なる共産主義の面影は、斯の如くにして此島民の間に索めらるべきか。

島の鎭守としての初木神社あり、伊豆山走湯の開祖たる、木花香波津姫命を祀る、相傳ふ、初め命は、此島を以て、發祥の地と爲したまふ、乃ち神の名に因みか、ハツキ島といへるが古名にて、後世省きてハツ（初）島と呼ぶに至れるならむ、或は此姫命は、伊豆山權現の乳母神にましますともいふ、兎に角、現在の社祠は、觀應二年の建立といへば、其由來久し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

きを知るに足る、大日本地名辭書を按ずるに、

初島は、明治維新の頃まで、忌穢の古俗存在したり、卽ち女子、產後及び月經時、又は喪中には、村外に隔離せる別屋に置く、之を田屋といへり、大略產後は七十日、父母死すれば三十五日、伯叔父母兄弟姉妹には十五日を忌盡としたるが、維新の際、官吏の命にて、田屋を毀ち、風俗變革す、而も今に至るも、觸穢者に、日數を減じて、別火を食はしめ、其遺習滅盡せずと云ふ。

と載す、島の特產として、水に鰒魚、蝦魚のたぐゐは、夙に豆相に最たるを以て推され、陸に水仙文珠蘭の名、亦世人の珍愛する所、桃樹の紅霞、春を飾るは、殊に一段の興趣を添ふるを閑却すべからず、故成島柳北翁の手記に據れば、『閭島無毛族。土人唯識猫。航之雖一葦。知與世間遙』と見ゆ、蓋し然るものあるか、若し夫れ風死し、浪靜かなるの夜、島民の舟に點ずる漁火が、對岸に映ずる光景に至りては、眞に是れ一幅の活畫、古るく熱海八景の一として、初島漁火の稱ある所以なるべし、蜂須賀侯茂昭嘗て熱海に一遊し、

いざり火の。かげは波間に。見えながら。月になりゆく。初島の浦。

の詠あり、目のあたりに觸れし寫實の敍景なりしと覺ゆ、さても現代日本の近海に、古へに在りしと聞くなる、武陵の桃陵を實在せしむるもの、今の澆季を戒むるに足るの誇りなるべくや。

●保甲と壯丁團の現狀（大正九年末）

▼保甲

州廳名	保數	保正	甲長
臺南州	一、四七五	一、四七三	一四、五三七
臺中州	一、二三六	一、二三六	一〇、八八三
臺北州	九七二	九七〇	九、〇九三
高雄州	八三一	八三一	八、一五八
新竹州	六六五	六六五	六、六一六
花蓮港廳	二五	二五	二四四
臺東廳	一〇	一〇	一〇三
計	五、二一四	五、二〇九	四九、六三三

▼壯丁團

州廳名	團數	團長	團副長	壯丁
臺南州	二五三	二五〇	一、四二五	一一、六七〇
臺北州	二〇五	二〇四	七三九	六、八八八
臺中州	一七二	一七一	一、一二六	九、五八二
高雄州	一五一	一五七	六六九	七、五三三
新竹州	一四五	一四三	六六一	五、九四〇
花蓮港廳	一五	一五	三三	三〇〇
臺東廳	八	八	一〇	一五八
計	九四九	九四一	四、六五二	四一、四七〇

南支南洋其他の
海外重要記事
官房調査課

勞働問題及賃金

戰時及び平時に於ける勞働

Labour in War and Peace, by G. D. H. Cole. (F. R. Dec. 1921. P. 972.)

失業と其の救濟策、產業の社會化

Unemployment and The Remedy: The Socialisation of Industry, by Capt. A. S. Herbert. (F. R. Dec. 1921, P. 1006.)

賃銀調整の一要素としての生活費

The Cost of Living as a Factor in Wage Adjustments, by F. H. Bird. (A. E. R. Vol XI, No. 4, Dec. 1921, P. 622.)

產業

甘蔗栽培と蔗糖製法

The Cultivation of The Sugar-Cane & Manufacture of Cane-Sugar. (B. I. I. Vol. XIX, No. 1, 1921, P, 26-59.)

砂糖の分類法

Classification of Sugar, (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2157.)

製紙原料としての大草

Giant Grasses from Paper-making. (B. I. I. Vol. XIX, No. 2, 1921, P. 174-189.)

ゴムラック

La Gomme-laque. (E. E. Nr. 237, Dec. 25, 1921, P. 2.)

バナナと其の用途

The Banana and its Uses, by William A. Murrill. (S. A. Dec. 1921, P. 118.)

軍事

世界列强の陸軍

Leading Armies of The World. (S. A. Dec. 1921, P. 96.)

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. E. R.	American Economic Review
A. R.	Asiatic Review
B. I. I.	Bulletin of Imperial Institute.
C. H.	Current History Magazine.
C. P.	China Press.
C. R.	Chinese Recorder.
D. E. I. A.	Dutch East India Archipelago.
E.	Economist.
D. E.	Das Echo.
E. E.	L'Eveil Economique.
E. R.	Empire Review.
F. R.	Fortnightly Review.
N. Y. T.	NewYorkTimes,Daily withSunday
OL	Outlook.
Q. R.	Quarterly Review.
R. F. E.	Review of Far East.
R. G.	Rangoon Gazette.
R. I.	Le Revue Indochinoise.
S.	Statist.
S. A.	Scientific American, Monthly.
S. F. P.	Singapore Free Press.
Stm.	Statesman.
T. Ed. S.	Times, Educational Supplement.
T. I.	Times of India, Weekly.
T. T. S.	Times, Trade Supplement
W. W.	World's Work.

■ 世界一般 ■

人口及社會問題

世界の人口

Das Bevolkerungszahr der Erde. (D. E. Nr. 1999 (32) 3. Nov. 1921, P. 3496.)

種族的特性の不變に就て

Permanence of Racial Characteristics. (Stm. Dec. 4th, 1921, P. 18.)

私生子問題

The Unmarried Mother, by F. H. Snow. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 433.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

from Thursday, Jan. 5th to Wednesday, Jan. 11th 1922.) (R. F. Vol. XIX, 7, Jan. 14th. 1922, P. 284.)

華府會議に於ける支那
China at The Conference. (E. Vol. XCIII, No. 4083, Nov. 26th, 1921, P. 930.)

世界會議に於ける支那
China at The World Council, by Sao-Ke A. Sze. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 397.)

華府に於ける日本に對する支那の策略
Chinese Hosts at Washington to Japan. (C. P. Jan. 1st, 1922, P. 1.)

南方支那の警告
South China's Warning, by Mu Soo. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 400.)

軍備縮小及び太平洋諸問題に關する書籍
Books on Disarmament and Pacific Problems, by Lindsay Rogers. (W. W. Vol. XLII. No. 2, Dec. 1921, P. 218.)

■亞　細　亞■

一　般

極東に於ける海運の競爭
Shipping Competition in The Far East. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th 1921. P. 2181.)

極東に於けるセメント工業
L'Industrie du Ciment en Extrême-Orient. (E. E. Nr. 236, Dec. 18, 1921, P. 11.)

日　本

日本の貿易と財政
Japanese Trade and Finance. (E. Vol. XCIII, No. 4,083, Nov. 26th, 1921, P. 930.)

太平洋上島帝國の海軍策
Why Japan Would be Mistress of The Seas, The Naval Policy of The Pacific Island Empire, by William Howard Gardiner. (W. W. Vol. XLIII, No. 2, Dec. 1921, P. 212.)

日本英國及び世界平和
Japan, England and World Peace, by S.

財　政

平和三年後の世界財政
World Finances after Three Years of Peace. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec 1921, P. 518)

其　他

マラリアの脅威
The Menace of Malaria, by W. M. W. Cadbury. (C. R. Vo. LIII, No. 1. Jan. 1922, P. 34.)

最近に於ける蛇毒の研究
Recent Studies of The Fenomous Snakes, by J. Beyer. (S. A. Dec. 1921, P. 119)

華盛頓會議及太平洋問題

華府會議の精神
The Spirit of Washington. (N. S. Vol. XVIII, No. 449. Nov 19th, 1921, p. 188.)

次の華府會議
The Next Washington Conference. (N. S. Vol. XVIII, No. 450, Nov. 26- 1921 P. 216.)

開會中の軍備會議
The Arms Conference in Action. (C. H. Vol XV, No. 3. Dec. 1921, P. I.)

實際的政策としての軍備制限
Disarmament As a Practical Policy, by J. Ellis Barker. (F. R. Dec. 1921. P. 882.)

前途に横はる危險；華府軍備會議よりの社說的通信
The Lions in The Way; Editorial Correspondence from the Armament Conference at Washington, by Ernest Hamlin Abbott. (01. Dec. 14, 1921, P. 597.)

華府會議（一九二一年十二月二十九日／一九二二年一月四日）
The Washington Conference. (Period from Thursday, Dec. 29th, 1921 to Wednesday, Jan. 4th, 1922.) (R. F. Vol. XIX, No. 6, Jan, 7th, 1922, P. 235.)

華府會議（一九二二年一月五日／同月十一日）
The Washington Conference. (The Period

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那

佛領老撾の山地研究(續)
Par les Sentiers Laotiens (Suite). Par Dr. Guillemet. (R. I. XXIVe Annee-No. 7-8, Jullet-Aaut, 1921, P. 1.)

古代及び古近代に於ける安南民族の 的研究(續)
Le Peuple d' Annam daus l' antiquite et le haut moyen Age. (Suite) Par C. Patris. (R. I. XXIVe Annee-No. 7-8 Jullet-Aaut, 1921, P. 31.)

印度支那佛教史
Histoire du Bouddhisme en Indo-chine. Par Samy. (R. I. XXIVe Annee-No. 7-8, Jullet-Aaut, 1921, P. 77.)

安南に於ける漢字教育
L' Enseignement des caracteres Chinois, 1, Par Le-Thuoc. (R. I. XXIVe Annee-No. 7-8, Jullet-Aaut, 1921, P. 93.)

マルセイユ博覽會と河內共進會
Expositon de Marseille et Foire de Hanoi. (E. E. Nr. 236. Deo. 18, 1921, P. 1.)

急設を要するニンビン、フアヂム間の鐵道
Un Chemin de fer Urgent; Ninh-bin Phat-Diem. (E. E. Nr. 236, Dec. 18, 1921, P. 4.)

東京に於ける乾燥バナヽ製造
L'Industrie de la Banane sechee an Tonkin (E. E. Nr. 237, Dec. 25, 1921, P. 6)

河內の電燈事業
Notre Lumiere Electrique. (E. E. Nr. 237, Dec. 25, 1921, P. 7.)

英領馬來

英領馬來に於ける學事一班
Opening in British Malaya. (T. E. S. No. 346, Dec. 3rd, 1921, P. 540.)

馬來聯邦州の保護領制度
The Protectorate System in The Malay States, by Mr. J. R. Innes. (S. F. P. Dec. 14th, 1921, P. 13.)

Bonsal. (C. H. Vol. XV, No. 3. Dec. 1921, P. 391.)

日本對濠洲貿易
Trade between Australia & Japan. (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 225.)

日本に於ける製艦計畫
Naval Construction in Japan, by Hector C. Bywater. (S. A. Jan. 1922, P. 25.)

支那及香港

米國領事の揚子江上部に就ての報告
U. S. Consul sends Report on upper Yangtse Trouble. (C. P. Jan. 1st, 1922, P. 20.)

廣東と資金
Canton and Capital. (C. P. Jan. 1st, 1922, P. 8.)

淮水汎濫地方に於ける飢餓に瀕せる人々
Millions Face Starvation in Hwai River Flood Area. (C. P. Jan. 1st, 1922, P. 21.)

阿片喫烟反對團體の日本攻擊
Anti-Opium Body Levels Changes against Japanese. (C. P. Jan. 3rd, 1922, P. 3.)

支那學校制度に必須なる多くの變動
Many Changes needed in China School System. (C. P. Jan. 4th. 1922. P. 3.)

注目すべき山東問題
The Shuntung Question to The Fore, by Hollington K. Tong. (R. F. Vol. XIX, No. 6. Jan 7th, 1922, P. 231.)

饑饉豫防の再造林と改良農
Famine Prevention by Reforestat on and Improved Agriculture, by John H. Reisner. (R. F. E. Vol. XIX, No. 7, Jan. 14th, 1922, P. 281.)

香港の治水事業
Le Service des Eaux a Hongkong. (E. E. Nr. 236, Dec. 1921, P. 9.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

View. (Stm. Dec. 7th, 1921, P. 7.)

印度の反英運動
India's Movement against British Rule, by V. B. Metta. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 467.)

時局に面しての印度總督;カルカルタに於ける演說
Viceroy on The Present Situation; Speech at Calcutta. (R. G. Vol. XLI, No. 51, Dec. 19th, 1921, P. 7.)

印度鐵道敷設の爲め5½%利附印度政府英貨新公債10,000,000,ポンドの募集償還期日は一九三二年一月十五日
New India Government Sterling Laon; For Indian Railway; L. 10,000,000 5½% Loan repayable at Par Jan. 15th, 1932. (R. G. Vol. XLI, No. 51, Dec. 19th, 1921, P. 19.)

カルカルタに於ける印度總督ベンガル國民商業會議所への回答、印度將來の開發
The Viceroy in Calcutta; Reply to Bengal National Chamber of Commerce. Future Developement of India. (R. G. Vol. XLI, No. 51, Dec. 19th, 1921, P. 21.)

緬甸政府の米價策
Burma Government's Rice Policy. (Stm. Dec. 7th, 1921, P. 8.)

米價問題に關し緬甸政廳と蘭貢市廳との間に交換されし公文書
The Rice Position; Correspondence between Government and Municipality. (R. G Vol. XLI, No. 50, Dec. 12th, 1921, P. 23.)

緬甸の米價問題(社說)
The Price of Rice. (Editorial., (R. G. Vol. XLI, No. 50, Dec 12th, 1921, P. 29.)

1921—22年に於ける緬甸の綿產豫想
Cotton Crop in Burma, 1921-1922. (R. G. Vol. XLI, No. 50, Dec. 12th, 1921 P. 27.)

■南 洋 諸 島■

新嘉坡港務部營業報告
Singapore Harbour Board: The Year's Business. (S. F. P. Dec. 21st, 1921, P. 12.)

印 度 及 緬 甸

國內及び海外に於ける印度人の敎育
Education of Indians-At Home and Abroad, by Sir Deva Prasad Sarvadbikary. (A. R. Vol. XVII, No. 52, Oct. 1921, P. 701.)

カルカッタ商賈とボイコット
Calcutta Dealers and The Boycott. (T. T. S. Nov. 26th, 1921. P. 201.)

留比の下落
Rupees Cheaper. (T. T. S. Nov. 26th, 1921, P. 202.)

最近棉花の情勢
Cotton Industry Finance-Short Time Conditions. (T. T. S. Nov. 26th, 1921, P. 203.)

印度市場の將來に於ける對英關係
Indian Market Future Relationship With Britain. (T. T. S. Nov. 26th. 1921, P. 205.)

印度に於ける勞働組合;印度海員組合の所見
Trade Union in India; Indian Seamen's Views. (Stm. Dec. 1st. P. 11.)

通俗敎育と失業、スワライに對する方策
Popular Education and Unemployment; The Way to "Swaraj." (Stm. Dec. 1st, 1921, P. 11.)

基督敎青年會とガンヂー(寄書)
The Y. M. C. A. and Gandih. (Stm. Dec. 3rd, 1921. P. 9.)

アッサム州の茶作勞銀に關する調査委員會
Tea Garden Labour in Assam; Commitee of Inquiry. (Stm. Dec. 3rd, 1921, P. 13.)

印度に於ける工業的敎育
India; Industrial Education. (T. Ed. S. No. 346, Dec. 3rd, 1921, P. 540.)

印度に於ける鐵道管理;ギラン氏の所見
Railway Control in India; Sir R. W. Gillan's

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

P. 2180.)

蘭領東印度貿易不況に關して
Trade Depression in The Dutch East Indies, by Philip Torence Jurgen. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 69, Dec. 10th, 1921, P. 2193.)

蘭領印度に於ける製油
The Winning of Oil in The Netherland Indies. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2177.)

土民の椰子培養
The Native Cocoanut Culture. (D. E I A. Vol. IV. No. 67, Nov 1st 1921, P. 2155.)

爪哇南海岸の經濟的利權
The Economic Interest of The South Coast of Java. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 66, Oct. 15th, 1921, P. 2137.)

米國の企業(爪哇に於ける)
An American Enterprise. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2152.)

爪哇政廳の鐵道收入(表)
Government Railway Taking in 1920 and 1921. (Tables.) (D. E. I. A. Vol. IV, No. 66, Oct. 15th, P. 2146.)

爪哇鐵道收入(十箇月間=1921)
Railway Takings during 10 Months, 1921. (Tables.) (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2180.)

鐵道の電化(爪哇)
Electrification of Railways. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 69, Dec. 10th, 1921, P. 2197.)

爪哇に於ける物價表(一九二一年九月中)
Price of Commodities in Java, During Sept. 1921, (Tables.) (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2166.)

爪哇に於ける物價表(一九二一年十月)
Price of Commodities in Java, during Oct, 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2185.)

比律賓

最近積出のマニラヘンプの損傷の原因
Manila Hemp: Cause of Damage in Recent Consignments. (B. I. I. Vol. XIX, No. 2. P. 127-132.)

比律賓に於けるウッド將軍の政略聲明
Wood tells His Aims in Philippines. (C. P. Jan. 5th, 1922, P. 1.)

比律賓に於ける政黨首領の分裂
Heads of Ruling Party in Philippines Split (C. P. Jan. 5th, 1922, P. 3.)

比律賓に於ける癩病患者治療方針
Measures in Phlippines being taken for Lepers. (C. P. Jan. 5th, 1922, P. 3.)

英領北ボルネオ

英領北ボルネオ產山欖種子
Illipe Kernels from British North Borneo (B I. I. Vol. XIX, No. 2, P. 140-142.)

蘭領東印度諸島

蘭領東印度に於ける教育制度
The System of Education in Dutch East India. by P. J. Gerke. (A. R Vol. XVII No. 52, Oct. 1921, P. 709.)

華盛頓會議と蘭領殖民地
The Dutch Colonies at The Washington Conference. (D. E. I. A. Vol. IV. No. 68, Nov. 15th, 1921. P. 2173.)

蘭領東印度に對する英國商業會議所
The British Chamber of Commerce for Netherlands EastIndies. (D. E. I. A. Vol. IV No. 66, Oct. 15th 1921, P. 2142.)

(蘭印財務省報)輸入と關稅報告(表)
Returns of Import & Custom House Duties Report of The Dep't of Finance in D. E. Indies. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2184.)

蘭印石炭貿易會社
The Neth. Indian Coal-Trading Co. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921,

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ニユギニアに就て
New Guinea. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2162.)

ボルネオの富
The Wealth of Borneo. (D. E. I. A. Vol. No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2163.)

スマラン港灣改良
Harbour-Improvements at Semarang. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2161.)

スマトラ產茶輸出表(一九二一年一月＝七月)
Sumatra Tea Exports Figures during Jan-July, 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67 Nov 1st 1921. P. 2167)

スマトラ產茶輸出表(一九二一年一月＝八月)
Sumatra Tea Exports Figures during Jan-Aug. 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2167.)

パダン(スマトラ)輸出表(一九二一年九箇月間)
Exports from Padang (Sumatra) for 9-months, 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 69, Dec. 10th. 1921, P. 2200.)

濠州及新西蘭

新南ウエルス產繭
Silk Cocoons from New South Wales. (B. I. I. Vol. XIX, No. 1, 1921, P. 20-24.)

西濠州に於ける果實
West Australian Fruit. (S. F. P. Nov. 17th, 1921, P. 12.)

濠州聯邦海運條例の追加條項
Navigation Act More Sections to be enforced. (T. T. S. Nov. 26th, 1921, P. 204.)

一九二一年に於ける新南ウエルスの小麥作總面積
New South Wales Wheat Areas, 1921. (E. R. Vol. XXXV, No. 251, Dec. 1921, P. 417.)

爪哇產茶輸出表(一九二一年一月＝九月)
Java Tea Exports Figures during Jan-Sept, 1921. (D.E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1 1921, P. 2167.)

爪哇の茶業
The Tea-Planting Industry of Java. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2171.)

二樣の製油業
Two Different Oil-Industries. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 66, Oct. 15th, 1921, P. 2138.)

ヘヴエア種子より製油(爪哇)
Oil from Hevea Seeds. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2176.)

爪哇の糖業
The Sugar Industry in Java. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 67, Nov. 1st, 1921, P. 2153.)

爪哇の糖業(續)
The Sugar Industry in Java. (Continued.) (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921. P. 2173.)

爪哇糖輸出表(一九二一年八ヶ月間)
Sugar Exports from Java, for 8-months. (Tables.) (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2184.)

爪哇糖輸出表(一九二一年十箇月間)
Sugar Exports from Java, for 10-months, 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 69. Dec, 10th, 1921, P. 2199.)

爪哇の織物
Textile Goods in Java (D. E. I. A. Vol. IV, No. 69, Dec. 10th, 1921, P. 2194.)

爪哇に於ける自動車、トラック、自動車タイヤー自轉車タイヤー輸入表(一九二一年八箇月)
Imports of Motor Cars & Trucks, Motor Car Tires & Bicycle Tires. into Java during 8 Months, 1921. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2183.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾が歐州市場の囘復(其の二)
The Rally of Our European Markets.-II. (E. Vol. XCIII, No. 4,083, Nov. 26th, 1921, P. 924.)

勞働組合の統一
The Consolidation of Trade Unionism. (E Vol. XCIII, No. 4,083, Nov. 26th, 1921. P. 971.)

產業方面難況
The Crux of The Industrial Situation. by Lord Sydenham. (E R. Vol. XXXV, No. 251, Dec. 1921, P. 406.)

前年に於ける英國對外貿易
Finance and Trade Progress in The Past year. (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 222.)

獨　　　逸

吾人は波蘭に於て何を失へるや
Was Wir an Polen ver lieren. (D. E. Nr. 1999, (32) 3. Nov. 1921. P. 3490.)

獨逸と支那
Deutschland und China. (D. E. Nr. 1999(32)-3. Nov. 1921, P. 3493.)

獨逸熱帶醫學の成果
Erfalge der Deutscher Tropenmedizin. (D. E Nr. 1999 (32) 3-Nov. 1921, P. 3496.)

獨逸の經濟的窮乏
Deutschlands Wirtschaftnot. (D. E. Nr. 2001 (34) 17-Nov. 1921, P. 3653.)

戰後の獨逸人口
Die Deutsche Bevölkerung nach dem Kriege. (D. E. Nr. 2002 (35) 24-Nov. 1921, P. 3753.)

獨逸の難局
Germany's Difficulties. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 504.)

獨逸に於けるマルクの下落と貿易の好況
Bad Money and Good Trade; A. Letter from Berlin, by Robert Crozier Long. (F. R. Dec. 1921, P. 935.)

新西蘭產獸肉
New Zealand Meat. (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 225.)

新西蘭と木材ダマル
New Zealand and Timbers Kauri-Pine. (B. I. I. Vol. XIX, No. 2, 1921, P. 148-160.)

製紙原料としての新西蘭の屑材
New Zealand Waste Timber for Paper-Making. (B. I. I. Vol. XIX, No. 1, 1921. P. 1-10.)

歐　　　洲

英　　　國

新英帝國
The New British Empire, by J. L. Barker (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec, 1921, P. 454.)

英國の新戰鬪巡洋艦(其の新造計畫たる四大艦の特徵)
Britain's New Battle Cruisers, by Hector C Bywater. (S. A. Dec. 1921, P. 90.)

英國船舶界及び造船界の現況
Shipping and Shipbuilding Position. (S. Vol. XCVIII, No. 2,284, Dec. 3rd, 1921, P. 826.)

英國商業復活策
How to revive British Trade. by Lord Weir (E. R. Vol. XXXV, No. 250, Nov. 1921, P. 370.)

英國商船
The British Marcantile Marine. by Sir William J. Noble. (E. R. Vol. XXXV. No. 250, Nov. 1921, P. 376.)

英國大學に於ける婦人
Women at Universities. (T. Ed. S. No. 343, Nov. 12th, 1921, P. 502.)

吾が歐州市場の囘復(其の一)
The Rally of Our European Markets.-I. (E. Vol. XCIII, No. 4, 082, Nov. 19th, 1921, P. 884.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八九〇＝一九一八年に於ける米國勞働賃金の高低
The Movement of Real Wages, 1890-1918. by Paul H. Dauglas and Frances Lamberson. (A. E R. Vol. XI, No. 3, Sept. 1st, 1921, P. 409.)

近世に於ける米國聯邦田債制度の發達
Recent Developments in The Federal Farm Loan System, by G. E Putman. (A. E R. Vol. XI, No. 3, Sept. 1st, 1921, P. 427.)

米國聯邦準備銀行の割引利率高低の効果
Efficacy of Changes in The Discount Rates of The Federal Reserve Banks, by A Youngman. (A. E. R. Vol. XI, No. 3, Sept. 1st, 1921, P. 466.)

米國と極東
America and The Far East. (D. E. I. A. Vol. IV, No. 68, Nov. 15th, 1921, P. 2170.)

米國商船條例の失敗
Failure of The Marchant Marine Act of 1920, by E. S. Gregg. (A. E. R. Vol XI, No. 4, Dec. 1921, P. 601.)

米國食糧自給問題
America's Domestic Food Supply, by Robert G. Skerrett. (S. A. Jan. 1922. P. 6.)

米國對外貿易(一九二一年十箇月の貿易額)
Foreign Commerce of United States, (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 227.)

加奈陀

加奈陀の東洋問題
Canada's Oriental Problems, by J. Nelson. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 464.)

南米

將來あるブラジルの棉花と珈琲
Brazil's Future Promise-Outlook for Catton & Coffee. (T. T. S Dec. 3rd, 1921, P. 226.)

智利對ボリビア及秘露の葛藤
Chili's Conflict with Bolivia and Peru. N. del Rio. (C. H. Vol. XV, 3, Dec. 1921. P. 449.)

獨逸海運業の大努力
Struggle for World's Shipping-Great German Effort. (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 227.)

獨逸の原料と食料
Germany Raw Materia lals & Food. (T. T. S. Dec. 3rd, 1921, P. 231.)

佛蘭西

ザール領域に於ける佛國
Frankreich im Zaar gebiet. (D. E. Nr. 2001 (34) 17 Nov. 1921, P. 3655.)

佛蘭西に於ける政黨と對外政策
Political Parties & Foreign Policy in France, by T. H. Thomas. (W. W. Vol. XLIII, No. 2, Dec. 1921, P. 146.)

佛蘭西に於ける改造
Reconstruction in France, by Julius M. Price. (F. R. Dec. 1921, P. 961.)

露西亞

ソヴエートの財政第三期
Soviet Finance; The 3rd Stage. (E. Vol. XCIII, No. 4,082, Nov. 19th, 1921, P. 890.)

過激派の亞細亞に於ける侵略と政策
Soviet gain and Policy in Asia told by Leador. (C. P Jan. 8th, 1922, P. 1.)

チェッコスロヴァキア

チェッコスロヴキアの國家構成權
Czechoslovakia's Right to Statehood, by A. Paliok. (C. H. Vol. XV, No. 3, Dec. 1921, P. 499.)

■阿弗利加■

東部阿弗利加に於て著しき進歩を遂げつゝある印度人部落
Indian Community in East Africa; Making Great Progress. (Stm. Dec. 4th, 1921, P. 13.)

■兩米大陸■

北米合衆國

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詞苑

遊芝山巖弔教育家遭難遺跡　田讓山

維石巖々碧蘚霑。當年遺跡暗愁添。豐碑屹立芝山畔。永勸文勳民具瞻。

尋梅　齋藤柳外

行盡城南水石鄉。梅花白處是僧房。臨流只有黃昏月。照到柴門多暗香。

觀音山上呈讓山夫子總督閣下　林知義

國計民生緊一心。全臺有旱公爲霖。登高看到風行處。草偃重重始自今。

北有觀音秀插天。山容出世不知年。今朝喜迓明公至。竹影搖搖象萬千。

偶園小集　連雅堂

秋氣正搖落。驅車過偶園。菊花猶滿地。竹葉復盈樽。暫息塵中事。來尋野外村。主人情意重。閒話到黃昏。

卜宅

卜宅江濵歲雨更。側身天地一浮萍。狗屠幾輩知朱亥。鴻館無人笑白丁。落日放船秋載酒。西風閉戶夜談經。生涯幸喜稻粱足。何用勞々過野亭。

挽謝穎軒先生　魏潤庵

窮冬風日惡。歸雁銜蘆墜。故人信不來。肅耗天中至。念昔夙交游。相期勉道義。細懷平生歡。忽忽如夢寐。君才美且都。無乃天所忌。庸愚厚福多。才實爲身累。嵓嵓酒肉場。俱視無當意。百神勸帝觴。羣龍亦沈醉。長歌每含酸。終繼以涕淚。平生言論雄。一旦歛廐棄。飄然辭臺灣。僦居神戶地。今春曾訪我。顏色殊憔悴。孰知是死別。遺詩長在笥。也應化鶴歸。相對談前事。

挽施家本君

中庸殊不易。狂狷亦堪懷。我愛施家本。詩如楊鐵厓。唾壺常自碎。湘淚爲誰諧。凄絕繼二豎。盛年便骨埋。

偶園小集　谷澤星橋

騷客聯翩五柳門。不嫌路遠到林園。一溪水竹環平野。萬瓦人家隔小村。玄雁霜高來有信。黃花人淡坐忘言。詩成雅比陶潛擗。滿插歸時照眼繁。

時事唫六首。依岳陽先生韵。博一粲　永井甃石

文明逐日新。輩出聖賢人。利己爲

生命。滔々皆愛銀。

研鑽雖日新。難謀千古人。今朝誰鍊藥。無物不成銀。

立言殊悅新。一服西人。節義輕如紙。位勳買賴銀。

童顏鶴髮新。有術長生人。欲買阿嬌笑。傾囊獨拋銀。

太平洋會新。中歐集賢人。議公品何得。應消金與銀。

力役結盟新。聲援天下人。口雖議獨占。要在獲多銀。

紙鳶

北斗　林夢梅

青雲得路舞翩躚。萬里風高一線連。
只恐兒童綿力薄。雄飛天外竟無緣。

歐洲大戰爭

澎湖　林傳成

退稽自古開兵刼。莫若歐洲大戰法。
奪取從來未有奇。各誇強盛時堪甲。
或引潛航入地行。或騰飛艦劈空鳴。
突然放出烟彈擊。震動山河萬里驚。
孤居極北猶雷霹。德在歐西尤勁敵。
一旦爲鄰起衅來。致令八國大攻擊。
德袒墺兮禍遂纒。俄因袒塞軍方聯。
燎原星火餘難熄。亦是天機欲使然。
全歐英法名常震。因與聯盟亦出陣。
幾次會師入戰場。縱然失銳仍精進。
血似海流尸似山。風雲不測一時間。
互相勝負互傷損。巨萬生靈等草菅。
玄穹本有好生德。窃冀列邦同效則。
感動天心悔禍萌。講和修睦吏蕃息。
從此烽烟靖四方。再修禮義化干將。
共欣甲向天河洗。兵氣銷爲日月光。

敬和田總督閣下瑤韻

陳直卿

葵績他年耀里閭。蒼生此日望非虛。
爲君爲國詢民意。堪比南陽出草廬。

敬和田總督閣下詠評議會瑤韻

森羅萬象富經綸。大用何妨試下詢。
報主出言延領士。方知愛國在親民。

近刊臺灣時報揭全臺詩人唱和諸作。即次讓山總督瑤韻。述懷。

杉南　篠田勝也

皇澤均霑萬象妍。群賢頌德入新篇。
回頭我輩何無感。幾戰山河迹歷然。

拜訪鷹取岳陽詞丈。用疊瑤韻賦呈三首。並希吟正

李學樵

先生詩筆格清新。不愧當時大有人。
下馬小生甘拜頌。聲名動世響如銀。
雄邁才華句更新。魁梧奇偉讓斯人。
胸羅萬卷盈懷抱。人品圓如世上銀。
大雅扶輪百感新。萬方珠玉護詩人。
芭窓風雨蕭蕭下。臥聽龍吟聲似銀。

先生居處匾曰芭雨廬。吟詩響傚如龍吟云。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

島都の新春

一日、大直山の靈域に鎭座まします臺灣神社に元旦祭が奉仕せられ、夫れから總督府の拜賀式が濟むと官民の足は皆な鐵道ホテルの名刺交換會に向つた、此處に集るもの一千餘名いづれも元氣滿々たるもの、午前九時三十分合圖の鐘聲で一同が大食堂に這入る、幾十かの長卓が寸隙も無いやうに詰められると軈て吉例の瓶詰が御手酌で酌み交はされる、唯だ見る千百の頭顱が一列に見渡さるゝ中に巨人を以て名ある某といふ技師の頭丈けが獨り卓然として場の中央に聳えて居るのも氣拔であつた、笑聲歡聲の騷然たる中に壇上に顯はれたのは市の大橋理事官で、「諸君」と呼んで扨て曰く「今や華盛頓府に於ては太平洋會議が開かれて各國の全權が軍備縮小に就て協定を爲し、我が日本の全權に於ても大いに盡瘁し居らるゝので、世界平和の快報の齎さるゝは必ずや近き將來にあるべし、此際吾人が南方新領土に於て大正十一年を迎へて大いに文化を此土に敷かんとするは誠に御同慶の至りに堪へません、偶々市尹病氣の爲め私が命を受けて代つて年頭の祝詞を市民各位に呈することは、私の最も光榮とする所であります」と結んで壇を下つたのは御役目大出來で柏手急霰のやうにあつた、折から劉喨たる「君が代」の奏樂が緩く起つて滿場肅然たる裡に夫れが濟むと、高田臺北州知事の發聲で　天皇陛下の萬歳を三唱した時は流石にホテルの大食堂も搖がん許りであつた、之で直ぐ解散は例も乍ら誠にあつけないが、是れからが緩つくり眞の正月といふので團體に右往左往するものが多かつた、此日鈴木對花蓮港團の野球戰が新公園に行はれた。

二日には初荷を自働車に積んでブー〱走るのを見たが、初荷などは例の木やり節で練つて行く所が中々威勢の好いものであるのに、如何に物質文明の世とは言へ斯んな舊習までがドシ〱壞はされて行くのは惜しいやうな氣もした、此日臺灣日々新報社の福引抽籤に集りたる男女老幼が梅月堂の前街の亭仔脚から電話交換局前を經て臺日社まで一直線に人垣を造つたには人間は夫れ相當に功利心の強いものだと思はされた、武德會馬場で乘初めが行はれ、新公園に文書課對花蓮港軍の野球戰の行はれたのも此日の事であつた。

三日、臺灣神社に於て元始祭執行、田總督初め官民の參拜があつた。

四日、總督府會議室に於て御用始式があり、田總督から本島統治上に關する一場の訓示があつた、此日、新公園に於て臺北消防組出初式があり、高田知事臨場、例規の點檢報告等が行はれた後、梯子乘、防火演習等が行はれて中々盛んなものであつた。

五日、午後五時より總督官邸に新年宴會あり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文武官、民間紳士、外國領事等約六十名參會田總督の乾杯辭、福田軍司令官の謝辭等があり、盛會を極めて散會した、此日新公園に高商對醫專の第一回野球戰が行はれた、大同會歳末大賣出の抽籤の行はれたのも此の日であつた。

六日、新起街歳末大賣出の抽籤か行はれた。

七日、臺北婦人名刺交換會が鐵道ホテルで擧行された、此日朝鮮視察團十六名が臺北に到着した。

田總督の上京

田總督は去月二十日午後二時十分臺北驛發列車にて上京の途に就かれたり、停車場には福田軍司令官、賀來總務長官を初め官民多數の見送あり、新元鐵道部長、相賀警務局長、高田臺北州知事、下村祕書官、高木電力社長其他官民有志は基隆迄見送を爲したり、總督は備後丸に搭乘せられ午後四時出帆したり。

賀來長官の快癒登廳

賀來總務長官は術臘來微恙の爲め引籠り官邸に於て事務を執られしが其後全く快癒し去月二十日より登廳せられたり

集會　自十二月 至一月

●十二月十八日臺北八甲庄日蓮宗法華寺に於て故岡松參太郎博士の追悼會を執行す●二十三日總督府第一階食堂に於て大正十年第二期標準米査定會を開く●臺灣教育會にては明年二月一日芝山巖に合祀する死亡教育關係者の資格竝に同姓名碑建立の件につき二十六日評議員會を開く●乃木大將母堂墓前祭は二十七日三板橋なる基前に於て執行せらる●總督府にありては各州の勸業課長、技師其他關係員を召集し二十四日府内第一階食堂に於て主要食料作物主務者打合會議を開く●總督府開設の第一回全島州廳郡市視學講習會は十一日より二十日まで總督府內第一階食堂に於て開かる●臺北官民有志は朝鮮視察團の爲め十二日鐵道ホテルに於て歡迎會を開く

編輯雜記

▲舊冬、石井委員が瑞西ルチエルンから鎌田委員に送つた繪葉書の表に曰く

美しい國です、一番もの〻高い國です、金があつて、閑があれば、何時までも居りたい處です。

とあり。久子夫人の筆で又た「スキスはよい景色でございます。けふはリギの山にのぼり雪のアルプスを見て參りました」とある。御夫婦で結構なことである

▲久しく病氣中の水越委員去月二十日より出勤せらる。

▲上京中の生駒委員去月十日歸府せらる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

■大正十年十二月

▼十一日

□臺灣正米市場規則發布せらる

▼十五日

□臺南市協議會開會

▼十七日

□臺北州七星郡管内臺北より松山庄に通ずる縱貫道路改修工事竣成す

▼十八日

□岡松博士追悼會を臺北八甲庄法華寺に行ふ

▼二十二日

□平和記念博覧會に際し植民地事情紹介の爲め活動寫眞及ポスター宣傳を爲すべき旨東洋協會の照會により總督府に於てはポスター提出を各官衙銀行會社等に通牒す

▼二十三日

□總督府に於て主要食料作物打合會を開く

▼二十五日

□臺北州新莊郡管内縱貫道路竣功式を擧ぐ

▼三十日

□臺灣水利組合令公布せらる

■大正十一年一月

▼一日

□臺北鐵道ホテルに於て名刺交換會を催ほし臺北官民有志一千餘名參會す

▼四日

□總督府に於て御用始式を行ひ田總督本島統治に關して一場の訓示を下す

▼五日

□總督官邸に於て新年宴會を催ほす

▼七日

□朝鮮視察團十六名來臺す

▼八日

□古亭庄練兵場に於て臺北守備兵の閲兵式を行ふ

人事消息

■大正十年十二月

▼奥秋雅則氏（府事務官、本誌編纂委員）十二日上京

▼前田稔靖氏（同　同　）母堂病氣の爲め十二日看護歸省

▼永田隼之助氏（電力會社理事）十三日來臺

▼坂本素魯哉氏　十六日上京

▼内藤正太郎氏　二十日歸臺二月六日上京

▼赤石定藏氏　二十七日歸臺

▼田總督　二十七日歸府

▼三村三平氏　二十九日歸臺

■大正十一年一月

▼金森通倫氏　七日基督教傳道の爲め來臺

▼ウオーター、ハウス氏（米人）金森氏と同伴來臺

▼大川司令官　六日上京

▼生駒高常氏　十日歸任

任命

大正十年十二月中

▼十一月二十九日

醫院醫官補　小林靜夫

兼任醫學專門學校助教授

▼十一月三十日

法院檢察官　小野得一郎

任法院判官補高等法院上告部判官、退職ヲ命ス

▼十二月一日

法院檢察官　松井榮堯

補臺北地方法院檢察官長

法院檢察官　筒井清眞

補臺南地方法院檢察官長

法院檢察官　上内恒三郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新竹地方法院檢察官長

▼十一月三十日

總督府事務官　佐々木國重

警務局保安課長事務取扱三浦莊郎不在中代理ヲ命ス

防疫事務官　龜井保太郎

警務局衛生課長三浦莊郎不在中代理ヲ命ス

▼十二月五日

總督府屬州理事官　岡村勝次郎

任郡守、臺北州文山郡守ヲ命ス

▼十二月四日

內務局長　末松偕一郎

上京ヲ命ス

▼十二月五日

郡守兼州警視　生野猪六

免兼官、臺北州宜蘭郡守ヲ命ス

財務局事務官　中田榮次郎

臺灣電力株式會社監理官富田松彥不在中代理ヲ命ス

總督府警視　佐藤求巳

東京、埼玉及兵庫ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

▼十月七日

願ニ依リ電力株式會社理事ヲ免ス

南新吾

▼十二月八日

總督府技師　倉岡彥助

歸府ノ途次上京ヲ命ス

▼十二月五日

宜蘭街長　重藤幹一

奏任官ヲ以テ待遇セラル

▼十二月九日

財務局事務官　中田榮次郎

兼任總督府事務官、內務局地理課兼務ヲ命ス

財務局事務官　中田榮次郎

內務局地理課兼務ヲ免ス

總督府屬　齊藤庄治

兼任通信事務官、臺北郵便局勤務ヲ命ス

總督府事務官　奧秋雅則

上京ヲ命ス

州理事官　岩瀨金二郎

東京、大阪、愛知及香川ノ二府縣下ヘ出張ヲ命ス

▼十二月十日

總督府技師　色部米作

殖產局糖務課勤務ヲ命ス

總督府警視　宇野英種

審地調査委員會幹事ヲ命ス

屬兼總督府通信事務官　齊藤庄治

免兼官

▼十二月十二日

總督府技師　森脇虎彥

殖產局水產課長奧秋雅則不在中代理ヲ命ス

總督府事務官　松岡一衛

殖產局商工課長奧秋雅則不在中代理ヲ命ス

▼十二月十五日

遞信局長　吉田平吾

東京遞信局管內ヘ出張ノ序ヲ以テ熊本遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

師範學校長　太田秀穗

東京、京都、大阪、廣島、三重、長野、宮城、山形及福岡ノ三府六縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府在外研究員中央研究所技師　山口譲留

指定ノ期間內ニ於テ英國ニモ在留スヘシ

▼十二月十六日

總督府技師　栗山俊一

支那汕頭ヘ出張ヲ命ス

總督府技師　上野忠貞

山形縣下ヨリ群馬及栃木ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

▼十二月十七日

檢事　玉置榮吉

任法院檢察官、補臺北地方法院檢察官

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼十二月十九日

公立中學校教諭　三屋靜

南支那及英領香港へ出張ヲ命ス

▼十二月二十日

高等商業學校教授　切田太郎

東京、大阪、神奈川、福岡、兵庫及愛知ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス

商業專門學校長　加藤正生

東京、京都、三重及長崎ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

總督府在外研究員
高等商業學校教授　中屋重治

指定ノ期間内ニ於テ佛國及埃及ニモ在留スヘシ

實業學校教授　小出權吉

大阪及兵庫ノ一府一縣下へ出張ヲ命ス

州警視　松本盛登

東京、大阪、岡山及沖繩ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

商業專門學校教授　川田長兵衛

商業專門學校長加藤正生不在中代理ヲ命ス

▼十二月二十二日

中央研究所技師　澁谷紀三郎

歐米各國へ出張の序を以て埃及及英領印度へ出張を命す

師範學校教授　平塚佐吉

南支那及英領香港へ出張を命す

公立女子高等普通學校教諭　大森丈之輔

任公立女子高等普通學校教諭、彰化女子高等普通學校勤務ヲ命ス

▼十二月二十四日

新竹州屬兼總督府屬　岡村良勝

任州理事官、臺中州内務部勤務ヲ命ス

▼十二月二十六日

總務長官　賀來佐賀太郎

學校職員恩給審査委員長ヲ命ス

秘書官　喜多孝治
參事官　下村充郎
事務官　生駒高常
（各通）

學校職員恩給審査委員ヲ命ス

醫院醫長　下瀬謙太郎
醫院醫長　白川玖城
（各通）

學校職員恩給顧問醫ヲ命ス

總督府屬　田和久次郎

任州理事官、新竹州内務部勤務ヲ命ス

中央研究所屬　松田八百刀

高等官六等ヲ以テ待遇セラル

警察官及司獄官練習所教官　小野賢次

任警察官及司獄官練習所教官兼警視警務局理蕃課勤務ヲ命ス

總督府技師　狩野三郎
（各通）

州理事官　篠原太一
州理事官　岡村良勝
（各通）

依願免本官

公立女子高等普通學校教諭　楢基道

東京、京都、岐阜、愛知、山口及島根ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス

▼十二月二十四日

總務長官　賀來佐賀太郎
財務局長　阿部滂
（各通）

政府委員被仰付

▼十二月二十七日

臺灣總督男爵　田健治郎

政府委員被仰付

臺南州屬　松山松次郎

兼任市理事官、臺南市勤務ヲ命ス

總督府屬　圖部薰

任州理事官、臺中州内務部勸業課兼土木課勤務ヲ命ス

州理事官　田和久次郎

依願免本官

▼十二月二十八日

總督府技師　右田吉人

支那廈門ヨリ京都大阪福岡及大分ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

實業學校長　吉田佐次郎

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▼十二月二十六日

　　總督府屬　相良三熊

任州理事官、依願免本官、臺中州內務部勤務ヲ命ス

▼十二月二十八日

　　參事官　下村充郎

兼任總督秘書官、總督官房秘書課勤務ヲ命ス

▼十二月二十九日

　　新竹州知事　常吉德壽

東京、大阪及福岡ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

寄贈書目

書名		發行所
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
臺法月報	同	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
極東公論	同	其社
大鵬	同	拓殖新報社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
臺灣鐵道	同	其社
青島商報	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
博愛	同	臺灣博愛社
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報(上海貿易)	同	上海日本商業會議所
東洋時報	同	東洋協會
南洋經濟斯報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協會
大陸	同	大陸社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック	同	臺灣パック社
高砂パック	同	高砂パック社
統計學雜誌	同	統計學社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
極東	同	極東社
對岸時報	同	福井縣對岸實業協會
國際經濟	同	國際經濟協會
產業事報	同	日本產業協會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
臺灣金融事項參考書	同	臺灣銀行
臺灣會社摘要	同	同行
煙草通信	同	專賣局煙草課
日印協會々報	同	日印協會

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢文欄

就臺灣水利組合令而述

內務局市街庄課調查

臺灣水利組合令。業經大正十年十二月二十八日。律令第十號頒布在案。茲將本令與現行埤圳各法規。適用上攸關差異之所見。臚列于左。

一 按照現行法則。水利團體。除灌漑排水目的外。不能辦理。然照水利組合令第一條則。能可以組織豫防水利目的之組合。此因臺灣之地勢。一萬數千尺中央山脈。縱貫于南北而各溪急流。一旦過有洪水氾濫則。不知所止。以致流心變。轉不定故以保全國土起見。雖撥國帑整理各溪但財源有限。未免遺憾、然各人性命財產之自衛並保護灌漑排水區域內土地及工作物件俱可謂必要之規定也。

二 照依現行法。則蒙埤圳新設批准者。固不待言。雖既設埤圳者。若在行政廳認爲必要之時均應認爲公共埤圳。既然如此其利害關係人必須有組織埤圳維持團體之義務。但照依本令。則組織團體與否。埤圳關係人之便。又於組合之撤廢。合併或分割等。亦照同一。且據本令第四條內開。必須備具組合員總數之二分之一以上。並要有其區域土地總面積三分之二以上之地者。同意之規定。以重民意。此等可謂法之進步。然因水利組合設置之隨意。及第四條之手續煩瑣。反爲有礙本令水利組合設置之處。當事者宜爲留意焉。

三 本令第三條內開做組合員資格規定中。增添以臺灣總督所定區域內之主產物爲原料

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

之製造業者一項。以補現行埤圳各規矩不備。並定埤圳諸法規之統一。且於大面積之地。連採取原料製造者。亦爲組合員。其爲甘蔗之採取計畫或其費用分擔。一面付其權利。一面令其負義務。蓋所以廣爲製造業者。或恐有利用埤圳之如製糖業者生。故備後用。如列上製造者。似有組合費負擔之不利。乃不然。若將所有組合費全數。科派業主。則漸次轉嫁佃人。究致其地所產原料之產費昂貴原因。採取者。對製造業者。賣價不得不昂貴。或陷于原料耕作招斷。遂至無人耕作。釀成原料採取不安之結果。如此深行攷究。則本條規定之妥當可知也。

四

即於現行法則。爲組合之管理者。原爲其組合會選舉。遇有保全公共利益等格外必要之時。知事或廳長。以職權指定管理者。或有自行管理之規定。於本令第八條內開水利組合。置組合長。知事或廳長。又遇有第四十一條情形。則有總督飭命之規定。故不論如何情形。即於行政官廳飭命。以致知事或廳長。無自爲組合長之規定。又從來組合會議。即爲議決機關。於本令第十二條水利組合。置評議會。定爲組合長之諮問機關。一見似有與時勢逆行之觀。然前段則。與內地之水利組合令所定相同。而將來遇有與內地水利組合相同管理之時。大爲利便。後段則。因爲本島現時之情形。未達于使公共團體。認議決機關之時期。縱或認之。並無何等利益。等不無事業遂行上障礙之弊。可謂鑑於既往之實例者矣。

五

按照現行法。並無退職。死亡恩恤之給金。又無其他關于各給與之規定。故無埤圳吏員優遇之途。以致不能舉用人材。即以本令第十八條。開于優遇之途矣。

六

本令第二十條二項。規定豫防水害組合或灌溉排水及豫防水害之組合。對其居住于區域內之非組合員。得能賦科丁役。其理。據本令第三條。其區域內。有土地或房屋及有工作物。並臺灣總督指定區域內之典主。或以其地之產物。爲原料製造業者。住居于區域內之時。以其生命及本令第三條所開財產等俱受保護

雖組合員以外者。賦科丁役。此可謂正當之理也。尙在灌漑排水及水害豫防起見組合。惟以灌漑排水賦科耶。卽於本令灌漑排水組合。並無明文規定。似此情形不得不許焉。

七　從來公共埤圳水租。及費用之徵收。乃在行政官廳。認爲徵收之必要。除付權利者外。各埤圳團體。委託于街庄長會計役或區長等。徵收辦理。據本令第二十三條所定。此等徵收事務可以委託地方公共團體。以圖徵收之便利。

八　據照現行法則。關于組合費。丁役。現品其他賦科徵收。過有違法或不該當之時。本人並無提出異議之規定。乃於本令第二十四條明定此項。實可謂一進步也。

九　據現行法。並不能經費之越年挪用。及爲繼續費。故於繼續事業之年度剩款。或年度內完成工程。因有事故。不能其年度內成工。則將其剩款全部。改爲翌年度歲入。然後照依追加豫算之例。更行計入豫算而支動等。諸多煩雜。但按照本令第三十條第三十一條規定。可謂除此等之弊。

十　據照本令第三十九條內關。應該呈諸事件如有不合之處。可以在範圍內改訂。但現行法寔無此事。遇有此等之事。彼此重辦。徒費時間勞力及費用。且免失機之弊。

十一　據照現行法。公共埤圳聯合會是各公共埤圳團體之管理人。欲將事務共同辦理之時係承總督批准而設。故無法人資格。但據本令第四十二條所定水利組合聯合會。與此不同二以上水利組合欲爲共同事業之時。方爲設置。故有法人資格。此等聯合會想將來籌畫水害豫防事業多觀焉。

現行法與本令有差異之處。大略如前。總宜順應時勢之要求。而爲水害豫防或共同事業。一則認水利組合聯合會之設置。一則補現行法缺陷。將來關于官設埤圳及公共埤圳之諸法規。全行廢止。以期在一法規之下。準定統一。知事廳長專在監督地位。令其爲地方的之管理以重民意。而鑑於事業之性質。多與實益及便宜。在乎以圖水利事業之次序發達。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日支合辦

一資本金壹千萬圓

臺灣臺北

株式會社

華南銀行

總理林熊徵

支店及出張所

東京　廣東　海防　西貢

新嘉坡　スマラン　ラングン